

令和8年度 年間指導計画

沖縄県立
沖縄高等特別支援学校

1 学年

単位数 ／ 配当時 数		児童生徒	担当者	教科書／副教材	
70		1学年		国語表現（大修館書店）	
目標：（知・技）知識及び技能（思・判・表）思考力、判断力、表現力等（学・人）学びに向かう力・人間性等 評価：（知・技）知識・技能（思・判・表）思考・判断・表現（学・人）学びに向かう力・人間性等 （主体）主体的に学習に取り組む態度					
（知・技） 社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に親しむことができるようにする。 （高知1） （思・判・表） 筋道を立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようにする。 （高知1） （学・人） 言葉がもつよさを認識するとともに、幅広く読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。					
年間目標					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	4月 5 7月 （2 6）	（知・技） 自分の思いや考えを表現するために必要な語句の量を増し、言葉遊びの中で使うことをとおして、語感を磨き読感を豊かにすることができる。 （ウ・ウ）（高知1） （思・判・表） 「書くこと」において、目的や意図に応じて適切な題材を決め、語句や表現の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことをより明確にすることができる。 （ホ・ア）（高知1） （学・人） さまざまな言葉遊びをとおして、言葉に興味をもち、意欲的に活動に取り組むことができる。	（知・技） 自分の思いや考えを表現するために必要な語句の量を増し、言葉遊びの中で使うことをとおして、語感を磨き読感を豊かにすることができる。 （ホ・ア）（高知1） （思・判・表） 「書くこと」において、目的や意図に応じて適切な題材を決め、語句や表現の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。 （ホ・ア）（高知1） （学・人） さまざまな言葉遊びに興味をもち、意欲的に活動に取り組もうとしている。	【第2部】表現を楽しむ 1 言葉で遊ぶ	・オリエンテーション ・教科書の例を確認しながら、原文・折句・しりとりについて知り、ワークシートに取り組む。 ・学習の中で出てきた語句の読みや意味をipadを使って調べ、プリントに書き込む。 ・自分の名前（ひらがな・漢字）を使って折句をつくり、発表し合う。
		（知・技） 言葉は、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解することができる。 （ア・エ）（高知1） （ウ・ウ）（高知1） （思・判・表） 「書くこと」において、言葉の定義を明確にし、曖昧さや誤解のない言い方で表現することができる。（ホ・ア）（高知1） （学・人） 「たのしいやゲーム」に興味をもち、意欲的に活動に取り組むことができる。	（知・技） 言葉は、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解している。 （ホ・ア）（高知1） （思・判・表） 「書くこと」において、言葉の定義を明確にし、曖昧さや誤解のない言い方で表現している。 （ホ・ア）（高知1） （学・人） 「たのしいやゲーム」に興味をもち、意欲的に活動に取り組もうとしている。	7 たのしいやゲームをしよ	・5人グループを作って、出題者を1人、他は回答者となる。回答者にはチップ（おしきき等）を1人1枚ずつ配る。 ・出題者が辞書の中から、誰も知らなさそうな単語を探し、それを円卓で示して、回答者に単語の意味を想像し、紙に書き答える。 ・出題者は、回答者が考えた定義を集め、また、本に辞書にある定義（正解）を添えて選択肢を書く、それを回答者たちに示して読み上げる。 ・回答者たちは、出題者が示した選択肢の中から、正解だと思うものを決め、チップを書く。 ・出題者が正解を発表し、チップをたくさん集めた人が勝ち。
		（知・技） 言葉は、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解できる。 （ア・エ）（高知1） （思・判・表） 「書くこと」において、自分の思いや考えを明確にし、事実を的確に描写したり説明したりするための言葉と記号を正確に判断して、表現しようとする。（ホ・ア）（高知1） （学・人） 正しい表記や語彙を書かせることについて積極的に取り組むことができる。	（知・技） 言葉は、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解している。 （ホ・ア）（高知1） （思・判・表） 「書くこと」において、自分の思いや考えを明確にし、事実を的確に描写したり説明したりするための言葉と記号を正確に判断して、表現しようとする。 （ホ・ア）（高知1） （学・人） 正しい表記や語彙を書かせることについて積極的に取り組もうとしている。	【第1部】表現力を培う 1 言葉と出会う レッスン1 言葉と表記	○表記に注意を向ける ○言葉と表記のズレ ・匿名通信 ・送り仮名 ・漢字 ・慣用表現 ・基礎練習ノートの活用
		（知・技） 書き言葉の特徴について理解を深め、読み分けをするために必要な読みと書きの統一について理解できる。（ア・エ）（高知1） （思・判・表） 「書くこと」において、自分の思いや考えを明確にし、事実を的確に描写したり説明したりするための言葉と記号を正確に判断して、表現しようとする。（ホ・ア）（高知1） （学・人） 読解問題を解くことをとおして、文を整えて書く学習に対して積極的に取り組むことができる。	（知・技） 書き言葉の特徴について理解を深め、読み分けをするために必要な読みと書きの統一について理解している。 （ホ・ア）（高知1） （思・判・表） 「書くこと」において、自分の思いや考えを明確にし、事実を的確に描写したり説明したりするための言葉と記号を正確に判断して、表現しようとする。 （ホ・ア）（高知1） （学・人） 読解問題を解くことをとおして、文を整えて書く学習に対して積極的に取り組もうとしている。	レッスン2 整った文を書く	・教科書で音と訓の特徴を理解する。（ワークシート） ・国語辞典を使って、音と訓の使い分けを練習する。 ○漢字検定の問題などに挑戦する。
		（知・技） 日常よく使われる敬語を理解し使うことができる。（ア・カ）（高知1） （思・判・表） 相手の意図を意識して、書くことを決め、伝えたいことを明確にすることができる。（ホ・ア）（高知1） 間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えることができる。（ホ・ア）（高知1） （学・人） 思いや考えを伝え合おうとする態度を養うことができる。	（知・技） 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解し、適切な言い方を用いることができる。（ホ・ア）（高知1） （思・判・表） 「書くこと」において、相手の意図を意識して、書くことを決め、伝えたいことを明確にすることができる。（ホ・ア）（高知1） （学・人） 読解問題を解くことをとおして、文を整えて書く学習に対して積極的に取り組もうとしている。	レッスン3 相手に応じた言葉遣い	○漢字、語句（辞典の使い方）、基礎テスト等、国語の基礎的知識の学習。 ○資料「手紙の書き方」を参考に、夏のおたより（暑中見舞い・残暑見舞い）について確認する。 ・バランズ良く、あて名を書く。 ・「前文・本文・後文」の書き方を理解し、暑中見舞いの文章を書く。（お世話になった先生へ挨拶文、近況を知らせる。） ・季節（夏）に合わせたイラストを描き、色塗りをする。 ・はがきを投函する。
		（知・技） 書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や状況に応じた適切な読みと書きの統一について理解できる。（ア・エ）（高知1） （思・判・表） 「書くこと」において、長すぎる文や読みづらい文を避け、読点を適切に用いるなど、工夫している。（ホ・ア）（高知1） （学・人） 読解問題を解くことで、わかりやすい文にする学習に積極的に取り組むことができる。	（知・技） 書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や状況に応じた適切な読みと書きの統一について理解している。 （ホ・ア）（高知1） （思・判・表） 「書くこと」において、長すぎる文や読みづらい文を避け、読点を適切に用いるなど、工夫している。 （ホ・ア）（高知1） （学・人） 読解問題を解くことで、わかりやすい文にする学習に積極的に取り組もうとしている。	レッスン4 わかりやすい文を書く	○9月18日の「しるしとつばの日に」に向けて学習を進める。 ・自分の意見を持ち、友達と話し合いで受け入れよう（しるしとつば）についてワークシート（ワークポイント、動画）をもとに知る。 ・両方から地域（中津、若菜、八重山）によって表現や発音が異なることを確認する。 ・方言の発音について友達と話し合い、方言のよさを考える。 ・これまでの学習を振り返るとともに、これからの生活にいかす視点をもつ。
2学期	9月 1 1 2月 （3 0）	（知・技） 自分の思いや考えを的確に表現するために、接続表現の種類や働きを知り、文章の中で適切に用いることができる。（ア・エ）（高知1） （思・判・表） 「書くこと」において、読み手に対して自分の思いや考えが効果的に伝わるように、接続表現の使い分けを考え、文章を整えることができる。（ホ・ア）（高知1） （学・人） 「接続表現クイズ」を解くことをとおして、文と文のつなぎ方に着目した学習に対して積極的に取り組むことができる。	（知・技） 自分の思いや考えを的確に表現するために、接続表現の種類や働きを知り、文章の中で適切に用いている。 （ホ・ア）（高知1） （思・判・表） 「書くこと」において、読み手に対して自分の思いや考えが効果的に伝わるように、接続表現の使い分けを考え、文章を整えている。 （ホ・ア）（高知1） （学・人） 「接続表現クイズ」を解くことをとおして、文と文のつなぎ方に着目した学習に対して積極的に取り組もうとしている。	レッスン5 文のつなぎ方	「言葉で遊ぼう」 ・自分の意見を持ち、「言葉で遊ぼう」を読む。 ・語句や漢字の確認をする。 ・「問い」についての「答え」を見つける。 ・段落について大まかに確認する。 「こまを築こう」 ・「こまを築こう」を読んで、各段落に書かれていることと筆者の考えを整理する。 ・「読者の声」について確認する。 ・「読者の声」について確認する。 ・「読者の声」について確認する。
		（知・技） 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や状況に応じた適切な読みと書きの統一について理解できる。（ア・エ）（高知1） （思・判・表） 「書くこと」において、読み手に対して自分の思いや考えが効果的に伝わるように、接続表現の使い分けを考え、文章を整えることができる。（ホ・ア）（高知1） （学・人） 「接続表現クイズ」を解くことをとおして、文と文のつなぎ方に着目した学習に対して積極的に取り組むことができる。	（知・技） 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や状況に応じた適切な読みと書きの統一について理解している。 （ホ・ア）（高知1） （思・判・表） 「書くこと」において、読み手に対して自分の思いや考えが効果的に伝わるように、接続表現の使い分けを考え、文章を整えている。 （ホ・ア）（高知1） （学・人） 「接続表現クイズ」を解くことをとおして、文と文のつなぎ方に着目した学習に対して積極的に取り組もうとしている。	■実践トレーニング① 【表現への関心】伝える言葉を増やそう／「教員は言葉の身だしなみ／論理的な表現とは？	・教科書「伝える言葉を増やそう」／「教員は言葉の身だしなみ／論理的な表現とは？」を学ぶ。 ・キーワードとそう思われる理由をノートに書く。 ・ノートに書いた内容を発表し合う。 ・キーワードを手帳かノートに文章の要旨を考え、ノートに書く。 ・言葉と表記、送り仮名、文末表現の統一、接続表現の使い方について確認する。
		（知・技） 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や状況に応じた適切な読みと書きの統一について理解できる。（ア・エ）（高知1） （思・判・表） 「書くこと」において、読み手に対して自分の思いや考えが効果的に伝わるように、接続表現の使い分けを考え、文章を整えることができる。（ホ・ア）（高知1） （学・人） 「接続表現クイズ」を解くことをとおして、文と文のつなぎ方に着目した学習に対して積極的に取り組むことができる。	（知・技） 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や状況に応じた適切な読みと書きの統一について理解している。 （ホ・ア）（高知1） （思・判・表） 「書くこと」において、読み手に対して自分の思いや考えが効果的に伝わるように、接続表現の使い分けを考え、文章を整えている。 （ホ・ア）（高知1） （学・人） 「接続表現クイズ」を解くことをとおして、文と文のつなぎ方に着目した学習に対して積極的に取り組もうとしている。	2 伝える、伝え合う レッスン1 自己紹介ゲーム	○漢字、語句（辞典の使い方）、基礎テスト等、国語の基礎的知識の学習。年賀状の書き方の学習。 ・資料「手紙の書き方」を参考に、年賀状について確認する。 ・バランズ良く、あて名を書く。 ・「前文・本文・後文」の書き方を理解し、年賀状の文章を書く。（お世話になった先生へ新年の抱負などを知らせよう。） ・季節（年賀）に合わせたイラストを描き、色塗りをする。 ・はがきを投函する。
3学期	1月 3 月 （1 4）	（知・技） 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や状況に応じた適切な読みと書きの統一について理解できる。（ア・エ）（高知1） （思・判・表） 「書くこと」において、読み手に対して自分の思いや考えが効果的に伝わるように、接続表現の使い分けを考え、文章を整えることができる。（ホ・ア）（高知1） （学・人） 「接続表現クイズ」を解くことをとおして、文と文のつなぎ方に着目した学習に対して積極的に取り組むことができる。	（知・技） 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や状況に応じた適切な読みと書きの統一について理解している。 （ホ・ア）（高知1） （思・判・表） 「書くこと」において、読み手に対して自分の思いや考えが効果的に伝わるように、接続表現の使い分けを考え、文章を整えている。 （ホ・ア）（高知1） （学・人） 「接続表現クイズ」を解くことをとおして、文と文のつなぎ方に着目した学習に対して積極的に取り組もうとしている。	レッスン2 言葉のストレッチ体操 【表現への関心】「それでいいです」／「意図理解の難しさ	○新年を迎え、新しい年に向けての抱負を1分間で発表する。（発表者） ・原稿紙に「教員役の新年の抱負を書く」 ・本音の書き方と適切な書き方、発表表現をする。 ・正しい姿勢と適切な音で発表する。 ・大事なことを選んで3回以上、メモを取る。 ・（ひらがな）「カクナク」を使う。 ・読者の意見に感謝する。
		（知・技） 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や状況に応じた適切な読みと書きの統一について理解できる。（ア・エ）（高知1） （思・判・表） 「書くこと」において、読み手に対して自分の思いや考えが効果的に伝わるように、接続表現の使い分けを考え、文章を整えることができる。（ホ・ア）（高知1） （学・人） 「接続表現クイズ」を解くことをとおして、文と文のつなぎ方に着目した学習に対して積極的に取り組むことができる。	（知・技） 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や状況に応じた適切な読みと書きの統一について理解している。 （ホ・ア）（高知1） （思・判・表） 「書くこと」において、読み手に対して自分の思いや考えが効果的に伝わるように、接続表現の使い分けを考え、文章を整えている。 （ホ・ア）（高知1） （学・人） 「接続表現クイズ」を解くことをとおして、文と文のつなぎ方に着目した学習に対して積極的に取り組もうとしている。	2 無人島で生き残り	・5人ずつのグループに分かれ、持ち物と役割を決める。 ・無人島での生活について話し合う。 ・役割を意識し、自分がどのような視点から発言するかを考えながら話し合いに参加する。 ・話し合いの結果を発表する。 ・ワークシートの活用
留意点 引継ぎ等					

令和 8 年度 高等部 1 年 社会科 年間指導計画					
単位数 ／配当時数		児童生徒		担当者	教科書／副教材
35		1年生			
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		(知及技) 地域や我が国の国土の地理的環境、現代社会の仕組みや役割、地域や我が国の歴史や伝統と文化及び外国の様子について、具体的な活動や体験を通して理解するとともに、経験したことと関連付けて、調べまとめる技能を身に付けるようにする。(中1段) 県内の主な歴史を手掛かりに、先人の働きや出来事、文化遺産などを知ること。(中2段) (思判表力)社会的事象について、自分の生活と結び付けて具体的に考え、社会との関わりの中で、選択・判断したことを適切に表現する力を養う。(中1段) 歴史的背景や現在に至る経緯などに着目し、県内の文化財や年中行事の様子を捉え、それらの特色を考え、表現すること。(中2段) (学・人)社会に主体的に関わろうとする態度を養い、地域社会の一員として人々と共に生きていくことの大切さについての自覚を養う。(中1段) 社会に主体的に関わろうとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚、我が国の国土と歴史に対する愛情、我が国の将来を担う国民としての自覚、世界の国々の人々と共に生きていくことの大切さについての自覚を養う。(中2段)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	13	(知及技) 身近な地域や自分たちの市の様子が分かること。(中1段) (思判表力)沖縄県内における市の位置や市の地形、土地利用などに着目して、身近な地域や市の様子を捉え、場所による違いを考え、表現すること。(中1段) (学・人)身近な社会に自ら関わろうとする意欲をもち、地域社会の中で生活することの大切さについての自覚を養う。(中1段)	(知・技) 身近な地域や自分たちの市の様子を知らうとしている。 (思・判・表)沖縄県内における市の位置や市の地形、土地利用などに着目して、身近な地域や市の様子を捉え、場所による違いを考え、表現しようとしている。 (主学)身近な社会に自ら関わろうとする意欲をもち、地域社会の中で生活することの大切さについての自覚を持とうとしている。	・うるま市について 1 6 方位を知ろう ・地図の見方 ・学校周辺の地図 ・沖縄県を知ろう ・住んでいる地域の特色を調べよう ・沖縄県の特産品 ・沖縄県指定の花、木、鳥、魚	・オリエンテーション ・沖縄本島の市町村の名称 ・うるま市について ・学校周辺について ・地図の見方 ・地図記号 ・沖縄の地理 ・北部、中部、南部、離島の特色 ・沖縄県の人口、気温 ・沖縄県内で行きたい場所を調べよう
2 学期	15	(知及技) 県内の主な歴史を手掛かりに、先人の働きや出来事、文化遺産などを知ることができる。(中1段) (思判表力)沖縄県内における公共施設や公共交通機関について調べ、それらの役割を考え、表現することができる。(中1段) 歴史的背景や現在に至る経緯などに着目し、県内の文化財や年中行事の様子を捉え、それらの特色を考え、表現することができる。(中2段) (学・人)沖縄県のおすすめの場所や食べ物を考え、情報収集をしてまとめることができる。(中1段)	(知・技) 県内の歴史や文化遺産などを知ろうとしている。 (思・判・表)沖縄県内における公共施設や公共交通機関について調べ、自分が考えたことを表現しようとしている。 歴史的背景や現在に至る経緯などに着目し、県内の文化財や年中行事の様子を捉え、それらの特色を考え、表現しようとしている。 (主学)身近な沖縄県のアピールができるように情報を収集してまとめようとしている。	・沖縄県の伝統と文化 ・沖縄の歴史 ・沖縄県を紹介しよう ・沖縄の公共交通機関 ・基地と沖縄	・食文化 ・伝統芸能 ・文化 ・琉球王国のグスク及び関連遺産群 ・琉球王国について ・沖縄県観光新聞作成
3 学期	7	(知及技) 我が国の国土の地形や気候の概要を理解するとともに、人々は自然環境に適応して生活していることを理解すること。(中1段) (思判表力)地形や気候などに着目して、国土の自然などの様子や自然条件から見て特色ある地域の人々の生活を捉え、国土の自然環境の特色やそれらと国民生活との関連を考え、表現すること。(中1段) (学・人)沖縄県の農業や水産業の現状、産業と経済との関わりが私たちの生活と大きく関わっていることに気付くことができる。 社会に主体的に関わろうとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚、我が国の国土と歴史に対する愛情、我が国の将来を担う国民としての自覚、世界の国々の人々と共に生きていくことの大切さについての自覚を養う。(中1段)	(知・技) 我が国の国土の地形や気候の概要を理解するとともに、人々は自然環境に適応して生活していることを理解しようとしている。 (思・判・表)地形や気候などに着目して、国土の自然などの様子や自然条件から見て特色ある地域の人々の生活を捉え、国土の自然環境の特色やそれらと国民生活との関連を考え、表現しようとしている。 (主学)社会に主体的に関わろうとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚、我が国の国土と歴史に対する愛情、我が国の将来を担う国民としての自覚、世界の国々の人々と共に生きていくことの大切さについての自覚を持とうとしている。	・沖縄県の自然環境 ・沖縄と平和 ・沖縄の産業	・沖縄県に生息する生き物 ・亜熱帯の森 ・自然環境スポット ・太平洋戦争と沖縄戦 ・歴史 ・平和 ・暮らしを支える観光業 ・特有の気候や自然が育む産業 ・産業 ・モノレール (ゆいレール)
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 高等部 1年 教科名 年間指導計画 数学

単位数 ／配当時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	1年 生徒49名		新編新しい算数4上下、新編新しい算数5上下/ 教科書びったりトレーニング 算数4年 教科書びったりトレーニング 算数5年

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知技) 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解し、日常の事象を数学的に解釈したり、表現・処理したりする技能を身に付ける。【高知Ⅰ】 (思判表) 日常の事象を数理的に捉え、見通しをもち、筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形などの性質を統合的・発展的に考察する力、数学的に事象を表現したりする力を養う。【高知Ⅰ】 (学・人) 数学的活動の楽しさやよさを実感し、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える、数学を生活や学習に活用する態度を養う。【高知Ⅰ】			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	7	(知及技) 加法及び減法の計算が確実にでき、それらを適切に用いることができる。 乗法の計算が確実にでき、それを適切に用いることができる。 (思判表力)数量の関係に着目し、計算の仕方を考えたり、計算に関して成り立つ性質を見いだしたりするとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり、計算の確かめをしたりすることができる。 (学・人)数量について数学的に表現・処理したことを振り返ることができる。	(知・技) 4桁までの加法及び減法の計算を正しくおこなっている。【ワークシート、単元テスト、学習の様子】 2桁までの乗法の計算が確実にでき、それを適切に用いている。【ワークシート、単元テスト、学習の様子】 (思・判・表)数量の関係に着目し、計算の仕方を考えたり、計算を工夫したり、計算の確かめようとしている。【ワークシート、学習の様子】 (主学)数量について学習したことを生活や学習に活用しようとしている。【学習の様子】	整数の加法及び減法、乗法	・十進位取り ・文章問題 ・乗法九九 ・買い物学習 ・電卓計算
	9	(知及技) 除法の計算が確実にでき、次の関係を理解することができる。(被除数)＝(除数)×(商)＋(余り) (思判表力)数量の関係に着目し、計算の仕方を考えたり、計算に関して成り立つ性質を見いだしたりするとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり、計算の確かめをしたりすることができる。 (学・人)数量について数学的に表現・処理したことを振り返ることができる。	(知・技) 3桁÷2桁までの除法の計算が確実にでき、次の関係を理解している。(被除数)＝(除数)×(商)＋(余り)【ワークシート、単元テスト、学習の様子】 (思・判・表)数量の関係に着目し、計算の仕方を考えたり、計算に関して成り立つ性質を見いだしたりすることができる。【単元テスト、学習の様子】 (主学)数量について学習したことを生活や学習に活用しようとしている。【学習の様子】	整数の除法	・文章問題 ・平均の値 ・買い物学習 ・電卓計算
	10	(知及技) 小数が整数と同じ仕組みで表されていることを知るとともに、小数の加法及び減法の意味について理解し、それらの計算ができることができる。 (思判表力)数の表し方の仕組みや数を構成する単位に着目し、計算の仕方を考える事ができる。 (学・人)小数について数学的に表現・処理したことを振り返ることができる。	(知・技) 小数が整数と同じ仕組みで表されていることを知る。また小数の加法及び減法の意味について理解し、それらの計算を正しくおこなっている。【ワークシート、単元テスト、学習の様子】 (思判表力)数の表し方の仕組みや数を構成する単位を小数まで広げ、その値を正しく表現している。【ワークシート、学習の様子】 (主学)小数について学習したことを生活や学習に活用しようとしている。【学習の様子】	小数とその計算	・1より小さい数 ・身の回りの小数 ・小数の加法減法
2学期	15	(知及技) 直線の平行や垂直の関係について理解し、作図を通して二等辺三角形や正三角形、円の性質を理解することができる。 (思判表力)二等辺三角形や正三角形を定義とコンパスなどを用いて作図することができる。 (学・人)図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、その性質を基に既習の図形を捉え直すことができる。	(知・技) 直線の平行や垂直の定義及び二等辺三角形や正三角形、円の特長を理解している。【ワークシート、単元テスト、学習の様子】 (思・判・表)指定された図形を定義とコンパスなどを用いて作図することができる。【ワークシート、単元テスト、学習の様子】 (主学)図形の性質を理解する意義を理解し、生活や学習に生かそうとしている。【学習の様子】	図形	・平行と垂直 ・三角形と四角形 ・正三角形とその特長 ・二等辺三角形とその特長 ・円の性質 ・作図
	15	(知及技) 面積の単位【平方センチメートル(㎠)、平方メートル(㎡)、平方キロメートル(㎤)】について知り、測定の意味、面積の求め方について理解することができる。 (思判表力)面積の単位に着目し、図形の面積について、求め方を考えたり、計算して表したりすることができる。 (学・人)面積を求める活動を通して、図形の性質を見いだすとともに、その性質を基に既習の図形を捉え直すことができる。	(知・技) 長さと面積の単位の違いや平方の意味を理解し、簡単な四角形、三角形の面積を求めることができる。【ワークシート、単元テスト、学習の様子】 (思・判・表)四角形と三角形の面積の求め方の違いを理解し、正しい単位を使用して面積を求めることが出来る。【ワークシート、単元テスト、学習の様子】 (主学)面積を求める意味やその良さを理解し、身の回りにある図形の面積を求めようとする事ができる。【ワークシート、学習の様子】	面積	・面積とは ・面積のはかり方と表し方 ・面積の単位
3学期	8	(知及技) 変化の様子を表や式を用いて表したり、変化の特徴を読み取ったりすることができる。 (思判表力)伴って変わる二つの数量の関係に着目し、表や式を用いて変化の特徴を考察することができる。 (学・人)伴って変わる二つの数量の関係に数学的に表現・処理したことを振り返ることができる。	(知・技) 資料等を見て数値の変化の様子を表や式を用いて表したり、変化の特徴を読み取ったりしている。【ワークシート、単元テスト】 (思・判・表)伴って変わる二つの数量の関係に着目し、表や式を用いて変化の特徴を考察しようとしている。【ワークシート、単元テスト、学習の様子】 (主学)伴って変わる二つの数量の関係に数学的に表現・処理したことを生活や学習に生かそうとしている。【学習の様子】	伴って変わる二つの数量	・二つの数量の変化 ・表の見方(2変数)
	6	(知及技) データを日時や場所などの観点から分類及び整理し、表や棒グラフで表したり、データを二つの観点から分類及び整理し、折れ線グラフで表したりすることができる。 (思判表力)身の回りの事象に関するデータを整理する観点に着目し、表や棒グラフを用いながら、読み取ったり、考察したり、結論を表現したりすることができる。 (学・人)データの活用について数学的に表現・処理したことを振り返ることができる。	(知・技) データを日時や場所などの観点から分類及び整理し、表や棒グラフで表したり、データを二つの観点から分類及び整理し、折れ線グラフを作成したりしている。【ワークシート、単元テスト】 (思・判・表)身の回りの事象に関するデータを整理する観点に着目し、表や棒グラフを用いながら、データの傾向を読み取ったり、結論を表現したりすることができる。【ワークシート、単元テスト】 (主学)データの活用について数学的に表現・処理したことを振り返ろうとしている。【学習の様子】	データを表やグラフで表したり、読み取ったりすること	・折れ線グラフと表(折れ線グラフ) ・折れ線グラフと表(整理のしかた)
留意点 引継ぎ等					

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	理科1年 49名		自作プリント

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等

評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)自然に親しみ、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって、観察、実験などを行う事などを通して、自然の事物・現象に関係づけて考えるために必要な資質・能力を育成できる。 (思判表力)自然の事物・現象について調べる中で、見いだした疑問について、中学校で学習した内容と関連付けて表現することができる。 (学・人)安全に実験できているか、また、学習した内容を日常生活における身近な事物・現象に結びつけ、意欲的に理解しようとしてすることができる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	6	(知及技)人の体のつくりと運動を理解するとともに、観察・実験などに関する初歩的な技能を身につける。 (思判表力)運動前後の心拍数の違いなどの実験を通して、予想や仮設を基に実験結果や考えたこと・分かったことをプリントにまとめ、表現することができる。 (学・人)グループと協力して観察・実験を行い、自ら主体的に授業に参加することができる。	(知・技)人の体のつくりと運動について理解しようとするともに、安全に実験できる技能を身に付けようとしている。 (思・判・表)運動前後の心拍数の違いなどの実験を通して、予想や仮設を基に実験結果や考えたこと、気付いたことをプリントにまとめ、表現しようとしている。 (主学)グループと協力して観察・実験を行い、自ら主体的に授業に参加している。	・人の体のつくりと働き	・オリエンテーション ・人体の器官の名称を覚える。 ・人体の器官の働きを理解する。 ・血液と脈の測り方について理解し、心音を聞いてみる。 ・心拍数が体を動かす、前後の体の変化を調べる。 ・単元テスト（人の体のつくりと運動）
	7	(知及技)動物の誕生について理解するとともに、観察・実験などに関する初歩的な技能を身につける。 (思判表力)生命の誕生、卵の成長、体のつくりの違いや、動物のグループ分け、解剖の実験を通して、実験結果や考えたこと・分かったことをプリントにまとめ、表現することができる。 (学・人)グループと協力して観察・実験を行い、自ら主体的に授業に参加することができる。	(知・技)動物の誕生について理解しようとするともに、安全に実験できる技能を身に付けようとしている。 (思・判・表)生命の誕生、卵の成長、体のつくりの違いや、動物のグループ分け、解剖の実験を通して、実験結果や考えたこと、気付いたことをプリントにまとめ、表現しようとしている。 (主学)グループと協力して観察・実験を行い、自ら主体的に授業に参加している。	・動物の誕生	・生命の誕生について理解する。 ・脊椎動物と無脊椎動物の違いについて理解する。 ・にぼしの解剖を行い、骨格や筋肉の違いを観察する。
2学期	10	(知及技)物の溶け方や水溶液の性質を理解するとともに、観察・実験などに関する初歩的な技能を身につける。 (思判表力)ものが水に溶ける量や水溶液の性質について調べる中で、実験結果や考えたこと・分かったことをプリントにまとめ、表現することができる。 (学・人)グループと協力して観察・実験を行い、自ら主体的に授業に参加することができる。	(知・技)物の溶け方や水溶液の性質を理解するとともに、観察・実験などに関する初歩的な技能を身につけようとしている。 (思・判・表)ものが水に溶ける量や水溶液の性質について調べる中で、実験結果や考えたこと・分かったことをプリントにまとめ、表現しようとしている。 (主学)グループと協力して観察・実験を行い、自ら主体的に授業に参加している。	・物の溶け方 ・水溶液の性質	・ものが水に溶けた前後において質量が保存されることを確かめる。 ・ものが水に溶ける量について、実験を通して確かめる。 ・水の量によってものが水に溶ける量が変わることを実験を通して確かめる。 ・水の温度と溶ける量について、実験を通して確かめる。 ・銅と酸素を反応させることで酸化銅を作り、反応の前後で質量が変化しないことを確かめる。 ・硝酸カリウムの水への溶解度を実験によって確かめる。 ・比較的低温で融解する金属を用いて、金属の再結晶化を実験する。 ・単元テスト（動物の誕生・物の溶け方・水溶液の性質）
	5	(知及技)様々な道具・実験器具の使い方を理解するとともに、観察・実験などに関する初歩的な技能を身につける。 (思判表力)観察に必要な道具・条件について予想し、実験を通して確かめることで、結果や考えたこと、気付いたことをプリントにまとめ、表現できる。 (学・人)グループと協力して観察・実験を行い、自ら主体的に授業に参加することができる。	(知・技)様々な道具・実験器具の使い方を理解するとともに、観察・実験などに関する初歩的な技能を身につけようとしている。 (思・判・表)観察に必要な道具・条件について予想し、実験を通して確かめることで、結果や考えたこと、気付いたことをプリントにまとめ、表現しようとしている。 (主学)グループと協力して観察・実験を行い、自ら主体的に授業に参加している。	・便利な暮らし	・顕微鏡の各部の名称を覚える。 ・顕微鏡を用いた観察の方法が分かる。 ・顕微鏡を用いてお札の偽造防止技術を学ぶ。 ・顕微鏡を用いてマスクの観察を行い、感染症予防について考える。
3学期	4	(知及技)植物の構造や、発芽に必要な要素、光合成を理解するとともに、観察・実験などに関する初歩的な技能を身につける。 (思判表力)植物の発芽、成長及び結実とそれらに関わる条件、植物内の水の行方、葉で養分をつくる働きについて結果や考えたこと、気付いたことをプリントにまとめ、表現できる。 (学・人)グループと協力して観察・実験を行い、自ら主体的に授業に参加することができる。	(知・技)植物の構造や、発芽に必要な要素、光合成を理解している。成長するために必要な要素についても理解し、実験を通して知識が定着している。 (思・判・表)植物の発芽、成長及び結実とそれらに関わる条件、植物内の水の行方、葉で養分をつくる働きについて結果や考えたこと、気付いたことをプリントにまとめ、表現できる。 (主学)グループと協力して観察・実験を行い、自ら主体的に授業に参加することができる。	・植物の発芽、成長、結実 ・植物の養分と水の通り道	・種植から発芽までの過程を観察する。 ・発芽から生育までの過程を観察する。 ・ICT機器を活用し、植物の結実の様子を観察する。 ・植物にとっての血管である維管束について、視覚教材を用いたり、観察実験を通して理解する。 ・二酸化炭素と水と光から有機物と酸素を合成する光合成について理解する。 ・実験を通して光合成に必要な条件を整理し、まとめることができる。
	3	(知及技)植物・生物の観察においてICT技術の活用するなど初歩的な技能を身につける。 (思判表力)身の回りの植物・生物や環境についてICT技術の活用を通して調べること、考えたこと、気付いたことをプリントにまとめ、表現できる。 (学・人)積極的にICT技術を活用して調べ学習を行い、自ら主体的に授業に参加することができる。	(知・技)植物・生物の観察においてもICT技術の活用するなど初歩的な技能を身につけようとしている。 (思・判・表)身の回りの植物・生物や環境についてICT技術の活用を通して調べること、考えたこと、気付いたことをプリントにまとめ、表現しようとしている。 (主学)積極的にICT技術を活用して調べ学習を行い、自ら主体的に授業に参加している。	・生物と環境	・校庭に生息している植物・生き物について、虫メガネを使いながら観察する。 ・ICT機器を活用し、身近な植物・生き物を調べる。 ・ICT機器を活用し、環境問題について調べ発表する。 ・単元テスト（便利なくらし・植物の発芽、成長、結実・植物の養分と水の通り道・生物と環境）
留意点 引継ぎ等					

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
	1 学年 名		【教科書】音楽の友社「ON! 1」 【副教材】自作プリント、視聴覚教材 等

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等

評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知・技) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作、身体表現の技能を身に付けるようにする。【高知Ⅰ】 (思・判・表)音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを自分なりに見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。【高知Ⅰ】 (学・人)主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しみ、音楽経験を生かして生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。【高知Ⅰ】			
学期	時数	単元・題材名	単元の目標	評価規準	主な活動と評価方法
1 学期	12	音楽の要素を理解して表現しよう ・ 基本の音符と休符 ・ 強弱記号 リズムで一体感を楽しもう ・ カップス (応用：リズム創作)	(知及技) 拍やリズムパターンの特徴を理解することができる。強弱・速さ・拍などの音楽的要素を理解し、活動に生かすことができる。 (思判表力) リズムを選択・組み合わせで表現することができる。音楽の要素に着目し、動きや表情で意図をもって表現することができる。 (学・人) 活動の目的を理解し、主体的に参加しようすることができる。役割を意識して協働的に活動することができる。	(知・技) 基本的な音楽要素、拍やリズムを理解して演奏している。 (思・判・表) 音楽要素の効果的な組み合わせを楽しみ、工夫してリズムを構成しようとしている。 (主学) 役割を意識し、仲間と協力して参加している。	【オリエンテーション】 ・ 音楽室のルール確認と目的理解 ・ 基本的な音符や休符の理解 ・ 強弱・速さ・拍の違いを意識した音楽活動 ・ リズムパターンの選択と組み合わせ ・ 簡単なアンサンブル ・ 楽しみながら授業や学級の雰囲気づくり 《学習プリント、活動の様子、学習の記録、テスト》
		気持ちを合わせよう ・ 校歌 ・ 教科書より	(知及技) 校歌の旋律や歌詞の意味を理解して歌うことができる。無理のない発声で歌うことができる。 (思判表力) 楽曲の前半と後半の雰囲気の違いを感じ取りながら、言葉を大切に表現することができる。 (学・人) 仲間と声を合わせ、主体的・協働的に活動することができる。	(知・技) 歌詞の意味と使われている漢字の特別な読み方を理解している。発声や発音に気をつけて歌っている。 (思・判・表) 歌詞に応じた抑揚を感じ取り、歌唱で表現しようとしている。 (主学) 学級の雰囲気を大切にし、主体的・協働的に参加している。	・ 校歌の取り組み ・ 自分の声の特徴理解と発声練習 ・ 子音と母音の発音 ・ 歌唱を通して授業や学級の雰囲気づくり 《学習プリント、活動の様子、学習の記録》
		郷土の音楽に親しもう① ・ 三板と四つ竹 ・ 沖縄の音楽	(知及技) 琉球古典音楽と民謡の特徴や歴史について知ることができる。楽器の特徴や奏法を理解し、演奏に親しむことができる。 (思判表力) 沖縄音楽の特徴ある雰囲気や楽器の音色を味わうことができる。 (学・人) 郷土の音楽に興味関心をもって活動することができる。	(知・技) 沖縄の音楽の大まかな歴史について理解している。楽器の特徴や正しい奏法を理解して演奏している。 (思・判・表) 楽曲の雰囲気や音色を味わい、自分なりに良さを感じ取っている。 (主学) 沖縄の音楽や楽器に関心をもって参加している。	・ 沖縄の音楽や楽器への理解（歴史・特徴） ・ 正しい奏法の習得 ・ 音色や奏法に親しむ ・ 琉球古典音楽と民謡の比較 《学習プリント、活動の様子、学習の記録、テスト》
2 学期	14	郷土の音楽に親しもう② ・ 三線と三味線	(知及技) 三線について理解し、正しい奏法で演奏することができる。（開放弦と勘所の一部） (思判表力) 三線と三味線それぞれの良さを感じ取り、味わって聞くことができる。 (学・人) 郷土の音楽や楽器に興味関心をもち主体的に活動することができる。	(知・技) 正しい奏法を身に付けて演奏している。 (思・判・表) 三線と三味線の特徴を味わい、言葉で表現している。音色の大切さに気付き、演奏に生かそうとしている。 (主学) 郷土の音楽や楽器に関心をもって参加している。	・ 三線の理解（歴史・特徴） ・ 正しい奏法の習得 ・ 工工四と勘所（開放弦と勘所の一部） ・ 音色や奏法に親しむ ・ 三線と三味線の比較 《活動の様子、学習の記録、テスト》
		伝統芸能を味わう ・ 日本の伝統芸能「能と歌舞伎」 ・ 沖縄の伝統芸能「組踊」	(知及技) 歴史的背景を知り、音楽の特徴や違いを理解することができる。 (思判表力) 自分なりに音楽のよさを感じ取り、理由を言葉や文字で表すことができる。 (学・人) 自分の考えを伝えようすることができる。	(知・技) 音楽の特徴を捉えている。 (思・判・表) 理由を伴って感想を述べている。 (主学) 鑑賞曲に関心をもち、意欲的に意見交流に参加している。	・ 伝統芸能の理解（歴史・特徴） ・ 各芸能の特徴を踏まえた鑑賞 ・ 感じたことの言語化・共有 《学習プリント、授業の様子、学習の記録》
3 学期	9	歌唱表現を深めよう ・ 卒業式のうた	(知及技) 歌詞と旋律の関係を理解し、表現に生かすことができる。 (思判表力) 曲想に応じた歌い方を考え、工夫して表現することができる。 (学・人) よりよい表現を目指して粘り強く取り組むことができる。	(知・技) 歌詞や旋律の特徴を理解して歌っている。 (思・判・表) 曲想を踏まえた表現の工夫が見られる。 (主学) 表現を高めようと主体的に取り組んでいる。	・ 歌詞の内容理解と曲想分析 ・ フレーズを意識した歌唱 ・ 発表を意識した表現練習 《活動の様子、学習の記録》
		指揮に親しもう ・ 指揮 ・ 校歌の指揮	(知及技) 指揮者の役割について知り、拍子に応じた基本の指揮ができる。 (思判表力) 楽曲の雰囲気を感じ取り、表現に応じた指揮ができる。 (学・人) 指揮に関心をもち、よりよい表現を目指して粘り強く取り組むことができる。	(知・技) 指揮者の役割を理解し、2・3・4拍子の基本の指揮がふれる。 (思・判・表) 曲想を指揮で表現しようとしている。 (主学) 協力的に活動している。	・ 指揮者の役割理解と指揮の練習 ・ 校歌の指揮（儀式における指揮） 《学習プリント、活動の様子、テスト》
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 高等部 1年 保健体育 年間指導計画

単位数 ／配当時数		児童生徒	担当者	教科書／副教材	
105		1学年 49名		保健学習	
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		(知・技)様々な運動の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能等や心身の発達・発育、健康・安全に関する知識等を理解するとともに実践していく技能を身に付けるようにする。(中2段階) (思・判・表)様々な運動や健康・安全な生活を営むための自他の課題がわかり、その解決の仕方を工夫したり、仲間と考えたりしたことを、他者に伝える力を養う。(中2段階) (学・人)様々な運動の経験を通して、きまりやルール、マナー等を守り、仲間と協力して自主的に運動に親しむ態度を養うとともに、場や用具の安全に気を配り、最善を尽くす態度を養う。また、健康の保持増進と回復に積極的に取り組む態度を養う。(中2段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	37	(知及技)集団行動を通して機敏かつ的確に行動することの楽しさや喜びを味わい、その行い方や方法を理解するとともに周囲の状況に応じて行動することができる。 (思判表力)集団行動について自他の課題を発見し、その解決のための方法を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (学・人)集団行動の様々な行動用様式を通して集団の一員としての自覚を持ち、仲間と協力したり主体的に安全に行動することができる。	(知・技)周囲の状況に応じて機敏かつ的確に行動しようとしている。 (思・判・表)集団の一員としての自覚を持ち、集団の約束やきまりを遵んで守ろうとしている。 (主学)様々な行動用様式を通して集団の一員としての自覚を持ち、仲間と協力したり主体的に安全に行動しようとしている。	体育理論 ・オリエンテーション ・集団行動 (姿勢、方向転換、集合、整頓) ・体育の基本的な知識について ・体力とは ・健康管理について	・体育の授業の流れや年間の単元計画、体育的行事について理解する。 ・挨拶の仕方、集合や隊形移動等、集団行動について理解する。
		(知及技)体力テストを通して運動やスポーツの多様性、効果と学び方、安全な行い方及び文化としてのスポーツの意義に気づくことができる。 (思判表力)体力テストを通して運動やスポーツの多様性、効果と学び方、安全な行い方及び文化としてのスポーツの意義についての課題を発見し、その解決のための方法を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (学・人)体力テストを通して運動やスポーツの多様性、効果と学び方、安全な行い方及び文化としてのスポーツの意義について学習に積極的に取り組むことができる。	(知・技)体力テストを通して個人や所属している集団の体力・運動能力の状態を知り、運動の効果と安全な行い方を理解しようとしている。 (思・判・表)体力テストを通して個人や所属集団の体力や運動能力の課題を発見し、その解決のための方法を考えたたり他者に伝えようとしている。 (主学)体力テストを通して個人や所属集団の体力や運動能力の向上に積極的に取り組むよう努力したり運動やスポーツを安全に取り組もうとしている。	体力テスト ・50m ・100m ・持久走 ・シャトルラン ・ソフトボール投げ ・走り幅跳び ・走り高跳び ・立ち幅跳び ・反復横跳び	・体育の基本的な知識について ・健康管理について ・ストレッチ体操 ・筋力トレーニング ・各種目名称と正しい測定方法を知り、体力測定を行うことで自己の体力・運動能力の現状を知る。
		(知及技)水泳の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに泳法を身に付ける。 (思判表力)水泳についての自他の課題を発見し、その解決のための方法を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (学・人)水泳の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。	(知・技)水泳の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに泳法を身に付けようとしている。 (思・判・表)水泳についての自他の課題を発見し、課題解決のための方法を工夫したり、考えたことを他者に伝えようとしている。 (主学)水泳の多様な経験を通して、自他の安全を確保したり仲間と協力しならきまりやルール、マナーなどを守り主体的に運動を行おうとしている。	水泳 ・水慣れ ・平泳ぎ ・クロール ・バレー ・水球	・水泳についての基本的な知識について学習し、水の楽しさ、怖さを理解する。 ・水慣れ、浮き姿勢、呼吸法を理解してクロールや平泳ぎを習得する。 ・簡易的なルールを設定しリレーを行う。 ・簡易的なルールを設定し水球を行う。
		(知及技)心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等を理解するとともに、健康で安全な個人生活を営むための技能を身につけることができる。 (思判表力)健康・安全に関わる自他の課題を発見し、この解決のための方法を工夫したり仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (学・人)陸上競技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。	(知・技)授業毎の課題、プリントへ取り組み姿勢で評価する。ペーパーテストで評価する。 (思・判・表)健康、安全に関わる問題や課題を知り、この解決のための知識や方法を学ぶ。 (主学)自分の体や心の変化に関心を持ち、意欲的に学習しようとしている。仲間と協力し、自ら疑問や課題の解決方法を模索しようとしている。	保健学習	・健康の成り立ち ・体の発育発達
2 学期	41	(知及技)ダンス(エイサー)の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解するとともに技能を身に付け、表現や協力を通して交流をすることができる。 (思判表力)ダンス(エイサー)について自他の課題を発見し、その解決のための方法を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (学・人)ダンス(エイサー)の多様な経験を通して、仲間間の交流を認め合い合ったり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。	(知・技)ダンス(エイサー)について軽快なリズムに乗りたり自然な弾みや揺れ等の楽しさや喜びを味わい、様々な表現や技能を理解し、身体全体でダイナミックに表現しようとしている。 (思・判・表)ダンス(エイサー)について自他の課題を発見し、課題に応じた練習方法を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えようとしている。 (主学)ダンス(エイサー)の多様な経験を通して、仲間間の表現を認め合い合ったり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動を行おうとしている。	ダンス ・エイサー(郷土の踊り) ・創作ダンス ・いろいろなダンス	・体育の基本的な知識について ・健康管理について ・ストレッチ体操 ・筋力トレーニング ・ビデオを観ながらパーランクーや手踊りを覚える。 ・隊形移動をしながらエイサーを踊る。
		(知及技)陸上競技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付けることができる。 (思判表力)陸上競技についての自他の課題を発見し、その解決のための方法を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (学・人)陸上競技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。	(知・技)自己の記録に挑戦した仲間と競争したりする楽しさや喜びを味わい、走・跳・投の特性に応じた技能を身に付けようとしている。 (思・判・表)陸上競技についての自他の課題を発見し、課題に応じた練習を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えようとしている。 (主学)陸上競技のきまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力して自分たちの役割を果たそうしたり、場や用具の安全を確保するなど自主的に運動を行おうとしている。	陸上競技 ・短距離走、リレー ・走り高跳び ・走り幅跳び ・ソフトボール投げ ・持久走	・陸上競技の各種目の行い方やルールについて知る。 ・各種目において今までの記録を確認し、仲間と競走したり自己記録に挑戦する。 ・体力や記録向上のための種目別練習を行う。 ・学習した成果を基に記録会を行う。
		(知及技)心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等を理解するとともに、健康で安全な個人生活を営むための技能を身につけることができる。 (思判表力)健康・安全に関わる自他の課題を発見し、この解決のための方法を工夫したり仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。	(知・技)授業毎の課題、プリントへ取り組み姿勢で評価する。ペーパーテストで評価する。 (思・判・表)健康、安全に関わる問題や課題を知り、この解決のための知識や方法を学ぶ。 (主学)自分の体や心の変化に関心を持ち、意欲的に学習しようとしている。仲間と協力し、自ら疑問や課題の解決方法を模索しようとしている。	保健学習	・知的機能と情緒機能の発達 ・社会性の発達と自立 ・自己形成 ・欲求
		(知及技)球技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付け、簡易化されたゲームを行うことができる。 (思判表力)球技についての自他の課題を発見し、その解決のための方法を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (学・人)球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。	(知・技)球技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付け、簡易化されたゲームを行おうとしている。 (思・判・表)球技についての自他の課題を発見し、課題に応じた練習を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えようとしている。 (主学)球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力して分担した役割を果たそうしたり、場や用具の安全を確保するなど自主的に運動を行おうとしている。	球技 ・バドミントン ・バレーボール ・キックベースボール ・テニスボール	・さまざまな球技のルールや行い方を知る。 ・さまざまな球技を体験し、基本的なルールや工夫された場で簡易ゲームを行い球技の楽しさを知る。
3 学期	27	(知及技)心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等を理解するとともに、健康で安全な個人生活を営むための技能を身につけることができる。 (思判表力)健康・安全に関わる自他の課題を発見し、この解決のための方法を工夫したり仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。	(知・技)授業毎の課題、プリントへ取り組み姿勢で評価する。ペーパーテストで評価する。 (思・判・表)健康、安全に関わる問題や課題を知り、この解決のための知識や方法を学ぶ。 (主学)自分の体や心の変化に関心を持ち、意欲的に学習しようとしている。仲間と協力し、自ら疑問や課題の解決方法を模索しようとしている。	保健学習	・心と体の関わり方とストレス ・ストレスの対処の仕方 ・リラクゼーションの方法
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 高等部 1年 情報 年間指導計画

単位数 ／配当時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	1 学年		自作プリント、スライド等 文部科学省情報モラル教材・動画 日本情報処理検定問題

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、身近にある情報機器の操作の習得を図りながら、問題の解決を行う学習活動を通して、問題を知り、問題の解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を育成する。 (知及技) ・効果的なコミュニケーションの方法や、身近にあるコンピュータやデータの活用について理解し、基礎的な技能を身に付けるとともに、情報社会と人との関わりについて理解する。高2知 (思判表力) ・身近な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題を知り、問題を解決するために必要な情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。高2知 (学・人) ・身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に参画しようとする態度を養う。高2知			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	4 月 ～ 7 月	(知及技) ・身近にある情報やメディアの基本的な特性及びコンピュータ等の情報機器の基本的な用途、操作方法及び仕組みを踏まえ、情報と情報技術を活用して問題を知り、問題を解決する方法を身につけること。 (思判表力) ・情報に関する身近で基本的な、法規や制度及びマナーの意義、情報社会において個人の果たす役割や責任、情報モラルなどについて、それらの背景を考えること。 (学・人) ・身近にある情報や情報技術の適切かつ効果的な活用と情報社会に参画しようとする態度を身につける。	(知・技) ・情報メディアの基本的な特性を理解し情報機器の基本的な操作ができる。また情報技術を活用各課題に取り組むことができる。 (思判表力) ・情報に関する身近で基本的な法規や制度及びマナーの意義を理解することができる。情報モラルについて学び個人の責任について考えることができる。 (学・人) ・情報化が個人に及ぼす影響について考え、情報社会のあり方について考えることができる。	・オリエンテーション ・情報メディアの特性 ・コンピュータ基本操作 ・ネットワークサーバの利用 ・情報モラルと情報化 ・ワープロソフトの活用	コンピュータの基本操作 簡単な表の作成 地図の作成 タッチタイピング練習 個人情報とは 誹謗中傷について SNSの危険性 著作権・肖像権について
2 学期	9 月 ～ 12 月	(知及技) ・身近にある情報デザインが人や社会に果たしている役割を理解すること。 (思判表力) ・コミュニケーションの目的に合わせて、適切かつ効果的なデザインを考えること。 (学・人) ・身近にある情報や情報技術の適切かつ効果的な活用と情報社会に参画しようとする態度を身につける。	(知・技) ・情報デザインが人や社会に果たしている役割を理解することができる。 (思判表力) 目的に合わせて、適切なデザインを選択できる。自らのアイデアを表現することができる。 (学・人) ・主体的に情報技術を活用し、情報社会の一員として情報社会のあり方について考えることができる。	・ユニバーサルデザイン ・ワープロソフトの活用 ・表計算ソフトの活用 ・プレゼンテーションソフトの活用	身近なユニバーサルデザイン Word基礎 Excel基礎 PowerPoin基礎 クリスマスカード作成 年賀状作成
3 学期	1 月 ～ 3 月	(知及技) ・情報通信ネットワークの基本的な仕組みや情報セキュリティを確保するための基本的な方法について理解すること。 (思判表力) ・情報システムが提供するサービスの効果的な活用について考えること。 (学・人) ・身近にある情報や情報技術の適切かつ効果的な活用と情報社会に参画しようとする態度を身につける。	(知・技) ・情セキュリティを確保するための基本的な方法について理解することができる、 (思・判・表) ・身近にある情報システムを利用し卒業後の生活をイメージし問題解決に役立てることができる。 (学・人) ・主体的に情報技術を活用し、情報社会の一員として情報社会のあり方について考えることができる。	・情報セキュリティ ・情報システム ・タブレット端末の利用 ・Office365の利用	オリジナルpassword作成 アンチウイルスソフトとは アップデートとは 情報システムの利用（賃貸管理システム、旅行代理システムの利用、職業図鑑の利用） Teamsでコミュニケーション
留意点 引継ぎ等					

令和 8 年度 沖高特 1 年職業科（ハウスクリーニング班座学） 年間指導計画

単位数 ／配当時数		児童生徒	担当者	教科書／副教材	
2単位/70時間		1 学年 50名		ひとりだちするための「進路学習」－あしたへのステップ－ 自作プリント	
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		(知及技) ・職業生活に必要な知識及び技能を身に付ける。(高1段階) ・勤労に関する意欲や関心を高め、他者と協働して活動することができる。(高1段階) (思判表力) ・将来の職業生活における自己の目標や課題を設定し、自ら工夫し改善する力を養う。(高1段階) ・職業生活に必要な健康管理や余暇の過ごし方について考えることができる。(高1段階) (学・人) ・将来の職業生活の実現や生活を改善しようとする実践的な態度を養う。(高1段階) ・職業などの卒業後の進路に必要なことについて理解することができる。			
学 期	時 数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学 期	26	(知及技) ・勤労の意義やビジネスマナーを知ることができる。 (思判表力) ・学期の予定、授業内容を理解し見通しを持つことができる。 (学・人) ・作業の心得を理解する。	(思) ・学期の授業内容を聞き、学習の見通しを持つことができる。 (思・判・表/主学) ・自己選択、自己決定、自己実現に向けて、自己の課題を見つけることができる。 (知・技/思・判・表/主学) ・勤労に対する理解を深め、ビジネスマナー等を学び、実践することができる。 (思・判・表/主学) ・職場でのルールやマナーを理解し、他者と協力して作業を行うことの大切さを知る。 ・学期を振り返り、自己の生長点と反省点を他者に伝えることができる。	・伝えることの必要性 ・オリエンテーション ・勤労の意義 ・勤労と協働 ・就業体験事前学習 ・就業体験事後学習 ・学期のまとめ	【通年】 ・O K Tメモの活用 ・「報告・連絡・相談」 ・「作業の心得」 ・1 学期の学習について知る。 ・自己実現に向けての課題発見 ・勤労について 【P19～21】①いろいろな仕事 ②学校や家のまわりの仕事 ③先輩たちの仕事 【P22 ～27】④働く人たち ⑤働く人たちの1日 ・体調管理やビジネスマナーについて 【P33～41】①健康管理 ②清潔 ③身だしなみ ・日常生活マナーとビジネスマナーの実践 【P45～49】①マナー ②携帯電話・スマホのマナー ③「挨拶・言葉遣いの心得」④お礼状 ・実習日誌の書き方 ・こんなときどうする？【プリント学習】 ・1 学期の振り返り（成長点や反省点の記録と発表）
2 学 期	30	(知及技) ・言葉遣いや身なりに気を付けながら他者と関わることができる。 (思判表力) ・職業生活について自身で課題を発見し、課題を他者と相談することができる。 (学・人) 作業や実習における役割を踏まえて、自分の成長や課題について考え、表現することができる。	(思) ・学期の授業内容を聞き、学習の見通しを持つことができる。 (知・技/思・判・表/主学) ・勤労に対する理解を深め、ビジネスマナーや職場での良好な人間関係の構築等を学び、実践することができる。 (思・判・表/主学) ・現場実習での自身の課題や成長点を見出すことができる。 ・職場でのルールやマナーを理解し、業務内容を理解し作業ができる。 ・学期を振り返り、自己の生長点と反省点を他者に伝えることができる。	・伝えることの必要性 ・礼儀 ・金銭の管理 ・就業体験事前学習 ・就業体験事後学習 ・学期のまとめ	【通年】 ・O K Tメモの活用 ・「報告・連絡・相談」 ・「作業の心得」 ・【P42～44】①人とのつきあい ②「挨拶・言葉遣いの心得」 ③お礼状 ・清潔な身だしなみ ・【P67～68、71～77】 ・仕事をする上での基礎 ①場にふさわしいあいさつ、身だしなみ、メモ取り、言葉遣い、一般常識について ②依頼の仕方、書類の渡し方、態度、姿勢、ルールについて ③ビジネスマナー（欠勤等の連絡など）について・注意された時、受けた時の姿勢について ・【P50～52】①金銭管理の基本 ②就業体験中の管理 ・実習日誌の書き方【P78～81】 ・こんなときどうする？【プリント学習】 ・現場実習を振り返り、自分の課題と解決策をまとめる【P84 ～85】 ・2 学期の振り返り（成長点と反省点の記録と発表）
3 学 期	14	(知及技) ・職業など卒業後の進路に必要なことについて理解することができる。 (思判表力) ・年間を通して自己の成長について振り返り、考えたことを表現することができる。 (学・人) ・他者からの意見を聞き、受け入れることができる。	(思) ・学期の授業内容を聞き、学習の見通しを持つことができる。 (知・技/思・判・表/主学) ・卒業後の進路・職業選択について理解を深め課題や解決策を考えることができる。 (主学) ・将来の職業生活について、自身の考えをまとめることができる。 ・年間を振り返り、自己の反省点を他者へ伝えることができる。	・伝えることの必要性 ・社会で役立つ 働く学習 ・1年間のまとめ	【通年】 ・O K Tメモの活用 ・「報告・連絡・相談」 ・「作業の心得」 ・【P30】①職業の学習を通して働くことについて考える。 ・進路選択について ・成長点と課題点の記録と発表 ・課題解決の手だてと実践 ・年間の振り返り ・成長点や反省点の記録と発表
留意点 引継ぎ等		教科書「進路学習－あしたへのステップ－」項目学年割り振り（目安） 項目 1（P5～P16：道徳にて取り扱う） 項目 2・3（P19～52：1年次で取り扱う） 項目 4・5（P55～86：2年次で取り扱う） 項目 6（P89～P114：3年次で取り扱う） ※各項目は、必要に応じて柔軟に当該学年で取り扱う			

令和 8 年度 沖高特 1 年職業科（ハウスクリーニング班実技応用） 年間指導計画

単位数 ／配当時数		児童生徒		担当者		教科書／副教材	
2単位/70時間		1 年生					
目標：（知及技）知識及び技能（思判表力）思考力、判断力、表現力等（学・人）学びに向かう力・人間性等 評価：（知・技）知識・技能（思・判・表）思考・判断・表現（主学）主体的に学習に取り組む態度							
年間目標		（知及技）職業に関する事柄について理解するとともに、将来の職業生活に係る技能を身に付けるようにする（高職業１段階）。 （思判表力）将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価し、表現する力を養う（高職業１段階）。 （学・人）よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への参画に向けて、生活を工夫しようとする実践的な態度を養う（高職業１段階）。					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容		
年間を通して		A職業生活ア勤労の意義より（知及技）勤労の意義を理解することができる。 （思判表力）意欲や見通しをもって取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現することができる。 （学・人）作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。	（知・技）清掃作業の目的や役割を考え理解している。 （思・判・表）挨拶や返事、連絡、報告を大きな声でしている。 （主学）作業後のの自己評価を行い、振り返りができる。（振り返りシートへの記入） 【評価資料】行動観察、清掃ミニテスト、清掃実施テスト	○作業の心得 ○校内清掃 ・トイレ ・窓ガラス ・廊下 ・教室 ・外壁 ・車両 ○校外施設の清掃 ・公民館	・作業を行う基本的な態度。 ・作業を行う上での安全面の諸注意。 ・作業の心得を確認する。 ・作業内容、手順の確認。 【年間を通して用いる教材・道具】 ・ぞうきん　・バケツ　・粉石けん　・洗面器　・ダストクロス ・モップ　・作業手順表　・自在ぼうき　・文化ちりとり ・ちりとり　・新聞紙　・ガラスクリーナー　・スカッチブライト ・スクレーパー　・ホース　・掃除機　・高圧洗浄機・スクイジー		
1 学期	26	A職業生活イ職業より（知及技）職業生活に必要なとされる実践的な知識及び技能を身に付けることができる。 （思判表力）作業や実習における役割を踏まえて、自分の成長や課題について考え、表現することができる。 （学・人）清掃活動を工夫して行うことができる	（知・技）清掃用具に応じた、清掃方法を理解している。 （思・判・表）清掃用具に応じた作業手順表を読み取り、正しく、安全に能率よく作業している。 （主学）作業後のの自己評価を行い、振り返りができる。（振り返りシートへの記入） 【評価資料】行動観察、清掃ミニテスト、清掃実施テスト	○ハウスクリーing 基本作業 ・ぞうきんの使い方 ・黒板拭き ・テーブル拭き ・トイレ清掃	・基本的なぞうきんの洗い方。 ・竹刀絞りでの絞り方、八つ折りでのたたみ方、基本的な拭き方。 ・絞り方、たたみ方拭き方ができる。 ・ぞうきんで丁寧に汚れを拭きとることができる。 ・両手を使った基本的なぞうきんの洗い方を知る。 ・自分で汚れを見つけ、丁寧に汚れ落とし、絞りができるようにする。 ・広げてきちんと干すことができる。 ・トイレ清掃を手順通り行うことができる		
2 学期				・モップの使い方 ・トイレ清掃	・基本的なモップの洗い方。 ・基本的なモップの使い方。 ・能率的な清掃の方法。 ・安全、確実、丁寧に清掃する。 ・両手を使った基本的なモップの洗い方を知る。 ・汚れをしっかりと落とすことができる。 ・モップのひもを2～3つに分けてしっかりと絞ることができる。 ・トイレ清掃を手順通り行うことができる		
	30			・ダストクロスの使い方 ・トイレ清掃	・基本的なダストクロスの使い方。 ・能率的な除塵の方法。 ・安全、確実、丁寧に清掃する。 ・トイレ清掃を手順通り行うことができる		
				・ほうきの使い方 ・トイレ清掃	・押さえばき、基本的なゴミの集め方、取り方。 ・けがきを使つてのほうきの手入れ。 ・ほうきの基本的な使い方ができる ・ほうきの手入れができる。 ・ホコリを立てないよう静かに押さえながらはくことができる。 ・取り残しなく、ちりとりで回収できる。 ・トイレ清掃を手順通り行うことができる		
3 学期	14		（知・技）清掃場所に適した清掃用具に応じた、清掃方法を理解している。 （思・判・表）清掃場所に適した作業手順を自ら組み立て、正しく、安全に能率よく作業している。 （主学）少ない指示で作業に取り組んでいる。 【評価資料】行動観察、清掃ミニテスト　清掃実施テスト	○校内清掃 ・窓ガラス ・廊下 ・教室 ・外壁 ・車両 ○校外施設の清掃 ・公民館	・清掃の手順を学ぶ。 ・物を大切に扱う態度を身につける。 ・安全な道具の扱い方を学ぶ。 ・協力し合い、丁寧に作業する態度を養う。 ・清掃の手順を学ぶ。 ・マナーとして物を大切に扱い、元の場所にきちんと戻すことを知る。 ・丁寧に求められると同時に時間内に手際よく作業をすることを理解する。 ・自分の役割を理解し、責任を持って作業ができる。 ・テーブルや椅子を移動させながら要領よく清掃する方法を知る。 ・隅々まで丁寧に床をみがくことができる。 ・清掃するときれいになる気持ちよさを知る。		
留意点 引継ぎ等							

令和8年度 高等部 1年 外国語 年間指導計画					
単位数／ 配当時数		生徒（学年）		担当者	教科書／副教材
1／35		1年			ONE WORLD Smiles(教育出版) 小学校5年生 外国語教科書
目標：（知及技）知識及び技能（思判表力）思考力、判断力、表現力等（学・人）学びに向かう力・人間性等 評価：（知・技）知識・技能（思・判・表）思考・判断・表現（主学）主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		（知・技）音声や文字、語彙、表現などについて日本語と外国語との違いに気付くとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、話すことを中心とした実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付ける。 （思判表力）コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙などが表す事柄を想像しながら読んだり書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。 （学・人）外国語の背景にある文化について理解し、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	（知及技）英語の音声聞いて話すことができる。英語を使って相手に挨拶、自己紹介ができることに気付く。（高1段階ア㉔㉕㉖） 自分の名前や、好きな物を伝え方を知って、言うことができる。 アルファベットの大文字を知って、聞いたり読んだりすることができる。 （思判表力）自分に関することについて、聞き、発表し、やり取りすることができる。（高1段階ウ①(㉑)(㉒)(㉓)(㉔)） 自分のことをわかりやすく紹介するスピーチができる。 （学・人）外国語を通してコミュニケーションを図ることができる。 聞いている人にわかりやすく話そうとしたり、相手の話をよく聞こうとしたりする。	（知・技） 自分の名前や好きなものを伝える表現（I like 【食べ物等】.、Do you like 【スポーツ等】?、What (color) do you like?等）についての技能を身に付けている。 （思・判・表） 友達に自分のことを知ってもらうために、好きな食べ物、動物、スポーツ等について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、発表している。 （主学） 友達に自分のことを知ってもらうために、好きな食べ物、動物、スポーツ等について、これまでの学習の中で気づいたことを活かしながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて、発表しようとしている。 授業プリント（振り返りシート）、提出物、活動の達成度、GOODポイント、パフォーマンステスト、ワークブック、単元テストで評価	Lesson1 「Nice to meet you.」 あなたのことを友達に知ってもらおう 自分のことをよく知ってもらったり、相手のことをよく知るために、名前や好きな食べ物、動物、スポーツなどについて聞き取ったり、伝えあったり、話したりすることができる。	・Nice to meet you. — Nice to meet you, too. ・Hello, I'm (Ayaka). Please call me (Aya). ・My name is (Sonoda Akie). ・Do you like (yellow)? — Yes, I do. / No, I don't. ・I like (dogs). I don't like (cats). ・What (color) do you like? ・I have (a towel). I don't have (a bag). ・Oh. / Me, too. / Really? / I see. ・語彙：色 / スポーツ / 動物 / 野菜 / 果物 / 食べ物 / デザート
		（知及技） 英語の音声聞いて話したり、文字を見て読み、書きができる。英語を使ってお互いに気持ちが伝わり合うことに気付く。（高1段階ア㉔㉕㉖） 季節や月日の表し方がわかって、言うことができる。アルファベットの小文字を知って、聞いたり読んだりすることができる。 （思判表力） 自分に関することについて、聞き、発表し、やり取りすることができる。（高1段階ウ①(㉑)(㉒)(㉓)(㉔)） 自分の誕生日を伝えたり、友達の誕生日を尋ねたりできる。 （学・人）外国語を通してコミュニケーションを図ることができる。 相手にわかりやすく話そうとしたり、相手の話をよく聞こうとしたりする。	（知・技） 月日の語句や、誕生日について尋ねたり答えたりする表現（When is your birthday?, My birthday is 【月日】.等）について、伝え合う技能を身に付けている。 （思・判・表） お互いのことを知るために、誕生日や好きな月について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、伝え合っている。 （主学） お互いのことを知るために、誕生日や好きな月について、これまでの学習の中で気づいたことを活かしながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて、伝え合おうとしている。 授業プリント（振り返りシート）、提出物、活動の達成度、GOODポイント、パフォーマンステスト、ワークブック、単元テストで評価	Lesson2 「When is your birthday?」 クラスのたんじょう日カレンダーを作ろう 自分のことをよく知ってもらったり、相手のことをよく知るために、誕生日やほしいものなどについて聞き取ったり、伝えあったりし、カレンダーに記録することができる。	・When is your birthday? ・My birthday is (January 8th). ・I like (December). ・Do you like (December)? ・What do you want for your birthday? ・I want (shoes). ・語彙：月 / 数(1 ～ 31) / 序数(日付) / 身のまわりのもの
2 学期	14	（知及技） 英語の音声聞いて話したり、文字を見て読み、書きができる。事物の内容や表などの働きがあることに気付く。（高1段階ア㉔㉕㉖） 教科や時間割、職業の表し方を知り、言うことができる。 アルファベットと小文字の組み合わせがわかり、正しく書くことができる。 （思判表力） 簡単な語句や基本的な表現を用いて、時間割に関するやりとりができる。高1段階ウ①(㉑)(㉒)(㉓)(㉔)） 夢の時間割を考えて、伝えることができる。 （学・人）外国語を通してコミュニケーションを図ることができる。 発表している友達が話しやすい聞き方をしようとする。	（知・技） 教科・曜日の語句や、時間割について表す表現（I have 【教科】.、I study 【教科】 with 【人】.）について聞いたり、伝えたりする技能を身に付けている。 （思・判・表） 友達に自分が考えた夢の時間割を知ってもらうために、教科や時間割などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、発表している。 （主学） 友達に自分が考えた夢の時間割を知ってもらうために、教科や時間割などについて、これまでの学習の中で気づいたことを活かしながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて、発表しようとしている。 授業プリント（振り返りシート）、提出物、活動の達成度、GOODポイント、パフォーマンステスト、ワークブック、単元テストで評価	Lesson3 「I have P.E.on Monday.」 夢の時間割を作ろう 自分のことをよく知ってもらったり、相手のことをよく知るために、夢の時間割を作り、好きな曜日や教科、誰と学びたいかについて聞き取ったり、伝えあったり、話したりすることができる。	・What do you have on (Tuesday)? ・I have (math, English, and music) on (Tuesday). ・I study (P.E.) with (Hachimura Rui). ・What day is it? ・Good idea! ・語彙：教科 / 曜日
		（知及技） 英語の音声聞いて話したり、文字を見て読み、書きができる。事物の内容や表などの働きがあることに気付く。（高1段階ア㉔㉕㉖） 時刻や日課の表し方を知って、言うことができる。 （思判表力） 簡単な語句や基本的な表現を用いて、1日のスケジュールを作成することができる。高1段階ウ①(㉑)） 自由な1日があったらどのように過ごしたいか考えて、伝えることができる。 （学・人）外国語を通してコミュニケーションを図ることができる。 相手にわかりやすく話そうとしたり、相手の話をよく聞こうとしたりする。	（知・技） 時刻・日課・頻度の語句や、日課・習慣を表す表現（I 【日課】 at 【時刻】、I 【頻度】 【習慣】）について理解している。 （思・判・表） 時刻・日課・頻度の語句や、日課・習慣を表す表現（I 【日課】 at 【時刻】、I 【頻度】 【習慣】）について伝え合うことができる。 （主学） お互いの自由な一日の過ごし方について知るために、一日の過ごし方について、これまでの学習の中で気づいたことを活かしながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて、伝え合おうとしている。 授業プリント（振り返りシート）、提出物、活動の達成度、GOODポイント、パフォーマンステスト、ワークブック、単元テストで評価	Lesson4 「This is my dream day.」 自由な一日があったら、何をしたいか伝えよう 自由な時間や一日があれば、どのように過ごしたいかなどについて聞き取ったり、話したり、伝えあったりすることができる。また、アルファベットの大文字を書くことができる。（直線だけの文字）	・What time is it in (Boston)? ・It's (seven o'clock in the morning). ・What time do you (get up)? ・I (get up) at (six). ・I (always) (wash the dishes). ・What do you do in the morning [afternoon]? ・I (catch insects) in the morning [afternoon]. ・語彙：日課・習慣 / 頻度 (always / usually / sometimes / never)
3 学期	9	（知及技） 英語の音声聞いて話したり、文字を見て読み、書きができる。簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気付く。（高1段階ア㉔㉕㉖） できることと伝え方や尋ね方を知って、言うことができる。 自分と相手以外の人を表す三人称heとsheが分かり、言うことができる。 （思判表力） 簡単な事柄について、伝えようとした内容を整理した上で、簡単な語句などを用いて自分の考えを伝え合うことができる。高1段階イ(㉑)） 音声で慣れ親しんだ語句を書き写すことができる。 （学・人）外国語を通してコミュニケーションを図ることができる。 より伝わるような内容や表現のしかたを考え、できることを伝えたり、尋ねたりすることができる。 他者に配慮しながら積極的に話そうとしたり、相手の話をよく聞こうとしたりする。	（知・技） できることを伝えたりたずねたりする表現（I [He/She] can 【できること】.、Who can 【できること】?、What can you do?）について理解している。 （思・判・表） 友達のことを知るために、友達のできることについて、簡単な語句や基本的な表現を使ってやりとりすることができる。 （主学） 友達のことを知るために、友達のできることについて、これまでの学習の中で気づいたことを活かしながら、簡単な語句や基本的な表現を聞き取ろうとしている。 授業プリント（振り返りシート）、提出物、活動の達成度、GOODポイント、パフォーマンステスト、ワークブック単元テストで評価	Lesson5 「I can run fast.」 クラスのみんなの「できること」を集めよう 自分のできることを紹介するために、できることについて、その内容を聞き取ったり、伝えあったり、話したりすることができる。また、自分の名前やアルファベットの大文字を書くことができる。（曲線だけの文字）	・I can (play the recorder). I can't (run fast). ・Who can (ski)? ・He [She] can (swim well). ・What can you do? ・語彙：できること / 副詞(well / high / fast)
留意点 ／留意等					

令和8年度 高等部 1年 クリーニング 年間指導計画

単位数 ／配当時数		児童生徒	担当者	教科書／副教材	
2／70		1 年(49名)		自作プリント等	
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度		(学・人)学びに向かう力・人間性等 (主学)主体的に学習に取り組む態度			
年間目標		学習指導要領 5 節 主として専門学科において開設される各教科 第1「家政」より(知及技)生活産業に関することについて理解するとともに、関連する技術を身につけるようにする。 (思判表力)生活産業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ課題を解決する力を養う。 (学・人)職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	26	(知及技) 勤労の意義を理解すること。 (思判表力)意欲や見通しを持って取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現すること。 (学・人)作業や実習等の達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むこと。 (1)生活産業の概要ア	(知・技) 働くための心構えとして、作業の心得、クリーニングの実習の心得を理解している。 (思・判・表)自己目標を意識し学習内容に見通しをもって取り組んでいる。報告・連絡・相談を行い、他者と協力して取り組むことができている。働くために自分自身に必要な力を発見することができている。 (主学)自己の目標を明確に設定し、自己評価を行い達成度、改善点を振り返ることができている。働くための力(作業の心得)を主体的に身につけようとしている。 意識的に持ち物3点を常に携帯している。	・クリーニングについて ・作業の心得とクリーニングの心得 ・学習ノートの活用方法について ・働く上で必要な持ち物	・オリエンテーション ・働くための心構え及び必要な力(毎時復唱) ・本時の目標、学習内容を把握し、個人目標を15項目から自ら選んで記入。自己評価、できたこと、注意を受けたことを振り返り2回目の目標を立てる。 ・働く上で必要な持ち物3点の準備(筆記用具、メモ帳、ハンカチ)
		(知及技) クリーニングの種類と特徴について理解し、各工程に係る技術を身に付けるようにする。 ((3) クリーニング) (思判表力) クリーニングにおいて、よりよいサービスを提供するために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現する力を養う。((3) クリーニング) (学・人)クリーニングの種類と特徴について自ら学び、各工程に主体的かつ共同的に取り組むようにする。((3) クリーニング)	(知・技) クリーニングの種類と特徴、扱う道具と機械について理解している。扱い方、片付け方やアイロン手順を理解し取り組むことができる。クリーニング工程が理解できている。 (準備後片付けの様子、定期テスト、実技テスト) (思・判・表)クリーニングの基礎とクリーニング工程で学んだ知識を基に作業を行っている。クリーニングの対象となる被洗物の種類が分かる主な繊維を識別できている。 先輩の回収の様子を見学し接客マナーを学ぶよう意識している。(活動中の様子、個別評価表) (主学)クリーニングの工程(アイロン仕上げ、回収の仕方)を身につけるため自ら工夫したり、先輩からの助言をもとに改善しようとしている。(活動中の様子、個別評価表)	・学期の目標設定 ・作業場の清掃 ・蒸気アイロンの使い方 ・先輩からの指導と助言 ・クリーニングで使用する道具・機器 ・クリーニング工程 ・回収練習と接客マナー ・被服の種類 ・繊維 ・学期の反省	・具体的な目標設定 ・清掃方法と分地区を確認 ・蒸気アイロンの安全使用方法とオン/オフの仕方 ・先輩から蒸気アイロンの使用方法と技術の伝授 ・ハンカチ、エプロンの仕上げの実践 ・クリーニングで使用される道具と機械の名称と使用目的 ・クリーニング工程(回収、受付、仕分け、洗濯、乾燥、仕上げ、集金)の流れ ・先輩の回収・返却の仕方の見学 ・セリフを見えて回収の練習 ・繊維の名称、使用されている素材、歴史。手触りによる主な繊維の識別。 ・自己評価し学期を振り返る
2 学期	30	(知及技) 勤労の意義を理解すること。 (思判表力)意欲や見通しを持って取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現すること。 (学・人)作業や実習等の達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むこと。	(知・技) 働くための心構えとして、作業の心得、クリーニングの実習の心得を理解している。 (思・判・表)自己目標を意識し学習内容に見通しをもって取り組んでいる。報告・連絡・相談を行い、他者と協力して取り組むことができている。働くために自分自身に必要な力を発見することができている。 (主学)自己の目標を明確に設定し、自己評価を行い達成度、改善点を振り返ることができている。働くための力(作業の心得)を主体的に身につけようとしている。 意識的に持ち物3点を常に携帯している。	・作業の心得とクリーニングの心得 ・学習ノートの活用方法について ・働く上で必要な持ち物	・働くための心構え及び必要な力(毎時復唱) ・本時の目標、学習内容を把握し、個人目標を15項目から自ら選んで記入。自己評価、できたこと、注意を受けたことを振り返り2回目の目標を立てる。 ・働く上で必要な持ち物3点の準備(筆記用具、メモ帳、ハンカチ)
		(知及技) クリーニングの種類と特徴について理解し、各工程に係る技術を身に付けるようにする。 ((3) クリーニング) (思判表力) クリーニングにおいて、よりよいサービスを提供するために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現する力を養う。((3) クリーニング) (学・人)クリーニングの種類と特徴について自ら学び、各工程に主体的かつ共同的に取り組むようにする。((3) クリーニング)	(知・技) クリーニングの種類と特徴、扱う道具と機械について理解している。扱い方、片付け方やアイロン手順を理解し取り組むことができる。クリーニング工程が理解できている。衣服の汚れの原因を知り、それが人体や周囲に与える影響を理解している。 (準備後片付けの様子、定期テスト、実技テスト) (思・判・表)クリーニングの基礎とクリーニング工程で学んだ知識を基に作業を行っている。シミ抜き方法の知識を基に作業を行っている。回収、受付道具の準備、受付手順を確認し、被洗物を仕分けできる。回収の際、接客マナーを意識して対応しようとしている。(活動中の様子、個別評価表) (主学)グループで協力し合ってクリーニング工程(回収、受付、仕分け)に取り組んでいる。アイロン技術の向上に向けて手帳表を基に主体的に作業を行っている。(活動中の様子、個別評価表)	・学期の目標設定 ・作業場の清掃 ・表示 ・衣服とクリーニング ・半袖シャツの部位、アイロン順番 ・先輩からの指導による半袖シャツ仕上げ ・半袖シャツ実践 ・クリーニングの準備工程 ・回収と接客マナー ・学期の反省	・具体的な目標設定 ・清掃方法と分地区を確認 ・組成表示と取扱表示(給表示)の読み取り方 ・衣服の必要性と汚れ(シミ) ・しみ抜き実践 ・半袖シャツの部位の名称と効果的なアイロン順番 ・先輩から半袖シャツアイロンの技術の伝授 ・半袖シャツ仕上げの実践 ・クリーニングの準備工程(受付伝票の記入方法、タグ付け、仕分け) ・接客マナーを意識した回収の模擬実践 ・自己評価し学期を振り返る
3 学期	14	(知及技) 勤労の意義を理解すること。 (思判表力)意欲や見通しを持って取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現すること。 (学・人)作業や実習等の達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むこと。	(知・技) 働くための心構えとして、作業の心得、クリーニングの実習の心得を理解している。 (思・判・表)自己目標を意識し学習内容に見通しをもって取り組んでいる。報告・連絡・相談を行い、他者と協力して取り組むことができている。働くために自分自身に必要な力を発見することができている。 (主学)自己の目標を明確に設定し、自己評価を行い達成度、改善点を振り返ることができている。働くための力(作業の心得)を主体的に身につけようとしている。 意識的に持ち物3点を常に携帯している。	・作業の心得とクリーニングの心得 ・学習ノートの活用方法について ・働く上で必要な持ち物	・働くための心構え及び必要な力(毎時復唱) ・本時の目標、学習内容を把握し、個人目標を15項目から自ら選んで記入。自己評価、できたこと、注意を受けたことを振り返り2回目の目標を立てる。 ・働く上で必要な持ち物3点の準備(筆記用具、メモ帳、ハンカチ)
		(知及技) クリーニングの種類と特徴について理解し、各工程に係る技術を身に付けるようにする。 ((3) クリーニング) (思判表力) クリーニングにおいて、よりよいサービスを提供するために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現する力を養う。((3) クリーニング) (学・人)クリーニングの種類と特徴について自ら学び、各工程に主体的かつ共同的に取り組むようにする。((3) クリーニング)	(知・技) クリーニングの種類と特徴、扱う道具と機械について理解している。扱い方、片付け方やアイロン手順を理解し取り組むことができる。クリーニング工程が理解できている。 (準備後片付けの様子、定期テスト、実技テスト) (思・判・表)クリーニングの基礎とクリーニング工程で学んだ知識を基に作業を行っている。回収・配達の際、接客マナーを意識して対応しようとしている。クリーニングの機械を操作し安全に作業を進めようとしている。(活動中の様子、個別評価表) (主学)グループで協力し合ってクリーニング工程(回収、受付、仕分け、照合、配達、集金)に取り組んでいる。アイロン技術の向上に向けて手帳表を基に主体的に作業を行っている。(活動中の様子、個別評価表)	・学期の目標設定 ・作業場の清掃 ・長袖シャツの部位、アイロン順番 ・先輩からの指導による長袖シャツ仕上げ ・長袖シャツ実践 ・クリーニング工程 ・接客マナー ・クリーニングの機械操作 ・1年間の反省	・具体的な目標設定 ・清掃方法と分地区を確認 ・長袖シャツの部位の名称と効果的なアイロン順番 ・先輩から長袖シャツアイロンの技術の伝授 ・長袖シャツ仕上げの実践 ・クリーニング工程(回収、受付、仕分け、照合、配達、集金)の実践 ・回収、配達時の接客マナー ・クリーニングの機械であるシーツローラーの使用方法和シーツのたたみ方 ・自己評価し1年間を振り返る
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 冲高特 1年農園芸 年間指導計画

単位数 ／配当時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	1年生 5クラス（計49名）		自作プリント

目標：(知及技)知識及び技能（思判表力）思考力、判断力、表現力等（学・人）学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能（思・判・表）思考・判断・表現（主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 農業に関することについて理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 (思判表力) 農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ課題を解決する力を養う。 (学・人) 職業人として必要な豊かな人間性を育み、社会貢献に取り組む態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価 規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	26	A職業生活ア勤労の意義より (知及技) 勤労の意義を理解 することができる。 (思判表力) 意欲や見通しを もって取り組み、その成果 や自分と他者との役割及び 他者との協力について考 え、表現することができる。 (学・人) 作業や実習等に達成 感を得て、計画性をもって 主体的に取り組むことがで きる。	(知・技) 農業の目的や役 割を考え理解している。 (思・判・表) 挨拶や返事、連絡、報 告を大きな声でしてい る。 (主学) 少ない指示で作業 に取り組んでいる。	作業の心得	・「作業の心得」を確認し、時間厳守や身なり、言葉遣いなどの職業生活に必 要な知識を身に付ける
		(学・人) 授業を振り返り、自己の成長 と課題について考えること ができる	(学・人) 日誌に学習内容をまとめ、 発表を行うことができる。 (思判表力) 作業における役割を踏まえ て、振り返りを行うことが できる。	・日誌の記入 ・振り返り発表	・授業を振り返り、自己の反省と評価を行い、日誌にまとめることができる。 ・反省を踏まえ、目標や自分の役割を考えることで、次の作業への見通しを持つ。
		A職業生活イ職業より (知及技) 職業生活に必要と される実践的な知識及び技 能を身に付けることができる。 (思判表力) 作業や実習にお ける役割を踏まえて、自分 の成長や課題について考 え、表現することができる。	(知・技) 作物に応じた、 作業方法を理解してい る。 (思・判・表) 作物に応じた作業手順 を読み取り、正しく、安全 に能率よく作業してい る。 (主学) 少ない指示で作業 に取り組んでいる。	作物栽培の基本作 業 ○種まき	基本的な種まき。 ・作物の栽培に適した時期を知ることができる ・種の大きさに応じた方法を知る。 栄養繁殖（株分け、挿し木、とり木） ・作物によって、繁殖の違いがあることを知る。
		〃	〃	○農具の使い方 ・へら、移植こ て、スコップ、ク ワ	・道具や機械等の特性や扱い方を理解し、危険性や適切な使用方法を学ぶ ・農具の基本的な使い方ができる ・農具の手入れができる。
2 学期	30	A職業生活イ職業より (知及技) 職業生活に必要と される実践的な知識及び技 能を身に付けることができる。 (思判表力) 作業や実習にお ける役割を踏まえて、自分 の成長や課題について考 え、表現することができる。	(知・技) 作物に応じた、 作業方法を理解してい る。 (思・判・表) 作物に応じた作業手順 を読み取り、正しく、安全 に能率よく作業してい る。 (主学) 少ない指示で作業 に取り組んでいる。	○苗づくり	作物に適した育苗・栽培管理を学ぶ ・基本的な鉢上げ、鉢替え。 ・作物にあった培土作りができる。 ・追肥や水かけができる。
		〃	〃	○販売学習 調整、袋つめ、ラ ベル貼り、陳列、 接客応対、商品の 説明、計算、金銭 管理	農作物の販売準備 ・作物や草花に適した販売を理解する。 ・商品を丁寧に扱う態度を身につける。 ・協力し合い、丁寧に作業する態度を養う。 ・時間内に手際よく作業をすることを理解する。 ・自分の役割を理解し、責任を持って作業ができる。 販売学習 ・作物や草花の名前や基礎知識を身につける。 ・敬語をつかい、接客することが出来る。 ・計算や金銭管理を責任を持って行うことができる。
3 学期	14	(知・技) 情報セキュリティやモラルに ついて理解し、情報機器を扱 うことが出来る。	(知・技) ・情報機器の特性や機能を 知り、操作することができ る。	・情報機器の活用	iPadの基本操作を学び、画像や情報をまとめ、発表することができる。
年間を通して		(知及技) 農業が社会で果たしている 意義と役割などについて理 解するとともに、職業生活に 必要となる技術を身に付け る(農業(1)農業の概 要)	(知・技) 農作物の栽培や多様な農 業生産品、草花の緑化など が日常生活に深く関わって いることを踏まえ、農業が 社会において果たしている 役割や重要性があることを 理解することができる。	○農業の意義と役 割	・季節や行事に応じた花壇や校舎内外の草花装飾を行い、奉仕の心を持つ ・農場周辺の環境整備 ・校外での緑化活動・余暇活動等
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 高等部 1 年 福祉科 年間指導計画					
単位数 ／配当時 数		児童生徒		担当者	教科書／副教材
2単位/70時間		1 年 1組 10名			自作プリント等
目標：(知及技)知識及び技能 (思考力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		(知及技) ・福祉に関することについて理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 (思考力) ・福祉に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ課題を解決する力を養う。 (学・人) ・職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、社会貢献に主体的かつ協同的に取り組む態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	25	(知及技) 社会福祉が社会で果たしている意義と役割を知る。(高1段階ア(ア)) (思考力) 困っている人を適切に支援する方法を考えることができる。(高1段階イ(イ)) (学・人) 社会福祉に係る事項について自ら学び、主体的かつ協同的に取り組むことができる。(高1段階ア(イ))	(知・技) 社会福祉の役割、自助・互助・共助・公助を理解できる。 (思・判・表) 困っている人に支援する姿勢を身につけている。 (主学) 身の周りにある福祉について知ろうとしている。 ＊日誌、振り返り発表、定期テスト、活動の姿で評価する。	・「ふくし」ってなに ・私たちの身近な福祉 ・シンボルマーク ・バリアフリーとユニバーサルデザイン ・校内バリアフリー探検	・人生の中で関わっている社会保障や福祉、医療や保健について学ぶ。 ・バリアフリー、ユニバーサルデザインについて学ぶ。 ・校内にあるバリアフリーとユニバーサルデザインを探し、使いやすさや効果などを知る。
	1	(知及技) 1学期の成果を確認し、2学期以降に活かすことができる。(高1段階ア(イ)) (思考力) 1学期を振り返り自己の成長や課題点を発表する。(高1段階ア(イ)) (学・人) 他者の反省を聞き、認めることができる。(高1段階ア(イ))	(知・技) 自身の振り返りを行い成果を確認している。 (思・判・表) 自身の成長点や課題点を考え、自身で発表している。 (主学) 他者の発表を聞き、成長点や反省点を考えることができる。 ＊日誌、振り返り発表、活動の姿で評価する。	・1学期のまとめ	・反省の発表会を行い自他の成果や課題を振り返り次学期以降の目標を考える。
2 学期	17	(知及技) 高齢者のこころとからだの仕組みについて理解し、介護予防に関する知識・技術を身に付けることができる。(高2段階ア(ア)㊦) (思考力) 高齢者や障害者が快適に生活するための方法や支援方法について考えることができる。(高2段階イ(イ)) (学・人) 他者と協力しながら介護予防の必要性や加齢に伴う心身の変化について自分のこととして考えることができる。(高2段階イ(イ)㊦)	(知・技) 加齢に伴う心身の変化や高齢者の生き方や尊厳について理解している。 (思・判・表) 高齢者、障害者がより良く生活するために何が必要かを考えることができる。 (主学) 利用者体験を通して高齢者や障害者の心身について知ろうとしている。 ＊日誌、振り返り発表、定期テスト、実技テスト、活動の姿で評価する。	・高齢者福祉 ・高齢者のこころとからだ ・高齢者疑似体験 ・高齢者の病気と予防 ・バイタルチェック	・高齢者疑似体験を通し、高齢者の身体の特徴などを知る。 ・相手を知ることの大切さコミュニケーションの方法について学ぶ。 ・バイタルサイン、バイタルチェックについて学ぶ。
	12	(知及技) 2学期の成果を確認し、2学期以降に活かすことができる。(高1段階ア(イ)) (思考力) 2学期を振り返り自己の成長や課題点を発表する。(高1段階ア(イ)) (学・人) 他者の反省を聞き、認めることができる。(高1段階ア(イ))	(知・技) 自身の振り返りを行い成果を確認している。 (思・判・表) 自身の成長点や課題点を考え、自身で発表している。 (主学) 他者の発表を聞き、成長点や反省点を考えることができる。 ＊日誌、振り返り発表、活動の姿で評価する。	・ボディメカニクス ・介護技術の基本 ・福祉用具(車イス)	・ボディメカニクスを学ぶ。 ・移動支援方法を学ぶ。 ・高齢者、障害者がより快適に生活するための環境をどのように整えるかを学ぶ。 福祉用具、補助具の用途、使用方法を知る。
	1	(知及技) 2学期の成果を確認し、2学期以降に活かすことができる。(高1段階ア(イ)) (思考力) 2学期を振り返り自己の成長や課題点を発表する。(高1段階ア(イ)) (学・人) 他者の反省を聞き、認めることができる。(高1段階ア(イ))	(知・技) 自身の振り返りを行い成果を確認している。 (思・判・表) 自身の成長点や課題点を考え、自身で発表している。 (主学) 他者の発表を聞き、成長点や反省点を考えることができる。 ＊日誌、振り返り発表、活動の姿で評価する。	・2学期のまとめ	・反省の発表会を行い自他の成果や課題を振り返り次学期以降の目標を考える。
3 学期	6	(知及技) 子どもが生まれつき持っている能力や心身の発達について理解する。(高1段階イ(ア)) 子どものコミュニケーション方法を知る。(高2段階ア(ア)) (思考力) 子どもが健やかに育つ社会をどのように実現すれば良いか考える。(高1段階イ(イ)) (学・人) 他者と協力しながら求められる保育方法を考えていることができる。保育職が社会に必要であることを知ろうとしている。 (高1段階イ(イ)㊦)	(知・技) 保育の役割、専門性、仕事内容を理解できる。子どもの心身の発達を理解している。子どもの発達に応じたコミュニケーションの方法がわかる。 (思・判・表) 子どもとの触れ合いやラポール形成のために何が必要かを考えることができる。 (主学) 適切な保育方法について主体的に考えることができる。保育職が社会に必要であることを知ろうとしている。 ＊日誌、振り返り発表、定期テスト、実技テスト、活動の姿で評価する。	・保育士の仕事 ・新生児について ・乳幼児・アニミズム ・乳幼児の発達	・子どもの発達について学ぶ。 ・保育の職場と仕事内容を調べる。 ・保育に従事する際の心得、幼児の特徴や活動を理解し、より良い保育の在り方を学ぶ。 ・職種についての学習やビジネスマナー等を通して、就業意識や対価について学習し、意欲的に作業にあたる姿勢を身に付ける。
	8	(知及技) コミュニケーションやレクリエーションによる援助の知識、技術を習得する。(産業現場ア) (思考力) 相手の実態を調べ、レクリエーションを計画する。(産業現場ア) (学・人) コミュニケーションやレクリエーションの大切さを学ぶ。(産業現場ア)	(知・技) 適切な態度でレクリエーションを行うことができる。 (思・判・表) 相手の実態に応じたレクリエーションを考えることができる。 (主学) 積極的にコミュニケーションを図り、関わりを持つことができる。 ＊日誌、振り返り発表、定期テスト、実技テスト、活動の姿で評価する。	・レクリエーション ・レクリエーションの実践 ・交流新聞づくり ・年間のまとめ	・グループ活動において実態に応じたレクリエーションを考える。 ・レクリエーションを通し他者と交流を行う。 ・レクリエーションを通し、相手と場に応じた実践的な対応方法など体験する。 ・情報機器を利用し交流会の様子を新聞に掲載、発行する。 ・1年間で習得した技能、技術に関する検定を受け、自らの成長と今後の課題を確認する。 ・反省の発表会を行い自他の成果や課題を振り返る。 ・情報機器を活用し、プレゼンテーションを作成して発表する。 ・コンピュータやタブレットを使って情報をまとめて他者に伝える。 ・コンピュータや携帯の便利さと危うさを表例で学び表記・記録・計算・通信等の代表的なソフトの使い方を体験する。
年間を通して		(知及技) コンピュータ等の情報機器の初歩的な操作の仕方を知る。(高1段階：情報機器イ) (思考力) 情報機器を使用し発表等を行っている。(高1段階：情報機器イ) (学・人) 情報機器を正しい使用方法で活用する。(高1段階：情報機器ア)	(知・技) iPad等の情報機器を使用し活動に取り組んでいる。 (思・判・表) 発表に情報機器を活用できている。 (主学) 情報モラルを守り機器を活用する。 ＊本単元の評価は年間を通して、日誌、振り返り発表、実技テスト、活動の姿で評価する。	・情報機器の活用	
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 高等部 1年 福祉科 年間指導計画					
単位数 ／配当時 数		児童生徒	担当者	教科書／副教材	
2単位/70時間		1学年 56名		自作プリント等	
目標：(知・技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (学主)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標 (知・技) ・福祉に関することについて理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 (思判表力) ・福祉に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ課題を解決する力を養う。 (学・人) ・職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、社会貢献に主体的かつ協同的に取り組む態度を養う。					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材の活動内容	
1学期	9	(知・技) 社会福祉が社会で果たしている意義と役割を知る。(高1段階ア(ア)) (思判表力) 関与している人を適切に支援する方法を考えたことができる。(高2段階イ(イ)) (学・人) 社会福祉に係る事項について自ら学び、主体的かつ協同的に取り組むことができる。(高1段階ア(イ))	(知・技) 社会福祉の役割、自助・互助・共助・公助を理解できる。 (思・判・表) 関与している人に支援する姿勢を身に付けている。 (学主) 身の回りにある福祉について知ろうとしている。	・「ふくし」とは。 ・身近な福祉（シンボルマーク） ・バリアフリーとユニバーサルデザイン ・校内バリアフリー探検	・人生の中で関わっている社会福祉や福祉、医療や保健について学ぶ。 ・バリアフリー、ユニバーサルデザインについて学ぶ。 ・校内にあるバリアフリーとユニバーサルデザインを探し、使いやすさや効果などを知る。
	16	(知・技) 介護に必要な基礎的な心や体の仕組みについて理解し、基本的、実践的介護技能を身に付けることができる。(高2段階イ(イ)) (思判表力) 介護や保育、サービス業に必要なコミュニケーション、支え合いのコミュニケーションについて学ぶ。(高2段階イ(イ)) (学・人) 他者と協力しながら求められる介護や支援方法を考えたことができる。(高2段階イ(イ))	(知・技) 加齢に伴う心身の変化や高齢者の生き方や尊厳について理解している。 (思・判・表) 相手を知ること、コミュニケーションの大切さを理解できている。 (学主) 自らコミュニケーションを図り、相手を知ろうとしている。	・コミュニケーションの意義 ・高齢者の心と体、生活の理解 ・ボディメカニクス ・介護技術の基本	・相手を知ることの大切さコミュニケーションの方法について学ぶ。 ・高齢者体験を通して、高齢者の身体の特徴などを知る。 ・人間の動き（立位、座位、歩行、昇降など）や仕組みを学ぶ。 ・ボディメカニクスを学ぶ。 ・移動支援方法を学ぶ。 ・バイタルサイン、バイタルチェックについて学ぶ。
	1	(知・技) 1学期の成果を確認し、2学期以降に活かすことができる。(高1段階ア(イ)) (思判表力) 1学期を振り返り自己の成長や課題点を発表する。(高1段階ア(イ)) (学・人) 他者の反省を聞き、認めることができる。(高1段階ア(イ))	(知・技) 自身の振り返りを行い成果を確認している。 (思・判・表) 自身の成長点や課題点を考え、自分で発表している。 (学主) 他者の発表を聞き、成長点や反省点を考えることができる。	・1学期のまとめ	・反省の発表会を行い自他の成果や課題を振り返り次学期以降の目標を考える。
2学期	20	(知・技) 子どもが生まれつき持っている能力や心身の発達について理解する。(高1段階イ(ア)) 子どものコミュニケーションの方法を知る。(高2段階ア(ア)) (思判表力) 子どもが健やかに育つ社会をどのように実現すれば良いかを考える。(高1段階イ(イ)) (学・人) 他者と協力しながら求められる保育方法を考えたことができる。保育職の社会的ニーズを知ることができる。(高1段階イ(イ))	(知・技) 子どもの発達、専門性、仕事内容を理解できる。子どもの心の発達を理解している。子どもの発達に合わせたコミュニケーションの方法がわかる。 (思・判・表) 子どもとの関わり合いやラポール形成のために何が必要かを考えることができる。 (学主) 適切な保育方法について主体的に考えることができる。保育職が社会に必要なことを知ろうとしている。	・保育士の仕事 ・新卒児について ・乳幼児・アニメズム ・乳幼児の発達	・子どもの発達について学ぶ。 ・保育の職と仕事内容を調べる。 ・保育に従事する際の心得、幼児の特徴や活動を理解し、より良い保育の在り方を学ぶ。 ・職種についての学習やビジネスマナー等を通して、敬労精神や対応について学び、協同的に作業にあたる姿勢を身に付ける。
	9	(知・技) 快適な生活環境を整える知識、技術を習得する。(高2段階ア(ア)) (思判表力) 高齢者、障害者の生活と住まい、福祉用具の活用方法を知り、快適な生活するための方法を考える。(高2段階イ(イ)) (学・人) 他者と協力しながら求められる介護や支援方法を考えたことができる。(高1段階イ(イ))	(知・技) 安全で安楽（速やか、かつ清潔）なベッドメイクの手法を習得できている。 (思・判・表) 高齢者、障害者がより良く生活するために何が必要かを考えることができる。 (学主) 適切な介護、支援を考えたことができる。 (学・人) 適切な介護方法について主体的に考えることができる。保育職が社会に必要なことを知ろうとしている。	・高齢者、障害者の心と体、生活の理解 ・環境整備 ・ベッドメイキング ・福祉用具（補助具）	・高齢者、障害者の身体の特徴、褥瘡について学ぶ。 ・ベットメイク方法を学ぶ。 ・高齢者、障害者がより快適に生活するための環境をどのように整えるかを学ぶ。 ・福祉用具、補助具の用途、使用方法を知る。
3学期	1	(知・技) 2学期の成果を確認し、2学期以降に活かすことができる。(高1段階ア(イ)) (思判表力) 2学期を振り返り自己の成長や課題点を発表する。(高1段階ア(イ)) (学・人) 他者の反省を聞き、認めることができる。(高1段階ア(イ))	(知・技) 自身の振り返りを行い成果を確認している。 (思・判・表) 自身の成長点や課題点を考え、自分で発表している。 (学主) 他者の発表を聞き、成長点や反省点を考えることができる。	・2学期のまとめ	・反省の発表会を行い自他の成果や課題を振り返り次学期以降の目標を考える。
	6	(知・技) コミュニケーションやレクリエーションによる援助の知識、技術を習得する。(産業現場ア(ア)) (思判表力) 相手の実態を調べ、レクリエーションを計画する。(産業現場ア(ア)) (学・人) コミュニケーションやレクリエーションの大切さを学ぶ。(産業現場ア(ア))	(知・技) 適切な態度でレクリエーションを行うことができる。 (思・判・表) 相手の実態に応じたレクリエーションを考えたことができる。 (学主) 積極的にコミュニケーションを図り、関わりを持つことができる。 (学・人) 適切な介護方法について主体的に考えることができる。介護職が社会に必要なことを知ろうとしている。	・レクリエーション ・レクリエーションの実践 ・交流新聞づくり	・グループ活動において実態に応じたレクリエーションを考へる。 ・レクリエーションを通して他者と交流を行う。 ・レクリエーションを通して、相手と関に 応じた実践的な対応方法などを体験する。 ・情報機器を利用し交流会の様子を新聞に掲載、発行する。
年間を通して	8	(知・技) 年間を通して自身の成果をまとめることができる。(高2段階イ(イ)) (思判表力) まとめた内容を他の前で発表する。(高2段階イ(イ)) (学・人) 次年度への目標をもち他者との共通理解を行う。(高2段階ア(イ))	(知・技) 1年を振り返り、まとめることが出来る。 (思・判・表) 他者に伝わりやすいように、発表の方法を考えている。 (学主) 意見を共有し、皆でまとめることが出来る。 (学・人) 適切な介護方法について主体的に考えることができる。介護職が社会に必要なことを知ろうとしている。	・OJT介護アシスタント技能検定 ・年間のまとめ	・1年間で習得した技能、技術に関する検定を受け、自らの成長と今後の課題を確認する。 ・反省の発表会を行い自他の成果や課題を振り返る。 ・情報機器を活用し、プレゼンテーションを作成して発表する。
		(知・技) コンピュータ等の情報機器の初歩的な操作の仕方を知る。(高1段階・情報機器イ(イ)) (思判表力) 情報機器を使用し発表等を行っている。(高1段階・情報機器イ(イ)) (学・人) 情報機器を正しい使用方法で活用する。(高1段階・情報機器イ(イ))	(知・技) Pad等の情報機器を使用し活動に取り組んでいる。 (思・判・表) 発表に情報機器を活用できている。 (学主) 情報モラルを守り機器を活用する。 (学・人) 本単元の評価は年間を通して、日誌、振り返り発表、実技テスト、活動の姿で評価する。	・情報機器の活用	・コンピュータやタブレットを使って情報をまとめる他者に伝える。 ・コンピュータや携帯電話の便利さと危うさを表裏両面から感じ、デジタル社会の代表者としての使い方を体験する。
留置点 引継ぎ等					

令和6年度 高等部 1年 福祉科 年間指導計画				
単位数 ／配当時間	児童生徒		担当者	教科書／副教材
2単位/70時間	1学年	50名		自作プリント等
目標：(知・技)知識及び技能 (思・判・表)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (学・人)主体的に学習に取り組む態度				
年間目標		(知・技) ・福祉に関することについて理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 (思・判・表) ・福祉に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観・踏まえ課題を解決する力を養う。 (学・人) ・職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、社会貢献に主体的かつ協同的に取り組む態度を養う。		
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名
1学期	5	(知・技) 就労の意義や意義を知る。(高1段階ア(ア)) (思・判・表) 介護や保育の心得、ホスピタリティがわかる。(高1段階イ(イ)) (学・人) 介護職、保育職の社会的ニーズを知る。(高1段階ア(イ))	(知・技) 介護や保育の役割、専門性、仕事内容を理解できる。基本的な介護技術・身に付けることができる。 (思・判・表) 相手の求める介護をすることの重さを理解することができる。 (学・人) 介護職や保育職が社会に必要であることを理解している。 ＊日誌、振り返り発表、定期テスト、実技テスト、活動の姿で評価する。	・介護、保育、ホテル業に従事するとは。 ・介護や保育、ホテル業に従事する際の心得、高齢者や幼児の特性や高齢者の認知症などの疾患を理解し、より良い介護、保育の在り方、生活支援、サービスの方法や技術を学ぶ。 ・職種についての学習やビジネスマナー等を通して、就労意識や価値について学習し、意欲的に作業にあたる姿勢を身につける。
	20	(知・技) 介護に必要な基礎的な心や体の仕組みについて理解し、基本的な実践的な介護技術を身に付けることができる。(高2段階ア(ア)) (思・判・表) 介護や保育、サービス業に必要なコミュニケーション、支え合いについて考えることができる。(高2段階イ(イ)) (学・人) 他者と協力しながら求められる介護や支援方法を考えることができる。(高2段階イ(イ))	(知・技) 正しい機器の名称・使い方を把握し、使用している。安全な介護方法を身に付けている。 (思・判・表) 相手の求めること、コミュニケーションの大切さを理解できている。 (学・人) ＊日誌、振り返り発表、定期テスト、実技テスト、活動の姿で評価する。	・コミュニケーションの意義。 ・高齢者、障害者の心と体、生活の理解。 ・介護技術の基本。 ・相手を知ることの大切さコミュニケーションの方法について学ぶ。 ・高齢者体験を通して、高齢者の身体の特徴などを理解し、高齢者の生活の理解。 ・バリエーション、ユニバーサルデザインについて学ぶ。 ・車いすの各名称、使い方を。メンテナンス方法を学ぶ。 ・人間の動き(立位、座位、歩行、昇降など)や仕組みを学ぶ。 ・ポスターワークを学ぶ。 ・移乗支援方法、移動支援方法を学ぶ。 ・バイタルサイン、バイタルチェックについて学ぶ。
	1	(知・技) 1学期の成果を確認し、2学期以降に活かすことができる。(高1段階ア(イ)) (思・判・表) 1学期を振り返り自己の成長や課題点を発表する。(高1段階イ(イ)) (学・人) 他者の反省を聞き、認めることができる。(高1段階イ(イ))	(知・技) 自身の振り返りを行い成果を確認している。 (思・判・表) 自身の成長点や課題点を考え、自身で発表している。 (学・人) 他者の発表を聞き、成長点や反省点を考えることができる。 ＊日誌、振り返り発表、活動の姿で評価する。	・1学期のまとめ ・反省の発表会を行い自他の成果や課題を振り返り次学期以降の目標を考える。
2学期	20	(知・技) 介護者として必要な基本的、実践的な介護技能と知識を身に付けることができる。(高2段階ア(ア)) (思・判・表) 高齢者、障害者の生活と住まい、福祉用具の活用方法を理解し、必要とするための方法を考える。(高2段階ア(ア)) (学・人) 他者と協力しながら求められる介護や支援方法を考えることができる。(高2段階イ(イ))	(知・技) 高齢者、障害者の食事(調製、脱乳)身体拘束、褥瘡など予防方法を理解し、安全な介護方法を身に付けることができる。 (思・判・表) 高齢者、障害者がより良く生活するために何が必要かを考えることができる。 (学・人) 適切な介護、支援を考えることができる。 ＊日誌、振り返り発表、定期テスト、実技テスト、活動の姿で評価する。	・高齢者、障害者の心と体、生活の理解。 ・感染症の理解と予防策。 ・介護技術の基本。 ・高齢者、障害者とのコミュニケーション。 ・福祉用品(補助具)。 ・高齢者、障害者の睡下時の仕組み、調製や脱乳、身体拘束、褥瘡について学ぶ。 ・足湯、ハンドマッサージの意義と方法を学ぶ。 ・感染症の仕組みを理解し、正しい感染対策や感染症の基本的な予防対策を理解し、介護施設における感染対策の必要性を学ぶ。 ・食形態、食事口方法、水分補給方法、体位変換方法、衣類の脱着、ベッドメイク方法を学ぶ。 ・コミュニケーションの種類や方法、目的を理解し、他者理解に必要となる態度について学ぶ。(しくもくとうば、手話)。 ・高齢者、障害者がより快適に生活するための環境をどのように整えるかを学ぶ。 ・福祉用具、補助具の用途、使用方法を知る。
	9	(知・技) コミュニケーションやレクリエーションによる援助の知識、技術を習得する。(産業現場ア(ア)) (思・判・表) 相手の流れを調べ、レクリエーションを計画する。(産業現場ア(ア)) (学・人) コミュニケーションやレクリエーションの大切さを学ぶ。(産業現場ア(ア))	(知・技) 適切な態度でレクリエーションを行うことができる。 (思・判・表) 相手の流れに合わせたレクリエーションを考案することができる。 (学・人) 積極的にコミュニケーションを図り、関わりを持つことができる。 ＊日誌、振り返り発表、定期テスト、実技テスト、活動の姿で評価する。	・レクリエーション。 ・福祉施設、高齢者施設の見学、交流。 ・交流新聞づくり。 ・グループ活動において実態に応じたレクリエーションを考える。 ・レクリエーションを通じ高齢者や障害者と交流を行う。 ・高齢者、障害者施設の利用者との交流を通して、相手と関わり合う実践的な対応方法など体験すること。 ・情報機器を活用し交流会の様子を新聞に掲載、発行する。
3学期	1	(知・技) 2学期の成果を確認し、2学期以降に活かすことができる。(高1段階ア(イ)) (思・判・表) 2学期を振り返り自己の成長や課題点を発表する。(高1段階イ(イ)) (学・人) 他者の反省を聞き、認めることができる。(高1段階イ(イ))	(知・技) 自身の振り返りを行い成果を確認している。 (思・判・表) 自身の成長点や課題点を考え、自身で発表している。 (学・人) 他者の発表を聞き、成長点や反省点を考えることができる。 ＊日誌、振り返り発表、活動の姿で評価する。	・2学期のまとめ ・反省の発表会を行い自他の成果や課題を振り返り次学期以降の目標を考える。
	6	(知・技) 認知症や様々な障害がある方々の気持ちや理解し、適切なコミュニケーション方法を理解する。(高2段階ア(ア)) (思・判・表) 介護者として必要な基本的、実践的な介護技能と知識を確認する。(高2段階ア(ア)) (学・人) 他者と協力しながら高齢者や障害者のいきがいや何かを学ぶことができる。(高2段階イ(イ))	・それぞれの障害の特徴、支援方法を理解できる。 ＊日誌、振り返り発表、定期テスト、実技テスト、活動の姿で評価する。	・認知症や障害者と寄り添い方と良好なコミュニケーション方法を学ぶ。 ・高齢者の生きがい、パラリンピックでの活躍を知る。
	8	(知・技) 年間を通して自身の成果をまとめることができる。(高2段階イ(イ)) (思・判・表) まとめた内容を皆の前で発表する。(高2段階イ(イ)) (学・人) 次年度への目標をもち他者との共通理解を行う。(高2段階イ(イ))	(知・技) 1年を振り返り、まとめることが出来る。 (思・判・表) 他者に伝わりやすいように、発表の方法を考えている。 (学・人) 発表を共有し、皆でまとめることができる。 ＊日誌、振り返り発表、活動の姿で評価する。	・O(介護アシスタント)技能検定 ・年間のまとめ ・1年間で習得した技能、技術に関する検定を受け、自らの成長と今後の課題を確認する。 ・反省の発表会を行い自他の成果や課題を振り返る。 ・情報機器を活用し、プレゼンテーションを作成して発表する。
年間を通して		(知・技) コンピュータ等の情報機器の基本的な操作の仕方を知る。(高1段階：情報機器イ(イ)) (思・判・表) 情報機器を使用し発表等を行っている。(高1段階：情報機器イ(イ)) (学・人) 情報機器を正しい使用方法で活用する。(高1段階：情報機器イ(イ))	(知・技) iPad等の情報機器を使用し活動に積極的に取り組んでいる。 (思・判・表) 発表に情報機器を活用できている。 (学・人) 情報モラルを守り機器を活用する。 ＊本単元の評価は年間を通して、日誌、振り返り発表、実技テスト、活動の姿で評価する。	・コンピュータやタブレットを使って情報をまとめる他者に伝える。 ・コンピュータやタブレットを使うを実例で学び表記・記録・学習・通信等の代表的なソフトの使い方を体験する。
留意点 引継ぎ等				

単位数 ／ 配当時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	1 年生 4クラス（計39名）		なし

目標：（知及技）知識及び技能（思判表力）思考力、判断力、表現力等（学・人）学びに向かう力・人間性等

評価：（知・技）知識・技能（思・判・表）思考・判断・表現（主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 木工に関する事柄について理解を深めるとともに、将来の職業生活に係る技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、表現する力を養う。 (学・人) よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への貢献に向けて、生活を改善しようとする実践的な態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	26	(知及技) 工具や機械などの使い方を理解できる。身だしなみ、挨拶・返事、報告・質問できる。 (思判表力) 安全のため、自分の立ち位置や周りの動きに気をつけ作業できる。 (学・人) 大事なことや名称などを自分で判断し、メモが活用できる。準備、後片付け、清掃を責任を持って行うことができる。	(知・技) 工具や機械などの使い方を理解している。身だしなみ、挨拶・返事、報告・質問をしている。 (思・判・表) 安全のため、自分の立ち位置や周りの動きに気をつけ作業している。 (主学) 大事なことや名称などを自分で判断し、メモが活用している。準備、後片付け、清掃を責任を持って行うことができている。	・オリエンテーション ・実習の心構え	・安全に作業すること、衛生的に気をつけることを理解させ、実習させる。 ・用具、機械などの使い方を理解し、知識、技能の習得を支援、指導する。 ・身だしなみ、挨拶、報告・質問などがきちんとできるような言葉かけ、振り返りをする。 ・準備、後片付け、清掃を責任を持って行う。 ・指示理解を支援するためにメモを利用させる。 ・木工に関する物作りを通した技術だけでなく、卒業後の就職に有利な資格等について理解する。(受講案内や卒業生の講話等)
		(知及技) 作業の工程全体を理解し、自分の分担に責任を持ち、技能の向上を図る。 (思判表力) 安全と衛生に留意し、良い品質を保つ努力をする。 (学・人) 他者と協力して作業や実習をし、責任感や協調性を高め、根気強く働く習慣を身につける。	(知・技) 木材の名称や特徴を知り、指示された寸法で材料選定や材料取りができ、製品完成までの工程を行うことができる。 (思・判・表) 工具・機械を安全に使用でき、正しく姿勢で工具や機械を使って作業をすることができる。 (主学) 決められた時間を集中して作業することができ、他の生徒と協力して組み立てなどの作業を行うことができる。	木工製品の製作 ・設計 ・けがき ・切断 ・部品加工 ・組み立て ・磨き ・塗装	・各工具・機械名と作業工程名を覚える。 ・長さの単位がわかり、長さの計測をする。 ・木材の名称や特徴を知り、材料取りをする。 ・さし金を正しく使って、けがきをする。 ・目的に応じて工具や機械を正しく安全に使用する。 ・塗料をむらなく塗ることができる。 ・見本の寸法を測定し、材料取りをする。 ・塗料をむらなく塗ることができる。
		(知及技) 接客の指導の仕方を学び、接客用語を覚え、使用することができる。 (思判表力) 接客時の言葉遣いに注意し、お客様への対応をスムーズにできる。 (学・人) お客様の立場になって考え、丁寧に商品を扱うことができる。	(知・技) 接客5大用語が言え、お客様に対して大きな声で使うことができる。 (思・判・表) お客様からの質問や要望に対して、丁寧な言葉遣いでその場に応じた適切な対応ができる。 (主学) 商品を傷つけずに扱い、お客様が持ち帰りやすい袋への梱包や運搬補助を行うことができる。	販売学習 ・接客 ・お金の計算 ・運搬 ・袋詰め ・記録	・販売学習を通して、接客に必要な態度を学ぶ。 ・販売学習を通して、お金の計算を行う。 ・販売学習を通して、大型製品の運搬を行う。 ・販売学習を通して、製品の袋詰めをする。 ・販売学習を通して、売れた品目と数を記録する。
2 学期	30	(知及技) 作業の工程全体を理解し、自分の分担に責任を持ち、技能の向上を図る。 (思判表力) 安全と衛生に留意し、良い品質を保つ努力をする。 (学・人) 他者と協力して作業や実習をし、責任感や協調性を高め、根気強く働く習慣を身につける。	(知・技) 木材の名称や特徴を知り、指示された寸法で材料選定や材料取りができ、製品完成までの工程を行うことができる。 (思・判・表) 工具・機械を安全に使用でき、正しく姿勢で工具や機械を使って作業をすることができる。 (主学) 決められた時間を集中して作業することができ、他の生徒と協力して組み立てなどの作業を行うことができる。	木工製品の製作 ・設計 ・けがき ・切断 ・部品加工 ・組み立て ・磨き ・塗装	・各工具・機械名と作業工程名を覚える。 ・長さの単位がわかり、長さの計測をする。 ・木材の名称や特徴を知り、材料取りをする。 ・さし金を正しく使って、けがきをする。 ・目的に応じて工具や機械を正しく安全に使用する。 ・塗料をむらなく塗ることができる。 ・見本の寸法を測定し、材料取りをする。 ・塗料をむらなく塗ることができる。 ・木工に関する物作りを通した技術だけでなく、卒業後の就職に有利な資格等について理解する。(受講案内や卒業生の講話等)
		(知及技) 接客の指導の仕方を学び、接客用語を覚え、使用することができる。 (思判表力) 接客時の言葉遣いに注意し、お客様への対応をスムーズにできる。 (学・人) お客様の立場になって考え、丁寧に商品を扱うことができる。	(知・技) 接客5大用語が言え、お客様に対して大きな声で使うことができる。 (思・判・表) お客様からの質問や要望に対して、丁寧な言葉遣いでその場に応じた適切な対応ができる。 (主学) 商品を傷つけずに扱い、お客様が持ち帰りやすい袋への梱包や運搬補助を行うことができる。	販売学習 ・接客 ・お金の計算 ・運搬 ・袋詰め ・記録	・販売学習を通して、接客に必要な態度を学ぶ。 ・販売学習を通して、お金の計算を行う。 ・販売学習を通して、大型製品の運搬を行う。 ・販売学習を通して、製品の袋詰めをする。 ・販売学習を通して、売れた品目と数を記録する。
3 学期	14	(知及技) 作業の工程全体を理解し、自分の分担に責任を持ち、技能の向上を図る。 (思判表力) 安全と衛生に留意し、良い品質を保つ努力をする。 (学・人) 他者と協力して作業や実習をし、責任感や協調性を高め、根気強く働く習慣を身につける。	(知・技) 木材の名称や特徴を知り、指示された寸法で材料選定や材料取りができ、製品完成までの工程を行うことができる。 (思・判・表) 工具・機械を安全に使用でき、正しく姿勢で工具や機械を使って作業をすることができる。 (主学) 決められた時間を集中して作業することができ、他の生徒と協力して組み立てなどの作業を行うことができる。	木工製品の製作 ・設計 ・けがき ・切断 ・部品加工 ・組み立て ・磨き ・塗装	・各工具・機械名と作業工程名を覚える。 ・長さの単位がわかり、長さの計測をする。 ・木材の名称や特徴を知り、材料取りをする。 ・さし金を正しく使って、けがきをする。 ・目的に応じて工具や機械を正しく安全に使用する。 ・塗料をむらなく塗ることができる。 ・見本の寸法を測定し、材料取りをする。 ・塗料をむらなく塗ることができる。
		(知及技) 接客の指導の仕方を学び、接客用語を覚え、使用することができる。 (思判表力) 接客時の言葉遣いに注意し、お客様への対応をスムーズにできる。 (学・人) お客様の立場になって考え、丁寧に商品を扱うことができる。	(知・技) 接客5大用語が言え、お客様に対して大きな声で使うことができる。 (思・判・表) お客様からの質問や要望に対して、丁寧な言葉遣いでその場に応じた適切な対応ができる。 (主学) 商品を傷つけずに扱い、お客様が持ち帰りやすい袋への梱包や運搬補助を行うことができる。	販売学習 ・接客 ・お金の計算 ・運搬 ・袋詰め ・記録	・販売学習を通して、接客に必要な態度を学ぶ。 ・販売学習を通して、お金の計算を行う。 ・販売学習を通して、大型製品の運搬を行う。 ・販売学習を通して、製品の袋詰めをする。 ・販売学習を通して、売れた品目と数を記録する。
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 高等部 1年 工業（窯業） 年間指導計画

単位数 ／配当時数		児童生徒		担当者	教科書／副教材
70		1 年(各クラス10名)			自作プリント等
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		(知・技)工業に関することについて理解するとともに、関連する技術を身につけるようにする。(高知1工業) (思判表)工業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ課題を解決する力を養う。(高知1工業) (学・人)職業人として必要な人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、社会貢献に主体的かつ協同的に取り組む態度を養う。(高知1工業)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	26	(知及技)セラミック加工による製品について材料、工具や機械及び製作の工程を踏まえて理解するとともに、関連する技術を身につけること。 (高知1工業) (思判表力)セラミック加工による製品の製作において、よりよい製品を製作するために必要な課題を発見し、安全で安心に使用することができる製品への工夫について考え、表現すること。 (高知1工業) (学・人)作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むこと。 (高知1A職業勤労の意義)	(知・技)窯業で扱う道具について種類、扱い方、片付け方、製品作りにおける諸注意を理解しようとしている。(準備片付けの様子、実技テスト、個別評価表) (思・判・表)道具の準備、制作手順を確認しミスなく製品を作ろうとしている。(作業中の様子、コミュニケーションの有無、個別評価表) (主学)作業をはじめめる前に作業内容を把握し、作業後は自らの作業を振り返っている。 (作業日誌への記入)	・窯業について ・土だんごの石垣鉢 ・シーサー面 ・タタラ板「丸皿」	・働く態度、作業の心構え ・用具の取り扱い ・土の取り扱い ・だんごの積み上げ ・土の扱いと品質チェック ・土ひもの扱いと品質チェック ・シーサー面による手順、規格を守ることの徹底 ・タタラ機を使った「丸皿」作りで土のカットと成形を身につける
2 学期	30	(知及技)セラミック加工による製品について材料、工具や機械及び製作の工程を踏まえて理解するとともに、関連する技術を身につけること。 (高知1工業) (思判表力)セラミック加工による製品の製作において、よりよい製品を製作するために必要な課題を発見し、安全で安心に使用することができる製品への工夫について考え、表現すること。 (高知1工業) (学・人)作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むこと。 (高知1A職業勤労の意義)	(知・技)窯業に関する基本的な技術を身につけようとしている。(作業中の様子、実技テスト、個別評価表) (思・判・表)道具の準備、制作手順を確認しミスなく製品を作ろうとしている。(作業中の様子、コミュニケーションの有無、個別評価表) (主学)作業をはじめめる前に作業内容を把握し、作業後は自らの作業を振り返っている。 (作業日誌への記入)	・箸置き ・タタラ板「ペン立て」 ・手びねり「どんぶり」 ・いっちゃん ・釉かけ	・消費者目線の「箸置き作り」 ・タタラ機を使った商品としての「ペン立て」作り ・手びねりによるどんぶり作りで土削りを取り入れた成形を身につける ・素焼き皿に「いっちゃん」を施し、加飾の技法を身につける ・加飾された素焼き皿に釉薬をかけ窯づめの準備を行う
3 学期	14	(思判表力)セラミック加工による製品の製作において、よりよい製品を製作するために必要な課題を発見し、安全で安心に使用することができる製品への工夫について考え、表現すること。 (高知1工業) (学・人)作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むこと。 (高知1A職業勤労の意義)	(思・判・表)口当たりのいいカップの縁や持ちやすい取っ手について考え、作ろうとしている。(製品評価、個別評価表) (主学)作業をはじめめる前に作業内容を把握し、作業後は自らの作業を振り返っている。 (作業日誌への記入)	・手びねり「マグカップ」 ・タタラ板「ソーサー」	・手びねりで使いやすいと思う大きさ、形、取っ手のあるカップを作り、タタラ板でカップにあったソーサーを作る。
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 高等学校 1 年 流通・サービス 年間指導計画					
単位数 ／配当時間		児童生徒	担当者	教科書／副教材	
2／70		1 学年 45名		自作プリント	
目標：(知・技)知識及び技能 (思考力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (学・人)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		(知・技) 流通やサービスに関することについて理解するとともに、関連する技術の身に付けるようにする。 (思考力) 流通業やサービス業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ課題を解決する力を養う。 (学・人) 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	26	【知・技】 販物の意義を理解すること。	【知・技】 働くための心がまえとして、作業の心算、流通・サービスの心算を理解している。	流通・サービスについて作業の心算(働くための心がまえ)流通・サービスの心算	流通・サービスについて(事前エンターテインメント)作業の心がまえの準備(臨時時間)流通・サービスの心算の準備(臨時時間)学習シート(学習内容、目標、反省等)の記入(臨時時間の授業開始及び終了時)
		【思考力】 意欲や見通しを持って取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現すること。 作業や実習における役割を踏まえて、自分の成長や課題について考え、表現すること。	【思・判・表】 意欲、意欲、意欲を行ないながら、他者と協力して取り組むことができる。働くために自分自身に必要な力を発見することができる。		
		【学・人】 作業や実習等に達成感を得て、計画性を持って主体的に取り組むこと。 【職業】 A職業生活 ア配方の意義(高1段階)	【主学】 働くために必要な力(作業の心算)を、主体的に身に付けようとしている。		
		【知・技】 食品加工の種類と基本的な特徴について理解するとともに、加工を行う上での食品の管理にかかわる技術を身に付けること。【職業】 指導項目(4)食品の加工と管理①②	【知・技】 食品に加工する過程や食品を仕入れる際の注意点を理解すること。また手洗いの重要性を知ること。【職業】 指導項目(4)食品の加工と管理③④	食品衛生について	身支度の整え方(事前)手洗いのチェック(事前)手洗いの整え方(

令和5年度 高等学校1年 教科書 国語 国語教科書計画						
教科書 教科書		教科書	教科書	教科書	教科書	教科書
教科書 教科書		教科書	教科書	教科書	教科書	教科書
25	1学期	1学期	1学期	1学期	1学期	1学期
教科書の国語教科書		教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書
教科書の国語教科書		教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書
教科書の国語教科書		教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書
教科書の国語教科書		教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書
教科書の国語教科書		教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書
教科書の国語教科書		教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書
教科書の国語教科書		教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書
教科書の国語教科書		教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書
教科書の国語教科書		教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書
教科書の国語教科書		教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書
教科書の国語教科書		教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書
教科書の国語教科書		教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書
教科書の国語教科書		教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書
教科書の国語教科書		教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書
教科書の国語教科書		教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書
教科書の国語教科書		教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書
教科書の国語教科書		教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書
教科書の国語教科書		教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書
教科書の国語教科書		教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書
教科書の国語教科書		教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書
教科書の国語教科書		教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書
教科書の国語教科書		教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書
教科書の国語教科書		教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書
教科書の国語教科書		教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書
教科書の国語教科書		教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書
教科書の国語教科書		教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書
教科書の国語教科書		教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書
教科書の国語教科書		教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書
教科書の国語教科書		教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書
教科書の国語教科書		教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書
教科書の国語教科書		教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書
教科書の国語教科書		教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書
教科書の国語教科書		教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書
教科書の国語教科書		教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書
教科書の国語教科書		教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書
教科書の国語教科書		教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書
教科書の国語教科書		教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書
教科書の国語教科書		教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書
教科書の国語教科書		教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書
教科書の国語教科書		教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書
教科書の国語教科書		教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書
教科書の国語教科書		教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書
教科書の国語教科書		教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書
教科書の国語教科書		教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書
教科書の国語教科書		教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書
教科書の国語教科書		教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書
教科書の国語教科書		教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書
教科書の国語教科書		教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書
教科書の国語教科書		教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書
教科書の国語教科書		教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書
教科書の国語教科書		教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書
教科書の国語教科書		教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書
教科書の国語教科書		教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書
教科書の国語教科書		教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書
教科書の国語教科書		教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書
教科書の国語教科書		教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書
教科書の国語教科書		教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書
教科書の国語教科書		教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書
教科書の国語教科書		教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書
教科書の国語教科書		教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書
教科書の国語教科書		教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書
教科書の国語教科書		教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書
教科書の国語教科書		教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書
教科書の国語教科書		教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書
教科書の国語教科書		教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書
教科書の国語教科書		教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書
教科書の国語教科書		教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書
教科書の国語教科書		教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書
教科書の国語教科書		教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書
教科書の国語教科書		教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書
教科書の国語教科書		教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書
教科書の国語教科書		教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書
教科書の国語教科書		教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書
教科書の国語教科書		教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書
教科書の国語教科書		教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書
教科書の国語教科書		教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書
教科書の国語教科書		教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書
教科書の国語教科書		教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書
教科書の国語教科書		教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書
教科書の国語教科書		教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書
教科書の国語教科書		教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書
教科書の国語教科書		教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書
教科書の国語教科書		教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書
教科書の国語教科書		教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書
教科書の国語教科書		教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書
教科書の国語教科書		教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書
教科書の国語教科書		教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書
教科書の国語教科書		教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書
教科書の国語教科書		教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書
教科書の国語教科書		教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書
教科書の国語教科書		教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書
教科書の国語教科書		教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書
教科書の国語教科書		教科書の国語教科書	教科書の国語教科書	教科書の国語教科書		

令和8年度 高等部 1年 総合的な探究の時間 年間指導計画

単位数 ／ 配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
	1 学年 49名	1 学年職員	進路の手引き（校内資料）

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技）探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。 →仕事内容を理解し、課題に対応することができる（本校の進路指導重点目標(3)より） （思判表力）実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。 →自己の役割を理解し、仕事に向けて自己管理ができる（進路指導重点目標(2)より） （学・人）探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。→良好な人間関係をつくり、協力して仕事を行うことができる（進路指導重点目標(1)より） ※ 1 学年目標「就労に向けた基礎作り」（進路の手引き 1 学年の目標より） ①基本的な生活習慣を身につけ、日常生活に必要な力の向上を図る。 ②学習活動を通して、自分の進路について主体的に考えることができる。			
学 期	時 数	単元・題材の目標	単元・題材の 評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1	83	（知及技）仕事に必要な基本的態度（適切な声の大きさ、言葉遣い、姿勢、挨拶や返事、報告、質問、身だしなみ）を習得できる。 （思判表力）マナーに関する基礎的・基本的な知識と技術の習得を図り、日常生活や職場で必要なマナーを身に付け、場に応じた立ち居振る舞いができる。 （学・人）働くことの必要性和意義を知り、主体的に仕事に取り組むことができる。	（知・技）仕事に必要な基本的態度を習得している。 （思・判・表）場に応じた立ち振る舞いができている。 （主学）主体的に学習・仕事に取り組んでいる。	就業体験 ・就業体験事前学習 ・校内就業体験（工場） （5/26～6/6 10日間） ・就業体験事後学習	（1） 事前学習の主な内容 ①就業体験の目的・作業内容について ②出退社について（出退社練習） ③面接について ④緊急時の対応について（欠勤・遅刻連絡） ⑤個人目標設定、日誌記入について （2）就業体験の主な内容 企業等の協力を得て、学校や家庭で身に付けてきた力を、実際に現場で活用できるように体験的な学習を行う。働くうえでの課題を明らかにし、職場におけるルールや仕事の厳しさ、楽しさ、やりがい等も学ぶ場とし、労働に対する積極的な態度を育成する。また、個々の適性を知り、将来の進路選択の一助となるようにする。 ① 自分を知る：自己理解、将来設計等 就業体験個人評価票 ② 働く：いろいろな仕事、職場でのルール等 仕事に必要な基本的態度（適切な声の大きさ、言葉遣い、姿勢、挨拶や返事、報告、質問、身だしなみ）、生産およびサービス活動（接客等） ③ 楽しむ：大人のマナー、コミュニケーション、余暇の過ごし方等 ④ 暮らす：金銭管理、健康的な暮らし、制度・施設の理解と利用等
2	86	（知及技）様々な職業について幅広く知り進路選択の幅を広げる。 （思判表力）職場で働く上での心構え（服装、身だしなみ等）や注意すべきこと（安全、衛生等）等について理解し、行動につなげる。 （学・人）働く意義について理解し、働く意欲を高める。	（知・技）様々な職業について知っている。 （思・判・表）知識に基づいた、適切な行動をしている。 （主学）働く意欲を持っている。	進路講話 ・就業体験報告会 ・企業見学会 ・卒業生講話 経験拡充就業体験 （希望者は就職前提就業体験を実施） ・就業体験事前学習 ・経験拡充就業体験 （10/6～10/17 9日間） ・就業体験事後学習 冲高特祭の取り組み	（3）進路講話・事業所見学の主な内容 ①日常的なマナー：挨拶、身だしなみ・服装、バス等公共交通機関の利用、携帯電話等 ②社会人としてのマナー：言葉遣い・敬語の使い方、面接の受け方、案内の仕方等 ③接客マナー：待機の仕方、お辞儀・会釈の仕方、案内の仕方、注文の取り方等 ④様々な職種の理解 ⑤様々な考え方やものの見方に関する理解 ⑥就労支援制度に関する理解 （4） 事後学習の主な内容 ①自己評価と他者評価との比較：就業体験個人評価票 ②お礼状作成 ③就業体験報告会に向けて（成果と課題） ④希望職種（作業内容や体験先）について ⑤今後の目標の記入
3	6	（知及技）自分自身を理解できる。 （思判表力）自分自身を理解し、自己管理ができる （学・人）良好な人間関係をつくり、主体的に協力して物事を行うことができる。	（知・技）自分自身の課題を理解している （思・判・表）自分自身に応じた、適切な行動ができている （主学）主体的に協力して物事を行っている。	進路面談 ・進路希望調査 ・3者面談（希望者は進路部を加えた4者面談） ・事業所・関係機関との面談	（5）進路面談の主な内容 ①担任、部屋担、保護者、進路担当、県就労支援コーディネーター等との面談
留意点 引継ぎ等		・時数は就業体験等でまとめどりをする。			

令和8年度 高等部 1年 特別活動 年間指導計画

単位数 ／配当時数		児童生徒	担当者	教科書／副教材	
1／35		1学年 49名		通常高校学習指導要領	
〔知及技〕多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。 (思考力)集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。 (学・人)自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、主体的に集団や社会に参画し、生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。 （ホームルーム活動の目標） ホームルームや学校での生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成し、役割を分担して協力して実践したり、ホームルームでの話し合いを生かして自己の課題の解決及び将来の生き方を描くために意思決定して実践したりすることに、自主的、実践的に取り組むことを通して、3つの柱で整理した資質・能力を育成することを目指す。 （生徒会活動の目標） 異年齢の生徒同士で協力し、学校生活の充実と向上を図るための課題の解決に向けて、計画を立て役割を分担し、協力して運営することに自主的、実践的に取り組むことを通して、3つの柱で整理した資質・能力を育成することを目指す。 （学校行事の目標） 全校若しくは学年又はそれらに準ずる集団で協力し、よりよい学校生活を築くための体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養いながら、3つの柱で整理した資質・能力を育成することを目指す。					
年間目標					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
通年		生徒が主体的に組織をつくり、役割を分担し、計画を立て、学校生活の課題を見だしに解決するために話し合い、合意形成を図り実践すること。	【評価の観点】 「より良い生活を築くための知識・技能」 個人と集団との関係性及び集団活動の意義を理解し、社会生活におけるルールやマナーに関った行動の仕方を身に付けている。	登校日の生徒集会（生徒会活動）	○生徒指導・進路指導の確認 ○あいさつの心得 ○あいさつ練習 ・心を落ち着かせ、きれいに整列し集会に臨む ・社会自立に向けての自分の課題を考える
1学期	2	ホームルームや学校における生活を向上・充実させるための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図り、実践すること。	「集団や社会の形成者としての思考・判断・表現」 様々な場面で、自分と異なる考えや立場にある多様な他者を尊重して認め合い、ええ合ったり補い合ったりして、合意形成や意思決定をしている。	学級びらき(ホームルーム活動)	○担任、生徒の自己紹介 ○学級目標の設定 ○個人目標の設定 ・自己紹介等によりクラスメイトを知り、互いに協力することを意識する ・社会自立に向けて自分の課題を考える
	1	心や体に関する正しい理解を基に、適切な行動をとり、悩みや不安に向き合い乗り越えようとする。	「集団や社会の形成者としての思考・判断・表現」 様々な場面で、自分と異なる考えや立場にある多様な他者を尊重して認め合い、ええ合ったり補い合ったりして、合意形成や意思決定をしている。	心身の健康と安全 1(ホームルーム活動)	○健康を考えた食の自己管理 ○給食時間の確認と食事のマナー ・健康を考え偏食をしないこと、食事のマナーを確認し、給食時間を通して望ましい人間関係を築くことを意識する
	2	生徒が主体的に組織をつくり、役割を分担し、計画を立て、学校生活の課題を見だしに解決するために話し合い、合意形成を図り実践すること。	「主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度」 様々な集団に積極的に所属し、他者の価値観や個性を受け入れ、新たな環境のちとで互いのよさや可能性を発揮できる関係築こうとしている。	学級の友人との関わり	○人間関係の構築を促すゲーム・意見交換等のワークショップを行う。（学級レク・学年レク・話し合い活動）
	1	生徒会などホームルームの枠を超えた多様な集団における活動や学校行事を通して学校生活の向上を図るため、ホームルームとしての提案や取組を話し合って決めこと。	「主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度」 様々な集団に積極的に所属し、他者の価値観や個性を受け入れ、新たな環境のちとで互いのよさや可能性を発揮できる関係築こうとしている。	校外学習(ホームルーム活動)	○校外学習のむらうと取り組みを理解する ・校外学習のおりおを活用し、他教科とも連携して指導する
	2	生徒が主体的に組織をつくり、役割を担し、計画を立て、学校生活の課題を見だしに解決するために話し合い、合意形成を図り実践すること。	「主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度」 様々な集団に積極的に所属し、他者の価値観や個性を受け入れ、新たな環境のちとで互いのよさや可能性を発揮できる関係築こうとしている。	新入生歓迎技術大会(生徒会活動)	○実施方法やルールの確認 ○チーム編成について ・協力して取り組むことにより、学級の和を図る機会であることを意識する
	1	節度ある健全な生活を送るなど現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進することや、事件や事故、災害等から身を守り安全に行動すること。	「心や体に関する正しい理解を基に、適切な行動をとり、悩みや不安に向き合い乗り越えようとする。」	連休の過ごし方(ホームルーム活動)	○連休の計画 ○規則正しい生活 ※携帯電話や交際に関しての注意 ・個人面談により生徒個々の具体的な課題や問題点について話し合い、実際に応じて指導や助言を行う
	1	心や体に関する正しい理解を基に、適切な行動をとり、悩みや不安に向き合い乗り越えようとする。	「心や体に関する正しい理解を基に、適切な行動をとり、悩みや不安に向き合い乗り越えようとする。」	心身の健康と安全 2(ホームルーム活動)	○歯の健康について ・歯生衛通を通して歯の健康について正しい知識を身につける
	1	適性やキャリア形成などを踏まえた作業種を選択することなどについて、目標をもって、在り方生き方や進路に関する適切な情報を収集・整理し、自己の個性や興味・関心と照らし考えること。	「適性やキャリア形成などを踏まえた作業種を選択することなどについて、目標をもって、在り方生き方や進路に関する適切な情報を収集・整理し、自己の個性や興味・関心と照らし考えること。」	働くこととは(ホームルーム活動)	○働くことの意味 ○将来の職業を選ぶ基準について ・目的達成のために出来ることに、やるべきことについて一緒に考え、実践につながるような指導を行う
	1	節度ある健全な生活を送るなど現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進することや、事件や事故、災害等から身を守り安全に行動すること。	「心や体に関する正しい理解を基に、適切な行動をとり、悩みや不安に向き合い乗り越えようとする。」	校内就業体験の心構え(ホームルーム活動)	○基本的なマナーの確認（身だしなみ、あいさつ、言葉づかい等） ○行動等について ・個々の能力、適性に応じた適切な進路指導を行う ・就業体験の評価、反省を基に生徒個々の課題を的確に捉え共通課題し学校教育活動全体で指導する
	1	節度ある健全な生活を送るなど現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進することや、事件や事故、災害等から身を守り安全に行動すること。	「心や体に関する正しい理解を基に、適切な行動をとり、悩みや不安に向き合い乗り越えようとする。」	1学期の反省と夏休みの過ごし方(ホームルーム活動)	○1学期の学習面・生活面を自己評価する ○夏休みの生活指導・計画立案 ・生徒指導部からの「夏休みの過ごし方」について確認する ・個人面談により生徒個々の具体的な課題や問題点について話し合い指導や助言を行う
2学期	1	ホームルームや学校における生活を向上・充実させるための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図り、実践すること。	「主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度」 様々な集団に積極的に所属し、他者の価値観や個性を受け入れ、新たな環境のちとで互いのよさや可能性を発揮できる関係築こうとしている。	2学期の目標と計画(ホームルーム活動)	○2学期の自己目標の設定 ○諸行事への取り組み計画 ・学級目標と個人の目標について関連づける ・個人面談により生徒個々の具体的な課題や問題点について指導や助言を行う
	2	現在及び将来の生活や学習と自己実現とのつながりを考えたり、社会的・職業的自立の意義を意識したりしながら、学習の発達を促して、振り返ること。	「主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度」 様々な集団に積極的に所属し、他者の価値観や個性を受け入れ、新たな環境のちとで互いのよさや可能性を発揮できる関係築こうとしている。	職業と人生(ホームルーム活動)	・進路指導部や保護者と連携して指導にあたる ・実習先の評価を参考にする
	2	適性やキャリア形成などを踏まえた教科を選択することなどについて、目標をもって、在り方生き方や進路に関する適切な情報を収集・整理し、自己の個性や興味・関心と照らし考えること。	「適性やキャリア形成などを踏まえた教科を選択することなどについて、目標をもって、在り方生き方や進路に関する適切な情報を収集・整理し、自己の個性や興味・関心と照らし考えること。」	自分の適性(ホームルーム活動)	・職業選択について好きな職種、やりがい、仕事内容、給料、地域等いろいろな角度から一緒に考え、助言を行う
	2	心や体に関する正しい理解を基に、適切な行動をとり、悩みや不安に向き合い乗り越えようとする。	「心や体に関する正しい理解を基に、適切な行動をとり、悩みや不安に向き合い乗り越えようとする。」	健康的な社会生活(ホームルーム活動)	○タバコ、薬物、アルコール等の害 ○アンケート調査 ・具体的な事例を用いてわかりやすく説明する
	2	心身の健全な発達や健康の保持増進、規律ある集団行動の体得、運動に親しむ態度の育成、責任感や連帯感の涵養、体力の向上などに資するようすること。	「心身の健全な発達や健康の保持増進、規律ある集団行動の体得、運動に親しむ態度の育成、責任感や連帯感の涵養、体力の向上などに資するようすること。」	特別支援学校体育大会に向けて（学校行事）	○選手としてのマナーについて ○服装、行動、安全、公共施設の利用について ・他校の生徒との交流の機会であることを意識し積極的に参加ができるように指導する
	5	勤労の尊さや創造することの喜びを体得するとともに、共に助け合って生きることの喜びを体得し、社会奉仕の精神を養う体感が得られるようすること。	「勤労の尊さや創造することの喜びを体得するとともに、共に助け合って生きることの喜びを体得し、社会奉仕の精神を養う体感が得られるようすること。」	沖縄特祭に向けて（学校行事）	○活動計画や内容について ○参加の望ましい態度について ・学校行事の中で最も大切な一つであることを自覚する ・自主的に活動し仲間と協力して行事を成功させることを自覚する
	1	節度ある健全な生活を送るなど現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進することや、事件や事故、災害等から身を守り安全に行動すること。	「心や体に関する正しい理解を基に、適切な行動をとり、悩みや不安に向き合い乗り越えようとする。」	2学期の反省と冬休みの過ごし方(ホームルーム活動)	○2学期の学習面・生活面を自己評価する ○冬休みの生活指導・計画立案 ・生徒指導部からの「冬休みの過ごし方」について確認する ・個人面談により生徒個々の具体的な課題や問題点について話し合い、実際に応じて指導や助言を行う
	1	ホームルームや学校における生活を向上・充実させるための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図り、実践すること。	「主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度」 様々な集団に積極的に所属し、他者の価値観や個性を受け入れ、新たな環境のちとで互いのよさや可能性を発揮できる関係築こうとしている。	3学期の目標と計画(ホームルーム活動)	○3学期の自己目標の設定 ・3学期はまとめの学期であることを意識し、2年生になり、後輩を迎えるにあたり、自分の課題を再確認する
	3	心身の健全な発達や健康の保持増進、規律ある集団行動の体得、運動に親しむ態度の育成、責任感や連帯感の涵養、体力の向上などに資するようすること。	「心身の健全な発達や健康の保持増進、規律ある集団行動の体得、運動に親しむ態度の育成、責任感や連帯感の涵養、体力の向上などに資するようすること。」	体育祭に向けて（学校行事） ※隔年開催（偶数年度に開催）	○参加の望ましい態度について ○公共施設の利用について ・学校行事の中で最も大切な一つであることを自覚する ・チームが丸一つとなって協力するような雰囲気作り配に配慮する
	1	心身の健全な発達や健康の保持増進、規律ある集団行動の体得、運動に親しむ態度の育成、責任感や連帯感の涵養、体力の向上などに資するようすること。	「心身の健全な発達や健康の保持増進、規律ある集団行動の体得、運動に親しむ態度の育成、責任感や連帯感の涵養、体力の向上などに資するようすること。」	特別支援学校体育大会に向けて（学校行事）	○選手としてのマナーについて ○服装、行動、安全、公共施設の利用について ・他校の生徒との交流の機会であることを意識し積極的に参加ができるように指導する
3学期	1	学校生活に有意義な変化や折目目をつけ、厳重で清新な気分を味わい、新しい生活の展開への動機付けとなるようにすること。	「学校生活に有意義な変化や折目目をつけ、厳重で清新な気分を味わい、新しい生活の展開への動機付けとなるようにすること。」	卒業式に向けて（学校行事）	○卒業式に向けての取り組み ・卒業の門出にふさわしい礼儀（聞く態度、姿勢、身だしなみ）について確認する
1	現在及び将来の生活や学習と自己実現とのつながりを考えたり、社会的・職業的自立の意義を意識したりしながら、学習の発達を促して、振り返ること。	「主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度」 様々な集団に積極的に所属し、他者の価値観や個性を受け入れ、新たな環境のちとで互いのよさや可能性を発揮できる関係築こうとしている。	1年の反省と2学年になる心構え(ホームルーム活動)	・2学年へ連続する自覚を促し、激励する	
留意点 引継ぎ等					

※自立活動の時間における指導計画は、個別に作成されることが基本であり、最初から集団で指導することを前提とするものではない。しかし本校の生徒の場合、2心理的な安定、3人間関係の形成、6コミュニケーションに関する項目に関して改善・克服を要する生徒が多く、その為には集団を構成して指導することが効果的だと考えられる。このことから、「**生徒個々の自立活動の個別の指導計画**」と合わせて、「**学年(指導は学級単位)ごとの自立活動の年間指導計画**」も作成し、実践・評価・改善を行う。

3年間を通しての目標	個々の児童又は生徒が自立を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、もって心身の調和的発達の基盤を培う。
------------	---

年間目標 ※全ての項目について指導を行うわけではない事に留意	1 健康の保持(健) :日常生活を行うために必要な健康状態の維持・改善を図ることができる。 2 心理的な安定(心) :自分の気持ちや情緒をコントロールして変化する状況に適切に対応するとともに、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服する意欲の向上を図り、自己のよさに気付くことができる。 3 人間関係の形成(人) :自他の理解を深め、対人関係を円滑にし、集団参加の基盤を身につけることができる。 4 環境の把握(環) :感覚を有効に活用し、空間や時間などの概念を手掛かりとして、周囲の状況を把握したり、環境と自己との関係を理解したりして、的確に判断し、行動できる。 5 身体の動き(身) :日常生活や作業に必要な基本動作を習得し、生活の中で適切な身体の動きができる。 6 コミュニケーション(コ) :場や相手に応じて、コミュニケーションを円滑に行うことができる。
---------------------------------------	--

学期	時数	単元・題材名	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材の活動内容
年間を通して行う	35時間	スケジュール管理	連絡帳に今週の振り返り(反省)を行い、次週の見通し(目標)を記入することができる。 心(2)状況の理解と変化への対応に関すること ・活動の内容、順序を理解し適切な行動を取ることができる。 ・状況の変化にも落ち着いて対応することができる。 環(2)他者の意図や感情の理解に関すること ・自分の評価と他者の評価が同じであることや違いがあることに気づくことができる。 環(3)自己理解と行動の調整に関すること 自分の行動を振り返り、適切な行動かを確認、調整することができる。 コ(5)状況に応じたコミュニケーションに関すること ・自分の行動、思ったことや考えたことの要点をまとめ表現することができる。 ・伝えようとする側と受け取る側との人間関係や、そのときの状況を的確に把握できる。 ・場や相手の状況に応じて、主体的にコミュニケーションを展開できる。	・自分のことを振り返りながら自己紹介シートに得意なことや不得意なこと、好きなことや苦手なことなどを記入し、みんなの前で発表することができる。 ・個別の支援計画を作成する前に、本人・保護者にアンケートをとり、 ・活動や行動について見通し、目標を持つことができる。 ・自分の行動を振り返り、より良い行動につなげることができる。 ・自分の行動を振り返り、授業や行事でのできごとで考えたこと、思ったこと、要点を相手に伝わるように文章で表現することができる。	・年間、月、週の行事を見通し、活動の内容を確認する。(OKTメモ、スケジュール帳の活用) ・1週間の振り返り(連絡帳)を行う。 ・各活動、学期の振り返り(キャリアパスポート)を行う。 ・活動の振り返りを行い、今後の行動改善につなげる。 ・タブレットで動画、写真を確認する活動を常に取り入れる。 ・生徒同士が伝え合う活動を、常に取り入れる。
		身体面 プログラム (認知作業 トレーニング)	身(1)姿勢と運動・動作の基本的技能に関すること 身(5)作業に必要な動作と円滑な遂行に関すること 環(1)保有する感覚の活用に関すること 環(4)感覚を総合的に活用した周囲の状況についての把握tp状況 ・拡大運動や巧緻動作の不器用さの改善を図ることができる。 ・協調運動の向上を図り、適切な筋力調整、動作の予測ができる。	・自分の身体の動きや使い方、物をコントロールする力の調整ができる。 ・作業に必要な基本動作を習得し、その巧緻性や持続性の向上を図るとともに、作業を円滑に遂行する能力を高めることができる。	【コグトレ】 ・自分の身体トレーニング(力加減と動き) ・物と自分の身体トレーニング(物のコントロール、手指の動き) ・人の身体と自分の身体トレーニング(模倣、動作の言語化)
		コグトレ プログラム (認知機能強化 トレーニング)	環(5)認知や行動の手掛かりとなる概念の形成に関すること ・視覚、聴覚制の短期記憶の向上、文章理解の向上を図ることができる。 ・注意力、集中力、処理速度の向上を図ることができる。 ・視覚認知の基礎力(模写、形の把握)の向上を図ることができる。 ・視覚認知の応用力(形の恒常性)の向上を図ることができる。 ・方略、論理的思考、関係性理解、時間概念の向上を図ることができる。	・基礎学習の土台作り(記憶力、言語理解力、注意力、知覚、推論力、判断力など)に積極的に取り組む事ができる。	【コグトレ】 ・「覚える」トレーニング ・「数える」トレーニング ・「写す」トレーニング ・「見つける」トレーニング ・「想像する」トレーニング
		社会面 プログラム (認知ソーシャル トレーニング)	心(1)情緒の安定に関すること・対人関係のスキルの向上を図ることができる。 環(2)他者の意図や感情の理解に関すること 環(3)自己理解と行動の調整に関すること 環(4)集団への参加の基礎に関すること コ(5)状況に応じたコミュニケーションに関すること ・感情統制を図ることができる。 ・適切な自己評価ができる。 ・適切な対人マナーを習得し、円滑なコミュニケーションを図ることができる。	・自分で感情をコントロールし、「他者と適切な関わりを保つことができる。 ・思いやりきや、思い込みで行う不適切な行動に気づき、改善することができる。 ・様々な状況での対人マナーを知り、活用することができる。	【コグトレ】 ・段階式感情トレーニング ・危険予知トレーニング ・対人マナートレーニング
		自己理解 他者理解	健(4)障害の特性の理解と生活環境の調整に関すること 心(3)障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲 人(3)自己理解と行動の調整 ・自分の障害の特性と学習や生活上における困難なこととの関連について理解し、自分の得意/苦手なことに気づくことができる。 ・自分の障害の状態を理解したり、受容したりして、障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服しようとする意欲の向上を図ることができる。	・障害により学習や生活上における困難なことがあることを理解することができる。 ・自分の得意なこと、不得意なことに気づくことができる。 ・自分自身より良い行動を選択できるために、今後やるべき事を言葉や文字で表現できる。	・「障害理解」に関する学習 ・「自己理解」に関する学習 ・生徒同士での話し合い活動を通し、自己理解、他者理解を促す。
		ヘルシー チーム	健(1)生活リズムや生活習慣の形成に関すること 健(5)健康状態の維持・改善に関すること ・生活リズムを整え日常生活における適切な健康の自己管理ができる。 ・社会生活に適した衛生習慣を身に付けることができる。 健(2)病気の状態の理解と生活管理に関すること ・自分の疾患などを理解し、正しく服薬、薬の管理をすることができる。	・健康のために生活リズムを整え、適切な運動習慣や食生活、服薬の必要性を理解することができる。 ・健康的な生活に向けて自分に必要な自己管理は何かを考えることができる。 ・健康の保持に向け自己管理ができる。	・自分が行った活動をメモをとり、習慣付けを促す。 ・自ら目標を立て、活動を振り返る。 ・睡眠、健康観察、検温、身体の保清(歯磨き、洗顔、着替え、手洗い、消毒、他)、水分補給、運動、栄養バランス、服薬
		コネクション チーム	心(1)情緒の安定に関すること 人(3)自己理解と行動の調整に関すること ・自分の気持ちを相手に他者に適切に伝えることができる。 ・状況に応じ適切な行動を行うことができる。	・自分の行動を振り返り、思いや考えを適切な言葉で表現することができる。 ・表情や言葉、声の調子や大きさから相手の気持ちを考えるなど状況に応じたコミュニケーションの基礎作りに取り組む事ができる。	・トーキングゲーム ・ソーシャルスキルトレーニング ・ロールプレイングゲーム ・アンガーマネジメント ・視覚の言語化 ・感情の言語化 ・その他
		プレゼンテーション チーム	コ(5)状況に応じたコミュニケーションに関すること ・時と場に応じた話題や言葉遣い、言動ができる。 自分の思いや考えを言葉で表現し、状況に応じた会話を楽しむことができる。	・場や相手に応じて適切な話し方ができる。 ・自分の気持ちに合う適切な言葉で表現することができる。 ・活動内容などを分かりやすく要約し伝えることができる。(図解化ができる) ・見聞きたことや調べたことを、会話の話題にすることができる。	・声のものさし ・トーキングゲーム ・ソーシャルスキルトレーニング ・ロールプレイングゲーム ・視覚の言語化 ・感情の言語化 ・図解化
		生徒個々の課題に応じた活動	生徒個々の目標	目標達成したと見なされる姿	・生徒個々に応じた活動 ・個人面談

留意点
引継ぎ等

2学年

単位数／ 配当時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	2学年		国語表現（大修館書店）

目標：（知・技）知識及び技能（思・判・表）思考力、判断力、表現力等（学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能（思・判・表）思考・判断・表現（主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標	（知・技）社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。（高知2） （思・判・表）筋道を立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げることができるようにする。（高知2） （学・人）言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。（高知2）					
	学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
	1学期	4月 ～ 7月 （26）	〔知・技〕言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解することができる。（ア・（エ））（高知1） 〔思・判・表〕「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、自分に関わる事柄の中から話題を決め、他者と話し合いながら情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討することができる。（B・（イ））（高知1） （学・人）自分のこれまで的人生を振り返ってまとめる活動に興味をもち、意欲的に取り組むことができる。	〔知・技〕言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解している。（思・判・表）「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、自分に関わる事柄の中から話題を決め、他者と話し合いながら情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。（主学）自分のこれまで的人生を振り返ってまとめる活動に興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。	【第1部】表現力を培う 4 自己PRと面接 レッスン1 自分を見つめて	・自己の良い点を考え5つ挙げ、メモする。 ・課題点を挙げ、改善するためにどんな取り組みが必要であるか考える。 ・自己PRを構成する。 ・面接で想定される質問を考える。 ・質問の意図を読み、答える練習をする。
〔思・判・表〕「話すこと・書くこと」において、目的や場に応じて、自分に関わる事柄の中から話題を決め、他者と話し合いながら情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討することができる。（学・人）効果的な自己PRをすることに興味をもち、意欲的に取り組むことができる。			〔思・判・表〕「書くこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、自分に関わる事柄の中から話題を決め、他者と話し合いながら情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。（主学）効果的な自己PRをすることに興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。	レッスン2 効果的な自己PR	・自己PRの構成メモを作る。 ・表現の工夫について考え、自己PRの原稿を書き、発表する。	
〔思・判・表〕「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の職業や自分に関わる事柄の中から適切な題材を集め、情報の組み合わせなどを考えて伝えたいことを明確にすることができる。（ア・（ロ））（高知1） （学・人）自分の将来を考えたり職業について調べてまとめたりの活動に興味をもち、意欲的に取り組むことができる。（B・（エ））（高知1）			〔思・判・表〕「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の職業や自分に関わる事柄の中から適切な題材を集め、情報の組み合わせなどを考えて、伝えたいことを明確にしている。（主学）自分の将来を考えたり職業について調べてまとめたりの活動に興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。	レッスン3 将来の自分を考えよう 【表現への扉】働く人の姿／なりたい「モデル」を見つめよう／データを読む⑨／データを読む⑩	・インターネットの活用、書籍、直接聞く機会をもつなどし、業界と職業について調べる。 ・構成メモを作る。 ・「将来の自分」を文章にまとめる。	
2学期	9月 ～ 12月 （30）	〔知・技〕話し言葉の特質や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解することができる。（ア・（エ））（高知2） （学・人）進んで共通語と方言との違いに関心をもち、学習課題に沿って、それらを理解することができる。	〔知・技〕話し言葉の特質や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解している。（主学）進んで共通語と方言との違いに関心をもち、学習課題に沿って、それらを理解しようとしている。	6 会話・議論・発表 レッスン1 相手や場面に応じた会話 レッスン2	・不適切な接客用語を適切な敬語に直す。 ・修正した台詞で店員と客のロールプレイを行う。 ・相手や状況に合わせて言葉遣いを演じ分ける。 ・場面にふさわしい表現ができたか自己評価する。	
		〔思・判・表〕「話すこと・聞くこと」において、視点や明確にして聞きながら、話の内容に対する共感を伝えたり、相手の思いや考えを引き出したりする工夫をして、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。（C・（イ））（高知2） （学・人）インタビュー活動に興味をもち、意欲的に活動に取り組むことができる。	〔思・判・表〕「話すこと・聞くこと」において、視点や明確にして聞きながら、話の内容に対する共感を伝えたり、相手の思いや考えを引き出したりする工夫をして、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。（主学）インタビュー活動に興味をもち、意欲的に活動に取り組もうとしている。	レッスン2 働く人にインタビュー	・相手を決め、手紙で電話で趣旨を伝えて依頼する。 ・仕事について下調べし、質問項目を作成する。 ・マナーを守って対話し、重要な発言を記録する。 ・内容を文章にまとめ、お礼状とともに相手に届ける。	
		〔思・判・表〕「話すこと・聞くこと」において、論点を明確にして自分の考えと比較しながら聞き、聞き取った情報をもとに自分の考えを広げたり深めたりすることができる。（ウ・（ア））（高知2） （学・人）話し合いをよりよく進めることに興味をもち、意欲的に取り組むことができる。	〔思・判・表〕「話すこと・聞くこと」において、論点を明確にして自分の考えと比較しながら聞き、聞き取った情報をもとに自分の考えを広げたり深めたりしている。（主学）話し合いをよりよく進めることに興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。	【第2部】表現を楽しむ 6 働く人にインタビュー	・否定を控え、自由に多くの案を出す（拡散）。 ・メリット・デメリットの観点から各案を整理する。 ・意見を絞り込み、集団の結論を導き出す（収束）。 ・役割や段階を意識して貢献できたか振り返る。	
3学期	1月 ～ 3月 （14）	〔知・技〕話し言葉の特質や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けることができる。（ア・（ロ））（高知1） 〔思・判・表〕「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、情報を収集、整理して、内容を検討することができる。（B・（ア））（高知1） （学・人）スピーチをすることに興味をもち、意欲的に取り組むことができる。	〔知・技〕話し言葉の特質や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けている。（思・判・表）「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、情報を収集、整理して、内容を検討している。（主学）スピーチをすることに興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。	レッスン3 スピーチをしよう	・テーマからマップ法などで自由に連想を広げる。 ・構成を考え、要点をまとめたメモを作成する。 ・聞き手を意識した発生と反応で場を盛り上げる。 ・話し方・聞き方を自己評価し次の課題をみつめる。	
		〔知・技〕相手を見て話したり聞いたりするとともに、間の取り方などに注意して話することができる。（ア・（イ））（高知1） 〔思・判・表〕相手に伝わるように、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫することができる。（A・（ア））（高知1） （学・人）言葉が持つよさを認識し、言語感覚を養うことができる。	〔知・技〕相手を見て話したり聞いたりしている。（活動の姿・ワークシート）相手に伝わるように、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫している。（活動の姿）（原稿用紙）（主学）相手に伝わるように言葉を選んで、適切に表現している。	1分スピーチ「新年の抱負を伝えよう」	○新年を迎え、新しい年に向けて抱負を1分間で発表する（発表者） ・原稿用紙1枚程度の新年の目標を書く。 ・言葉の抑揚、間の取り方（イ）等をづけ、発表練習をする。 （聞き手） ・大事なことを落とさずに聞き、メモを取る。 ・話題を意識して聞く。	
		〔思・判・表〕「書くこと」において、目的や意図に応じて、読み取った文章の要旨を明確にすることができる。（ア・（ロ））（高知2） （学・人）文章から読み取ったことをふまえて意欲的に自分の考えや感想を発表することができる。（C・（ア））（高知1）	〔思・判・表〕「書くこと」において、目的や意図に応じて、読み取った文章の要旨を明確にしている。（主学）文章から読み取ったことをふまえて意欲的に自分の考えや感想を発表しようとしている。	【第1部】表現力を培う レッスン3 文章を読み取って書く 【表現への扉】ロボット社会の本質／コインは円形か？	・「ロボット社会の本質」を読んで、キーワードを挙げ、また、なぜその言葉がキーワードだと思うかを理由を考え、ノートに書く、書いた内容を発表し合う。 ・キーワードで学がってきた言葉の意味を確認する。 ・挙がってきたキーワードをつづけて文章の要旨を考える。 ・文章の内容に対する感想や意見をノートに書く。	
留意点 引継ぎ等		〔知・技〕言葉には考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付くことができる。（ア・（ア））（高知1） 〔思・判・表〕「書くこと」において、相手や目的意識し、書くことを決め、伝えたいことを明確にすることができる。（B・（ア））（高知1） （学・人）時と場に応じた手紙を書くことができる。	〔知・技〕言葉には考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。（活動の姿・下書き）（思・判・表）「書くこと」において、相手や目的意識し、書くことを決め、伝えたいことを明確にしている。（活動の姿・下書き）（主学）書く内容の中心を明確にし、これまでの経験をいかして手紙を書くようとしている。	手紙「1年後の自分に手紙を書く」	○1年後の卒業を間近に控えた自分への手紙を書く。 ・1年後の自分をイメージすることで、自分の目標をしっかりと持ち目標に向かって活動する意欲を持つ。 ・手紙の目的を知り、1年後の自分をイメージする。 ・手紙の型にそって、内容を考える。 ・下書きを書き、読み返す。 ・消書きし提出する。	

令和8年度 高等部 2年 社会科 年間指導計画

単位数 ／配当時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	2学年50名		ひとりだちするための社会 楽しく学ぶ小学生の地図帳 自作プリント（ワークシート）

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)我が国の国土の様子と国民生活、自然環境の特色、先人の業績や優れた文化遺産、社会参加するためのきまり、公共施設の役割と制度、農業や水産業の現状、産業と経済との関わり、外国の様子について、様々な資料や具体的な活動を通して、社会生活との関連を踏まえて理解するとともに、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力、自分の生活と結び付けて考える力、社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを表現する力を養う。 (学・人)社会に主体的に関わろうとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚、我が国の国土に対する愛情、我が国の歴史や伝統を大切に国を愛する心情、我が国の産業の発展を願い我が国の将来を担う国民としての自覚や平和を願う日本人として世界の国々の人々と共に生きることの大切さについての自覚を養う。☒			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	13	(知及技) 我が国及び九州地方の概要について知ることができる。 沖縄本土復帰の大まかな内容を知ることができる。 (思判表力) 九州地方の地形や気候等の特色から人々の生活の様子について考えることができる。復帰前後の生活の様子を比較したり、現在に残る課題について考えることができる。 (学・人) 新聞記事やニュース等の見聞を通して、社会の動きに関心を持つとともに、学習の中で興味を持ったことについて詳しく調べることができる。	【評価基準】出席状況、授業態度、ワークシート、単元小テスト等 【指導の手立て】 (知・技) 我が国及び九州地方の概要が理解できている。 (思・判・表) 地形や気候等の地理的条件を生かした産業及び人々の生活の様子、沖縄県との違い等について考えることができる。沖縄戦前後の生活の様子を比較考察することができている。 (主学) 社会の動きに関心を持つとともに、学習の中で興味を持ったことについて詳しく調べることができている。	・我が国の国土 ・九州地方 ・郷土の移り変わり ・時事問題 ・調べ学習	・世界地図から日本を探そう、日本を構成する4島 ・行政区分と都道府県 ・都道府県クイズ（九州地方に属する都道府県） ・九州地方の概要（位置、所属県名、面積、人口、県庁所在地）等の調べ学習（地図帳・インターネットを活用） ・各県の地理的特色を生かした産業 ・沖縄県との比較 ・6.23、校外学習事前学習（目的地未定） ・ニュース動画や新聞記事の視聴、プリント学習 ・学習の中で興味を持ったことについての調べ学習（インターネットを活用）
2学期	15	(知及技) 修学旅行見学地のある関東地方の概要について理解することができる。 (思判表力) 関東地方の地形や気候等の特色から人々の生活の様子について考えることができる。また、修学旅行見学地について、調べたことをまとめることができる。 (学・人) 新聞記事やニュース等の見聞を通して、社会の動きに関心を持つとともに、学習の中で興味を持ったことについて詳しく調べることができる。	【評価基準】出席状況、授業態度、ワークシート、単元小テスト、夏休みの課題取り組み状況等 【指導の手立て】 (知・技) 関東地方の概要が理解できている。 (思・判・表) 地形や気候等の地理的条件を生かした産業及び人々の生活の様子、沖縄県との違い等について考えることができる。 (主学) 社会の動きに関心を持つとともに、学習の中で興味を持ったことについて詳しく調べることができている。	・修学旅行事前学習（見学地についての調べ学習） ・関東地方 ・時事問題 ・調べ学習	・関東地方の位置と所属県名（都道府県クイズ） ・修学旅行で行く予定の県（東京都・千葉県）、見学地についての調べ学習（地図帳・インターネットを活用） ・その他5県の概要（位置、人口、面積、県庁所在地等）の調べ学習（地図帳・インターネットを活用） ・各県の地理的特色を生かした産業 ・沖縄県との比較 ・ニュース動画や新聞記事の視聴、プリント学習 ・学習の中で興味を持ったことについての調べ学習（インターネットを活用）
3学期	7	(知及技) 外国の概要について理解することができる。 (思判表力) 上記の地域の地理的特色を生かした産業について考えることができる。 (学・人) 新聞記事やニュース等の見聞を通して、社会の動きに関心を持つとともに、学習の中で興味を持ったことについて詳しく調べることができる。	【評価基準】出席状況、授業態度、ワークシート、単元小テスト、冬休みの課題取り組み状況等 【指導の手立て】 (知・技) 外国の概要が理解できている。 (思・判・表) 地形や気候等の地理的条件を生かした産業及び人々の生活の様子について考えることができる。 (主学) 社会の動きに関心を持つとともに、学習の中で興味を持ったことについて詳しく調べることができている。	・外国の概要 ・上記の地方の地形や気候の特色、地理的条件を生かした産業及び人々の生活の様子 ・時事問題 ・調べ学習	・世界主要国の概要（位置、人口、面積、首都等）の調べ学習（地図帳・インターネットを活用） ・各国の地理的特色を生かした産業 ・日本との違いを考える ・ニュース動画や新聞記事の視聴、プリント学習 ・学習の中で興味を持ったことについての調べ学習（インターネットを活用）
留意点 引継ぎ等		・年間を通して、パワーポイントによる教示やインターネットでの調べ学習を活用した学習を行う。また、学習の導入でクイズや時事問題（ニュース・新聞記事等）を題材にすることで、生徒の興味・関心を高められるようにする。 ・学習進度が速い生徒については、調べ学習等の課題を準備する。			

令和8年度 高等部 2年 数学 年間指導計画

単位数 ／配当時数		児童生徒	担当者	教科書／副教材	
2/70		2学年 生徒50名		新編新しい算数5上下、新編新しい算数6 教科書びったりトレーニング 算数4年 教科書びったりトレーニング 算数5年 教科書びったりトレーニング 算数6年	
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		(知及技) 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解し、日常の事象を数学的に解釈したり、表現・処理したりする技能を身に付ける。【高知1】 (思判表力) 日常の事象を数理的に捉え、見通しをもち、筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形などの性質を統合的・発展的に考察する力、数学的に事象を表現したりする力を養う。【高知1】 (学・人) 数学的活動の楽しさやよさを実感し、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える、数学を生活や学習に活用する態度を養う。【高知1】			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	7	(知及技) 除法の計算が確実にでき、次の関係を理解することができる。 (被除数)＝(除数)×(商)＋(余り) (思判表力)数量の関に着目し、計算の仕方を考えたり、計算に関して成り立つ性質を見いだしたりするとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり、計算の確かめをしりすることができる。 (学・人)数量について数学的に表現・処理したことを振り返ることができる。	(知・技) 3桁÷2桁までの除法の計算が確実にでき、次の関係を理解している。(被除数)＝(除数)×(商)＋(余り)【ワークシート、単元テスト、学習の様子】 (思・判・表)数量の関に着目し、計算の仕方を考えたり、計算に関して成り立つ性質を見いだしたりすることができる。【単元テスト、学習の様子】 (主学)数量について学習したことを生活や学習に活用しようとしている。【学習の様子】	整数の除法	・文章問題 ・平均の値 ・買い物学習 ・電卓計算
	9	(知及技) 乗数や除数が小数である場合の小数の乗法及び除法の意味について理解し、正しく計算することができる。 (思判表力)乗数や除数が小数である場合まで数の範囲を広げて乗法及び除法の意味を捉え直すとともに、それらの計算の仕方を考えることができる。 (学・人)小数について数学的に表現・処理したことを振り返ることができる。	(知・技) 小数の乗法及び除法についても整数の場合と同じ関係や法則が成り立つことを理解している。【ワークシート、単元テスト、学習の様子】 (思・判・表)乗数や除数が小数である場合まで数の範囲を広げて乗法及び除法の意味を捉え直すとともに、それらの計算の仕方を考えている。【ワークシート、単元テスト、学習の様子】 (主学)小数について学習したことを生活や学習に活用しようとしている。【学習の様子】	小数の乗法及び除法	・小数の乗法除法 ・小数点の移動について(○×10、△×200) ・1より小さい数の乗法、除法の結果の考察
	10	(知及技) 等分してできる部分の大きさや端数部分の大きさを表すのに分数を用いることについて理解し、分数の表し方や計算方法について知ることができる。 (思判表力)数のまとまりに着目し、分数でも数の大きさを比べたり、計算したりできるかどうかを考えることができる。 (学・人)分数について数学的に表現・処理したことを振り返ることができる。	(知・技) 2桁までの同分母の分数の加法及び減法の計算を正しくおこなっている。【ワークシート、単元テスト、学習の様子】 (思・判・表)数のまとまりに着目し、分数でも数の大きさを比べたり、計算したりできるかどうかを考えている。【ワークシート、学習の様子】 (主学)分数について学習したことを生活や学習に活用しようとしている。【学習の様子】	分数とその計算	・分数の乗法、除法とその意味 ・1/2倍、1/4倍 ・0.5と1/2について
2 学期	15	(知及技) ・立方体、直方体について知り、直方体に関連して、直線や平面の平行や垂直の関について理解することができる。 ・平面上、空間上の点の位置の表し方を理解することができる。 ・見取り図、展開図について知り、基本的な角柱や円柱について理解することができる。 (思判表力)図形を構成する要素及びそれらの位置関に着目し、立体図形の平面上での表現や構成の仕方を考察し、図形の性質を見いだすことができる。 (学・人)立体を構成する要素及びそれらの位置関に着目し、その性質を基に既習の図形を捉え直すことができる。	(知・技) 立方体や直方体、基本的な角柱、円柱の特長を知り、その図形の直線や平面の平行や垂直の関、見取り図、展開図を理解しようとしている。 (思・判・表)図形を構成する要素及びそれらの位置関に着目し、立体図形の平面上での表現や構成の仕方を考察し、図形の性質を見いだすそうとしている。 (主学)立体を構成する要素及びそれらの位置関に着目し、その性質を基に既習の図形を捉え直すそうとしている。	立体図形	・立方体、直方体 ・見取り図と展開図 ・角柱、円柱 ・位置の表し方
	15	(知及技) 三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積の計算による求め方について理解することができる。 (思判表力)図形を構成する要素などに着目して、基本図形の面積の求め方を公式として表現することができる。 (学・人)面積を求める活動を通して、図形の性質を見いだすとともに、その性質を基に既習の図形を捉え直すことができる。	(知・技) 三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積を考え、計算して求めようとしている。 (思・判・表)図形を構成する要素に着目し、基本図形の面積の求め方を見いだすとともに、その表現を振り返り、簡潔かつ的確に公式として表現している。 (主学)面積を求める活動を通して、図形の性質を見いだすとともに、その性質を基に既習の図形を捉え直すそうとしている。	平面図形の面積	・基本的な図形の広さ ・面積の公式
3 学期	5	(知及技) 簡単な場合について、比例の関があることを知り、速さなど単位量当たりの大きさを求めることができる。 (思判表力)伴って変わる二つの数量を見いだして、それらの関に着目し、表や式を用いて変化や対照の特徴を考察することができる。 (学・人)伴って変わる二つの数量の関に数学的に表現・処理したことを振り返ることができる。	(知・技) 比例の意味を理解し、その関係性から速さなど単位量当たりの大きさを求めようとしている。【ワークシート、単元テスト、】 (思・判・表)異種の二つの量の割合として捉えられる数量の関に着目し、目的に応じて大きさを比べたり、表現したりする方法を考察しようとしている。【ワークシート、単元テスト】 (主学)伴って変わる二つの数量の関に数学的に表現・処理したことを振り返ろうとしている。【学習の様子】	伴って変わる二つの数量	・比例 ・単位あたりの量
	5	(知及技) ある二つの数量関と別の二つの数量の関を比べる場合に割合を用いる場合があることを理解し、百分率を用いた割合などを求めることができる。 (思判表力)日常の事象における数量の関に着目し、図や式などを用いて、ある二つの数量の関と別の二つの数量の関との比べ方を考察することができる。 (学・人)二つの数の関について数学的に表現・処理したことを振り返ることができる。	(知・技) ある二つの数量関と別の二つの数量の関を比べる場合に割合を用いる場合があることを理解し、百分率を用いて割合をもとめようとしている。【ワークシート、単元テスト】 (思・判・表)日常の事象における数量の関に着目し、図や式などを用いて、ある二つの数量の関と別の二つの数量の関との比べ方を考察しようとしている。【ワークシート、単元テスト】 (主学)二つの数の関について数学的に表現・処理したことを振り返ろうとしている。【学習の様子】	二つの数量の関	・割合(百分率) ・二変量の比較
	4	(知及技) 数量の関を割合で捉え、円グラフや帯グラフで表したり、読んだりすることや、円グラフや帯グラフの意味、それらを用いて理解することや、円グラフや帯グラフの作成方法や適切な手法の選択など統計的な問題解決の方法を知ることができる。 (思判表力)データの特徴や傾向に着目し、その結論について多面的に捉え考察することができる。 (学・人)データを集めて分類整理し、問題を解決するために適切なグラフを作成及び選択し、その結論について多面的に捉え考察することができる。 (学・人)円グラフや帯グラフに関して、数学的に表現・処理したことを振り返ることができる。	(知・技) 数量の関から割合を求め、円グラフや帯グラフで表したり、円グラフや帯グラフをデータ分析に適切に用いようとしている。データの収集や適切な手法の選択などを理解しようとしている。 (思・判・表)データの特徴や傾向に着目し、その結論について多面的に捉え考察しようとしている。 (主学)データを集めて分類整理し、問題を解決するために適切なグラフを作成及び選択し、その結論について多面的に捉え考察しようとしている。 (主学)実生活の中にある円グラフや帯グラフに関して、自ら特長や傾向を考察しようとしている。	データの収集とその分析	・円グラフ ・帯グラフ ・データの収集 ・グラフの作成
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 高等部 2年 理科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	理科2年 50名		自作プリント

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)自然に親しみ、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって、観察、実験などを行う事などを通して、自然の事物・現象について問題を科学的に解決するために必要な資質・能力を育成できる。 (思判表力)自然の事物・現象について調べる中で、見いだした疑問について、既習の内容を基に予想し、表現することができる。 (学・人)安全に実験できているか、また、学習した内容を日常生活における身近な事物・現象に結びつけ、意欲的に理解しようとする事ができる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	6	(知及技)天気の変化の規則性について理解する。 (思判表力)天気の変化について調べる中で、天気の変化の仕方と雲の量や動きについて考えたこと・分かったことをプリントにまとめ、表現することができる。 (学・人)天気の変化の規則性について調べ、学んだことを生活に活かすことができる。	(知・技)天気の変化は気象情報から予想できること、規則性があることを理解しようとしている。 (思・判・表)天気の変化について調べる中で、天気の変化の仕方と雲の量や動きについて考えたこと・分かったことをプリントにまとめ、表現しようとしている。 (主学)天気の変化の規則性について調べ、学んだことを生活に活かそうとしている。	・天気の変化	・オリエンテーション ・大気圧について理解する。 ・簡易的に雲を作り、雲が発生する仕組みや原理を理解する。 ・台風発生仕組みや前線について学ぶ。 ・天気記号を覚える。 ・ICT機器を用いて、天気予報を活用することができる。 ・単元テスト（天気の変化）
	7	(知及技)流れる水の働きおよび土地の変化について理解する。 (思判表力)流れる水の働き、地層や地震の発生原理、地震による土地の変化について、ICT技術を活用した調べ学習や実験を通して確かめることで、考えたこと、気付いたことをプリントにまとめ、表現することができる。 (学・人)グループと協力して実験・調べ学習などを行い、主体的に授業に参加することができる。また、地震について学んだことを生活に活かすことができる。	(知・技)流れる水の働きおよび土地の変化について理解している。 (思・判・表)流れる水の働き、地層や地震の発生原理、地震による土地の変化について、ICT技術を活用した調べ学習や実験を通して確かめることで、考えたこと、気付いたことをプリントにまとめ、表現しようとしている。 (主学)グループと協力して実験・調べ学習などを行い、主体的に授業に参加している。また、地震について学んだことを生活に活かそうとしている。	・流れる水の働きと土地の変化 ・土地のつくりと変化	・視聴覚教材を利用し、上流と下流における石の粒の大きさや形の違いを学ぶ。 ・プレートテクトニクスについて理解する。 ・地震発生仕組みについて学ぶ。 ・共振現象について理解する。
2学期	7	(知及技)月と太陽の関係を理解するとともに、観察、実験などに関する初歩的な技能を身につける。 (思判表力)月の形の見え方についての実験を行う中で、月の位置や形と太陽の位置との関係について、考えたこと、気付いたことをプリントにまとめ、表現できる。 (学・人)グループと協力して観察・調べ学習などを行い、主体的に授業に参加することができる。	(知・技)月の役割について理解し、太陽の活動について模型や視覚教材を使って学習することで、月と太陽について理解している。 (思・判・表)月の形の見え方についての実験を行う中で、月の位置や形と太陽の位置との関係について、考えたこと、気付いたことをプリントにまとめ、表現しようとしている。 (主学)グループと協力して観察・調べ学習などを行い、主体的に授業に参加している。	・月と太陽	・月が地球の衛星であることを理解し、位置と見え方について説明できる。 ・太陽が恒星であることを理解し、太陽系について説明できる。 ・月の形の見え方についての実験を行う中で、月の位置や形と太陽の位置との関係について理解する。 ・単元テスト（流れる水の働きと土地の変化・土地のつくりと変化・月と太陽）
	8	(知及技)てこの原理を理解するとともに、観察、実験などに関する初歩的な技能を身につける。 (思判表力)力を加える位置や力の大きさとしてこの働きとの関係について実験を通して確かめることで、結果や考えたこと、気付いたことをプリントにまとめ、表現できる。 (学・人)グループと協力して観察・実験を行い、自ら主体的に授業に参加することができる。また、てこについて学んだことを生活に活かすことができる。	(知・技)力のモーメントについて理解し、てこについての観察、実験を通して、実験に関する初歩的な技能を身につけようとしている。 (思・判・表)力を加える位置や力の大きさとしてこの働きとの関係について実験を通して確かめることで、結果や考えたこと、気付いたことをプリントにまとめ、表現しようとしている。 (主学)グループと協力して観察・実験を行い、自ら主体的に授業に参加している。また、てこについて学んだことを生活に活かそうとしている。	・てこの原理	・身近にあるてこを探してみよう。 ・支点、力点、作用点の力のモーメントについて説明できる。 ・スプーン曲げに挑戦する。 ・シュガースティックの重さを、力のモーメントを用いて測る。
3学期	7	(知及技)運動の三法則を理解するとともに、観察、実験などに関する初歩的な技能を身につける。 (思判表力)運動の三法則について、慣性の法則、運動の法則、作用・反作用の法則の実験を通して、考えたこと、気付いたことをプリントにまとめ、表現できる。 (学・人)グループと協力して観察・実験を行い、自ら主体的に授業に参加することができる。	(知・技)運動の三法則について理解し、観察・実験などに関する初歩的な技能を身につけようとしている。 (思・判・表)運動の三法則について、慣性の法則、運動の法則、作用・反作用の法則の実験を通して、考えたこと、気付いたことをプリントにまとめ、表現しようとしている。 (主学)グループと協力して観察・実験を行い、自ら主体的に授業に参加している。	・運動の三法則	・慣性の法則について、予想や仮説を立て、実験する。 ・運動の法則について理解する。 ・作用・反作用について理解する。 ・ペットボトルロケットの製作。 ・単元テスト（てこの原理・運動の三法則）
留意点 引継ぎ等					

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
	2学年 50名		【教科書】音楽の友社「ON!1」 教育芸術社「MOUSAI」 【副教材】自作プリント、視聴覚教材

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等

評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知・技) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作、身体表現の技能を身に付けるようにする。【高知Ⅰ】 (思・判・表)音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを自分なりに見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。【高知Ⅰ】 (学・人)主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しみ、音楽経験を生かして生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。【高知Ⅰ】			
学期	時数	単元・題材名	単元の目標	評価規準	主な活動と評価方法
1学期	12	リズムアンサンブルを楽しもう ・ボディパーカッション	(知及技) リズムの重なりや構成を理解することができる。 (思判表力) 全体構成を考えて役割を果たすことができる。 (学・人) 協働して音楽を創り上げようすることができる。	(知・技) 構成を理解しテンポに合わせて演奏している。 (思・判・表) 自分の音や周囲の音を聴いて、演奏を調整している。 (主学) アンサンブルの楽しさを味わい、自分の役割に責任をもって活動している。	・リズム、強弱記号の理解 ・拍子感、テンポ感の習得 ・アンサンブルの練習 《活動の様子、学習の記録》
		日本の歌を味わう ・教科書より	(知及技) 旋律の特徴を理解し、音程や抑揚を意識して歌うことができる。歌詞の意味を理解し、曲想に合った声の出し方を身につける。 (思判表力) 歌詞の内容から情景や気持ちを想像し、自分なりの表現を工夫できる。 (学・人) 歌唱活動に前向きに参加し、練習を重ねることができる。	(知・技) 歌詞の意味を理解し、曲想に合った声で歌おうとしている。 (思・判・表) 歌詞の内容から感じたことを短い言葉で説明できる。曲の雰囲気に合わせて歌い方を工夫しようとしている。 (主学) 仲間と協力しながら歌おうとしている。	・日本歌曲の美しさを味わう ・歌詞の情景、意味理解 ・自分なりの意図をもった歌唱表現 《学習プリント、活動の様子、学習の記録、テスト》
		八長調の曲を演奏しよう ・階名（八長調） ・鍵盤	(知及技) 音楽要素を理解して素材を選ぶことができる。 (思判表力)。 (学・人)。	(知・技) 音楽要素を踏まえている。 (思・判・表) 意図が表現に表れている。 (主学) 自ら工夫して活動している。	・意図をもった音楽材の選択 ・構成を考えた創作 《学習プリント、活動の様子、テスト》
2学期	14	世界の音楽① ・鑑賞	(知及技) 世界のさまざまな音楽を聴き、その特徴や文化の違いに気づくことができる。 (思判表力) 音楽の特徴がどのように違うかを考え、違いから感じたことや気づいたことを自分の言葉で表現することができる。 (学・人) 異文化の音楽に親しみ、興味を持って鑑賞することができる。	(知・技) 世界のさまざまな音楽の特徴や違いについて知ろうとしている。 (思・判・表) 音楽の違いや良さを味わい、感じたことを自分の考えを含めて表現しようとしている。 (主学) さまざまな音楽に関心を持ち、意欲的に鑑賞している。	・さまざまな音楽の特徴及び文化理解 ・音楽の多様性理解 ・異文化尊重の態度 ・興味関心の幅を広げる ・感じたことの言語化・共有 《学習プリント、活動の様子、学習の記録》
		世界の音楽② ・調べたことを発表（iPad）	(知及技) 世界のさまざまな音楽や楽器について調べ、その特徴についてまとめることができる。 (思判表力) 音楽の良さについて自分の言葉で分かりやすくまとめて発表することができる。 (学・人) さまざまな音楽に親しみ、興味関心を持って発表及び鑑賞することができる。	(知・技) 音楽や楽器の特徴や良さについて調べている。 (思・判・表) 調べて分かったことや感じたことを自分の言葉でまとめている。（発表を聞く側も） (主学) 発表及び鑑賞に意欲的に取り組んでいる。	・調べ学習、スライド作成 ・プレゼンの練習 ・他者の興味関心への尊重 《活動の様子、学習の記録、テスト》
		外国語の歌に挑戦しよう ・教科書より	(知及技) 外国語の歌詞、言語の違いによる発音・アクセントの特徴を体験し、表現の幅を広げることができる。 (思判表力) 歌詞の意味や曲の雰囲気を感じ取り、表現に生かすことができる。 (学・人) 外国語の歌に興味を持ち、発音や歌い方などについて関心を持って取り組むことができる。	(知・技) 外国語の発音を意識しながら歌っている。 (思・判・表) 歌詞の意味や曲の雰囲気を感じ取り、表現しようとしている。 (主学) 練習に集中し、発音や歌い方を改善しようとする姿勢が見られる。	・外国語の歌詞の意味理解 ・発音やアクセントの練習 ・歌唱の練習（例：サビのみ） 《活動の様子、学習の記録》
3学期	9	歌唱表現を深めよう ・卒業式のうた	(知及技) 歌詞と旋律の関係を理解し、表現に生かすことができる。 (思判表力) 曲想に応じた歌い方を考え、工夫して表現することができる。 (学・人) よりよい表現を目指して粘り強く取り組むことができる。	(知・技) 歌詞や旋律の特徴を理解して歌っている。 (思・判・表) 曲想を踏まえた表現の工夫が見られる。 (主学) 表現を高めようと主体的に取り組んでいる。	・歌詞の内容理解と曲想分析 ・フレーズを意識した歌唱 ・発表を意識した表現練習 《活動の様子、学習の記録》
		舞台音楽の魅力 ・オペラとは ・ミュージカルとは	(知及技) オペラとミュージカルの特徴（歌い方、言葉、音楽、表現の仕方）について知ることができる。 (思判表力) 見聞きして分かったことや感じたことなどを自分なりに理由をもって伝えることができる。 (学・人) 興味関心を持って参加することができる。	(知・技) オペラとミュージカルの違いについて理解している。 (思・判・表) 鑑賞した音楽について感じたことを自分の言葉で表現しようとしている。 (主学) オペラやミュージカルの鑑賞や活動に、意欲をもって参加している。	・特徴や魅力の比較 ・感じたことの言語化・共有 《学習プリント、活動の様子、学習の記録》
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 高等部 2年 美術科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	2年		新・高校生の美術Ⅰ（日文）

目標：（知及技）知識及び技能（思判力表）思考力、判断力、表現力等（学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能（思判・表）思考・判断・表現（主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知・技）造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。（高知1） （思判表）造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫などについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化などに に対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。（高知1） （学・人）楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。（高知1）			
学 期	時 数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学 期	4	〔知・技〕形や色彩、材料や光などの働きを理解し、材料や用具の特性の生かし方などを身に付け、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができる。（高知1共通事項）（高知1A表現） （思・判・表）美術作品などの造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えながら、見方や感じ方を広げることができる。（高知1A鑑賞） （学・人）楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度をもつ。（高知1）	〔知・技〕教科書2Pの作品を鑑賞し、美術の見方や考え方について理解しようとしている。教師の説明を聞いて授業の見通しを立てることができる。（思・判・表）作品の良さや面白さを感じ取り、意図と工夫などについて考えようとしている。（主学）作品の鑑賞やネームプレート制作に主体的に取り組もうとしている。（制作や鑑賞への取り組み・ワークシート記入・作品の提出）	・オリエンテーション（教科書：2～4P）	「オリエンテーション」・「そらあみ（高めぐり）」を通して（教科書：2P） ・ネームプレート制作
	6	〔知・技〕形や色彩、材料や光などの働きを理解し、材料や用具の特性の生かし方などを身に付け、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができる。（高知1共通事項）（高知1A表現） （思・判・表）対象や事象を見つめ感じ取ったことや考えたこと、伝えたり使ったりする目的や条件などを基に主題を生み出し、構成を創意工夫し、心豊かに表現する構想を練ることができる。（高知1A表現） （学・人）楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度をもつ。（高知1）	〔知・技〕色の知覚や表現の仕組み、配色の効果など、色彩への理解を深めようとしている。（思・判・表）色彩の特性や混色の面白さを知り、工夫して色相環を表そうとしている。（主学）色彩基礎の学習や色相環制作に主体的に取り組もうとしている。（制作や鑑賞への取り組み・ワークシート記入作品の提出）	・色彩（教科書：技法資料151・153P）	「色彩」 ・絵具を混色して12色相環を表そう（教科書：技法資料152P） ◎参考資料 ・色の知覚や表現の仕組み、配色の効果など、色彩への理解を深める。（教科書：技法資料152P）
	16	〔知・技〕形や色彩、材料や光などの働きを理解し、材料や用具の特性の生かし方などを身に付け、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができる。（高知1共通事項）（高知1A表現） （思・判・表）対象や事象を見つめ感じ取ったことや考えたこと、伝えたり使ったりする目的や条件などを基に主題を生み出し、構成を創意工夫し、心豊かに表現する構想を練ることができる。（高知1A表現） （学・人）楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度をもつ。（高知1）	〔知・技〕色彩、質感などの効果、全体のイメージを捉え、鉛筆の特性を生かして表そうとしている。（思・判・表）身近なものの特徴を基に、形や色彩、質感などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞をしようとしている。（主学）身近なものの特徴や美しさを捉えて表す創造活動に主体的に取り組もうとしている。（制作や鑑賞への取り組み・ワークシート記入・作品の提出）	・鉛筆デッサン（教科書：技法資料125P） （教科書：8～11p）	「ものの魅力や愛着を表す」 ・身近なものの特徴や美しさをとらえて鉛筆デッサンで表す。（教科書8・9p） ・「葛西由香の視点と表現」を通して（教科書10・11p） ◎参考資料 ・鉛筆デッサンの用具・材料、鉛筆の種類や特性、基本的な描き方などについて理解を深める。（教科書：技法資料125P）
2 学 期	10	〔知・技〕形や色彩、材料や光などの働きを理解し、材料や用具の特性の生かし方などを身に付け、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができる。（高知1共通事項）（高知1A表現） （思・判・表）対象や事象を見つめ感じ取ったことや考えたこと、伝えたり使ったりする目的や条件などを基に主題を生み出し、構成を創意工夫し、心豊かに表現する構想を練ることができる。（高知1A表現） （学・人）楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度をもつ。（高知1）	〔知・技〕木版画による形や色彩の効果、作風を捉え、影や彫りの特性を生かして表そうとしている。（思・判・表）表したいもののイメージを基に、彫りや彫りなどの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりしようとしている。（主学）木版画の特性を生かして表す創造活動に主体的に取り組もうとしている。（制作や鑑賞への取り組み・ワークシート記入・作品の提出）	・木版画（教科書：12・13P） （教科書：技法資料139P）	「木版画」 ・創造の舞台裏「木版画家彦坂木版工房」をテーマに（教科書：12・13P） ◎参考資料 ・版画の種類や各技法の特性を理解し、制作に生かす。（教科書：技法資料139P）
	10	〔知・技〕形や色彩、材料や光などの働きを理解し、材料や用具の特性の生かし方などを身に付け、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができる。（高知1共通事項）（高知1A表現） （思・判・表）対象や事象を見つめ感じ取ったことや考えたこと、伝えたり使ったりする目的や条件などを基に主題を生み出し、構成を創意工夫し、心豊かに表現する構想を練ることができる。（高知1A表現） （学・人）楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度をもつ。（高知1）	〔知・技〕形や質感、動静などの効果、全体のイメージなどを捉え、材料や用具、技法の特性を生かして表そうとしている。（思・判・表）人物の印象などを基に、質感や重心などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりしようとしている。（主学）人物の内面を捉えて立体で表す創造活動に主体的に取り組もうとしている。（制作や鑑賞への取り組み・ワークシート記入・作品の提出）	・彫刻（教科書：12・13P）	「人を立体で表す」 ・人体のもつ生命感や存在感をどんなイメージで表したいか考え、素材の特性を生かし、立して表現する（教科書：12・13P） ◎参考資料 「想像」 ・技法や素材の特性を理解し、制作に生かす。（教科書：技法資料144P）
	10	〔知・技〕形や色彩、材料や光などの働きを理解し、材料や用具の特性の生かし方などを身に付け、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができる。（高知1共通事項）（高知1A表現） （思・判・表）対象や事象を見つめ感じ取ったことや考えたこと、伝えたり使ったりする目的や条件などを基に主題を生み出し、構成を創意工夫し、心豊かに表現する構想を練ることができる。（高知1A表現） （学・人）楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度をもつ。（高知1）	〔知・技〕形や色彩、レイアウトなどの効果、全体のイメージを捉え、目的や計画を基に意図的に表そうとしている。（思・判・表）中身のイメージなどを基に、形や色彩などの伝達効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりしようとしている。（主学）イメージが伝わるパッケージデザインする創造活動に主体的に取り組もうとしている。（制作や鑑賞への取り組み・ワークシート記入・作品の提出）	・パッケージのデザイン（教科書：66・67P）	「『パッケージのデザイン』 ・どんなものかのようなイメージを伝えるのかを考えて思いつき手が伸びてしまうようなパッケージをデザインする（教科書：66・67P） ◎参考資料 「パッケージのデザイン」 ・カメラの種類、カメラの仕組み、一枚で表す写真の撮り方（教科書：技法資料146・147P） （教科書：82・83P）
3 学 期	8	〔知・技〕形や色彩、材料や光などの働きを理解し、材料や用具の特性の生かし方などを身に付け、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができる。（高知1共通事項）（高知1A表現） （思・判・表）対象や事象を見つめ感じ取ったことや考えたこと、伝えたり使ったりする目的や条件などを基に主題を生み出し、構成を創意工夫し、心豊かに表現する構想を練ることができる。（高知1A表現） （学・人）楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度をもつ。（高知1）	〔知・技〕墨の濃淡、線の強弱などの効果、全体のイメージや作風を捉え、墨や筆の特性を生かして表そうとしている。（思・判・表）表したいイメージなどを基に、墨による表現の効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりしようとしている。（主学）墨による表現の特性を生かして表す創造活動に主体的に取り組もうとしている。（制作や鑑賞への取り組み・ワークシート記入・作品の提出）	・墨で描く（教科書：26・27P）	「墨・水・筆の世界」 ・墨と水と筆の特性を生かして表したいイメージを表現しよう。（教科書：26・27P）
	6	〔知・技〕形や色彩、材料や光などの働きを理解し、材料や用具の特性の生かし方などを身に付け、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができる。（高知1共通事項）（高知1A表現） （思・判・表）対象や事象を見つめ感じ取ったことや考えたこと、伝えたり使ったりする目的や条件などを基に主題を生み出し、構成を創意工夫し、心豊かに表現する構想を練ることができる。（高知1A表現） （学・人）楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度をもつ。（高知1）	〔知・技〕構図や色彩、光や影、時間などの効果、全体のイメージを捉え、カメラの特性を生かして表そうとしている。（思・判・表）被写体の印象などを基に、見えないものを表すための効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりしようとしている。（主学）目に見えないものを写真で表す創造活動に主体的に取り組もうとしている。（制作や鑑賞への取り組み・ワークシート記入・作品の提出）	・写真の表現（教科書：技法資料146・147P） （教科書：82・83P）	「目に見えないものを写す」 ・写真の基礎技法を活用して目には見えないものや動きを表す写真を撮る。（教科書：82・83P） ◎参考資料 「写真の基礎」 ・カメラの種類、カメラの仕組み、一枚で表す写真の撮り方（教科書：技法資料146・147P）
年間を通して		〔知〕形や色彩、材料や光などの働きを理解することができる。（高知1共通事項） （思・判・表）美術作品などの造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えながら、見方や感じ方を広げることができる。（高知1A鑑賞） （学・人）楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度をもつ。（高知1）	〔知・技〕構図や色彩、全体のイメージや作風、様式などを捉えようとしている。（思・判・表）作品のよさや美しさなどを感じ取り、作者の意図や工夫について考えようとしている。（主学）作品を鑑賞する創造活動に主体的に取り組もうとしている。（鑑賞への取り組み・ワークシート記入）	・鑑賞『萩原守衛の抗夫』（教科書：32・33P）『レオナルド・ダ・ヴィンチ』（教科書：38・39P）『彦摩羅風』（教科書：40・45P）『ソール・ライター』（教科書：84・85P）	「鑑賞」 ・作品を鑑賞し、形や色、構成などからよさや美しさを感じ取り、その特徴を読み取る。グループでの対話的な活動を通して、自分の考えを発表するとともに他者の見方や感じ方に触れ、作品に対する理解や考えを深める。
留意点 ／引き等					

単位数 ／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
3／105	2 学年 5 0 名		なし

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)各種の運動の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能等や心身の発育・発達、個人生活に必要な健康・安全に関する事柄などを理解するとともに、技能を身に付けるようにする。(高1段階) (思判表力)各種の運動や健康・安全な生活を営むための自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを、他者に伝える力を養う。(高1段階) (学・人)各種の運動における多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自己の最善を尽くして自主的に運動をする態度を養う。また、健康・安全に留意し、健康の保持増進と回復に積極的に取り組む態度を養う。(高1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期 (3 9)		(知及技)運動やスポーツの多様性、効果と学び方、安全な行い方及び文化としてのスポーツの意義に気付くこと。 (思判表力)運動やスポーツの多様性、効果と学び方、安全な行い方及び文化としてのスポーツの意義についての課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えること。 (学・人)運動やスポーツの多様性、効果と学び方、安全な行い方及び文化としてのスポーツの意義についての学習に積極的に取り組むこと。	(知・技)授業で行う運動の効果と学び方、安全な行い方を理解している。 (思・判・表)運動やスポーツの効果と学び方、安全な行い方について考えている。 (主学)学習に積極的に取り組んでいる。	体育理論	・体育の基本的な知識について ・健康管理について ・授業で行う運動の効果と学び方、安全な行い方 ・集合・整列・隊形移動
		(知及技)体を動かす楽しさや心地よさを味わい、その行い方や方法を理解するとともに、動きを持続する能力などを高めることができる。 (思判表力)自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりすることができる。 (学・人)きまりを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動することができる。	(知・技)各種目の行い方や方法を理解している。10分間走の意義を理解し意欲的に取り組んでいる。 (思・判・表)自己の課題を考え、工夫して取り組んでいる。自他の課題を仲間と考え相談している。 (主学)きまりを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に取り組んでいる。	体づくり運動 ・集団行動 ・体力を高める運動	・集団行動の意義と行い方 ・10分間走 ・筋力トレーニング ・短距離走、持久走、ボール投げ、走幅跳、走高跳、反復横跳び、立幅跳、シャトルラン ・仲間と協力して準備や片付けをする ・きまりを守り安全に活動に取り組む
		(知及技)水泳運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解し、基本的な技能を身に付けること。 (思判表力)水泳運動についての自分やグループの課題を見付け、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えること。 (学・人)水泳運動に積極的に取り組み、きまりなどを守り、友達と助け合ったり、場や用具の安全に留意したりし、自己の力を発揮して運動をすること。	(知・技)クロールまたは平泳ぎの行い方を理解し、ゆっくり長く泳ぐことができる。 (思・判・表)自己の課題を見つけ、上達のために練習に取り組んでいる。 (主学)きまりを守り安全に留意して取り組んでいる。	水泳 ・平泳ぎ ・クロール	・基本的な技能の練習（バタ足、けのび） ・補助具を使って泳ぐ ・クロールまたは平泳ぎの練習 ・泳力測定 ・準備体操 ・きまりを守り安全に活動に取り組む
		(知及技)健康、安全に関わる自他の課題を発見し、この解決のための方策を工夫したり仲間と考えたりしたことを他者に伝えること。	(知及技)健康、安全に関わる問題や課題を知り、この解決のための知識や方策を知る。 ペーパーテストで評価する。	保健学習	活動に適する環境 熱中症の予防と手当
2 学期 (4 5)		(知及技)ダンスの楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解するとともに、技能を身に付け、表現や踊りを通した交流をすること。 (思判表力)ダンスについての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えること。 (学・人)ダンスの多様な経験を通して、仲間の表現を認め助け合ったり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすること。	(知・技)ダンスの振り付けを覚え、仲間と楽しんで踊る。 (思・判・表)ダンスについての自他の課題を発見し、課題解決のために工夫して取り組んだり、仲間と考えたりしている。 (主学)仲間の表現を認め助け合ったり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動している。	ダンス ・エイサー（郷土の踊り） ・リズム、創作ダンス	・エイサー練習 ・特体連ダンス練習 ・仲間と協力して準備や片付けをする ・きまりを守り安全に活動に取り組む
		(知及技)陸上競技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付けること。 (思判表力)陸上競技についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えること。 (学・人)陸上競技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすること。	(知・技)陸上競技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付ける。 (思・判・表)陸上競技についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしている。 (主学)陸上競技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動している。	陸上競技 ・短距離走 ・長距離走 ・跳躍 ・投擲	・種目ごとの競技の行い方 ・100m走、リレー ・走り幅跳び ・走り高跳び ・ソフトボール投げ ・持久走 ・駅伝 ・仲間と協力して準備や片付けをする ・きまりを守り安全に活動に取り組む
		(知及技)心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等を理解するとともに、健康で安全な個人生活を営むための技能を身に付けることができる。 (思判表力)健康・安全に関わる自他の課題を発見し、この解決のための方策を工夫したり仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。	(知・技)授業毎の課題、プリントへ取り組む姿勢で評価する。ペーパーテストで評価する。 (思・判・表)健康、安全に関わる問題や課題を知り、この解決のための知識や方策を知る。	保健学習	・知的機能と情緒機能の発達 ・社会性の発達と自立 ・自己形成 ・欲求
3 学期 (2 1)		(知及技)球技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付け、簡易化されたゲームを行うこと。 (思判表力)球技についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えること。 (学・人)球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすること。	(知・技)球技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付け、簡易化されたゲームを行おうとしている。 (思・判・表)球技についての自他の課題を発見し、課題に応じた練習を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えようとしている。 (主学)球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力して分担した役割を果たそうとしたり、場や用具の安全を確保するなど自主的に運動を行おうとしている。	球技 ・バドミントン ・バスケットボール ・ソフトボール ・サッカー ・キックベースボール ・ドッジボール	・種目ごとの競技の行い方 ・基本的な技能の練習 ・簡易ゲーム ・仲間と協力して準備や片付けをする ・きまりを守り安全に活動に取り組む
		(知及技)心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等を理解するとともに、健康で安全な個人生活を営むための技能を身に付けることができる。 (思判表力)健康・安全に関わる自他の課題を発見し、この解決のための方策を工夫したり仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。	(知・技)授業毎の課題、プリントへ取り組む姿勢で評価する。ペーパーテストで評価する。 (思・判・表)健康、安全に関わる問題や課題を知り、この解決のための知識や方策を知る。	保健学習	・心と体の関わり方とストレス ・ストレスの対処の仕方 ・リラクゼーションの方法
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 高等部 2年 情報 年間指導計画

単位数 ／配当時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	2学年		自作プリント、スライド等 文部科学省情報モラル教材・動画 日本情報処理検定問題

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、身近にある情報機器の操作の習得を図りながら、問題の解決を行う学習活動を通して、問題を知り、問題の解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を育成する。 (知及技) ・効果的なコミュニケーションの方法や、身近にあるコンピュータやデータの活用について理解し、基礎的な技能を身に付けるとともに、情報社会と人との関わりについて理解する。高2知 (思判表力) ・身近な事を情報とその結び付きとして捉え、問題を知り、問題を解決するために必要な情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。高2知 (学・人) ・身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に参画しようとする態度を養う。高2知			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	13	(知及技) ・情報に関する身近で基本的な、法規や制度、セキュリティの重要性、情報社会における個人の責任及び情報モラルについて理解する。 (思判表力) ・身近にある情報や情報技術の適切かつ効果的な活用と望ましい情報社会の在り方について考える。 (学・人) ・身近にある情報や情報技術の適切かつ効果的な活用と情報社会に参画しようとする態度を身に付ける。	(知・技) ・情報に関する身近で基本的な、法規や制度について知ることができる。セキュリティの重要性、情報社会における個人の責任及び情報モラルについて個人、グループで考えることができる。 (思判表力) ・身近にある情報や情報技術の適切かつ効果的な活用と望ましい情報社会の在り方について考えることができる。 (学・人) 情報社会における個人の責任を感じることができる。望ましい情報社会のあり方について考えることができる。	・オリエンテーション ・コンピュータ基本操作 ・ネットワークサーバの利用 ・情報モラルと情報化 ・情報セキュリティ ・Wordの活用 ・Excelの利用 ・タブレット端末の利用	・コンピュータの基本操作 ・タッチタイピング練習 ・SNSの危険性 ・NASの利用 ・著作権・肖像権について ・誹謗中傷 ・アンチウイルスソフト ・アップデート ・パスワード作成・ファイルにパスワードを設定してみよう
2 学期	15	(知及技) ・身近にある情報デザインから、効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの基本的な考え方や方法を理解し表現する基礎的な技術を身に付ける。 (思判表力) ・コミュニケーションの目的に合わせて、適切かつ効果的な情報デザインを考える。 (学・人) ・身近にある情報や情報技術の適切かつ効果的な活用と情報社会に参画しようとする態度を身に付ける。	(知・技) ・身近にある情報デザインから、効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの基本的な考え方や方法を理解し表現する基礎的な技術を身に付けることができる。 (思判表力) 目的に合わせて、適切なデザインを選択できる。自らのアイデアを表現することができる。 (学・人) ・主体的に情報技術を活用し、情報社会の一員として情報社会のあり方について考えることができる。	・情報デザインとは ・ワープロソフトの活用 ・表計算ソフトの活用 ・プレゼンテーションソフトの活用 ・タブレット端末の利用	・Wordの活用 ・Excelの活用 ・PowerPointの活用 ・履歴書作成 ・旅行計画を作ってみよう ・クリスマスカード作成 ・年賀状作成
3 学期	7	(知及技) ・データを表現、蓄積するための基本的な表し方と、データを収集、整理、分析する基本的な方法について理解し、基礎的な技能を身に付ける。 (思判表力) ・データの収集、整理、分析及び結果の表現の基本的な方法を適切に選択し、実行し、振り返り、表現を見直す。 (学・人) ・身近にある情報や情報技術の適切かつ効果的な活用と情報社会に参画しようとする態度を身に付ける。	(知・技) ・データを表現、蓄積するための基本的な表し方を学び、データを収集、整理、分析する基本的な方法について学ぶことができる。 (思・判・表) ・データの収集、整理、分析及び結果の表現の基本的な方法を学び、簡単なデータを加工し表やグラフを使って自分なりに表現することができる。 (学・人) ・主体的に情報技術を活用し、情報社会の一員として情報社会のあり方について考えることができる。	・情報通信ネットワークとは ・ネットワークで生活が変わる ・タブレット端末の利用 ・表計算ソフトの活用	・情報システムの利用（貸貸管理システム、旅行代理システムの利用、職業図鑑の利用） ・Excelの活用 ・いろんなグラフを作ってみよう ・すきなものをデータ化してみよう ・アンケート調査をしてみよう！
留意点 引継ぎ等		移行期間のため、2年・3年は同じ指導計画で進める。			

令和8年度 高等部 2年 グリーンインテリア 年間指導計画

単位数 ／配当時 数		児童生徒		担当者	教科書／副教材
2		2学年 名		CT: ST:	自作プリント等
目標:(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価:(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		(知及技)園芸に関することについて理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 (思判表力)園芸に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ課題を解決する力を養う。 (学・人)職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 ～ 3 学期	7 0	(知及技) ・勤労の意義を理解することができる	(知・技) 「作業の心得」を覚え、就 労に必要な基本的な態度 を理解する。	・職業について	・「作業の心得」を確認し、時間厳守や身 なり、言葉遣いなどの職業生活に必要な 知識を身に付ける
		(思判表力) ・学習内容や作業について理解 し、意欲や見通しを持って、他 者と協力することができる。	(思・判・表) ・授業説明を聞き理解し、 日誌に記入することで、見 通しを持って作業に取り 組むことができる。 ・意欲をもって取り組み、 他者と協力することがで きる。	・勤労の意義 ・他者と協働	・毎時間、作業日誌やメモを取ることに より、注意点や作業工程、名称などを覚 える
		(知及技) グリーンインテリアが社会で果 たしている意義と役割などに ついて理解するとともに、職業生 活に必要な技術や知識を身に付 けること(農業(1)農業の概要)	(知・技) 草花の栽培や多様な観葉 植物の栽培や装飾を通し て、植物が日常生活に深く 関わっていることを踏ま え、が社会において果たし ている役割や重要性があ ることを理解することが できる。	・グリーンインテリア の意義と役割 ・季節や行事に向け た草花や野菜の栽培 ・農機具の取り扱い	・季節や行事に応じた花壇や校舎内外 の草花装飾を行う ・農場周辺の環境整備 ・使用する道具や機械等の特性や扱い 方を理解し、危険性や適切な使用方法 を学ぶ
		(知及技) 栽培学習を通して地域や社会 の健全で持続的な発展に寄与 する職業人となる視点から、よ りよい作物等の栽培などをする ために必要な課題を発見し、工 夫について考え、表現するこ と。(農業(1)農業の概要)	(知・技) それぞれの草花や農作物 の特性を学び、栽培管理、 販売を考えることができ る。	・草花の栽培管理 ・観葉植物の栽培管 理 ・販売学習	・草花・観葉植物の増やし方(播種、挿し 芽、株分けなど) ・栽培管理(鉢上げ、鉢替え、追肥、除 草、水かけ等) ・寄せ植え ・販売準備(調整、袋つめ、ラベル貼り) ・販売学習(陳列、接客応対、商品の説 明、計算、金銭管理) ・校外学習
		(知及技) 情報セキュリティやモラルにつ いて理解し、情報機器を扱うこ とができる。	(知・技) ・情報機器の特性や機能 を知り、操作することがで きる。	・情報機器の活用	
		(学・人) 授業を振り返り、自己の成長と 課題について考えることができ る	(主学) 日誌に学習内容をまと め、反省を及び課題を確 認する。発表を行うことが できる。	・日誌の記入 ・振り返り発表	・授業を振り返り、自己の反省と評価を 行い、日誌にまとめることができる。 ・反省を踏まえ、目標や自分の役割を考 えることで、次の作業への見通しを持 つ。
留意点 引継ぎ等		*年間を通して行う			

令和8年度 2年オフィスアシスタント（職業 選択） 年間指導計画

単位数 ／配当時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	2年生選択者 生徒10名		知的障害・発達障害のひとたちのための新・見てわかるビジネス マナー集 ワープロ検定問題 エクセル・ワード参考書 タイ ピングソフト

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技）職業に関する事柄について理解を深めるとともに、将来の職業生活に係る技能を身に付けるようにする。（高職業２段階）。 （思判表力）将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、表現する力を養う。（高職業２段階）。 （学・人）よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への貢献に向けて、生活を改善しようとする実践的な態度を養う。（高職業２段階）。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期		A職業生活ア勤労の意義より（知及技）勤労の意義を理解することができる。 （思判表力）意欲や見通しをもって取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現することができる。 （学・人）作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。	（知・技）事務の仕事内容について自分なりの答えを記入（返答）している。 （思・判・表）今の自分にできること、これから必要なことに気づき、記入（返答）している。 （主学）継続的・協働的に学習に取り組んでいる。 【評価資料】行動観察、ワークシート問題	1. オフィスアシスタントについて～仕事について考えよう～	①事務業務を知るために、事務室の仕事、教員の事務作業を見学、体験する。 ②体験に基づいてワークシートで振り返る。事務作業の重要性和これからの学習について、生徒・教員全員で意見交換を行う。 【教材教具】事務室との調整 ワークシート
		B情報機器の活用より（知及技）ア 情報セキュリティ及び情報モラルについて知るとともに、表現、記録、計算、通信等に係るコンピュータ等の情報機器について、その特性や機能を知り、操作の仕方が分かり、扱えることができる。 （思判表力）イ 情報セキュリティ及び情報モラルを踏まえ、コンピュータ等の情報機器を扱い、収集した情報をまとめ、考えたことを発表すること。 （学・人）活動を工夫して行うことができる	（知・技）キーボードの文字配置を覚えている。 （思・判・表）10分間で200字以上入力できる。取組前より10%以上入力速度が高まっている。 （主学）継続的・協働的に学習に取り組んでいる。 【評価資料】行動観察、ワークシート問題、ワープロ検定問題	2. ビジネス文書作成～速くかつ正確に作成するために あなたはどのような～	①ホームポジション、姿勢の確立 ②キーボードの位置の把握 ③ワープロ検定4級程度 【教材教具】タイピングソフト ワークシート検定問題
		〃	（知・技）名刺の必要性について知っている。相手の名前を正しく覚え、案内する重要性を知っている。 （思・判・表）正しい名刺作成、名刺を用いた自己紹介・他己紹介ができるようになっている。 （主学）継続的・協働的に学習に取り組んでいる。 【評価資料】行動観察、ワークシート問題、作成名刺	3. オフィスアシスタントの役割～名刺を作り、使ってみよう～	①自分が作成した名刺を用いて、自己紹介、他己紹介、必要な場所へ案内する。 ②必要部署への案内方法、言葉遣い等 【教材教具】パソコン・プリンター・名刺カード
2 学期		〃	（知・技）エクセルの役割、エクセル内のできる作業を知っている。 （思・判・表）計算式を用いて簡単な計算を行うことができる。・SUM、AVERAGE、MAX、MIN関数などの簡単な関数を用いて表作成ができる。 （主学）継続的・協働的に学習に取り組んでいる。 【評価資料】行動観察、ワークシート問題	4. エクセルデータ処理～みんなの早打ち結果を分析しよう～	自らの活動結果（早打ち速度等）をエクセルでまとめることを通して①エクセルの基礎・データ入力、②計算式を用いたデータ処理、③基礎的な関数を使ったデータ処理を学ぶ。 【教材教具】データ処理に必要な具体的な数値
3 学期		〃	（知・技）エクセルの役割、エクセル内のできる作業を知っている。 （思・判・表）計算式を用いて簡単な計算を行うことができる。・SUM、AVERAGE、MAX、MIN関数などの簡単な関数を用いて表作成ができる。 （主学）継続的・協働的に学習に取り組んでいる。 【評価資料】行動観察、ワークシート問題	4. エクセルデータ処理～みんなの早打ち結果を分析しよう～	自らの活動結果（早打ち速度等）をエクセルでまとめることを通して①エクセルの基礎・データ入力、②計算式を用いたデータ処理、③基礎的な関数を使ったデータ処理を学ぶ。 【教材教具】データ処理に必要な具体的な数値
年間を通して		全単元：職業人に求められる力を総合的に身に付ける	15項目に関する力を身に付けている	全単元を通して	別紙15項目に関する力

留意点 引継ぎ等	
-------------	--

令和8年度 高等部 2年 外国語 年間指導計画					
単位数 ／配当時数		生徒(学年)		担当者	教科書／副教材
1／35		2年			ONE WORLD Smiles(教育出版) 小学校5年生 外国語教科書
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		(知・技) 音声や文字，語彙，表現などについて日本語と外国語との違いに気付くとともに，読むこと，書くことに慣れ親しみ，聞くこと，話すことを中心とした実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付ける。 (思判表力) コミュニケーションを行う目的や場面，状況などに応じて，身近で簡単な事柄について，聞いたり話したりするとともに，音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙などが表す事柄を想像しながら読んだり書いたりして，自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。 (学・人) 外国語の背景にある文化について理解し，他者に配慮しながら，主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	(知及技) 英語の音声を聞いて話すことができる。英語を使って相手に挨拶、自己紹介ができることに気付く。(高1段階ア㉔㉕㉖) 自分の名前や、好きな物を伝え方を知って、言うことができる。アルファベットの大文字を知って、聞いたり読んだりすることができる。 (思判表力) 自分に関することについて、聞き、発表し、やり取りすることができる。(高1段階ウ①(㉑)(㉒)(㉓)(㉔) 自分のことをわかりやすく紹介するスピーチができる。 (学・人) 外国語を通してコミュニケーションを図ることができる。聞いている人にわかりやすく話そうとしたり、相手の話をよく聞こうとしたりする。	(知・技) 自分の名前や好きなものを伝える表現 (I like 【食べ物等】.、Do you like 【スポーツ等】?、What (color) do you like?等) についての技能を身に付けている。 (思・判・表) 友達に自分のことを知ってもらうために、好きな食べ物、動物、スポーツ等について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、発表している。 (主学) 友達に自分のことを知ってもらうために、好きな食べ物、動物、スポーツ等について、これまでの学習の中で気づいたことを活かしながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて、発表しようとしている。 授業プリント(振り返りシート)、提出物、活動の達成度、GOODポイント、パフォーマンステスト、ワークブック、単元テストで評価	Lesson1 「Nice to meet you.」 あなたのことを友達に知ってもらおう 自分のことをよく知ってもらったり、相手のことをよく知るために、名前や好きな食べ物、動物、スポーツなどについて聞き取ったり、伝えあったり、話したりすることができる。	・Nice to meet you. — Nice to meet you, too. ・Hello, I'm (Ayaka). Please call me (Aya). ・My name is (Sonoda Akie). ・Do you like (yellow)? — Yes, I do. / No, I don't. ・I like (dogs). I don't like (cats). ・What (color) do you like? ・I have (a towel). I don't have (a bag). ・Oh. / Me, too. / Really? / I see. ・語彙：色 / スポーツ / 動物 / 野菜 / 果物 / 食べ物 / デザート
		(知及技) 英語の音声を聞いて話したり、文字を見て読み、書きができる。英語を使ってお互いに気持ちが伝わり合うことに気付く。(高1段階ア㉔㉕㉖) 季節や月日の表し方がわかって、言うことができる。アルファベットの小文字を知って、聞いたり読んだりすることができる。 (思判表力) 自分に関することについて、聞き、発表し、やり取りすることができる。(高1段階ウ①(㉑)(㉒)(㉓)(㉔) 自分の誕生日を伝えたり、友達の誕生日を尋ねたりできる。 (学・人) 外国語を通してコミュニケーションを図ることができる。相手にわかりやすく話そうとしたり、相手の話をよく聞こうとしたりする。	(知・技) 月日の語句や、誕生日について尋ねたり答えたりする表現 (When is your birthday?, My birthday is 【月日】.等) について、伝え合う技能を身に付けている。 (思・判・表) お互いのことを知るために、誕生日や好きな月について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、伝え合っている。 (主学) お互いのことを知るために、誕生日や好きな月について、これまでの学習の中で気づいたことを活かしながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて、伝え合おうとしている。 授業プリント(振り返りシート)、提出物、活動の達成度、GOODポイント、パフォーマンステスト、ワークブック、単元テストで評価	Lesson2 「When is your birthday?」 クラスのたんじょう日カレンダーを作ろう 自分のことをよく知ってもらったり、相手のことをよく知るために、誕生日やほしいものなどについて聞き取ったり、伝えあったりし、カレンダーに記録することができる。	・When is your birthday? ・My birthday is (January 8th). ・I like (December). ・Do you like (December)? ・What do you want for your birthday? ・I want (Shoes). ・語彙：月 / 数(1 ～ 31) / 序数(日付) / 身のまわりのもの
2 学期	14	(知及技) 英語の音声を聞いて話したり、文字を見て読み、書きができる。事柄の内容や表などの働きがあることに気付く。(高1段階ア㉔㉕㉖) 教科や時間割、職業の表し方を知り、言うことができる。アルファベットと小文字の組み合わせがわかり、正しく書くことができる。 (思判表力) 簡単な語句や基本的な表現を用いて、時間割に関するやりとりができる。高1段階ウ①(㉑)(㉒)(㉓)(㉔) 夢の時間割を考えて、伝えることができる。 (学・人) 外国語を通してコミュニケーションを図ることができる。発表している友達が話しやすい聞き方をしようとする。	(知・技) 教科・曜日の語句や、時間割について表す表現 (I have 【教科】.、I study 【教科】 with 【人】.) について聞いたり、伝えたりする技能を身に付けている。 (思・判・表) 友達に自分が考えた夢の時間割を知ってもらうために、教科や時間割などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、発表している。 (主学) 友達に自分が考えた夢の時間割を知ってもらうために、教科や時間割などについて、これまでの学習の中で気づいたことを活かしながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて、発表しようとしている。 授業プリント(振り返りシート)、提出物、活動の達成度、GOODポイント、パフォーマンステスト、ワークブック、単元テストで評価	Lesson3 「I have P.E.on Monday.」 夢の時間割を作ろう 自分のことをよく知ってもらったり、相手のことをよく知るために、夢の時間割を作り、好きな曜日や教科、誰と学びたいかについて聞き取ったり、伝えあったり、話したりすることができる。	・What do you have on (Tuesday)? ・I have (math, English, and music) on (Tuesday). ・I study (P.E.) with (Hachimura Rui). ・What day is it? ・Good idea! ・語彙：教科 / 曜日
		(知及技) 英語の音声を聞いて話したり、文字を見て読み、書きができる。事柄の内容や表などの働きがあることに気付く。(高1段階ア㉔㉕㉖) 時刻や日課の表し方を知って、言うことができる。 (思判表力) 簡単な語句や基本的な表現を用いて、1日のスケジュールを作成することができる。高1段階ウ①(㉑) 自由な1日があったらどのように過ごしたいか考えて、伝えることができる。 (学・人) 外国語を通してコミュニケーションを図ることができる。相手にわかりやすく話そうとしたり、相手の話をよく聞こうとしたりする。	(知・技) 時刻・日課・頻度の語句や、日課・習慣を表す表現 (I 【日課】 at 【時刻】、I 【頻度】 【習慣】) について理解している。 (思・判・表) 時刻・日課・頻度の語句や、日課・習慣を表す表現 (I 【日課】 at 【時刻】、I 【頻度】 【習慣】) について伝え合うことができる。 (主学) お互いの自由な一日の過ごし方について知るために、一日の過ごし方について、これまでの学習の中で気づいたことを活かしながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて、伝え合おうとしている。 授業プリント(振り返りシート)、提出物、活動の達成度、GOODポイント、パフォーマンステスト、ワークブック、単元テストで評価	Lesson4 「This is my dream day.」 自由な一日があったら、何をしたいか伝えよう 自由な時間や一日があれば、どのように過ごしたいかなどについて聞き取ったり、話したり、伝えあったりすることができる。また、アルファベットの大文字を書くことができる。(直線だけの文字)	・What time is it in (Boston)? ・It's (seven o'clock in the morning). ・What time do you (get up)? ・I (get up) at (six). ・I (always) (wash the dishes). ・What do you do in the morning [afternoon]? ・I (catch insects) in the morning [afternoon]. ・語彙：日課・習慣 / 頻度 (always / usually / sometimes / never)
3 学期	9	(知及技) 英語の音声を聞いて話したり、文字を見て読み、書きができる。簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気付く。(高1段階ア㉔㉕㉖) できることの伝え方や尋ね方を知って、言うことができる。自分と相手以外の人を表す三人称heとsheが分かり、言うことができる。 (思判表力) 簡単な事柄について、伝えようとした内容を整理した上で、簡単な語句などを用いて自分の考えを伝え合うことができる。高1段階イ(㉑) 音声で慣れ親しんだ語句を書き写すことができる。 (学・人) 外国語を通してコミュニケーションを図ることができる。より伝わるような内容や表現のしかたを考え、できることを伝えたり、尋ねたりすることができる。 他者に配慮しながら積極的に話そうとしたり、相手の話をよく聞こうとしたりする。	(知・技) できることを伝えたりたずねたりする表現 (I [He/She] can 【できること】.、Who can 【できること】?、What can you do?) について理解している。 (思・判・表) 友達のことを知るために、友達のできることについて、簡単な語句や基本的な表現を使ってやりとりすることができる。 (主学) 友達のことを知るために、友達のできることについて、これまでの学習の中で気づいたことを活かしながら、簡単な語句や基本的な表現を聞き取ろうとしている。 授業プリント(振り返りシート)、提出物、活動の達成度、GOODポイント、パフォーマンステスト、ワークブック単元テストで評価	Lesson5 「I can run fast.」 クラスみんなの「できること」を集めよう 自分のできることを紹介するために、できることについて、その内容を聞き取ったり、伝えあったり、話したりすることができる。また、自分の名前やアルファベットの大文字を書くことができる。(曲線だけの文字)	・I can (play the recorder). I can't (run fast). ・Who can (ski)? ・He [She] can (swim well). ・What can you do? ・語彙：できること / 副詞(well / high / fast)
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 高等部 2年 選択科目「トータルクリーニング」 年間指導計画

単位数 ／配当時数		児童生徒	担当者	教科書／副教材	
70		2学年 選択希望者	CT: ST:	自作プリント等 障がい者雇用支援の手引き 知的障害者と働く（職場における基礎知識）	
目標：（知及技）知識及び技能（思判表力）思考力、判断力、表現力等（学・人）学びに向かう力・人間性等 評価：（知・技）知識・技能（思・判・表）思考・判断・表現（主学）主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		清掃業に関する基礎的・基本的な知識や技術の習得を図り、実践的・体験的な学習活動を通して職業生活に必要な能力や態度を育てる。 （知及技） ・清掃業務に関する内容と特徴について理解するとともに、清掃に関する専門的な器具や業務用機械を使って基本作業の手順や方法など清掃業務に関することを身に付ける。 ・障害者技能競技大会（アビリンピック）への参加やチャレンジを目指し、清掃作業や技能の向上を図る。 （思判表力） ・清掃業務において、顧客のニーズに応じた清掃サービスの提供のための工夫について考え、表現することができる。 （学・人） ・職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	25	清掃業務の基礎・基本を学ぼう （知及技） 清掃の手順や方法など清掃業務に関する技術を身に付ける。 （思判表力） 顧客のニーズに応じた清掃サービスの提供のために必要な課題を発見し、よりよい清掃サービスの提供のための工夫について考え、表現する。 （学・人） 清掃業務の内容と特徴などについて自ら学び、清掃業務に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。	（知・技）清掃の基礎と基本について理解している。 （思・判・表）ニーズに応じた清掃サービスの提供を心がけており、作業内容や作業効率を考えた工夫しようとしている。 （主学）清掃用具や機械を積極的に使用して作業ができ、周囲に気を配りながら安全に配慮して作業を行っている。 『授業プリント（報告書）、活動の様子、作業テスト、定期テストで評価する』	1. 各種清掃用具や道具の使用方法和保管について 2. 清掃手順の理解や清掃技術、技能の習得（床や壁の清掃） 3. 清掃場所の環境（床材等）に応じた清掃方法の選択 4. 効率的な清掃手順と役割分担について 5. 使用前の安全点検や異常時の対応と解決方法について 6. 各種用具や業務用機械の基本作業と応用について 7. アビリンピック（県大会、全国大会）に向けた学習	①アビリンピックに向けた清掃知識や清掃技能について実際の大会内容に沿って作業をする ②各種用具や業務用機械の基本作業と応用について ③専門的機材や大型機械等の使用と安全作業について ④事業所見学等による実社会とのつながりと実地訓練、社員教育ビデオ等の活用 【教材教具、機材】 自在ホウキ、文化ちり取り、モップ、タオル・雑巾、スクイジー、伸縮棒、モップリンガー、清掃バケツ、技能検定及びアビリンピック専用コートアルミ枠、清掃作業カート、業務用延長コード、フロアマット、養生テープ、マスキングテープ、ブルーシート
2学期	27	トータルクリーニングを学ぼう （知及技）トータルクリーニングの業務全般に関する基礎的・基本的な知識や技術の習得を図り、実践的・体験的な学習活動を通して職業生活に必要な能力や態度を身に付ける。 清掃に関する専門的用具や業務用機械を使って基本作業の手順や方法など清掃業務に関することを身に付ける。 （思判表力）安全作業を徹底し事故やケガを予防する。 （学・人）実地見学を通して勤労観と職業観の育成を図り、実際に働く現場を理解し主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。	（知・技）トータルクリーニング業務の基礎と基本について理解している。 （思・判・表）専用の機材や機械を用いて清掃作業ができ、作業内容や作業効率を考えた工夫しようとしている。 （主学）清掃用具や機械を積極的に使用し、周囲に気を配りながら安全に配慮して作業を行っている。 『授業プリント（報告書）、活動の様子、作業テスト、定期テストで評価する』	8. 各種清掃用具や道具の使用方法和保管について 9. 清掃手順の理解や清掃技術、技能の習得（窓やガラスドアの清掃） 10. 清掃場所の環境（床材等）に応じた清掃方法の選択 11. 使用前の安全点検や異常時の解決方法など、安全点検や異常時の対応に関すること 12. 各種用具や業務用機械の基本作業と応用について 13. 事業所見学等による実社会とのつながりを学ぶ 14. 実地訓練、社員教育ビデオ等の活用 15. 本館ふれあい広場等のワックスがけ	①アビリンピックに向けた清掃知識や清掃技能について実際の大会内容に沿って作業をする ②校舎の窓やガラスドアの清掃 ③各種用具や業務用機械の基本作業と応用について ④専門的機材や大型機械等の使用と安全作業について ⑤事業所見学等による実社会とのつながりと実地訓練、社員教育ビデオ等の活用 ⑥校内の廊下や広場の床面のワックス作業を行う 【教材教具、機材】 自在ホウキ、文化ちり取り、モップ、タオル・雑巾、スクイジー、伸縮棒、モップリンガー、清掃バケツ、ダスタークロス、ワックスクロス、ポリリッシャ、バキューム掃除機、パフ研磨機、床清掃複合機等、技能検定及びアビリンピック専用コートアルミ枠、清掃作業カート、業務用延長コード、フロアマット、業務用扇風機、ボールパーティション、ロープパーティション、養生テープ、マスキングテープ、ブルーシート、業務用床洗浄液、床ワックス液
3学期	18	（知及技）トータルクリーニング業務に関する実践的な知識や技術の習得を図り、社会に必要な能力と態度を身に付ける。 （思判表力）各種用具や機械等の操作を覚え、安全作業を徹底し事故やケガを予防している。 （学・人）実地見学を通して実際の作業現場を理解し、周りに配慮しながら協力して作業する態度を養う。	（知・技）トータルクリーニング業務の実践的な知識や技術、技能について理解している。 （思・判・表）専用の機材や機械を用いて効率的かつ安全に作業しようとしている。 （主学）清掃用具や機械を積極的に使用し、周囲に気を配りながら安全に配慮して作業を行っている。 『授業プリント（報告書）、活動の様子、作業テスト、定期テストで評価する』	16. 清掃用具や道具の使用方法和保管について 17. 各種用具や業務用機械の基本作業と応用について 18. 清掃手順の理解や清掃技能の習得（窓やガラスドアの清掃） 19. 清掃場所の環境（床材等）に応じた清掃方法の選択 20. 使用前の安全点検や異常時の解決方法など、安全点検や異常時の対応に関すること 21. 事業所見学等による実社会とのつながりと実地訓練、社員教育ビデオ等の活用 22. 本館ふれあい広場等のワックスがけ 23. 校外学習（地域の公民館等）	①各種用具や業務用機械の実践的作業を行う ②各種用具や業務用機械の基本作業と応用について ③専門的機材や大型機械等の使用と安全作業について ④事業所見学等による実社会とのつながりと実地訓練、社員教育ビデオ等の活用 ⑤校舎内全館のワックスがけ作業に取り組む ⑥地域の公民館などのワックスがけ 【教材教具、機材】 自在ホウキ、文化ちり取り、モップ、タオル・雑巾、スクイジー、伸縮棒、モップリンガー、清掃バケツ、ダスタークロス、ワックスクロス、ポリリッシャ、バキューム掃除機、パフ研磨機、床清掃複合機等、技能検定及びアビリンピック専用コートアルミ枠、清掃作業カート、業務用延長コード、フロアマット、業務用扇風機、ボールパーティション、ロープパーティション、養生テープ、マスキングテープ、ブルーシート、業務用床洗浄液、床ワックス液
留意点 引継ぎ等		1. 非常勤講師との日程調整、時数調整を行いながら年間の計画を立て、学校行事や休校等の場合の連絡調整を忘れずに行うこと。 2. 清掃用具や各種消耗品について、使用可否の状況を判断しながら廃棄・購入、修繕などを検討し予算調整を行う。 3. 安全作業のために感電等に注意し、且つ大型の清掃機械を使用する際は校内の電気ブレーカーが落ちないように漏電ブレーカー等の活用を徹底する。			

令和8年度 高等部 2年 職業科 介護アシスタント班 年間指導計画					
単位数 ／配当時数	児童生徒		担当者	教科書／副教材	
2単位/70時間	2学年 10名			介護入門研修テキスト・自作プリント等	
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標 (知及技) ・職業生活に必要な知識及び技能を身に付ける。(高2段階) ・介護に関する基本的な学習を通して、介護、ホスピタリティに関する知識、技能の習得を図る。(高1段階) (思判表力) ・将来の職業生活における自己の目標や課題と向き合い、自ら工夫し改善する力を養う。(高1段階) ・介護に関する学習を通して、就きたい職業やなりたい社会人について考え、取り組み方を養う。(高1段階) (学・人) ・将来の職業生活の実現や地域社会への貢献に向けて主体的実践的な態度を養う。(高1段階) ・介護に従事する社会人として基本的な態度や心得を培う。(高1段階)					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	4	(知及技) 就労の対価や意義を知る。(高1段階ア(ア) (思判表力) 介護や保育の心得、ホスピタリティがわかる。(高1段階イ(イ) (学・人) 介護職、保育職の社会的ニーズを知る。(高1段階ア(イ)の	(知・技) 介護や保育の役割、専門性、仕事内容を理解できる。基本的な介護技術を身に付けることができる。 (思・判・表) 相手の求める介護をすることの重要性を理解することができる。 (主学) 介護職や保育職が社会に必要なであることを知ろうとしている。 ＊日誌、振り返り発表、定期テスト、実技テスト、活動の姿で	・介護、保育に従事するとは。	・介護や保育の職場と仕事内容を調べる。 ・介護や保育業に従事する際の心得、高齢者や幼児の特徴や活動、高齢者の認知症などの疾患を理解し、より良い介護、保育の在り方、生活支援、サービスの方法や技術を学ぶ。 ・職種についての学習やビジネスプラン等を通して、就労意識や対価について学習し、意欲的に作業にあたる姿勢を身につける。
	20	(知及技) 介護に必要な基礎的な心や体の仕組みについて理解し、基本的な実践的介護技能を身に付けることができる。(高2段階イ(イ)の (思判表力) 介護や保育、サービス業に必要なコミュニケーション、支え合いについて考えることができる。(高2段階イ(イ)の (学・人) 他者と協力しながら求められる介護や支援方法を考えることができる。(高2段階イ(イ)の	(知・技) 安全で適切な環境整備、ベッドメイクができる。 (思・判・表) 相手を知ること、コミュニケーションの大切さを理解できている。 (主学) 自らコミュニケーションを図り、相手を知らずとして ＊日誌、振り返り発表、定期テスト、実技テスト、活動の姿で評価する。	【介護に関する入門的研修】 ・基本的な介護の方法(介護を必要とする人の理解、コミュニケーション方法、移動介護の方法) ・障害の理解(脳体不自由、知的障害、精神障害、難病、障害者福祉) 【実技演習】 ・様々なコミュニケーション方法(ウチナー方言、手話) ・高齢者体験、アイマスク体験 ・手洗いチェック ・ペットメイキング ・バイタルサイン、バイタルチェック	※「介護に関する入門的研修カリキュラム」に沿う。 ・手話やウチナー方言の簡単な挨拶や自己紹介を知る。 ・コミュニケーションの種類や方法、目的を理解し、信頼関係構築に必要な態度について学ぶ。 ・高齢者体験を通し、高齢者の身体の特徴などを知る。 ・様々な障害について理解し、その人らしく生きるための支援について学ぶ。 ・車いすの各名称、使い方を。メンテナンス方法を学ぶ。 ・移乗支援方法、移動支援方法を学ぶ。
	2	(知及技) 1学期の成果を確認し、2学期以降に活かすことができる。(高1段階ア(イ) (思判表力) 自身の成長点や課題点を考え、1学期を振り返り自己の成長や課題点を発表する。(高1段階ア(イ)の (学・人) 他者の反省を聞き、認めることができる。(高1段階ア(イ)の	(知・技) 自身の振り返りを行い成果を確認している。 (思・判・表) 自身の成長点や課題点を考え、自身で発表している。 (主学) 他者の発表を聞き、成長点や反省点を考えることができる。 ＊日誌、振り返り発表、活動の姿で評価する。	・1学期のまとめ	・反省の発表会を行い自他の成果や課題を振り返り次学期以降の目標を考える。
	4	(知及技) 介護者として必要な基本的、実践的な介護技能と知識を身に付ける。(高2段階ア(ア) 高齢者、障害者とのコミュニケーション方法を知る。(高2段階ア(ア) (思判表力) 高齢者、障害者の生活と住まい、福祉用具の活用方法を知り、快適な生活するための方法を考える。(高2段階ア(ア) (学・人) 他者と協力しながら求められる介護や支援方法を考えることができる。(高2段階イ(イ)の	(知・技) 高齢者、障害者の食事(調湿、脱水)、身体の拘縮、褥瘡など予防法がわかる。(高2段階ア(ア) 安全で適切な衣類の脱着、体位変換ができる。 車いすや機器の名称、使い方を把握し、使用している。安全な介護方法ができている。 (思・判・表) 高齢者、障害者がより良く生活するために何が必要かを考えることができる。 (主学) 適切な介護、支援を考えることができる。	【介護に関する入門的研修】 ・介護に関する基礎知識(介護を取り巻く環境、介護保険制度、仕事と介護の両立支援制度、高齢者虐待と身体拘束) ・介護の基本(介護を必要とする人の理解、尊厳を支える介護、自立を支える介護、心身の状況に応じた介護)	※「介護に関する入門的研修カリキュラム」に沿う。 ・日本の介護に関する課題についてしる。 ・介護に関する制度について知る。 ・介護予防について学ぶ。
2学期	24	(知及技) 介護者として必要な基本的、実践的な介護技能と知識を身に付ける。(高2段階ア(ア) 高齢者、障害者とのコミュニケーション方法を知る。(高2段階ア(ア) (思判表力) 高齢者、障害者の生活と住まい、福祉用具の活用方法を知り、快適な生活するための方法を考える。(高2段階ア(ア) (学・人) 他者と協力しながら求められる介護や支援方法を考えることができる。(高2段階イ(イ)の	(知・技) ＊日誌、振り返り発表、定期テスト、実技テスト、活動の姿で評価する。 (思・判・表) 自身の成長点や課題点を考え、自身で発表している。 (主学) 他者の発表を聞き、成長点や反省点を考えることができる。 ＊日誌、振り返り発表、活動の姿で評価する。	【介護に関する入門的研修】 ・基礎的な介護の方法(身支度介護、食事介護、排泄介護、入浴介護) ・認知症の理解(認知症の種類、症状、生活障害、治療) ・認知症サポーター講座 ・介護における安全の確保(介護での事故、食中毒、感染予防、介護者健康管理) 【実技演習】 ・車いす介助、移乗、移動 ・衣類の脱着、食形態、清拭、手浴、ハンドマッサージ、体位変換	※「介護に関する入門的研修カリキュラム」に沿う。 ・高齢者、障害者の暮らしの仕組み、誤嚥や脱水、身体の拘縮、褥瘡について学ぶ。 ・清拭、手浴、足湯、マッサージの意義と方法を学ぶ。 ・食形態、食事介助方法、水分補給方法、体位変換方法、衣類の脱着、ベッドメイク方法を学ぶ。 ・認知症の種類と特性、適切な支援方法を学ぶ。 ・認知症サポーター講座 ・高齢者、障害者がより快適に生活するための環境をどのように整えるかを学ぶ。 ・福祉用具、補助具の用途、使用方法を知る。 ・感染症の仕組みを理解し、正しい感染症対策や感染症の基本的な予防対策を理解し、介護施設における感染症対策の必要性を学ぶ。
	2	(知及技) 2学期の成果を確認し、2学期以降に活かすことができる。(高1段階ア(イ) (思判表力) 2学期を振り返り自己の成長や課題点を発表する。(高1段階ア(イ)の (学・人) 他者の反省を聞き、認めることができる。(高1段階ア(イ)の	(知・技) 自身の振り返りを行い成果を確認している。 (思・判・表) 自身の成長点や課題点を考え、自身で発表している。 (主学) 他者の発表を聞き、成長点や反省点を考えることができる。 ＊日誌、振り返り発表、活動の姿で評価する。	・2学期のまとめ	・反省の発表会を行い自他の成果や課題を振り返り次学期以降の目標を考える。
	10	(知及技) コミュニケーションやレクリエーションによる振興の知識、技術を習得する。(産業現場ア) (思判表力) 相手の実態を調べ、レクリエーションを計画する。(産業現場ア) (学・人) コミュニケーションやレクリエーションの大切さを学ぶ。(産業現場ア)	(知・技) 適切な態度でレクリエーションを行うことができる。 (思・判・表) 相手の実態に応じたレクリエーションを考えることができる。 (主学) 積極的にコミュニケーションを図り、関わりを持つことができる。 ＊日誌、振り返り発表、定期テスト、実技テスト、活動の姿で評価する。	・レクリエーション ・福祉施設、高齢者施設の見学、交流 ・交流新聞づくり ・パラリンピック	・グループ活動において実態に応じたレクリエーションを考える。 ・レクリエーションを通し高齢者や障害者と交流を行う。 ・高齢者、障害者施設の利用者との交流を通し、相手と場に応じた実践的な対応方法などを体験する。 ・情報機器を利用し交流会の様子を新聞に掲載、発行する。 ・高齢者の生きがい、パラリンピックでの活躍を知る。
	4	(知及技) 年間を通して自身の成果をまとめることができる。(高2段階ア(イ) (思判表力) まとめた内容を皆の前で発表する。(高2段階ア(イ)の (学・人) 就労への目標をもち他者との共理解を行う。(高2段階ア(イ)の	(知・技) 1年を振り返り、卒業後の職業や生活へ活かそうとしている。 (思・判・表) 自身の成長点や課題点を考え、改善に向けた目標とともに表現、発表しようとしている。 (主学) 他者の発表を聞き、成長点や反省点をともに考えようとしている。 ＊日誌、振り返り発表、活動の姿で評価する。	・OKT介護アシスタント技能検定 ・年間のまとめ	・1年間で習得した技能、技術に関する検定を受け、自らの成長と今後の課題を確認する。 ・反省の発表会を行い自他の成果や課題を振り返る。 ・情報機器を活用し、プレゼンテーションを作成して発表する。
年間を通して		(知及技) コンピュータ等の情報機器の初歩的な操作の仕方を知る。(高1段階：情報機器イ) (思判表力) 情報機器を使用し発表等を行っている。(高1段階：情報機器イ) (学・人) 情報機器を正しい使用方法で活用する。(高1段階：情報機器ア)	(知・技) iPad等の情報機器を使用し活動に取り組んでいる。 (思・判・表) 発表に情報機器を活用できている。 (主学) 情報モラルを守り機器を活用する。 ＊本単元の評価は年間を通して、日誌、振り返り発表、実技テスト、活動の姿で評価する。	・情報機器の活用	・コンピュータやタブレットを使って情報をまとめて他者に伝える。 ・コンピュータや携帯の便利さと危うさを実例で学び表記・記録・計算・通信等の代表的なソフトの使い方を体験する。
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 高等部 2年 家庭 年間指導計画

単位数 ／ 配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	2年		教科用図書：くらしに役立つ家庭 副教材：おかわドリル レシビ本、学習プリント 教育用コンテンツ

目標：(知及技)知識及び技能	(思判表力)思考力、判断力、表現力等	(学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能	(思・判・表)思考・判断・表現	(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知・技) 家族・家庭の機能について理解し、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする(高知1家庭) (思判表) 家庭や地域における生活の中から課題を見だし手課題を設定し解決策を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど課題を解決する力を養う。(高知1家庭) (学・人) 家族や地域の人々との関わりを通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。(高知1家庭)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	26	(知・技) 必要な栄養を満たす食料：自分に必要な栄養素と働きが分る食品の栄養的な性質について理解すること。(高2家庭) 日常食の調理：日常生活との関連付け、用途に応じた食品の選択、食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理、材料に適した加熱調理の仕方について理解し、基礎的な日常食調理が適切にできること(高2家庭) (思・判・表) 日常食の調理：基礎的な日常食の調理について、食品の選択や調理の仕方、調理計画を考え、工夫すること(高2家庭) (学・人) 作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むこと。 (高知1A職業動向の意義)	(知・技) ・栄養素の種類と含む食品、働きを関連付けることができる(教科書、学習プリント) ・調理実習の字の流れを知り、衛生に注意し調理器具を安全に使用することになる ・調理の基本的な技術を身に付けることができる。(態度面の評価、実技面の評価) ・生活の中の食事の役割を学習プリントを記入しながら確認できる。 ・食品やそれにかかる栄養素について理解し、学習プリントを記入しながら確認できる。 (思・判・表) 調理実習の目的、材料と道具の確認、実習後の自己評価を行い、振り返り、実践のための工夫を考えることができる。(振り返りシート、学習プリント) ・グループの生徒と協力し、調理がスムーズに進むように考え行動できる。 ・盛り付けを工夫することができる。(盛り付け写真、振り返りシート) ・食事の仕方や食品やその栄養素、食習慣に感心を持ち、自分の食事を振り返ることができる。(教科書、学習プリント) (主・学) 調理実習の目的、材料と道具の確認、実習後の自己評価を行い、自ら調理実習の振り返りすることができる。(振り返りシートへの記入)	食べ物と栄養 食生活 日常食の調理 食事の役割 栄養素と食品の関係	・栄養素の種類と働き ・材料の計量と安全な扱い方 ・調理器具の名称と安全な使い方 ・衛生的な手洗いや身支度について ・日常生活に活かす工夫について ・微生物について ・調理実習 ①衛生、安全について ②食品の取り扱い方 ③包丁その他の刃物類の扱い ④ガスコンロ、オーブン、レンジなどの機器の扱い方 ⑤熱く、茹でる、煮る、炊く、ゆめる、蒸す等の加熱調理 野菜料理、肉料理、炊飯、汁物、麺料理
2 学期	30	(知・技) 布を用いた製作：製作に必要な材料や手順が分る、製作計画について理解すること(高知2) 衣服の選択：衣服と社会生活との関わりがわかり、目的に応じた着、個性を生かす着方及び衣服の適切な選択について理解すること。(高知1家庭) 衣服の手入れ：衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解し、適切にできること。(高知2家庭) (思・判・表) 布を用いた製作：布を用いた服飾物の製作計画を考え、製作を工夫すること。(高2家庭) 衣服の選択：衣服の選択について考え、工夫すること(高2家庭) (学・人) 作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むこと。 (高知1A職業動向の意義)	(知・技) ・ミシンの上糸、下糸の通し方・直線縫いを習得し、エプロン/袋の縫製の手順を理解しながら、作業を進めることができる。 ・季節や場面や用途に合った縫製、扱い方、片付け方や、製品作りの手順を理解し取り組みることができる。(裁縫用具の名称小テスト、態度面の評価表、手縫い実技表) ・季節や場面や用途に合った縫製について理解すること。(教科書、学習プリント) ・衣服の選び方を理解する(教科書、学習プリント) ・衣服の素材について理解する。(教科書、学習プリント) (思・判・表) ・袋物の作り方を製作の手引きを見ながら自分で考え、製作を進め、工夫することができる。(教科書、学習プリント) ・衣服の洗濯の手順や保管の仕方、取り扱い表示を見て、衣服に合う洗濯の仕方を知る。 ・季節や場面や用途に合った縫製や衣服の選び方を考え工夫することができる。(教科書、学習プリント) ・衣服の素材を知り、日常生活での衣服の購入を考え工夫する。 ・衣服の洗濯の手順や保管の仕方、取り扱い表示を見て、衣服に合った手入れの仕方を工夫すること。(教科書、学習プリント) ・グループの生徒と協力し、調理がスムーズに進むように考え行動し、盛り付けを工夫することができる。(盛り付け写真、振り返りシート) (主・学) ・被服実習をはじめ前に作業内容や個人目標を把握し、作業後は自らの作業を振り返る。	布を用いた製作 ・袋物の製作 ①裁縫道具の名称と取り扱い ②手縫いの練習(衣類の補正の仕方) ③ミシン各部の名称と使い方 衣生活 衣服の選択 衣服の手入れ	・裁縫用具の名称と安全な取り扱い ・ミシン各部の名称と使い方 ① 上糸と下糸のかけ方 ② 直線縫い ③ 袋物の製作 ④ 縫製計画 ⑤ 縫製計画 ⑥ 縫製計画 ⑦ 縫製計画 ⑧ 縫製計画 ⑨ 縫製計画 ⑩ 縫製計画 ⑪ 縫製計画 ⑫ 縫製計画 ⑬ 縫製計画 ⑭ 縫製計画 ⑮ 縫製計画 ⑯ 縫製計画 ⑰ 縫製計画 ⑱ 縫製計画 ⑲ 縫製計画 ⑳ 縫製計画 ㉑ 縫製計画 ㉒ 縫製計画 ㉓ 縫製計画 ㉔ 縫製計画 ㉕ 縫製計画 ㉖ 縫製計画 ㉗ 縫製計画 ㉘ 縫製計画 ㉙ 縫製計画 ㉚ 縫製計画 ㉛ 縫製計画 ㉜ 縫製計画 ㉝ 縫製計画 ㉞ 縫製計画 ㉟ 縫製計画 ㊱ 縫製計画 ㊲ 縫製計画 ㊳ 縫製計画 ㊴ 縫製計画 ㊵ 縫製計画 ㊶ 縫製計画 ㊷ 縫製計画 ㊸ 縫製計画 ㊹ 縫製計画 ㊺ 縫製計画 ㊻ 縫製計画 ㊼ 縫製計画 ㊽ 縫製計画 ㊾ 縫製計画 ㊿ 縫製計画
3 学期	14	(知・技) 住居の基本的な機能と快適で安全な住まい方：住居の生活と住空間との関わりが分る、住居の基本的な機能について理解すること。(高知2家庭) (思・判・表) 住居の基本的な機能と快適で安全な住まい方：住居の生活と住空間との関わりが分る、住居の基本的な機能について理解すること。(高知2家庭) (知・技) 消費生活：購入方法や支払い方法の特徴が分る、計画的な金銭管理の必要性について理解すること。売買契約の仕組み、消費者被害の概要とその対応について理解し、物質サービスの選択に必要な情報の収集、整理が適切にできること。(高知2家庭) 消費者の基本的な権利と責任：自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解すること。(高知2家庭) (思・判・表) 消費生活：物質サービスの選択に必要な情報を活用して購入について考え、工夫すること。(高知2家庭) 消費者の基本的な権利と責任：身近な消費生活について、自立した消費者として責任ある消費行動を考え、工夫すること。(高知2家庭) (学・人) 作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むこと。 (高知1A職業動向の意義)	(知・技) 地域特有の住まい方、家族構成による住まいの違いから住居の基本的な機能を知る。(教科書、学習プリント) (思・判・表) ライフスタイルやライフステージに合った住まいと維持管理の実践について学び、家庭で工夫し実践する。(教科書、ワークシート、ゲーム) (知・技) 自分のお金の使い方を振り返り、家庭の収入と支出、家計の内容や現在の把握ができる。 消費者被害の構造と回避する方法を学ぶ、様々な物質サービスを知ることを通じて、消費活動には責任を伴うことを知る。(教科書、ワークシート、ゲーム) (思・判・表) 現状の把握ができ、消費者被害の構造と回避する方法を学ぶ、自分の経済状況に合った物質サービスをj選択できる。消費活動には責任を伴うことを知る。行動に活かすことができる。(教科書、ワークシート、ゲーム) (主・学) 自らの生活の中から課題を見つ、学習した内容を活用して課題解決を目指すことができる。(学習プリント・グループワーク)	住まい ・気候 ・ライフステージ ・安全で快適な住まい ・住環境 ・住環境 ・環境への配慮 経済生活 ・一生にかかるとお金 ・家計の状況の把握 ・貯蓄 ・生活設計 ・予算計画 ・リスクに備える ・収入と支出の管理 ・クレジット、ローン ・金融商品、保険、その他 消費者問題 ・消費者問題の発生過程 ・販売方法 ・問題解決 ・情報収集と意思決定	・ワークシート ・ボードゲーム ・調べ学習 ・ワークシート ・ボードゲーム ・ロールプレイ ・調べ学習
留意点 引継ぎ等		令和7年度入学生(1年次既習内容) 教科書既習内容 【第2章 食と健康】P34～41、P46～50、調理実習 【第3章 環境】P64～67、P76～87、被服実習 【第5章 ライフスタイルと環境】P104、105 P108～115、金融セミナー			

令和8年度 高等部2年 クリーニング 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
10/350	2年 生徒10名		自作プリント等

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		学習指導要領 5節 主として専門学科において開設される各教科 第1「家政」より (知及技)生活産業に関することについて理解するとともに、関連する技術を身につけるようにする。 (思判表力)生活産業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ課題を解決する力を養う。 (学・人)職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	130	(知及技)クリーニングの種類と特徴について理解し、各工程に係る技術を身に付けるようにする。 (3)クリーニング (思判表力)クリーニングにおいて、よりよいサービスを提供するために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現する力を養う。 (3)クリーニング (学・人)クリーニングの種類と特徴について自ら学び、各工程に主体的かつ協働的に取り組むようにする。 (3)クリーニング	【知・技】 クリーニングの種類と扱う道具について種類、扱い方、片付け方や、各種アイロン手順を理解し取り組むことができる。工程(受注、分類、洗い、乾燥、仕上げ、たたみ込み、仕分け、包装、納品)ができる。 (準備片付けの様子、定期テスト、実技テスト、個別評価表) 【思・判・表】 回収・受付道具の準備、受付手順を確認し、商品の仕分けができる。配達の際の接客マナーを意識して対応しようとしている。(活動中の様子、コミュニケーションの有無、個別評価表) 【主学】 ランドリー、ウェットクリーニング、ドライクリーニングの分類ができ、適正に扱うことができる。 作業前に作業内容や個人目標を把握し、作業後は自らの作業を振り返っている。(作業日誌への記入) ※日誌、振り返り発表、定期テスト、実技テスト、活動の姿で評価する。	・オリエンテーション(クリーニング基礎) ・目標設定 ・衣服の基礎知識 ・品質表示(組成表示) ・絵表示 ・各工程の確認 ・蒸気アイロン、各種機械等の安全な使用 ・正確な事務作業 ・接客マナー ・クリーニング師学科学習 ・時間管理 ・伝え合う、教え合う ・毎時の振り返り ・学期の反省	【知・技】【思・判・表】 ・働く態度、作業の心得 ・作業工程(回収、受付、仕分け、洗濯、乾燥、仕上げ、配達、集金) ＜蒸気アイロン仕上げ＞ ・半袖シャツ(タック有) ・ズボン(タック有) ・ニット・当て布仕上げ・エプロン・ネクタイ ＜人体仕上げ機＞ ・ジャケット・ジャンパー ＜パンツトッパー、ウールプレス機＞ ・各種ズボン ・道具の安全な取り扱い (蒸気アイロン、大型プレス機シートローラー、大型水洗機、大型乾燥機、人体仕上げ機、パンツトッパー、ウールプレス機、綿プレス機) ・受付伝票記入と確認 ・組成表示、絵表示確認 【主学】 ・効率の良い働き方(作業の優先順位) ・分業、共同作業 ・接客活動(回収・配達・集金) ・学習ノート記入(振り返り) ・校外学習(クリーニング工場見学)
2学期	150	(知及技)クリーニングの種類と特徴について理解し、各工程に係る技術を身に付けるようにする。 (3)クリーニング (思判表力)クリーニングにおいて、よりよいサービスを提供するために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現する力を養う。 (3)クリーニング (学・人)クリーニングの種類と特徴について自ら学び、各工程に主体的かつ協働的に取り組むようにする。 (3)クリーニング	【知・技】 クリーニングの種類と扱う道具について種類、扱い方、片付け方や、各種アイロン手順を理解し取り組むことができる。工程(受注、分類、洗い、乾燥、仕上げ、たたみ込み、仕分け、包装、納品)ができる。 (準備片付けの様子、定期テスト、実技テスト、個別評価表) 【思・判・表】 回収・受付道具の準備、受付手順を確認し、商品の仕分けができる。配達の際の接客マナーを意識して対応しようとしている。(活動中の様子、コミュニケーションの有無、個別評価表) 【主学】 ランドリー、ウェットクリーニング、ドライクリーニングの分類ができ、適正に扱うことができる。 作業前に作業内容や個人目標を把握し、作業後は自らの作業を振り返っている。(作業日誌への記入) ※日誌、振り返り発表、定期テスト、実技テスト、活動の姿で評価する。	・前学期の振り返り ・目標設定 ・衣服の基礎知識 ・品質表示(組成表示) ・絵表示 ・各工程の確認 ・蒸気アイロン、各種機械等の安全な使用 ・正確な事務作業 ・接客マナー ・クリーニング師学科学習 ・出前講座の受講 ・時間管理 ・伝え合う、教え合う ・毎時の振り返り ・学期の反省	【知・技】【思・判・表】 ・働く態度、作業の心得 ・作業工程(回収、受付、仕分け、洗濯、乾燥、仕上げ、配達、集金) ＜蒸気アイロン仕上げ＞ ・半袖シャツ(タック有) ・長袖シャツ(タック有)・ズボン(タック有) ・ニット・当て布仕上げ・エプロン・ネクタイ ＜人体仕上げ機＞ ・ジャケット・ジャンパー ＜パンツトッパー、ウールプレス機＞ ・各種ズボン ・道具の安全な取り扱い (蒸気アイロン、大型プレス機シートローラー、大型水洗機、大型乾燥機、人体仕上げ機、パンツトッパー、ウールプレス機、綿プレス機) ・受付伝票記入と確認 ・組成表示、絵表示確認 【主学】 ・効率の良い働き方(作業の優先順位) ・分業、共同作業 ・接客活動(回収・配達・集金) ・学習ノート記入(振り返り) ・校外学習(プロの接客について学ぶ)
3学期	70	(知及技)クリーニングの種類と特徴について理解し、各工程に係る技術を身に付けるようにする。 (3)クリーニング (思判表力)クリーニングにおいて、よりよいサービスを提供するために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現する力を養う。 (3)クリーニング (学・人)クリーニングの種類と特徴について自ら学び、各工程に主体的かつ協働的に取り組むようにする。 (3)クリーニング	【知・技】 クリーニングの種類と扱う道具について種類、扱い方、片付け方や、各種アイロン手順を理解し取り組むことができる。工程(受注、分類、洗い、乾燥、仕上げ、たたみ込み、仕分け、包装、納品)ができる。 (準備片付けの様子、定期テスト、実技テスト、個別評価表) 【思・判・表】 回収・受付道具の準備、受付手順を確認し、商品の仕分けができる。配達の際の接客マナーを意識して対応しようとしている。(活動中の様子、コミュニケーションの有無、個別評価表) 【主学】 ランドリー、ウェットクリーニング、ドライクリーニングの分類ができ、適正に扱うことができる。 作業前に作業内容や個人目標を把握し、作業後は自らの作業を振り返っている。(作業日誌への記入) ※日誌、振り返り発表、定期テスト、実技テスト、活動の姿で評価する。	・前学期の振り返り ・目標設定 ・衣服の基礎知識 ・品質表示(組成表示) ・絵表示 ・各工程の確認 ・蒸気アイロン、各種機械等の安全な使用 ・正確な事務作業 ・接客マナー ・クリーニング師学科学習 ・時間管理 ・伝え合う、教え合う ・毎時の振り返り ・年間の反省 ・次年度の目標	【知・技】【思・判・表】 ・働く態度、作業の心得 ・作業工程(回収、受付、仕分け、洗濯、乾燥、仕上げ、配達、集金) ＜蒸気アイロン仕上げ＞ ・長袖シャツ(タック有)・ズボン(タック有) ・ニット・当て布仕上げ・エプロン・ネクタイ ＜人体仕上げ機＞ ・ジャケット・ジャンパー ＜パンツトッパー、ウールプレス機＞ ・各種ズボン ・道具の安全な取り扱い (蒸気アイロン、大型プレス機シートローラー、大型水洗機、大型乾燥機、人体仕上げ機、パンツトッパー、ウールプレス機、綿プレス機) ・受付伝票記入と確認 ・組成表示、絵表示確認 【主学】 ・効率の良い働き方(作業の優先順位) ・分業、共同作業 ・接客活動(回収・配達・集金) ・学習ノート記入(振り返り) ・校外学習(職業生活の余暇の過ごし方について)
留意点 引継ぎ等		・クリーニングの学科学習、実技練習を行い、クリーニング師免許(国家資格)の資格取得をめざす。			

令和8年度 高等部 2年 農園芸 年間指導計画

単位数 ／配当時		児童生徒		担当者	教科書／副教材
350		2年・10名			自作プリント等
目標：(知・技)知識及び技能 (思・判・表)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標					
(知・技)農業に関することについて理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 (思・判・表)農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ課題を解決する力を養う。 (学・人)職業人として必要な豊かな人間性を育み、社会貢献に取り組む態度を養う。					
学 期	時 数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学 期	130	(知・技) ・「作業の意義を理解する	(知・技) 「作業の心得」を覚え、内容を理解する。	・職業について	・「作業の心得」を確認し、時間厳守や身なり、言葉遣いなどの職業生活に必要な知識を身に付ける
		(思・判・表) ・学習内容や作業について理解し、意欲や見通しを持って、他者と協力することができる。	(思・判・表) 授業説明を聞き理解し、日誌に記入することで、見通しを持って作業に取り組むことができる。	・「作業の意義」 ・他者と協働	・毎時間、作業日誌やOKTメモを取ることに、注意点や作業工程、名称などを覚える
		(知・技) 農業が社会で果たしている意義と役割などについて理解するとともに、職業生活に必要なとなる技術や作業に身に付けること(農業(1)農業の概要)	(知・技) それぞれの草花や農作物の特性を学び、草花や農作物の栽培管理、販売について知ることができる。	・草花の栽培管理(コリウス、トネリア、サルパンチエンス、他) ・農作物の栽培管理(ゴーヤー、インゲン、キュウリ、ナス、ピーマン他) ・販売学習 ・除草 ・道具の取り扱い	・草花・農作物の栽培管理(播種、鉢上げ、定植、耕うん、うね立て、マルチはり、追肥、除草、水かけ、収穫)を通して、草花や作物の生産を行う ・農作物の販売準備(調整、袋詰め、ラベル貼り) ・販売学習(陳列、接客対応、商品の説明、計算、金銭管理)
		(思・判・表) 農業を通して地域や社会の健全で持続的な発展に寄与する職業人となる視点から、よりよい作物等の栽培などをするために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現すること。 (農業(1)農業の概要)	(思・判・表) 農作物の栽培や多様な農業生産品、草花の植栽などが日常生活に深く関わっていることを理解することができる。	・農業の意義と役割	・季節や行事に応じた花壇や校舎内外の草花装飾を行い、奉仕の心を持つ ・観葉植物や多肉植物などの校舎内の装飾及び管理
		(知・技) 情報セキュリティやモラルについて理解し、情報機器を扱うことが出来る。 (学・人) 授業を振り返り、自己の成長と課題について考えることができる	(知・技) ・情報機器の特性や機能を知り、操作することができる。 (学・人) 日誌に学習内容をまとめ、発表を行うことができる。	・情報機器の活用 ・日誌の記入 ・振り返り発表	iPadの基本操作を学び、調べ学習、画像や情報をまとめ、発表することができる。 ・授業を振り返り、自己の反省と評価を日誌にまとめることができる。 ・反省を踏まえ、目標や自分の役割を考えることで、次の作業への見通しを持つ。 ・校外学習
2 学 期	150	(知・技) ・「作業の意義を理解する	(知・技) 「作業の心得」を覚え、内容を理解する。	・職業について	・「作業の心得」を確認し、実践できているか確認する。
		(思・判・表) ・学習内容や作業について理解し、意欲や見通しを持って、他者と協力することができる。	(思・判・表) 意欲をもって取り組み、他者と協力することができる。	・「作業の意義」 ・他者と協働	・作業日誌やメモを取ることに、注意点や作業工程、名称などを覚える
		(知・技) 農業が社会で果たしている意義と役割などについて理解するとともに、職業生活に必要なとなる技術や作業に身に付けること(農業(1)農業の概要)	(知・技) 農業が社会において果たしている役割や重要性があることを理解することができる。	・冬の草花の栽培管理(ペゴニア、パンジー、ビオラ、アリッサム、クリサンセマム、ゼラニウム他) ・冬の農作物の栽培管理(大根、キャベツ、セロリ、葉野菜他) ・観葉植物や多肉植物の栽培 ・販売学習 ・樹木のせん定 ・除草 ・農機具の取り扱い ・農場周辺の整備	・草花・農作物の栽培管理(播種、鉢上げ、定植、耕うん、うね立て、マルチはり、追肥、除草、水かけ、収穫)を通して、草花や作物の生産を行う ・農作物の販売準備(調整、袋詰め、ラベル貼り) ・沖高特祭に向けての野菜、草花の栽培及び、準備や販売 ・販売学習(陳列、接客対応、商品の説明、計算、金銭管理) ・使用する道具や機械等の活用 ・沖高特祭に向けての野菜、草花の栽培及び、準備や販売 ・校外学習
		(思・判・表) 農業を通して地域や社会の健全で持続的な発展に寄与する職業人となる視点から、よりよい作物等の栽培などをするために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現すること。 (農業(1)農業の概要)	(思・判・表) それぞれの草花や農作物の特性を学び、栽培管理、販売を考えることができる。	・行事や校内美化に向けた草花の装飾 ・小学校への苗配布、植込付け指導 ・地域の福祉団体への野菜の提供	・行事に応じた花壇や校舎内外の草花装飾 ・近隣小学校への苗配布を行い、奉仕の心を持つ
		(知・技) 情報セキュリティやモラルについて理解し、情報機器を扱うことが出来る。 (学・人) 授業を振り返り、自己の成長と課題について考えることができる	(知・技) ・情報機器の特性や機能を知り、操作することができる。 (主・学) 作業における役割を踏まえて、振り返りを行うことができる。	・情報機器の活用 ・2学期の振り返り	ICT機器を使って、表記、記録、計算等の活用の方法を学ぶ。 ・学期を振り返り、反省や自己の目標を考え、次の作業への目標・見通しを持つ。
3 学 期	70	(知・技) ・「作業の意義を理解する	(知・技) 「作業の心得」を覚え、内容を理解する。	・職業について	・「作業の心得」を確認し、実践できているか確認する。
		(思・判・表) ・学習内容や作業について理解し、意欲や見通しを持って、他者と協力することができる。	(思・判・表) 意欲をもって取り組み、他者と協力することができる。	・「作業の意義」 ・他者と協働	・毎時間、作業日誌やメモを取ることに、注意点や作業工程、名称などを覚える
		(知・技) 農業が社会で果たしている意義と役割などについて理解するとともに、職業生活に必要なとなる技術や作業に身に付けること(農業(1)農業の概要)	(知・技) それぞれの草花や農作物の特性を学び、栽培管理、販売を考えることができる。 農作物の栽培や多様な農業生産品、草花の緑化などが日常生活に深く関わっていることを理解することができる。	・草花の栽培管理(サルビア、ペゴニア、キンギョソウ、ナデシコ) ・次年度に向けた農作物の栽培管理(ナス・ピーマン、ゴーヤー) ・販売学習	・草花・農作物の栽培管理(播種、鉢上げ、定植、耕うん、うね立て、マルチはり、追肥、除草、水かけ、収穫)を通して、草花や作物の生産を行う ・農作物の販売準備(調整、袋詰め、ラベル貼り) ・販売学習(陳列、接客対応、商品の説明、計算、金銭管理) ・地域のイベントへの参加
		(思・判・表) 農業を通して地域や社会の健全で持続的な発展に寄与する職業人となる視点から、よりよい作物等の栽培などをするために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現すること。 (農業(1)農業の概要)	(思・判・表) 農作物の栽培や多様な農業生産品、草花の緑化などが日常生活に深く関わっていることを理解することができる。	・行事(卒業式・入学式)の式場、玄関装飾	・行事にふさわしい会場の装飾や校舎内外の装飾を行い、奉仕の心を持つ ・農場周辺の環境整備 ・校外学習
		(知・技) 情報セキュリティやモラルについて理解し、情報機器を扱うことが出来る。 (学・人) 授業を振り返り、自己の成長と課題について考えることができる	(知・技) ・情報機器の特性や機能を知り、操作することができる。 (主・学) 作業における役割を踏まえて、振り返りを行うことができる。	・情報機器の活用 ・年間の振り返り	iPadの基本操作を学び、画像や情報をまとめ、発表することができる。 ・年間を振り返り、自己の反省と次の目標を考え、発表することができる。
留意点 引継ぎ等		資格取得：刈払機取扱作業者安全衛生教育受講、小型車両系建設機械特別教育受講、危険物取扱者（丙種）			

単位数 ／配当時数	対象生徒	担当者	教科書／副教材
10／350	2年 生徒10名		なし

目標：(知及技)知識及び技術 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技術 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 職業に関する事柄について理解を深めるとともに、将来の職業生活に係る技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見い出して課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、表現する力を養う。 (学・人) よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への貢献に向けて、生活を改善しようとする実践的な態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	130	(知及技) 勤労の意義を理解すること。 (思判表力) 作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、改善を図ること。 (学・人) 生産や生育活動等に関わる技術について考えること。	(知・技) 用具、機械などの使い方を理解している。身だしなみ、挨拶・返事、報告・質問をしている。 (思・判・表) 安全のため、自分の立ち位置や周りの動きに気をつけ作業している。 (主学) 大事なことや名称などを自分で判断し、メモが活用している。 準備、後片付け、清掃を責任を持って行うことができる。	・オリエンテーション ・実習の心構え ・年間を通した製作課題 (個人の製作品、共同作業の製作品、ほか受注品など)	・安全に作業すること、衛生的に気をつけることを理解させ、実習させる。 ・用具、機械などの使い方を理解し、知識、技能の習得を支援・指導する。 ・身だしなみ、挨拶、報告・質問などがきちんとできるような言葉かけ、振り返りをする。 ・準備、後片付け、清掃を責任を持って行う。 ・指示理解を支援するためにメモを利用させる。 ・木工に関する物作りを通した技術だけでなく、卒業後の就職に有利な資格について理解する。(受講案内や卒業生の講話等)
		(知及技) 使用する道具や機械等の特性や扱い方を理解し、作業課題に応じて正しく扱うこと。 (思判表力) 意欲や見通しをもって取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現すること。 (学・人) 作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むこと。	(知・技) 木材の名称や特徴を知り、指示された寸法で材料選定や材料取りができ、製品完成までの工程を行うことができる。 (思・判・表) 工具・機械を安全に使用でき、正しく姿勢で工具や機械を使って作業をすることができる。 (主学) 決められた時間を集中して作業することができ、他の生徒と協力して組み立てなどの作業を行うことができる。	各種製品の製作 ・作業工程の理解 ・見本製品の観察・けがき ・材料取り・部品加工 ・組立・ペーパーがけ・塗装 ・紙の製作 製品例 ・本立て・イス・鉢台 ・ベンチ・座卓 ・各個人の希望製作品等	・各工具・機械名と作業工程名を覚える。 ・長さの単位がわかり、長さの計測をする。 ・木材の名称や特徴を知り、材料取りをする。 ・さし金を正しく使って、けがきをする。 ・目的に応じて工具や機械を正しく安全に使用する。 ・塗料をむらなく塗ることができる。 ・見本の寸法を測定し、材料取りをする。
		(知及技) 職業生活を支える社会の仕組み等の利用方法を理解すること。 (思判表力) 職業生活に必要な健康管理や余暇の過ごし方について考えること。 (学・人) 作業の確実性や持続性、巧緻性等を高め、状況に応じて作業すること。	(知・技) 接客5大用語が言え、お客様に対して大きな声で使用することができる。 (思・判・表) お客様からの質問や要望に対して、丁寧な言葉遣いでその場に応じた適切な対応ができる。 (主学) 商品を傷つけずに扱い、お客様が持ち帰りやすい袋への梱包や運搬補助を行うことができる。	販売学習および外部機関との連携 ・接客 ・お金の計算 ・運搬 ・袋詰め ・記録	・販売学習を通して、接客に必要な態度を学ぶ。 ・販売学習を通して、お金の計算を行う。 ・販売学習を通して、大型木製品の運搬を行う。 ・販売学習を通して、製品の袋詰めをする。 ・販売学習を通して、売れた品目と数を記録する。
2 学期	150	(知及技) 職業生活を支える社会の仕組みや各種工業技術の利用方法を理解すること。 (思判表力) 意欲や見通しをもって取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現すること。 (学・人) 作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むこと。	(知・技) 木材の名称や特徴を知り、指示された寸法で材料選定や材料取りができ、製品完成までの工程を行うことができる。 (思・判・表) 工具・機械を安全に使用でき、正しく姿勢で工具や機械を使って作業をすることができる。 (主学) 決められた時間を集中して作業することができ、他の生徒と協力して組み立てなどの作業を行うことができる。	製作 ・作業工程の理解 ・見本製品の設計・けがき ・材料取り・部品加工 ・組立・ペーパーがけ ・塗装(シーラー、ニス) 製品例 ・テーブル ・スパイスラック ・自由設計作品	・各工具・機械名と作業工程名を覚える。 ・長さの単位がわかり、長さの計測をする。 ・木材の名称や特徴を知り、材料取りをする。 ・さし金を正しく使って、けがきをする。 ・目的に応じて工具や機械を正しく安全に使用する。 ・塗料をむらなく塗ることができる。 ・見本の寸法を測定し、材料取りをする。 ・塗料をむらなく塗ることができる。
		(知及技) 職業生活を支える社会の仕組みや各種工業技術の利用方法を理解すること。 (思判表力) 職業生活に必要な健康管理や余暇の過ごし方について考えること。 (学・人) 作業の確実性や持続性、巧緻性等を高め、状況に応じて作業すること。	(知・技) 接客5大用語が言え、お客様に対して大きな声で使用することができる。 (思・判・表) お客様からの質問や要望に対して、丁寧な言葉遣いでその場に応じた適切な対応ができる。 (主学) 商品を傷つけずに扱い、お客様が持ち帰りやすい袋への梱包や運搬補助を行うことができる。	販売学習および外部機関との連携 ・接客 ・お金の計算 ・運搬 ・袋詰め ・記録	・販売学習を通して、接客に必要な態度を学ぶ。 ・販売学習を通して、お金の計算を行う。 ・販売学習を通して、大型木製品の運搬を行う。 ・販売学習を通して、製品の袋詰めをする。 ・販売学習を通して、売れた品目と数を記録する。
3 学期	70	(知及技) 使用する道具や機械等の特性や扱い方を理解し、作業課題に応じて正しく扱うこと。 (思判表力) 意欲や見通しをもって取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現すること。 (学・人) 作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むこと。	(知・技) 木材の名称や特徴を知り、指示された寸法で材料選定や材料取りができ、製品完成までの工程を行うことができる。 (思・判・表) 工具・機械を安全に使用でき、正しく姿勢で工具や機械を使って作業をすることができる。 (主学) 決められた時間を集中して作業することができ、他の生徒と協力して組み立てなどの作業を行うことができる。	製作 ・作業工程の理解 ・見本製品の設計・けがき ・材料取り・部品加工 ・組立・ペーパーがけ ・塗装(シーラー、ニス) 製品例 ・ミニベンチ ・自由設計作品	・各工具・機械名と作業工程名を覚える。 ・長さの単位がわかり、長さの計測をする。 ・木材の名称や特徴を知り、材料取りをする。 ・さし金を正しく使って、けがきをする。 ・目的に応じて工具や機械を正しく安全に使用する。 ・塗料をむらなく塗ることができる。 ・見本の寸法を測定し、材料取りをする。
		(知及技) 職業生活を支える社会の仕組みや各種工業技術の利用方法を理解すること。 (思判表力) 職業生活に必要な健康管理や余暇の過ごし方について考えること。 (学・人) 作業の確実性や持続性、巧緻性等を高め、状況に応じて作業すること。	(知・技) 接客5大用語が言え、お客様に対して大きな声で使用することができる。 (思・判・表) お客様からの質問や要望に対して、丁寧な言葉遣いでその場に応じた適切な対応ができる。 (主学) 商品を傷つけずに扱い、お客様が持ち帰りやすい袋への梱包や運搬補助を行うことができる。	販売学習および外部機関との連携 ・接客 ・お金の計算 ・運搬 ・袋詰め ・記録	・販売学習を通して、接客に必要な態度を学ぶ。 ・販売学習を通して、お金の計算を行う。 ・販売学習を通して、大型木製品の運搬を行う。 ・販売学習を通して、製品の袋詰めをする。 ・販売学習を通して、売れた品目と数を記録する。
留意点 引継ぎ等		・「産業フェア」や「うるま市産業まつり」へ生徒製品を展示販売し社会参加の機会を増やす。 ・関連する資格として、アーク溶接特別教育やガス溶接技能講習、フォークリフト特別教育、危険物取扱者等の資格取得をめざす。			

令和8年度 高等部 2年 総合的な探究の時間 年間指導計画

単位数／ 配当時間	児童生徒	担当者	教科書／副教材
175	2学年 生徒50名	2学年職員	進路の手引き（校内資料）

目標：（知及技）知識及び技能（思判表力）思考力、判断力、表現力等（学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能（思・判・表）思考・判断・表現（主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標	（知及技）探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。→仕事内容を理解し、課題に対応することができる（本校の進路指導重点目標(3)より）。 （思判表力）実社会や実生活と自己との関わりから問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。→自己の役割を理解し、仕事に向けて自己管理ができる（進路指導重点目標(2)より）。 （学・人）探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。→良好な人間関係をつくり、協力して仕事を行うことができる（進路指導重点目標(1)より）。 ※2学年目標「自己の課題へのとりくみ」（進路の手引き2学年の目標より） ①働く場にふさわしい態度を身につけ、良好な対人関係を築く。 ②自己の能力や適性を理解し、就労に向けて自己の課題に取り組む。				
------	---	--	--	--	--

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1	83	（知及技）仕事に必要な基本的態度（適切な声の大きさ、言葉遣い、姿勢、挨拶や返事、報告、質問、身だしなみ）を習得できる。（思判表力）マナーに関する基礎的・基本的な知識と技術の習得を図り、日常生活や職場に必要なマナーを身に付け、場に応じた立ち居振る舞いができる。（学・人）働くことの必要性和意義を知り、主体的に仕事に取り組むことができる。	（知・技）仕事に必要な基本的な態度を習得している。（思・判・表）場に応じた立ち振る舞いができる。（主学）主体的に学習・仕事に取り組んでいる。	前期就業体験 就業体験事前学習 校外就業体験 経験拡充就業体験（5/25～6/5 10日間） 就業体験事後学習 進路講話 3年生就業体験報告会への参加 進路面談（抽出） 後期就業体験希望調査 4者面談 事業所との面談	（1）事前学習の主な内容 ①就業体験の目的・就業体験先事業所、作業内容等について ②出退勤について（出退勤練習） ③面接について ④緊急時の対応について（欠勤・遅刻等の連絡） ⑤個人目標設定、日誌記入について （2）就業体験の主な内容 企業等の協力を得て、学校や家庭で身に付けてきた力を、実際に現場で活用できるように体験的な学習を行う。働く上での課題を明らかにし、職場におけるルールや仕事の厳しさ、楽しさ、やりがい等も学ぶ場とし、労働に対する積極的な態度を育成する。また、個々の適性を把握し、将来の進路を選ぶ際の参考にする。 ① 自分を知る：自己理解、将来設計等 就業体験個人評価票 ② 働く：いろいろな仕事、職場でのルール等 仕事に必要な基本的態度（適切な声の大きさ、言葉遣い、姿勢、挨拶や返事、報告、質問、身だしなみ）、生産およびサービス活動（接客等） ③ 楽しむ：大人のマナー、コミュニケーション、余暇の過ごし方等 ④ 暮らす：金銭管理、健康的な暮らし、制度・施設の利用等
2	86	（知及技）様々な職業について幅広く知り進路選択の幅を広げる。（思判表力）職場で働く上での心構え（服装、身だしなみ等）や注意すべきこと（安全、衛生等）等について理解し、行動につなげる。（学・人）働く意義について理解し、働く意欲を高める。	（知・技）様々な職業について知っている。（思・判・表）知識に基づいた、適切な行動をしている。（主学）働く意欲を持っている。	進路講話 就業体験報告会（2年） 職業講話（サンエー） 後期就業体験 就業体験事前学習 経験拡充就業体験（10/13～10/23 9日間） 就業体験事後学習 冲高特祭の取り組み	（3）進路講話の主な内容 ※①は就業体験報告会、②は卒業生講話、③～⑦は職業講話 ①3年生就業体験報告会の視聴、2学年就業体験報告会での発表 ②本校卒業生の職業生活について ③日常的なマナー：挨拶、身だしなみ・服装、バス内、携帯電話等 ④社会人としてのマナー：言葉遣い・敬語の使い方、面接の受け方、案内の仕方等 ⑤接客マナー：待機の仕方、お辞儀・会釈の仕方、案内の仕方、注文の取り方等 ⑥様々な職種の利用 ⑦様々な考え方の理解 （4）事後学習の主な内容 ①自己評価と他者評価との比較 就労支援シートの記入、就業体験個人評価票との比較 ②お礼状作成 ③就業体験報告会に向けて（成果と課題まとめ） ④後期就業体験に向けて：希望職種（作業内容や体験先） ⑤今後の目標の記入 （5）進路面談の主な内容 ①担任、部屋担、保護者、進路担当、県就労支援コーディネーター等との面談。 ②企業担当者との面談
3	6	（知及技）自分自身を理解できる。（思判表力）自分自身を理解し、自己管理ができる（学・人）良好な人間関係をつくり、主体的に協力して物事を行うことができる。	（知・技）自分自身の課題を理解している（思・判・表）自分自身に応じた、適切な行動ができている（主学）主体的に協力して物事を行っている。	進路面談 進路希望調査 4者面談 事業所との面談 卒業生講話	
留意点 引継ぎ等		・時数は就業体験等でまとめどりをする。			

令和8年度 高等部 2年 特別活動 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1／35	2学年 生徒50名		通常高校学習指導要領

(知及授)・多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。 (思弁表力)集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。 (学・人)自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、主体的に集団や社会に参画し、生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。 (ホームルーム活動の目標) ホームルームや学校での生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成し、役割を分担して協力して実践したり、ホームルームでの話し合いを生かして自己の課題の解決及び将来の生き方を描くために意思決定して実践したりすることにより、自主的、実践的に取り組むことを通して、3つの柱で整理した資質・能力を育成することを目指す。 (生徒会活動の目標) 異年齢の生徒同士で協力し、学校生活の充実と向上を図るための諸問題の解決に向けて、計画を立て役割を分担し、協力して運営することに自主的、実践的に取り組むことを通して、3つの柱で整理した資質・能力を育成することを目指す。 (学校行事の目標) 全校若しくは学年又はそれに準ずる集団で協力し、よりよい学校生活を築くための体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養いながら、3つの柱で整理した資質・能力を育成することを目指す。						
年間目標	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容	
1 学 期 (13 時間)	通 年	生徒が主体的に組織をつくり、役割を分担し、計画を立て、学校生活の課題を見だし解決するために話し合い、合意形成を図り実践すること。	【評価の観点】 「より良い生活を築くための知識・技能」 個人と集団との関係性及び集団活動の意義を理解し、社会生活におけるルールやマナーに則った行動の仕方を身に付けている。	登校日の生徒集会(生徒会活動)	○道路指導の確認 ○あいさつの心得 ○あいさつ練習 ・心を落ち着かせ、きれいに整列し集会に臨む。 ・社会自立に向けての自分の課題を考える。	
		ホームルームや学校における生活を向上・充実させるための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図り、実践すること。		学級びらき(ホームルーム活動)	○担任、生徒の自己紹介 ○学級目標の設定 ○個人目標の設定 自己紹介等によりクラスメイトを知り、互いに協力することを意識する。 ・社会自立に向けて自分の課題を考える。	
		生徒が主体的に組織をつくり、役割を分担し、計画を立て、学校生活の課題を見だし解決するために話し合い、合意形成を図り実践すること。	「集団や社会の形成者としての思考・判断・表現」 様々な場面で、自分と異なる考えや立場にある多様な他者を尊重して認め合い、支え合ったり補い合ったりして、合意形成や意思決定をしている。	新入生歓迎球技大会(生徒会活動)	○実施方法やルールの確認 ○チーム編成について 協力して取り組むことにより、学級の和を図る機会であることを意識する。	
		節度ある健全な生活を送るなど現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進することや、事件や事故、災害等から身を守り安全に行動すること。		連体の過ごし方(ホームルーム活動)	○連体の計画 ○規則正しい生活 ※携帯電話や男女交際に関する注意 ・個人面談により生徒個々の具体的な課題や問題点について話し合い、実態に応じて指導や助言を行う。	
		適性やキャリア形成などを踏まえた作業種を選択することなどについて、目標をもって、在り方生き方や進路に関する適切な情報を収集・整理し、自己の個性や興味・関心と照らし合わせて考えること。	「主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度」 様々な集団に積極的に所属し、他者の価値観や個性を受け入れ、新たな環境のもとで互いによさや可能性を発揮できる関係築くこととしている。	働くこととは(ホームルーム活動)	○働くことの意味 ○将来の職業を選ぶ基準について 「目的意識のために出来ること、やるべきことについて一緒に考え、実践につながるような指導を行う。」	
		心や体に関する正しい理解を基に、適切な行動をとり、悩みや不安に向き合い乗り越えようとする事。		就業体験の心構え(ホームルーム活動)	○基本的なマナーの確認(身だしなみ、あいさつ、言葉づかい等) ○行動等について ・個々の能力、適性に応じて適切な道路指導を行う。 ・就業体験の評価、反省を基に生徒個々の課題を的確に捉え共通課題を抽出する。	
		心や体に関する正しい理解を基に、適切な行動をとり、悩みや不安に向き合い乗り越えようとする事。		心身の健康と安全1(ホームルーム活動)	○健康を考えた食の自己管理 ○給食時間の確認と食事のマナー ・健康を考慮偏食をしないこと、食事のマナーを確認し、給食時間を通して望ましい人間関係を築くことを意識する。	
		心や体に関する正しい理解を基に、適切な行動をとり、悩みや不安に向き合い乗り越えようとする事。		心身の健康と安全2(ホームルーム活動)	○歯の健康について ・衛生週間を通して歯の健康について正しい知識を身につける。	
		生徒会などホームルームの枠を超えた多様な集団における活動や学校行事を通して学校生活の向上を図るため、ホームルームとしての提案や取組を話し合っ		校外学習(ホームルーム活動)	○校外学習のねらいと取り組みを理解する。 ・校外学習のよさを活用し、他教科とも連携して指導する。	
		節度ある健全な生活を送るなど現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進することや、事件や事故、災害等から身を守り安全に行動すること。		1学期の反省と夏休みの過ごし方(ホームルーム活動)	○1学期の学習面・生活面を自己評価する。 ○夏休みの生活指導、計画立案 ・生徒指導部からの「夏休みの過ごし方」について確認する。 ・個人面談により夏休みの過ごし方について話し合い指導や助言を行う。	
2 学 期 (15 時間)		ホームルームや学校における生活を向上・充実させるための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図り、実践すること。	同上	2学期の目標と計画(ホームルーム活動)	○2学期の自己目標の設定 ○諸行事の取り組み計画 ・学級目標と個人の目標について関連づける ・個人面談により夏休みの過ごし方について話し合い課題や問題点について指導や助言を行う。	
		自主的に学習する場としての学校図書館等を活用し、自分にふさわしい学習方法や学習習慣を身に付けること。		本に親しむ(ホームルーム活動)	・自分の好きな本を紹介することにより、読書活動の幅を広げる ・感想を発表し、読書活動の幅を広げる	
		現在及び将来の生活や学習と自己実現とのつながりを考えたり、社会的・職業的自立の意義を意識したりしながら、学習の見直しを立て、振り返ること。		職業と人生(ホームルーム活動)	・道路指導部や保護者と連携して指導にあたる ・実習先の評価を参考にする	
		適性やキャリア形成などを踏まえた資料を選択することなどについて、目標をもって、在り方生き方や進路に関する適切な情報を収集・整理し、自己の個性や興味・関心と照らし合わせて考えること。		自分の適性(ホームルーム活動)	・職業選択について好きな職種、やりがい、仕事内容、給料、地域等いろいろな角度から一緒に考え、助言を行う	
		平和と異なる生活環境にあって、見聞を広め、自然や文化などに親しみながら、よりよい人間関係を築くなどの集団生活の在り方や公共生活などについての体験を積み重ねることができるようにすること。		修学旅行に向けて(学校行事)	○ねらいと日程についての確認 ○各係活動にむけての計画 ○公共施設の利用とマナーを確認する ○団体行動について ・体調管理、荷物管理 ・係活動、自主的、計画的に行えるよう配慮する ・身だしなみや態度に気をつけて行動できるよう確認する ・睡眠や食事等を気を付け、体調について自己管理ができるよう声かけする	
		心や体に関する正しい理解を基に、適切な行動をとり、悩みや不安に向き合い乗り越えようとする事。		健康的な社会生活(ホームルーム活動)	○タバコ、薬物、アルコール等の害 ○アンケート調査 ・具体的な事例を用いてわかりやすく説明する	
		心身の健全な発達や健康の保持増進、規律ある集団行動の体得、運動に親しみ態度の育成、責任感や連帯感の涵養、体力の向上などに資するようにすること。		特別支援学校体育大会に向けて(学校行事)	○選手としてのマナーについて ○服装、行動、安全、公共施設の利用について ・他校の生徒との交流の機会でもあることを意識し積極的に参加できるように指導する	
		勤労の尊厳や創造することの喜びを体得することとともに、共に助け合って生きることの喜びを体得し、社会奉仕の精神を養う体験が得られるようにすること。		沖泉特祭に向けて(学校行事)	○活動計画や内容について ○参加の望ましい態度について ・学校行事の中でも柱の一つであり各コース、各教科の集大成であることを意識する ・自主的に活動し仲間と協力して行事を成功させることを自覚する	
		節度ある健全な生活を送るなど現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進することや、事件や事故、災害等から身を守り安全に行動すること。		2学期の反省と冬休みの過ごし方(ホームルーム活動)	○2学期の学習面・生活面を自己評価する ○冬休みの生活指導、計画立案 ・生徒指導部からの「冬休みの過ごし方」について確認する。 ・個人面談により生徒個々の具体的な課題や問題点について話し合い、実態に応じて指導や助言を行う	
		ホームルームや学校における生活を向上・充実させるための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図り、実践すること。		3学期の目標と計画(ホームルーム活動)	○3学期の自己目標の設定 ・3学期は最後の学期であることを意識し最上級生を迎えるにあたり、自分の課題を再確認する	
3 学 期 (7 時間)		学校生活に有意義な変化や取り組みを付け、徹底で清らかな気分を味わい、新しい生活の展開への動機付けとなるようにすること。	同上	卒業式に向けて(学校行事)	○卒業式に向けての取り組み ・卒業の門出にふさわしい礼儀(聞く態度、姿勢、身だしなみ)について確認する	
		現在及び将来の生活や学習と自己実現とのつながりを考えたり、社会的・職業的自立の意義を意識したりしながら、学習の見直しを立て、振り返ること。		1年の反省と3学年になる心構え(ホームルーム活動)	○反省し、最上級生になる意義を話し合う ・3年へ進級する自覚を促し、激励する	
留意点 ／引継ぎ等						

※自立活動の時間における指導計画は、個別に作成されることが基本であり、最初から集団で指導することを前提とするものではない。しかし本校の生徒の場合、2心理的な安定、3人間関係の形成、6コミュニケーションに関する項目に関して改善・克服を要する生徒が多く、その為に集団を構成して指導することが効果的だと考えられる。このことから、「生徒個々の自立活動の個別の指導計画」と合わせて、「学年(指導は学級単位)ごとの自立活動の年間指導計画」も作成し、実践・評価・改善を行う。

3年間を通しての目標	個々の児童又は生徒が自立を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、もって心身の調和的発達を基盤を培う。
------------	---

年間目標 ※全ての項目について指導を行うわけではない事に留意	1 健康の保持(健) :日常生活を行うために必要な健康状態の維持・改善を図ることができる。 2 心理的な安定(心) :自分の気持ちや情緒をコントロールして変化する状況に適切に対応するとともに、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服する意欲の向上を図り、自己のよさに気付くことができる。 3 人間関係の形成(人) :自他の理解を深め、対人関係を円滑にし、集団参加の基盤を身につけることができる。 4 環境の把握(環) :感覚を有効に活用し、空間や時間などの概念を手掛かりとして、周囲の状況を把握したり、環境と自己との関係を理解したりして、的確に判断し、行動できる。 5 身体の動き(身) :日常生活や作業に必要な基本動作を習得し、生活の中で適切な身体の動きができる。 6 コミュニケーション(コ) :場や相手に応じて、コミュニケーションを円滑に行うことができる。
---------------------------------------	--

学期	時数	単元・題材名	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材の活動内容
年間を通して行う	35	身体面 プログラム (認知作業トレーニング)	身(1)姿勢と運動・動作の基本的技能に関すること 身(5)作業に必要な動作と円滑な遂行に関すること 環(1)保有する感覚の活用に関すること 環(4)感覚を総合的に活用した周囲の状況についての把握tp状況 ・壮大運動や巧緻動作の不器用さの改善を図ることができる。 ・協調運動の向上を図り、適切な筋力調整、動作の予測ができる。	・自分の身体の動きや使い方、物をコントロールする力の調整ができる。 ・作業に必要な基本動作を習得し、その巧緻性や持続性の向上を図るとともに、作業を円滑に遂行する能力を高めることができる。	【コグトレ】 ・自分の身体トレーニング(力加減と動き) ・物と自分の身体トレーニング(物のコントロール、手指の動き) ・人の身体と自分の身体トレーニング(模倣、動作の言語化)
		学習面 プログラム (認知機能強化トレーニング)	環(5)認知や行動の手掛かりとなる概念の形成に関すること ・視覚、聴覚制の短期記憶の向上、文章理解の向上を図ることができる。 ・注意力、集中力、処理速度の向上を図ることができる。 ・視覚認知の基礎力(模写、形の把握)の向上を図ることができる。 ・視覚認知の応用力(形の恒常性)の向上を図ることができる。 ・方略、論理的思考、関係性理解、時間概念の向上を図ることができる。	・基礎学習の土台作り(記憶力、言語理解力、注意力、知覚、推論力、判断力などに)積極的に取り組む事ができる。	【コグトレ】 ・「覚える」トレーニング ・「数える」トレーニング ・「写す」トレーニング ・「見つける」トレーニング ・「想像する」トレーニング
		社会面 プログラム (認知ソーシャルトレーニング)	心(1)情緒の安定に関すること・対人関係のスキルの向上を図ることができる。 環(2)他者の意図や感情の理解に関すること 環(3)自己理解と行動の調整に関すること 環(4)集団への参加の基礎に関すること コ(5)状況に応じたコミュニケーションに関すること ・感情統制を図ることができる。 ・適切な自己評価ができる。 ・適切な対人マナーを習得し、円滑なコミュニケーションを図ることができる。	・自分で感情をコントロールし、「他者と適切な関わりを保つことができる。 ・思い付きや、思い込みで行う不適切な行動に気づき、改善することができる。 ・様々な状況での対人マナーを知り、活用することができる。	【コグトレ】 ・段階式感情トレーニング ・危険予知トレーニング ・対人マナートレーニング
		スケジュール管理	心(2)状況の理解と変化への対応に関すること ・活動の内容、順序を理解し適切な行動を取ることができる。 ・状況の変化にも落ち着き対応することができる。 環(2)自己理解と行動の調整に関すること ・自分の評価と他者の評価が同じであることや違いがあることに気付くことができる。 環(3)自己理解と行動の調整に関すること ・自分の行動を振り返り、適切な行動かを確認、調整することができる。 コ(5)状況に応じたコミュニケーションに関すること ・自分の行動、思ったことや考えたことの要点をまとめ表現することができる。 ・伝えようとする側と受け取る側との人間関係や、そのときの状況を的確に把握できる。 ・場や相手の状況に応じて、主体的にコミュニケーションを展開できる。	・活動や行動について見通し、目標を持つことができる。 ・自分の行動を振り返り、より良い行動につなげることができる。 ・自分の行動を振り返り、授業や行事のできごとで考えたこと、思ったこと、要点を相手に伝わるように文章で表現することができる。	・年間、月、週の行事を見通し、活動の内容を確認する。(OKTメモ、スケジュール帳の活用) ・1週間の振り返り(連絡帳)を行う。 ・各活動、学期の振り返り(キャリアパスポート)を行う。 ・活動の振り返りを行い、今後の行動改善につなげる。 ・タブレットで動画、写真を確認する活動を常に取り入れる。 ・生徒同士が伝え合う活動を、常に取り入れる。
		活動の振り返り			
		自己理解・他者理解	健(4)障害の特性の理解と生活環境の調整に関すること 心(3)障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲 人(3)自己理解と行動の調整 ・自分の障害の特性と学習や生活上における困難なこととの関連について理解し、自分の得意/苦手なことに気づくことができる。 ・自分の障害の状態を理解したり、受容したりして、障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服しようとする意欲の向上を図ることができる。	・障害により学習や生活上における困難なことがあることを理解することができる。 ・自分の得意なこと、不得意なことに気づくことができる。 ・自分自身より良い行動を選択するために、今後やるべき事を言葉や文字で表現できる。	・「障害理解」に関する学習 ・「自己理解」に関する学習 ・生徒同士での話し合い活動を通し、自己理解、他者理解を促す。
		健康面	健(1)生活リズムや生活習慣の形成に関すること 健(5)健康状態の維持・改善に関すること ・生活リズムを整え日常生活における適切な健康の自己管理ができる。 ・社会生活に適した衛生習慣を身に付けることができる。 健(2)病気の状態の理解と生活管理に関すること ・自分の疾患などを理解し、正しく服薬、薬の管理をすることができる。	・健康のために生活リズムを整え、適切な運動習慣や食生活、薬の服薬の必要性を理解することができる。 ・健康的な生活に向けて自分に必要な自己管理は何かを考えることができる。 ・健康の保持に向け自己管理ができる。	・自分が行った活動をメモをとり、習慣付けを促す。 ・自ら目標を立て、活動を振り返る。 ・睡眠、健康観察、検温、身体の保清(歯磨き、洗顔、着替え、手洗い、消毒、他)、水分補給、運動、栄養バランス、服薬
		情緒面	心(1)情緒の安定に関すること 人(3)自己理解と行動の調整に関すること ・自分の気持ちを相手に他者に適切に伝えることができる。 ・状況に応じ適切な行動を行うことができる。	・自分の行動を振り返り、思いや考えを適切な言葉で表現することができる。 ・表情や言葉、声の調子や大きさに相手の気持ちを考えるなど状況に応じたコミュニケーションの基礎作りに取り組む事ができる。	・トークンゲーム ・ソーシャルスキルトレーニング ・ロールプレイングゲーム ・アンガーマネジメント ・視覚の言語化 ・感情の言語化 ・その他
		言動面	コ(5)状況に応じたコミュニケーションに関すること ・時と場に応じた話題や言葉遣い、言動ができる。 自分の思いや考えを言葉で表現し、状況に応じた会話を楽しむことができる。	・場や相手に応じて適切な話し方ができる。 ・自分の気持ちに合う適切な言葉で表現することができる。 ・活動内容などを分かりやすく要約し伝えることができる。(図解化ができる) ・見聞きたことや調べたことを、会話の話題にすることができる。	・声のものさし ・トークンゲーム ・ソーシャルスキルトレーニング ・ロールプレイングゲーム ・視覚の言語化 ・感情の言語化 ・図解化
		生徒個々の課題に応じた活動	生徒個々の目標に関すること	目標達成したと見なされる姿	・生徒個々に応じた活動 ・個人面談
留意点 引継ぎ等	・生徒の個々の実態に応じた課題設定や目標設定、取り組むべき内容を検討して、クラス単位や学年単位での活動を取り入れる。				

令和8年度 高等部2年 福祉 年間指導計画					
単位数 ／配当時間		児童生徒		担当者	教科書／副教材
350		2年 生徒10名			介護職員初任者研修テキスト (学研) 自作プリント等
目標：(知・技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (学・人)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		学習指導要領 5節 主として専門学科において開設される各教科 第5「福祉」より (知・技)福祉に関することについて理解するとともに、関連する技術を身につけるようにする。 (思判表力)福祉に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ課題を解決する力を養う。 (学・人)職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	14	(知・技) 就労の対価や意義を調べる ことができる。(職業：高2段階ア (ア) (思判表力) 介護や保育の心得、ホスピタリ ティについて考えることができる。 (職業：高2段階イ(イ)) (学・人) 介護職、保育職の社会的ニーズ を理解し、これからの社会に必要 な事を知ることができる。 (職業：高2段階ア(イ))	(知・技) 介護や保育の役割、専門性、仕事内容 を理解できる。基本の介護技術を身に 付けようとしている。 (思・判・表) 社会が必要としているや相手の求める 介護をすることの重要性は何かを考え 表現しようとしている。 (学・人) 介護や保育職が社会に必要であること を知ろうとしている。 ＊日誌、振り返り発表、活動の姿で評価 する。	・オリエンテーション ・自己目標設置 ・介護、保育、ホテル業 に従事するとは、 ・カードゲーム(自分の 望む「介護」とは) ・新聞づくり(「老老介 護、若い物語者、待機児 童など」) ・高齢者体験 ・高齢者施設・福祉関連 施設の見学	・職種についての学習やビジネスマナー等を 通して、就労意識や対価について学習し、意 欲的に作業にあたる姿勢を身につける。 ・介護や保育、ホテル業の職場と仕事内容を 調べる。 ・介護や保育、ホテル業に従事する際の心 得、高齢者や幼児に携わる職業に必要なこ とを理解し、より良い介護、保育の在り方、 生活支援について考える。 ・現在、介護や保育に関する社会的課題につ いて知る。 ・高齢者体験を通し、高齢者の身体の特徴な どを知り、介護のニーズについて考える。
	114	(知・技) 社会福祉の理念と意義を理解し、介護・福祉サービスを必要 とする人の理解、生活支援に関 する技術を身に付けることができる。 (福祉1(1)) (思判表力) 福祉を担う当事者としての意識 を持ち、福祉に携わる者として 課題に向かい、解決に向けた ように取り組むことができる。 (福祉1(2)) (学・人) 社会の信頼を得て、福祉を展開 する上で必要な職業人に求めら れる倫理観、福祉を通じて社会 に貢献する意識、職業人としての 優しさを思いやりを育むこと ができる。(福祉1(3))	(知・技) 社会福祉の意義や役割、介護の職種につ いて理解するとともに、介護の係る 基本的な技術を身に付けようとしてい る。 (思・判・表) 介護や福祉サービスを提供す るために必要な課題を発見し、工夫 し表現しようとしている。 (学・人) 社会福祉や介護・福祉サービスにつ いて自ら学び、実習等に主体的かつ協 働的に取り組もうとしている。 ＊「介護職員初任者研修」ミニステ ト、日誌、実技テスト、活動の姿で評 価する。	・介護職員初任者研修オリ エンテーション ・介護職員初任者研修力 リキウム 1、職種の理解 2、介護における尊厳の 保持・自立の支援 3、介護の基本 4、介護・福祉サービスの 理解と医療との連携 5、介護におけるコミュニ ケーション技術	・「介護職員初任者研修カリキュラム」に 沿って学習を進める。(テキストを使用) ・社会福祉の意義と役割、様々な制やサービ ス、社会福祉サービスと必要とする高齢者や 障害者を取りよ、社会福祉サービスが人間 の生活と深く関わっていることを学ぶ。 ・1F、00、ノーマライゼーション、虐待防 止、身体拘束禁止、個人の権利を守る制度 の概要や人権と尊厳を支える自立支援、介護 予防について学ぶ。 (バリエーション、ユニバーサルデザインなど) ・介護保険制度、医療との連携とリハビリ テーション、他職種との連携について学ぶ。 ・安全の確保、リスクマネジメント、介護職 の安全について学ぶ。(危険予知トレーニ ング、バイタルサイン、バイタルチェック、ボ ディワークス) ・正しい感染症対策や感染症の基本的な予防 対策を理解し、介護施設における感染症対策 の必要性を学ぶ。 ・介護におけるコミュニケーションの意義や 技術、チームでのコミュニケーションにつ いて学ぶ。・フタワーク、手話などという なコミュニケーションを学ぶ。(しまなみ うば、手話などいろいろなコミュニケーション)
	2			(知・技) 1学期の学習を振り返り、成果や課題 を確認し次学期への活かそうとしてい る。 (思・判・表) 自身の成長点や課題点を考え、改善に 向けた目標とともに表現、発表しよう としている。 (学・人) 他者の発表を聞き、成長点や反省点を ともに考えようとしている。 ＊定期テスト、振り返り発表、活動の 姿で評価する。	・1学期のまとめ
2学期	148	(知・技) 社会福祉の理念と意義を理解し、介護・福祉サービスを必要 とする人の理解、生活支援に関 する技術を身に付けることができる。 (福祉1(1)) (思判表力) 福祉を担う当事者としての意識 を持ち、福祉に携わる者として 課題に向かい、解決に向けた ように取り組むことができる。 (福祉1(2)) (学・人) 社会の信頼を得て、福祉を展開 する上で必要な職業人に求めら れる倫理観、福祉を通じて社会 に貢献する意識、職業人としての 優しさを思いやりを育むこと ができる。(福祉1(3))	(知・技) 人間の成長や発達段階、人体の構造や 機能、生命維持の仕組みや人体各部の 名称、老化や認知症、障害が生じたに 及ぼす影響について理解するとともに関 する技術を身に付けようとしてい る。 (思・判・表) ここからだが介護を必要とする人 のニーズに応じた介護サービス を利用するために必要な課題を発見し 、工夫について考え、表現しようとし ている。 (学・人) ここからだが介護を必要とする人 について自ら学び、家事援助、介護に 係る実習等に主体的かつ協働的に取 り組もうとしている。 ＊「介護職員初任者研修」ミニステ ト、日誌、実技テスト、活動の姿で評 価する。	・前学期の振り返り、目 標設定 ・介護職員初任者研修力 リキウム 6、老化の理解 7、認知症の理解 8、障害の理解 9、ここからだのし くみと生活支援技術 10、生活と家事、居宅環境 整備、整容、移動と移 動、食事、入浴と整容保 持、排泄、睡眠)	・「介護職員初任者研修カリキュラム」に 沿って学習を進める。(テキストを使用) ・学習と記憶、感情と意欲、自己概念と生き が、適応行動とその阻害要因など介護に関 する心のしくみや人体の構造とボディメカニ クス、中枢神経と感覚神経、自律神経と内臓 気管など介護に関する身体のしくみについて 学ぶ。 ・老化に伴うここからだと身体の変化と日常、高 齢者と健康、認知症の理解、家族支援につ いて学ぶ。 ・生活支援の実践について学ぶ。(家事に関 する用具の活用方法、快適で安全・安心な居住 環境整備と福祉用具の活用方法、整容に関 する用具の活用方法と負担の少ない支援方 法、食事環境の整備や福祉用具の活用方法と 安全で楽しい食事の支援方法、入浴用具と整 容用具の活用方法と安全で楽しい入浴支援方 法、排泄環境の整備と排泄用具の活用方法、 寝具の活用と快適な睡眠環境の整備や用具 の活用と楽しい睡眠の支援方法)
	2		(知・技) 2学期の学習を振り返り、成果や課題 を確認し次学期への活かそうとしてい る。 (思・判・表) 自身の成長点や課題点を考え、改善に 向けた目標とともに表現、発表しよう としている。 (学・人) 他者の発表を聞き、成長点や反省点を ともに考えようとしている。 ＊定期テスト、振り返り発表、活動の 姿で評価する。	・2学期のまとめ	・反省の発表会を行い自他の成果や課題を振り返り 次学期以降の目標を考える。
3学期	66	(知・技) 生活支援において福祉サービス利用 者のニーズに応じた介護サービスを提供 するために必要な課題を発見し、工夫 について考え、表現しようとしてい る。 (学・人) 生活支援について自ら学び、家事援助、 介護に係る実習等に主体的かつ協 働的に取り組もうとしている。 ＊「介護職員初任者研修」ミニステ ト、日誌、実技テスト、活動の姿で評 価する。	(知・技) 生活支援において福祉サービス利用 者のニーズに応じた介護サービスを提供 するために必要な課題を発見し、工夫 について考え、表現しようとしてい る。 (学・人) 生活支援について自ら学び、家事援助、 介護に係る実習等に主体的かつ協 働的に取り組もうとしている。 ＊「介護職員初任者研修」ミニステ ト、日誌、実技テスト、活動の姿で評 価する。	・前学期の振り返り、目 標設定 ・介護職員初任者研修力 リキウム 9、ここからだのし くみと生活支援技術 (死にゆく人への心と 体、自立に向けた介護、 介護課程の基礎的理解、 総合生活支援技術演習) 10、振り返り、就業人 の働きと研修終了後の継続 的研修 11、修了試験	・「介護職員初任者研修カリキュラム」に 沿って学習を進める。(テキストを使用) ・生活支援の実践について学ぶ。(終末期の 過程における苦痛の少ない死への支援方法)
	4	(知・技) 1年間の学習を振り返り、介護技術を 習得した成果や今後の課題を確認し次 年度入学生活かそうとしている。 (思・判・表) 自身の成長点や課題点を考え、改善に 向けた目標とともに表現、発表しよう としている。 (学・人) 他者の発表を聞き、成長点や反省点を ともに考えようとしている。 ＊定期テスト、振り返り発表、活動の 姿で評価する。	(知・技) 1年間の学習を振り返り、介護技術を 習得した成果や今後の課題を確認し次 年度入学生活かそうとしている。 (思・判・表) 自身の成長点や課題点を考え、改善に 向けた目標とともに表現、発表しよう としている。 (学・人) 他者の発表を聞き、成長点や反省点を ともに考えようとしている。 ＊定期テスト、振り返り発表、活動の 姿で評価する。	・介護技術確認テスト ・年間のまとめ	・介護技術確認テスト(ベトナム、車い す介助他)を実施し、介護技術の習得を確認 する。 ・1年間で習得した技能、技術に関する試験 を受け、自らの成長と今後の課題を確認す る。 ・反省の発表会を行い自他の成果や課題を振り返り 入生。 ・情報機器を活用し、プレゼンテーションを 作成して発表する。
年間を通して行う		(知・技) 介護者として身に付けた基本的な 介護技術を知識を活かすことが できる。(福祉1(1)) (思判表力) 支援が必要な方の立場になっ て考え行動することができる。 (福祉1(2)) (学・人) 介護に関心を持ち、主体的、協 働的に取り組むことができる。 (福祉1(3))	(知・技) 介護の目的を理解し、利用者の立場に なった支援の方法を活かそうとし ている。 (思・判・表) 利用者の立場になった支援の方法を工夫 しながら、実習でコミュニケーション を取りながら活動している。 (学・人) チームの一員として、主体的、積極的に 活動に取り組んでいる。 ＊本単元の評価は年間を通して、日 誌、振り返り発表、活動の姿で評価す る。	・高齢者との交流 ・高齢者施設の見学 ・幼児との交流 ・保育園見学	・高齢者、障害者施設、保育園などの見学や 利用者との交流など、実践的・体験的な活動 を通して、相手と心を通じ合った対応方法と体験 を共有し、自分自身の成長と今後の課題を確認す る。 ・情報機器を活用し、プレゼンテーションを 作成して発表する。
		(知・技) 福祉機器やコンピュータ等の名 称、目的、操作手順、使用、管 理について適切に使用すること ができる。(福祉1(1)) (思判表力) 情報モラル、マナーについて正 しく判断し、情報機器を効果的 に活用することができる。(福祉 1(2)) (学・人) 福祉や介護の現場で活用するた めに必要な福祉機器や情報機器 の使用方を主体的に学ぶことが できる。(福祉1(3))	(知・技) 福祉機器や情報機器を適切に使用し、 使う、大切に扱いながら活動に取り組 んでいる。 (思・判・表) 情報モラルや情報マナーについて考え ながら情報機器を使用している。 (学・人) 福祉機器や情報機器の使用方を積極 的に学び活用しようとしている。 ＊本単元の評価は年間を通して、日 誌、振り返り発表、活動の姿で評価す る。	・発表 ・調べ学習 ・新聞づくり ・福祉機器や用具 ・情報機器の活用 ・振り返りシート	・様々な福祉機器を紹介、使用体験を行う。 ・コンピュータやタブレットを使って情報を 集め、他者に伝える。(新聞作り、発表資 料など) ・コンピュータや携帯の便利さと危うさを 実例で学び実践(記録・計算・通信等の代表的な ソフトの使い方を体験する)
留意点 引継ぎ等					

令和8年度

高等部2年

職業科（陶芸班）

年間指導計画

単位数 ／配当時数		児童生徒		担当者		教科書／副教材	
70		2年 生徒10名		()		ひとりだちするための進路学習-あしたへのステップ- ほか自作プリント等	
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度							
年間目標		(知及技)職業生活に必要な知識及び技能を身に付けるとともに勤労に関する意欲や関心を高め他者と協働して活動することができる。また、造形的な視点について理解するとともに意図に応じて制作方法を工夫し創造的に表すことができる。(高1段階) (思判表力)将来の職業生活における自己の目標や課題を設定し、自ら工夫して改善する力を養うとともに職業生活に必要な健康管理や余暇の過ごし方について考えることができる。また、造形的なよさや面白さ、美しさ、表現の意図と工夫、陶芸の働きなどについて考え、思いや願いなどから発想して構想を練ったり、陶芸の伝統と陶芸文化に対する見方や感じ方を広げることができる。(高1段階) (学・人)将来の職業生活の実現や、生活を改善しようとする実践的な態度を養うとともに、卒業後の進路選択に必要なことについて理解することができる。また、陶芸の創作活動に主体的に取り組み、陶芸を愛好する心情を培い心豊かな生活を営む態度をとることができる。(高1段階)					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容		
1学期	26	(知及技) ・勤労の意義やビジネスマナーを知ることができる。 ・造形的な視点について理解するとともに意図に応じて制作方法を工夫し創造的に表すことができる。 (思判表力) ・学期の予定、授業内容を理解し見通しを持つことができる。 ・造形的なよさや面白さ、美しさ、表現の意図と工夫、陶芸の働きなどについて考え、思いや願いなどから発想して構想を練ったり、陶芸の伝統と陶芸文化に対する見方や感じ方を広げることができる。 (学・人) ・作業の心得を理解する。 ・陶芸の創作活動に主体的に取り組み、陶芸を愛好する心情を培い心豊かな生活を営む態度をとることができる。	・学期の授業内容を聞き、学習の見通しを持つことができる。 ・自己選択、自己決定、自己実現に向けて、自己の課題を見つけることができる。 ・勤労に対する理解を深め、ビジネスマナー等を学び、実践することができる。 ・職場でのルールやマナーを理解し、他者と協力して作業を行うことの大切さを知る。 ・学期を振り返り、自己の生長点と反省点を他者に伝えることができる。 ・陶芸で扱う道具について理解して取り組むことができる。 ・制作手順を確認し、仕上がりを意識して作品を作ろうとしている。 ・作業内容や個人目標を把握し、作業後は自らの作業を振り返ることができている。	・オリエンテーション ・手びねりでつくる	・働く態度、作業の心構え ・用具の取り扱い ・土の取り扱い ・土ヒモの作り方と品質チェック ・手びねりでつくる ①紐づくりで円筒をつくる ②紐づくりで角筒をつくる ③紐づくりで球体をつくる ④玉づくりで碗をつくる		
	30	(知及技) ・言葉遣いや身なりに気を付けながら他者と関わるができる。 ・造形的な視点について理解するとともに意図に応じて制作方法を工夫し創造的に表すことができる。 (思判表力) ・職業生活について自身で課題を発見し、課題を他者と相談することができる。 ・造形的なよさや面白さ、美しさ、表現の意図と工夫、陶芸の働きなどについて考え、思いや願いなどから発想して構想を練ったり、陶芸の伝統と陶芸文化に対する見方や感じ方を広げることができる。 (学・人) 作業や実習における役割を踏まえて、自分の成長や課題について考え、表現することができる。 ・陶芸の創作活動に主体的に取り組み、陶芸を愛好する心情を培い心豊かな生活を営む態度をとることができる。	・学期の授業内容を聞き、学習の見通しを持つことができる。 ・勤労に対する理解を深め、ビジネスマナーや職場での良好な人間関係の構築等を学び、実践することができる。 ・現場実習での自身の課題や成長点を見出し、課題を克服するための目標を見出すことができる。 ・職場でのルールやマナーを理解し、業務内容を理解し作業ができる。 ・学期を振り返り、自己の生長点と反省点を他者に伝えることができる。 ・陶芸で扱う道具について理解して取り組むことができる。 ・制作手順を確認し、仕上がりを意識して作品を作ろうとしている。 ・作業内容や個人目標を把握し、作業後は自らの作業を振り返ることができている。	・面シーサーをつくる ・タタラ機を使った成形 ・いっちゃん加飾 ・素焼き窯詰め ・施釉 ・本焼き窯詰め	・面シーサーの成形で、手順、規格を守ることの徹底 ・タタラ機を使った「丸皿」作りで土のカットと成形を身につける ・タタラ機を使った商品としての「ペン立て」作り ・素焼き皿に「いっちゃん」を施し、加飾の技法を身につける ・加飾された素焼き皿に釉薬をかけ窯づめの準備を行う		
3学期	14	(知及技) ・職業など卒業後の進路に必要なことについて理解することができる。 ・造形的な視点について理解するとともに意図に応じて制作方法を工夫し創造的に表すことができる。 (思判表力) ・年間を通して自己の成長について振り返り、考えたことを表現することができる。 ・造形的なよさや面白さ、美しさ、表現の意図と工夫、陶芸の働きなどについて考え、思いや願いなどから発想して構想を練ったり、陶芸の伝統と陶芸文化に対する見方や感じ方を広げることができる。 (学・人) ・他者からの意見を聞き、受け入れることができる。 ・陶芸の創作活動に主体的に取り組み、陶芸を愛好する心情を培い心豊かな生活を営む態度をとることができる。	・学期の授業内容を聞き、学習の見通しを持つことができる。 ・卒業後の進路・職業選択について理解を深め課題や解決策を考えることができる。 ・将来の職業生活について、自身の考えをまとめることができる。 ・年間を振り返り、自己の反省点を他者へ伝えることができる。 ・陶芸で扱う道具について理解して取り組むことができる。 ・制作手順を確認し、仕上がりを意識して作品を作ろうとしている。 ・作業内容や個人目標を把握し、作業後は自らの作業を振り返ることができている。	・商品開発 ・箸置き ・皿、カップ	・実用的な商品の開発 (使いやすく、手に取りやすい) ・消費者目線の「箸置き作り・皿・カップ」		
留意点 引継ぎ等		徴収金：3,000円 陶土代、釉薬代 制作物を3学期に持ち帰る					

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	2年	()	

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知・技)造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。(高1段階) (思判表力)造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫などについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化などに対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。(高1段階) (学・人)楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。(高1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	6	(知)形や色彩、材料や光などの働きを理解すること。(高知1共通事項) (技)材料や用具の特性の生かし方などを身に付け、意図に応じて表現方法を工夫して表すこと。(高知1A表現) (学・人)楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。(高知1)	(知)色彩の働きやしくみについての問題が解けている。 (ワークシート記入、期末テスト) (技)ポスターカラーの扱いがわかり、平ゆりができている。 (ワークシート内での実技) (主学)ワークシートの問題や実技を期限内に仕上げようとしている。	・色を学ぶ、色を知る ・形と色の構成	・三原色 ・色の三要素(三属性) ・十二色相環 ・類似色、補色 ・色の感じ ・グラデーションの技法 ・平面構成の基本的な技法(平ゆり、用具の扱い)
	4	(技)材料や用具の特性の生かし方などを身に付け、意図に応じて表現方法を工夫して表すこと。(高知1A表現) (学・人)楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。(高知1)	(技)鉛筆の種類や特徴が分かり、特徴を生かしてグラデーションを表現しようとしている。(ワークシート内での実技) (主学)ワークシートの実技を期限内に仕上げようとしている。	・鉛筆で表す ・鉛筆で描く	・鉛筆の種類、持ち方 ・明暗を表す(濃さを調整して面で表す) ・形をとらえる(陰影、面をとらえる)
	15	(知)形や色彩、材料や光などの働きを理解すること。(高知1共通事項) (学・人)主体的に美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、心豊かに創造する態度を養う。(高知2)	(知)形や色彩の働きによっておこる感情や効果を理解することができている。 (主学)想像力を膨らませて、自身の感じ取ったことや考えたことを伝えたり、友人の考えを聞いたりしながら作品鑑賞ができる。	・光と影の競演 ・目を閉じれば広がる世界 ・顔は語る ・絵画カード ・意見交換	・読書感想画 ・ポスターデザイン ・名画調べ
2学期	20	(知)形や色彩、材料や光などの働きを理解すること。(高知1共通事項) (技)材料や用具の特性の生かし方などを身に付け、意図に応じて表現方法を工夫して表すこと。(高知1A表現) (学・人)主体的に美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、心豊かに創造する態度を養う。(高知2)	(知)版画の特性や色を重ねることの効果を理解することができている。 (技)彫刻刀の特性を理解し、安全に使用することができている。 (主学)想像力を膨らませて、自分なりに形や色を工夫しながら表現することができている。作品提出。	・版画の種類 ・木版画 ・一版多色刷 ・作品を飾る	・版画の種類 ・彫刻刀の使い方 ・木版画 ・色の重ね方(光と影・グラデーション) ・鑑賞
	7	(知)焼き物の特徴を理解し、作りたいものに合った制作方法を工夫すること。(高知1A表現共通事項) (技)土の特徴から発想し、生活を楽しむ作品を考える。(高知1A表現) (学・人)主体的に制作活動に取り組み、生活で使う焼き物に関心を持ち、楽しく表現できる。(高知2)	(知)焼き物の種類や特徴を理解し、自分の意図する物を作ることができる。 (技)粘土や用具の生かし方などを身につけ、意図に応じて工夫し、制作の手順などを考え、見通しを持って表している。 (主学)制作活動の喜びを味わい、生活で使う目的や機能などを考え制作することができる。作品提出。	・いろいろな焼き物 ・焼き物を作る	・焼き物を作る ・道具の使い方、制作手順、片付け方 ・鑑賞
3学期	14	(知)造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。	(知)仲間と協力して一つの題材に取り組み卒業式で展示する壁画をしあげようとしている。	・作品を飾る	・展示の場所や展示の工夫(卒業式壁画)
	4	(思判表力)生活の中の美術や文化遺産などのよさや美しさを感じ取り、生活を美しく豊にする美術の働きや美術文化について考えるなどして、見方や感じ方を広げること。(高知1B鑑賞) (学・人)楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。(高知1)	(思・判・表)美術と社会の関わりについて考えようとしている。 (ワークシート記入) (主学)自らの進路選択に生かそうとしている。(発問や質問応答の有無やワークシート記入)	・美術からつながる仕事	・身近な仕事に生かされる美術
留意点 引継ぎ等					

3学年

単位数 ／配当時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	3学年		国語表現（大修館書店）

目標：(知・技)知識及び技能（思・判）思考力、判断力、表現力等（学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能（思・判・表）思考・判断・表現（学・人）主体的に学習に取り組む態度

		(知・技)社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。（高知2） (思・判・表)筋道を立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げることができるようにする。（高知2） (学・人)言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。（高知2）			
年間目標	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	4月17月（26）	(思・判・表)「書くこと」において、目的や意図に応じて、志望と自分に関わる事柄の中から適切な題材を集め、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確化できる。（ア・(エ2)）（高知1）（学・人）情報を調べて集め、説得力のある志望理由を書くことに興味をもち、意欲的に学習に取り組むことができる。	(思・判・表)「書くこと」において、目的や意図に応じて、志望と自分に関わる事柄の中から適切な題材を集め、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。（学・人）文章を書くときの留意点に気を付けながら、意欲的に学習に取り組もうとしている。	4 自己PRと面接 レッスン4 志望理由を書こう	・志望への理念や特徴を詳しく情報収集する。 ・自分の経験ややりたいことをメモに整理する。 ・具体的なエピソードを加え、説得力を高める。 ・志望の特徴と自分の強みを論理的に結びつける。
		(知・技)書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けができる。（ア・(エ2)）（高知2）(思・判・表)「書くこと」において、目的や意図に応じて、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にすることができる。（ア・(エ2)）（高知2）（学・人）文章を書くときの留意点に気を付けながら、意欲的に学習に取り組むことができる。	(知・技)書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けしている。（思・判・表)「書くこと」において、目的や意図に応じて、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。（学・人）文章を書くときの留意点に気を付けながら、意欲的に学習に取り組もうとしている。	レッスン5 自己推薦書や学習計画書を書く	・提出書類の種類とそれぞれの役割を理解する。 ・過去の経験と将来の目標を具体化し材料を練る。 ・選考側の視点に立ち、説得力があるかをふまえながら推敲する。 ・志望理由と自己PRを自分らしく構成する。
		(知・技)話し言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解して使うことができる。（ア・(エ2)）（高知2）(思・判・表)「話すこと・聞くこと」において、相手の反応に応じて言葉を選び、相手の関心や非関心が得られるように表現を工夫している。（学・人）面接の留意点や面接での言葉遣いについて興味をもち、意欲的に取り組むことができる。	(知・技)話し言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けしている。（思・判・表)「話すこと・聞くこと」において、相手の反応に応じて言葉を選び、相手の関心や非関心が得られるように表現を工夫している。（学・人）面接の留意点や面接での言葉遣いについて興味をもち、意欲的に取り組むことができる。	レッスン6 面接にチャレンジ	・想定される質問に対する自分の答えを準備する。 ・入室や挨拶など、面接の基本作法を習得する。 ・役割交代をしながら模擬面接を実践する。 ・質問の意図を読み、具体例を交えて話す練習をする。
		(知・技)さまざまな通信文の形式を理解することができる。（ア・(カ））（高知1）(思・判・表)相手や目的に応じて適切な形式を選び、通信文を書くことができる。（ア・(カ））（高知1）（学・人）さまざまな通信文の使い分けや、手紙の書き方に興味をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	(知・技)書き言葉の特徴や役割、表現の特色。通信文ごとの形式の違いについて理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けしている。（思・判・表)「書くこと」において、自分の思いや考えを明確にし、表現のしかたを工夫している。（学・人）さまざまな通信文の使い分けや、手紙の書き方に興味をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	5 メディアを駆使する レッスン1 通信文を書き分ける	・相手との関係に応じ、手紙かメールかを選択する。 ・前文から挨拶まで、手紙の基本形式を学ぶ。 ・時節の挨拶や敬語など、改まった表現を実践する。 ・宛名の書き方や返信の配慮など、送付マナーを知る。
2学期	9月12月（30）	(知・技)表現したり理解したりするために必要な句の構成や、語彙を豊かにすることができる。（ア・(カ））（高知2）（学・人）言葉がもつよさを認識し、言語感覚を養うことができる。	(知・技)話し言葉と方言との違いを理解している。方言の良さに気づき、日常よく表現し、方言を愛し慣れ、語彙を豊かにしている。（学・人）話し言葉と方言との違いに関心をもち、学習課題に沿って、それらを理解しようとしている。	方言と共通語 しまくとうばを学ぼう	・自分が住んでいる地域、身近な場面で使われるしまくとうばについて、ワークシート、動画をもちに知る。 ・方言もさらに地域(中南部、宮古、八重山)によって表現や発音が異なることを確認する。 ・方言の効果について友達と話し合い、方言のよさを考える。 ・これまでの学習を振り返るとともに、これからの生活にいかす視点をもつ。
		(知・技)話し言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けができる。（イ・(ア））（高知2）(思・判・表)「話すこと・聞くこと」において、相手の反応に応じて言葉を選んだり、電話におけるマナーを意識したやりとりを工夫するなど、相手の関心や非関心が得られるように表現を工夫することができる。（イ・(ア））（高知2）（学・人）電話での効果的なやりとりのしかたに興味をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	(知・技)話し言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けしている。（思・判・表)「話すこと・聞くこと」において、相手の反応に応じて言葉を選んだり、電話におけるマナーを意識したやりとりを工夫したりするなど、相手の関心や非関心が得られるように表現を工夫している。（学・人）電話での効果的なやりとりのしかたに興味をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	レッスン2 電話を使いこなす	・改まった電話の基礎マナーと手順を理解する。 ・名乗りから日程調整までの一連の流れを練習する。 ・自分側と相手側で敬語を正しく使い分ける。 ・不在時や遅刻連絡など、不測の事態にも対応できるようにする。
		(知・技)伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けする。（ウ・(ア））（高知2）(思・判・表)「書くこと」において、電子メールの特徴を理解し、注意点や適切な表現のしかたを意識して電子メールを送ることができる。（学・人）言葉が持つよさを認識し、言語感覚を養うことができる。	(知・技)伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けしている。（思・判・表)「書くこと」において、電子メールの特徴を理解し、注意点や適切な表現のしかたを意識して電子メールを送ることができる。（学・人）議論やワークシートへの書き込み、課題の提出などとして、電子メールの特徴や有効性について理解しようとしている。	レッスン3 電子メールを活用しよう	・電話や手紙と比較し、メールの特性を整理する。 ・場面に応じた利点と欠点をグループで話し合う。 ・メールの仕組みや端末による見え方の差を知る。 ・ウイルスや情報漏洩などのリスクと対策を確認する。
		(知・技)さまざまなメディアの種類や特徴、メディアリテラシーをもとにした情報との向き合い方について理解を深めることができる。（ア・(カ））（高知1）(思・判・表)「書くこと」において、メディアとの付き合い方を意識しながら意見を述べ、調べたことを整理したり話し合ったりして、自分や集団の意見をまとめることができる。（イ・(ア））（高知1）（学・人）さまざまなメディアの特徴とそれから得られる情報について興味をもち、意欲的に学習に取り組むことができる。	(知・技)さまざまなメディアの種類や特徴、メディアリテラシーをもとにした情報との向き合い方について理解を深めている。（思・判・表)「書くこと」において、メディアとの付き合い方を意識しながら意見を述べ、調べたことを整理したり話し合ったりして、自分や集団の意見をまとめることができる。（学・人）さまざまなメディアの特徴とそれから得られる情報について興味をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	レッスン6 メディアと情報 【表現への扉】メディアって何？/すべては編集されている	・同じニュースでも媒体による扱いの差を分析する。 ・複数の情報源を照らし合わせ、内容を吟味する。 ・情報が「編集」されていることを理解する。 ・伝え方の違いや気づいたことを文章にまとめる。
3学期	1月3月（14）	(知・技)相手の見て話したり聞いたりするとともに、間の取り方などに注意して話すことができる。（ア・(イ1)）（高知1）(思・判・表)相手に伝わるように、言葉の抑揚や強調、間の取り方などを工夫することができる。（イ・(ア1)）（高知1）（学・人）言葉が持つよさを認識し、言語感覚を養うことができる。	(知・技)相手の見て話したり聞いたりしている。（活動的）相手に伝わるように、言葉の抑揚や強調、間の取り方などを工夫している。（学・人）相手に状況に応じて言葉を選んで、適切に表現している。	1分スピーチ 「新年の抱負を伝えよう」	・新年を迎え、新しい年に向けての抱負を1分間で発表する。 ・〈発表者〉：様用紙1枚程度の新年の目標を書く。 ・〈言葉の抑揚、間の取り方〉に気を付け、発表練習をする。 ・〈聞き手〉：大事なことを落とさずに聞かす、メモを取る。（「ひらがな」「カタカナ」を使う。） ・話題を意識して聞く。
		(知・技)自分の思いや考えを伝える際の言語表現を書きかきする読書の意義と効用について理解を深めることができる。（ウ・(エ2)）（高知2）(思・判・表)目的や場面に応じて、実社会の問題や自分に関わる事柄の中から話題を決め、情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討することができる。（イ・(ア1)）（高知1）（学・人）読書に興味をもち、意欲的に読書に取り組むことができる。	(知・技)自分の思いや考えを伝える際の言語表現を書きかきする読書の意義と効用について理解を深めている。（思・判・表)目的や場面に応じて、実社会の問題や自分に関わる事柄の中から話題を決め、情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。（学・人）読書に興味をもち、意欲的に読書に取り組もうとしている。	読書のひろば 『宝探ししてみたいに本の世界へ』（戸田愛葉）	・本文を読み、感想を交流する。 ・教科書の本文を音読し、好きなところや気づいたことなどについて、ノートに書く。 ・互いに発表し合う。
		(知・技)読書に親しめ、読書が自分の考えを広げることになり立づくことに気付くことができる。（ウ・(エ2)）（高知2）(思・判・表)表現したり理解したりするために必要な句の量を増やし、語彙を豊かにすることができる。（ア・(エ2)）（高知2）(思・判・表)文章を読んでも理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。（イ・(ア1)）（高知1）（学・人）思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。	(思・判・表)「書くこと」において、読み手を楽しませよう、さまざまなエッセイを参考に構成や構成を工夫している。（学・人）エッセイを書く活動に興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。	【第2部】表現を楽しむ 10 エッセイを書こう	・読者を意識し、他のエッセイを参考にしながら、構成、文法、表現などを意識してエッセイを書く。 ・書き上げたエッセイを読み返し、他の人の意見なども取り入れて推敲する。
留意点 引き等					

令和 8 年度 高等部 3年 社会科 年間指導計画					
単位数 ／配当時数		児童生徒		担当者	教科書／副教材
35		3 年生			ひとりだちするための社会
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		(知・技) 我が国の国土の様子と国民生活、自然環境の特色、先人の業績や優れた文化遺産、社会参加するためのきまり、公共施設の役割と制度、農業や水産業の現状、産業と経済との関わり、外国の様子について、様々な資料や具体的な活動を通して、社会生活との関連を踏まえて理解するとともに、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。(高知1) (思・判・表) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力、自分の生活と結び付けて考える力、社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを表現する力を養う。(高知1) (主・学) 社会に主体的に関わろうとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚、我が国の国土に対する愛情、我が国の歴史や伝統を大切に国を愛する心情、我が国の産業の発展を願い我が国の将来を担う国民としての自覚や平和を願う日本人として世界の国々の人々と共に生きることの大切さについての自覚を養う。(高知1)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	13	(知・技) 社会生活を営む上で大切な法やきまりがあることを知ることができる。(高1) (思判表) 生活に関係の深い公共施設や公共交通機関の利用の仕方を調べ、適切な活用を考え、表現することができる。(高1) (学・人) ライフステージを理解し、今後の計画を立てることができる。	(知・技) 社会生活に法やきまりがあることを知り、理解しようとしている。 (思判表) 公共施設や公共交通機関の役割や利用の仕方を調べて、表現しようとしている。 (学・人) 自らのライフステージを理解し、将来について計画しようとする意欲が見られる。	・社会参加ときまり ・メディアの活用 ・公共施設の利用	・国や社会のきまり ・きまりのない世界を考える ・新聞から記事を選択する ・役所（住民票・婚姻届） ・公共交通機関 ・警察と消防 ・銀行 ・郵便局 ・病院 ・ライフステージ ・生活相談ができる施設
2 学期	15	(知・技) 選挙権行使の年齢がわかり、選挙の意義を理解する。(高1) (思判表) 社会生活の中で国民としての権利及び義務、それに伴う責任について考え、表現できる。(高1) (学・人) 療育手帳の使い方を学び、利用する方法を知ることができる。(高1)	(知・技) 選挙を通じて社会参加の大切さを理解しようとしている (思判表) 国民としての権利や義務がなぜ与えられているのかを考えて表現しようとしている。 (学・人) 療育手帳の活用方法を知り積極的に活用しようとする意欲が見られる。	・私たちの民主政治 ・経済と産業	・選挙(他国との比較) ・政治の仕組み ・日本国憲法 ・税金と私たちの生活 ・働く障がい者を支える社会保障 ・日本の産業
3 学期	7	(知・技) 消費者保護制度を知り、悪質詐欺について理解する。(高1) (思判表) 18歳で何ができ何ができないかを判断することができる。(高1) (学・人) 時事事項に興味・関心を持ち、社会に関わる思考を持つことができる。	(知・技) 悪質詐欺に引っかからないために良い悪いを理解しようとしている。 (思判表) 18歳になると何ができのかを的確に判断しようとしている。 (学・人) ハローワークや就労支援センターを利用する意欲が見られる。	・くらしと公共施設 ・私たちと消費社会	・時事ニュース ・流行語大賞 ・ハローワークの利用方法 ・就労支援センターの役割と利用 ・消費者保護問題保障制度 ・18歳でできること
留意事項 引継ぎ等		・時事問題（ニュース等）を題材にした学習活動を行う。 ・適切な情報収集能力向上のため、タブレット端末を利用した授業を行う。			

令和8年度					高等部 3年		教科名		年間指導計画		
単位数 ／配当時数		児童生徒				担当者		教科書／副教材			
2/70		3年48名						新編新しい算数5上下、新編新しい算数6/ 教科書びったりトレーニング 算数4年 教科書びったりトレーニング 算数5年 教科書びったりトレーニング 算数6年			
目標：(知・技)知識及び技能 (思・判・表)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主・学)主体的に学習に取り組む態度											
年間目標		(知・技) 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解し、日常の事象を数学的に解釈したり、表現・処理したりする技能を身に付ける。 (思・判・表) 日常の事象を数学的に捉え、見通しをもち、筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形などの性質を統合的・発展的に考察する力、数学的に事象を表現したりする力を養う。 (学・人) 数学的活動の楽しさやよさを実感し、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える、数学を生活や学習に活用する態度を養う。									
学期	時数	単元・題材の目標		単元・題材の評価規準		単元・題材名		単元・題材の活動内容			
1学期	5	(知・技) 具体的な場面について、数量の関係を文字を用いて一般的に表すことを理解し、文字に数をあてはめて調べることができる。 (思・判・表) 文字にいろいろな数をあてはめられることを基に、数量の関係を文字を用いた式で表すことの関連や一般性について考えている。【ワークシート、単元テスト、学習の様子】 (主・学) 数量の関係を表す式について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。【学習の様子、学習の記録】		(知・技) 数量の関係を言葉や口、○などの代わりに、文字を用いて式に表すことを理解し、数量の関係を文字を用いて式に表したり、式から具体的な数値に表したり、文字に数をあてはめて調べたりすることができる。【ワークシート、単元テスト、学習の様子】 (思・判・表) 文字にいろいろな数をあてはめられることを基に、数量の関係を文字を用いた式で表すことの関連や一般性について考えている。【ワークシート、単元テスト、学習の様子】 (主・学) 数量の関係を表す式について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。【学習の様子、学習の記録】		2. 文字と式 (教科書P24～31)		・数量の大きさを、文字 x を用いた式で一般的に表すこと ・数量の関係を、文字 x、y を用いた式で一般的に表すこと			
	8	(知・技) 2つの数量の割合を表す方法として、比について理解することができる。 (思・判・表) 実際の割合と関連づけ、数量の割合の比の方を尋ねることができる。日常の事象を目的に応じて比でとらえることや数学的表現を用いることができる。 (学・人) 数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に粘り強く考えたり、今後の生活や学習に活用することができる。		(知・技) 比の意味や表し方、比の相等の意味を理解し、2つの数量の関係を調べた比で表したり、等しい比をつくったりすることができる。【ワークシート、単元テスト、学習の様子】 (思・判・表) 日常の事象における数量の関係に着目し、比を用いた関係の比の方を既習の割合と関連づけて統合的にとらえ、割合の適用場面で考え方を工夫している。【ワークシート、学習の様子】 (主・学) 日常の事象を目的に応じて比でとらえたことや数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。【学習の様子、学習の記録】		6. 比 (教科書P72～84)		・比の意味と表し方 ・比の値の意味と表し方 ・等しい比の意味と調べ方 ・比の相等関係とその利用、比例配分			
	13	(知・技) 比例や反比例の関係について理解することができる。 (思・判・表) 伴って変わる2つの数量やそれらの関係に着目し、表や式、グラフを用いて変化や対応の特徴を見いだして2つの数量の関係を考察することができる。 (学・人) 比例や反比例の関係を数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、多面的に粘り強く考えたり、今後の生活や学習に活用することができる。		(知・技) 比例や反比例の意味や性質、表やグラフの特徴について理解し、比例や反比例の関係にある2つの数量の関係を表や式、グラフに表したり、比例の関係をを用いて問題解決しようとしている。【ワークシート、単元テスト、学習の様子】 (思・判・表) 伴って変わる2つの数量を見いだして、それらの関係に着目し、目的に応じて表や式、グラフを用いてそれらの関係を表現し変化や対応の特徴を見いだし問題解決に活用している。【ワークシート、単元テスト、学習の様子】 (主・学) 数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。【学習の様子、学習の記録】		11. 比例と反比例 (教科書P150～175)		・比例の関係を、文字x、yを使って式に表すこと ・表を使った比例関係の考察 ・比例の式 ・比例のグラフの理解 ・比例関係に着目した問題 ・反比例の意味、性質 ・反比例の表、式、グラフ			
2学期	8	(知・技) 対称な図形の観察や構成を通してその意味や性質を理解することができる。 (思・判・表) 図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、構成の仕方や考察した図形の性質を見いだすことができる。 (学・人) 図形を対称という観点で考察した過程を振り返り、多面的に粘り強く考えたり、今後の生活や学習に活用することができる。		(知・技) 線対称、点対称な図形の意味や性質について理解し、線対称、点対称な図形をかくことができる。【ワークシート、単元テスト、学習の様子】 (思・判・表) 図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、対称という観点で既習の図形を見なおすその性質をとらえて説明し、図形に対する見方を深めている。【ワークシート、単元テスト、学習の様子】 (主・学) 対称な図形について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。【学習の様子、学習の記録】		1. 対称な図形 (教科書P8～23)		・線対称な図形、対称の軸の概念 ・線対称な図形の性質 (対応する点、辺、角) とかき方 ・点対称な図形、対称の中心の概念 ・点対称な図形の性質 (対応する点、辺、角) とかき方 ・既習の多角形を対称性という観点で見ること			
	8	(知・技) 拡大図や縮図の観察やかくてを通過し拡大図、縮図の意味や性質について理解することができる。 (思・判・表) 図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、構成の仕方や考察した図形の性質を見いだすことができる。 (学・人) 拡大図や縮図という観点で考察した過程を振り返り、多面的に粘り強く考えたり、今後の生活や学習に活用することができる。		(知・技) 拡大図、縮図の意味や性質を理解し、対応する辺の長さや角の大きさを求めたり、拡大図、縮図をかくたりすることができる。【ワークシート、単元テスト、学習の様子】 (思・判・表) 図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、合同の意味や比の考えを基に、拡大図、縮図の意味や性質、作図の仕方について考え説明し、図形に対する見方を深めている。【ワークシート、単元テスト、学習の様子】 (主・学) 既習の図形をとらえ直したことや数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。【学習の様子、学習の記録】		6. 拡大と縮図 (教科書P88～99)		・拡大図、縮図の意味と性質 (対応する辺の長さや角の大きさ) ・拡大図、縮図のかき方 ・縮図の利用			
	8	(知・技) 円の面積の計算による求め方について理解することができる。 (思・判・表) 図形を構成する要素などに着目し、図形の面積について考えることができる。 (学・人) 円の面積の求め方を簡潔かつ確かな表現として公式として導いた過程を振り返り、多面的に粘り強く考えたり、今後の生活や学習に活用することができる。		(知・技) 円の面積について、求め方や計算で求められることを理解し、円の面積を求める公式を用いて円などの面積を求めることができる。【ワークシート、単元テスト、学習の様子】 (思・判・表) 図形を構成する要素などに着目し、円などの面積の求め方を図や式を用いて考え、説明している。【ワークシート、単元テスト、学習の様子】 (主・学) 円の面積の求め方を簡潔かつ確かな表現として公式として導いた過程を振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。【学習の様子、学習の記録】		8. 円の面積 (教科書P120～132)		・円の面積の求め方と面積公式 ・円を含む複合図形の面積の求め方			
3学期	6	(知・技) 角柱や円柱の体積の計算による求め方について理解することができる。 (思・判・表) 図形を構成する要素に着目し、図形の体積について考えることができる。 (学・人) 角柱や円柱の体積の求め方を簡潔かつ確かな表現として公式として導いた過程を振り返り、多面的に粘り強く考えたり、今後の生活や学習に活用することができる。		(知・技) 角柱や円柱の体積は底面積×高さにまもられることを理解し、角柱や円柱の体積を公式を用いて求めることができる。【ワークシート、単元テスト、学習の様子】 (思・判・表) 図形を構成する要素に着目し、角柱や円柱の体積の求め方について、直方体の体積の求め方から類推し、図や式を用いて考え、説明している。【ワークシート、単元テスト、学習の様子】 (主・学) 角柱や円柱の体積の求め方を簡潔かつ確かな表現として公式として導いた過程を振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。【学習の様子、学習の記録】		9. 角柱と円柱の体積 (教科書P134～141)		・角柱、円柱の体積公式 ・複合図形を角柱とみた体積の求め方			
	8	(知・技) 代表値の意味や求め方、度数分布表やヒストグラム (柱状グラフ)、統計的な問題解決の方法について理解することができる。 (思・判・表) 目的に応じてデータをまとめて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、代表値などを用いて問題の結論について判断したり、その妥当性について考察したりすることができる。 (学・人) 統計的な問題解決の過程について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に粘り強く考えたり、今後の生活や学習に活用することができる。		(知・技) 代表値の意味や求め方、度数分布表やヒストグラム (柱状グラフ)、目的に応じてデータを収集したり適切な手法を選択したりするなどの統計的な問題解決の方法について理解している。【ワークシート、単元テスト、学習の様子】 (思・判・表) 目的に応じてデータをまとめて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、代表値などを用いて問題の結論について判断するとともに、その妥当性について批判的に考察している。【ワークシート、単元テスト、学習の様子】 (主・学) 統計的な問題解決の過程について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。【学習の様子、学習の記録】		7. データの調べ方 (教科書P100～119)		・代表値としての平均 ・資料を度数分布表に整理すること ・最頻値 ・ヒストグラム (柱状グラフ) を読みだしたりすること ・中央値			
	6	(知・技) 順列や組み合わせについて、落ちや重なりのないように調べるには、ある場合や重なりのないように、起こり得る場合の数を順序よく整理するための図や表などの用い方を理解することができる。 (思・判・表) 事象の特徴に着目し、順序よく整理する観点で落ちや重なりなく調べる方法を考察することや、筋道立てて考えることができる。 (学・人) 数学的表現を用いて落ちや重なりがないように調べる過程を振り返り、多面的に粘り強く考えたり、今後の生活や学習に活用することができる。		(知・技) 順列や組み合わせについて、落ちや重なりがないように調べるには、ある場合に着目したり、図や表などにかき表したりするとよいことを理解し、起こり得る場合を順序よく整理して調べることができる。【ワークシート、単元テスト、学習の様子】 (思・判・表) 事象の特徴に着目し、順列や組み合わせについて、落ちや重なりがないように図や表を適切に用いたり、名称を記号化して端的に表したりして、順序よく筋道立てて考えている。【ワークシート、単元テスト、学習の様子】 (主・学) 順列や組み合わせについて、図や表などを用いて工夫をしながら、落ちや重なりがないように調べた過程を振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。【学習の様子、学習の記録】		12. 並べ方と組み合わせ方 (教科書P176～185)		・起こりうる場合の数を落ちや重なりがないように調べる方法 (順列、組み合わせの考え方の初歩)			
留意点 引継ぎ等											

令和8年度 高等部 3年 理科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	理科3年 48名		自作プリント

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 自然に親しみ、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって、観察、実験などを行う事などを通して、自然の事物・現象について問題を科学的に解決するために必要な資質・能力を育成できる。 (思判表力) 自然の事物・現象について多面的に調べる中で、より妥当な考えを既習の内容からつくりだし、表現することができる。 (学・人) 安全に実験できているか、また、学習した内容を日常生活における身近な事物・現象に結びつけ、意欲的に理解しようとしてすることができる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	7	(知及技)電流の働きを理解するとともに、観察・実験などに関する初歩的な技能を身につける。 (思判表力)豆電球に乾電池につないだときの明るさなどの実験を通して、結果や考えたこと・分かったことをプリントにまとめ、表現することができる。 (学・人)グループと協力して観察・実験を行い、自ら主体的に授業に参加することができる。	(知・技)電池のつなぎ方の実験等を通して、電流の働きについて理解しようとともに、安全に実験できる技能を身に付けようとしている。 (思・判・表)豆電球に乾電池につないだときの明るさなどの実験を通して、結果や考えたこと、気付いたことをプリントにまとめ、表現しようとしている。 (主学)グループと協力して観察・実験を行い、自ら主体的に授業に参加している。	・電流の働き	・オリエンテーション ・豆電球と電池のつなぎ方によって豆電球の明るさに違いが出ることを説明できる。 ・電気を流しやすい物、流しにくい物について調べると。 ・電気抵抗について学ぶ。
	6	(知及技)身近に電気が利用されていることを理解するとともに、観察・実験などに関する初歩的な技能を身につける。 (思判表力)磁界の向きが電流の向きや力の向きに関係があることを実験を通して確かめることで、結果や考えたこと、気付いたことをプリントにまとめ、表現することができる。 (学・人)グループと協力して観察・実験を行い、自ら主体的に授業に参加することができる。また、電気について学んだことを生活に活かすことができる。	(知・技)身近に電気が利用されていることについて理解しようとともに、安全に実験できる技能を身に付けようとしている。 (思・判・表)磁界の向きが電流の向きや力の向きに関係があることを実験を通して確かめることで、結果や考えたこと、気付いたことをプリントにまとめ、表現しようとしている。 (主学)グループと協力して観察・実験を行い、自ら主体的に授業に参加している。また、電気について学んだことを生活に活かそうとしている。	・電気の利用	・身近なもので磁石がくっつくものを調べる。 ・磁石の周りにどのような磁界ができていのかを理解する。 ・フレミングの左手の法則を理解し、身近な物に磁石が使われていることを実験によって確かめる。 ・手回し発電機や光電池などを用いて、発電について理解する。 ・単元テスト（電流の働き・電気の利用）
2学期	7	(知及技)音と光の性質を理解するとともに、観察・実験などに関する初歩的な技能を身につける。 (思判表力)音の三要素や光の性質などの実験を通して、考えたこと、気付いたことをプリントにまとめ、表現できる。 (学・人)グループと協力して観察・実験を行い、自ら主体的に授業に参加することができる。また、音と光について学んだことを生活に活かすことができる。	(知・技)音と光の性質を理解するとともに、観察・実験などに関する初歩的な技能を身に付けようとしている。 (思・判・表)音の三要素や光の性質などの実験を通して確かめることで、考えたこと、気付いたことをプリントにまとめ、表現しようとしている。 (主学)グループと協力して観察・実験を行い、自ら主体的に授業に参加している。また、音と光について学んだことを生活に活かそうとしている。	・音と光の性質	・物体が震えることで音が伝わることや、媒質がないと音が伝わらないことを学ぶ。 ・音の三要素について理解する。 ・光は電磁波の一種であることを学ぶ。 ・空や海の色が青色に見える原理など物の見え方について学ぶ。 ・身近に用いられている偏向技術や光通信について学ぶ。 ・反射を用いた3Dホログラム作り ・単元テスト（音と光の性質）
	8	(知及技)燃焼の仕組みを理解するとともに、観察・実験などに関する初歩的な技能を身につける。 (思判表力)含まれる物質によって燃焼の際、炎の色が違う実験などを通して、考えたこと、気付いたことをプリントにまとめ、表現できる。 (学・人)グループと協力して観察・実験を行い、自ら主体的に授業に参加することができる。	(知・技)燃焼について理解し、観察・実験などに関する初歩的な技能を身に付けようとしている。 (思・判・表)含まれる物質によって燃焼の際、炎の色が違う実験などを通して、考えたこと、気付いたことをプリントにまとめ、表現しようとしている。 (主学)グループと協力して観察・実験を行い、自ら主体的に授業に参加している。	・燃焼の仕組み	・燃焼とは酸素と化合することであることを実験を通して理解する。 ・物質の燃焼の違いを実験を通して観察する。 ・金属によって、炎色が違う炎色反応を演示実験によって観察する。
3学期	7	(知及技)物質の三態を理解するとともに、観察・実験などに関する初歩的な技能を身につける。 (思判表力)温度によって物質の状態が変化することを実験を通して確かめることで、結果や考えたこと、気付いたことをプリントにまとめ、表現できる。 (学・人)グループと協力して観察・実験を行い、自ら主体的に授業に参加することができる。	(知・技)物質の三態を理解するとともに、観察・実験などに関する初歩的な技能を身に付けようとしている。 (思・判・表)温度によって物質の状態が変化することを実験を通して確かめることで、考えたこと、気付いたことをプリントにまとめ、表現しようとしている。 (主学)グループと協力してICT技術を活用して調べ学習を行い、自ら主体的に授業に参加している。	・物質の三態	・物質の三態（固体・液体・気体）について学ぶとともに、変化する際の名称を覚える。 ・固体から液体そしてまた固体へ変化する様子を砂糖を加熱、冷却したりすることで観察する。 ・氷が融解するときや塩が水に溶けるときにまわりの熱を奪うことで液体が固体へ変化する様子を観察する。 ・単元テスト（燃焼の仕組み・物質の三態）
留意点 引継ぎ等					

単位数 ／配当時 数	生徒（学年）	担当者	教科書／副教材
1／35	3年		くらしに役立つ英語 （東洋館出版社）

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知・技）音声や文字、語彙、表現などについて日本語と外国語との違いに気付くとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことによる実際のコミュニケーションに関わる基礎的な技能を身に付けるようにする。 （思判表力）コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙などが表す事柄を想像しながら読んだり書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。 （学・人）外国語の背景にある文化について理解し、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	（知及技） ・英語の音声を聞いて発音したり、簡単な語彙などを読んだり書いたりして日本語の音声や文字との違いに気付くことができる。 （思判表力） ・身近な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で簡単な語句や基本的な表現などを真似ることができる。 （学・人） ・日本語と外国語の言葉や文化の違いを知ろうと積極的に質問をしたり、自分のことを紹介する表現の幅を広げようとする。	（知・技） 英語の音声を聞いて話したり、簡単な語彙などを読んだり書いたりして日本語の音声や文字との違いに気付くことができる。 （思・判・表） ・身近な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で簡単な語句や基本的な表現などを真似ることができる。 （主学） ・日本語と外国語の言葉や文化の違いを知ろうと積極的に質問をしたり、自分のことを紹介する表現の幅を広げようとしていることができる。	簡単な自己紹介文 1年2年で学習したこととの復習	・外国語の背景にある文化に対する理解を深める ・簡単な自己紹介文を作成し発表する ・1. 2年生で習ったことを復習する
				Unit2 On the phone: Planning to meet at the airport	・電話、短い挨拶の表現を知る ・短い挨拶の表現を口に出して練習する ・be動詞を使った感情表現を知る ・ペアになって、互いに感情表現を伝える
				Unit3 First meeting	・少し長い挨拶の表現を知る ・挨拶の表現を口に出して練習する ・ペアになって、意味の通る会話や簡単な質問をしてみる ・be動詞の疑問文・否定分の表現を知る
2学期	14	（知及技） ・英語の音声を聞いて概要をつかんだり、身近な単語を用いて話したりして日本語の音声や文字・表現などの違いを理解することができる。 ・相手に何かの依頼をする時の表現を知ることができる。 （思判表力） ・身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で自身で作文したものをしながら伝え合うことができる。 （学・人） ・日本語と外国語の言葉や文化の違いを知り、習った表現を使って積極的に質問をしようとする。	（知・技） ・英語の音声を聞いて概要をつかんだり、身近な単語を用いて話したりして日本語の音声や文字・表現などの違いを理解することができる。 ・相手に何かの依頼をする時の表現を知ることができる。 （思・判・表） ・身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で自身で作文したものをしながら伝え合うことができる。 （主学） ・日本語と外国語の言葉や文化の違いを知り、習った表現を使って積極的に質問をしようとしていることができる。	Unit8 Requests	・何かを依頼するときの表現を知る ・will you～?とcan you～?の違いを知る ・ペアになって、依頼に応える練習、拒む練習を行う ・三単現のsについて知る
				Unit9 Studying Japanese	・「〇〇は英語では何と言いますか？」といった、外国語での言い方を尋ねる表現を知る ・5 W1Hの文の表現の仕方を知る。肯定文との違いを理解する
				Halloween Thanksgiving クリスマス	・Halloween、Thanksgiving、クリスマスにおける文化的な背景を知り、日本との違いを理解する
3学期	9	（知及技） ・簡単な語句や基本的な表現について日本語との違いを知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気づくことができる。 （思判表力） ・相手に伝えるなどの目的をもって、身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語彙などを用いて表現ができる。 （学・人） ・学習した表現を応用して、自分なりの表現をすることができる。	（知・技） ・簡単な語句や基本的な表現について日本語との違いを知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気づくことができる。 （思・判・表） ・相手に伝えるなどの目的をもって、身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語彙などを用いて表現ができる。 （主学） ・学習した表現を応用して、自分なりの表現をすることができる。	Unit11 New Year's in Japan	・"What is this?" - "This is ~."などの、質問とそれに対する応答の表現を知る（単数・複数） ・身の回りの物や絵で見たものについて、上記の表現を用いて会話練習を行う
				Unit19 Invitation to a party	・招待状を書くときに使える表現を知る ・外国語で期日/時間/場所の示し方を理解する ・招待状を書いている
留意点 引継ぎ等					

単位数 ／配当時数		児童生徒		担当者	教科書／副教材
35		3年			新・高校生の美術Ⅰ（日文）
目標：（知・技）知識及び技能（思・判・表）思考力、判断力、表現力等（学・人）学びに向かう力・人間性等 評価：（知・技）知識・技能（思・判・表）思考・判断・表現（主学）主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		（知・技）造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表すことができるようにする。（高知2） （思・判・表）造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫などについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化などに対する見方や感じ方を深めたりすることができるようになる。（高知2） （学・人）主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。（高知2）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	1	（知・技）形や色彩、材料や光などの働きを理解し、材料や用具の特性の生かし方などを身に付け、意図に応じて表現方法を追求し、自分らしさを発揮して表すことができる。（高知2共通事項）（高知2A表現） （思・判・表）美術作品などの造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を深めることができる。（高知2B鑑賞） （学・人）主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度をもつ。（高知2）	（知・技）教科書6・7Pの作品を鑑賞し、美術の見方や考え方について理解しようとしている。教師の説明を聞いて授業の見直しを立てることができる。（高知2） （思・判・表）作品の良さや面白さを感じ取り、意図と工夫などについて考えようとしている。（主学）作品の鑑賞やネームプレート制作に主体的に取り組もうとしている。 （制作や鑑賞への取り組み・ワークシート記入・作品の提出）	・オリエンテーション （教科書：6・7P）	「オリエンテーション」・ルチオ・フォンタナ、ジェフ・クーンズの作品を鑑賞し、「なぜこれが美術なのか？」を考える。 （教科書：6・7P） ・ネームプレート制作
	4	（知・技）形や色彩、材料や光などの働きを理解し、材料や用具の特性の生かし方などを身に付け、意図に応じて表現方法を追求し、自分らしさを発揮して表すことができる。（高知2共通事項）（高知2A表現） （思・判・表）対象や事象を深く見つめ感じ取ったことや考えたこと、伝えたり使ったりする目的や条件などを基に主題を生み出し、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ることができる。（高知2A表現） （学・人）主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度をもつ。（高知2）	（知・技）線の効果、全体のイメージを捉え、ペンや筆、タブレットの線描の特性を生かして表そうとしている。 （思・判・表）偶然性や感覚などを基に、線の効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりしようとしている。（主学）線を生かして表す創造活動に主体的に取り組もうとしている。 （制作や鑑賞への取り組み・ワークシート記入・作品の提出）	・ドローイング （教科書：28・29P）	「タブレットを使ってドローイングをしよう」 ・タブレットを用いて画面を指で触って、動きの面白さを感じながら、自分だけの形を生み出す。 （教科書：28・29P）
	8	（知・技）形や色彩、材料や光などの働きを理解し、材料や用具の特性の生かし方などを身に付け、意図に応じて表現方法を追求し、自分らしさを発揮して表すことができる。（高知2共通事項）（高知2A表現） （思・判・表）対象や事象を深く見つめ感じ取ったことや考えたこと、伝えたり使ったりする目的や条件などを基に主題を生み出し、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ることができる。（高知2A表現） （学・人）主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度をもつ。（高知2）	（知・技）構図や表情、色彩の効果、全体のイメージを捉え、絵具などの特性を生かして表そうとしている。 （思・判・表）人物の印象などを基に、構図や表情などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりしようとしている。（主学）人物の内面を捉えて絵で表す創造活動に主体的に取り組もうとしている。 （制作や鑑賞への取り組み・ワークシート記入・作品の提出）	・自画像 （教科書：34・35P）	「自分を見つめて描こう」 ・自分の顔を見つめて、今の気持ちや自分らしさなどを考え、自己の内面が現れるように描く。 （教科書：34・35P）
2学期	6	（知・技）形や色彩、材料や光などの働きを理解し、材料や用具の特性の生かし方などを身に付け、意図に応じて表現方法を追求し、自分らしさを発揮して表すことができる。（高知2共通事項）（高知2A表現） （思・判・表）対象や事象を深く見つめ感じ取ったことや考えたこと、伝えたり使ったりする目的や条件などを基に主題を生み出し、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ることができる。（高知2A表現） （学・人）主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度をもつ。（高知2）	（知・技）形や色彩、構図、文字などの効果、伝えたいイメージを捉え、目的や計画を基に創造的に表そうとしている。 （思・判・表）イメージなどを基に、形や色彩、構図、文字などの伝達の効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりしようとしている。（主学）伝えたい内容をポスターで表す創造活動に主体的に取り組もうとしている。 （制作や鑑賞への取り組み・ワークシート記入・作品の提出）	・ポスターデザイン （教科書：62～65P）	「沖高特祭のポスターをつくろう」 ・沖高特祭の宣伝を目的としたポスターのアイデアを、発想から形にするまでの過程を理解し、表現し生かす。 （教科書：62～65P） ◎参考資料 ・書体の基本 （教科書：技法資料138P） ・色彩・トーンによる調和 （教科書：技法資料151P）
	9	（知・技）形や色彩、材料や光などの働きを理解し、材料や用具の特性の生かし方などを身に付け、意図に応じて表現方法を追求し、自分らしさを発揮して表すことができる。（高知2共通事項）（高知2A表現） （思・判・表）対象や事象を深く見つめ感じ取ったことや考えたこと、伝えたり使ったりする目的や条件などを基に主題を生み出し、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ることができる。（高知2A表現） （学・人）主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度をもつ。（高知2）	（知・技）形や色彩、質感、動勢などの効果、全体のイメージを捉え、素材の特性を生かして表そうとしている。 （思・判・表）イメージなどを基に、素材の特性や造形的な効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりしようとしている。（主学）素材を工夫して立体に表す創造活動に、主体的に取り組もうとしている。 （制作や鑑賞への取り組み・ワークシート記入・作品の提出）	・彫刻 （教科書：52・53P）	「段ボール1箱で作る私の分身としての動物」 ・自分を動物に例えたら、どのような姿で表せるかを考え、段ボールひ箱を目いっぱい使って自分を映す動物を制作する。 （教科書：52・53P）
3学期	7	（知・技）形や色彩、材料や光などの働きを理解し、材料や用具の特性の生かし方などを身に付け、意図に応じて表現方法を追求し、自分らしさを発揮して表すことができる。（高知2共通事項）（高知2A表現） （思・判・表）対象や事象を深く見つめ感じ取ったことや考えたこと、伝えたり使ったりする目的や条件などを基に主題を生み出し、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ることができる。（高知2A表現） （学・人）主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度をもつ。（高知2）	（知・技）形や色彩、光、時間などの効果、全体のイメージを捉え、映像メディア機器の特性を生かして表そうとしている。 （思・判・表）表したいことを基に、形や色彩の変化、動きなどの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりしようとしている。（主学）アニメーションのよさや特性を生かして表す創造活動に、主体的に取り組もうとしている。 （制作や鑑賞への取り組み・ワークシート記入・作品の提出）	・コマ撮りアニメーション （教科書：88・89P）	「KOMA KOMAアプリを使用してコマ撮りアニメーションを作ろう」 ・切り絵や粘土、実写を使ったアニメーションの可能性を探り、意図に応じて表現する。 （教科書：88・89P） ◎参考資料 ・グループで映像作品をつくる （教科書：技法資料148P） ・アニメーションの基礎 （教科書：技法資料149P）
	年間を通して	（知・技）形や色彩、材料や光などの働きを理解し、材料や用具の特性の生かし方などを身に付け、意図に応じて表現方法を追求し、自分らしさを発揮して表すことができる。（高知2共通事項）（高知2A表現） （思・判・表）生活や社会の中での美術や文化遺産などのよさや美しさを感じ取り、生活や社会を美しく豊かにする美術の働きや美術文化について考えるなどして、見方や感じ方を深めることができる。（高知2B鑑賞） （学・人）主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度をもつ。（高知2）	（知・技）構図や色彩、全体のイメージや作風、様式などを捉えようとしている。 （思・判・表）作品のよさや美しさなどを感じ取り、作者の意図や工夫について考えようとしている。（主学）作品を鑑賞する創造活動に主体的に取り組もうとしている。 （鑑賞への取り組み・ワークシート記入）	・鑑賞 『叛逆天使の転落』 （教科書：22・23P） 『東洲高写楽』 （教科書：46・47P） 『プロダクトデザイン』 （教科書：74・75P）	「鑑賞」 ・作品を鑑賞し、形や色、構成などからよさや美しさを感じ取り、その特徴を読み取る。 ・グループでの対話的な活動を通して、自分の考えを発表するとともに他者の見方や感じ方に触れ、作品に対する理解や考えを深める。

令和8年度 高等部 3年 保健体育科 年間指導計画

単位数／ 配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
3／105	3年	0	保健学習

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 各種の運動の特性に応じた技能等並びに個人生活及び社会生活における健康・安全についての理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 各種の運動や健康・安全についての自他や社会の課題を発見し、その解決に向けて仲間と思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。 (学・人) 生涯にわたって継続して運動に親しむことや、健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期 (39)	15	(知及技) 運動やスポーツの多様性、効果と学び方、安全な行い方及び文化としてのスポーツの意義に関する基礎的な知識を身に付けること。 心身の発育・発達、障害の防止及び疾病の予防等を理解するとともに、健康で安全な個人生活を営むための技能を身につけること。 (思判表力) 運動やスポーツの多様性、効果と学び方、安全な行い方及び文化としてのスポーツの意義についての課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えること。 (学・人) 運動やスポーツの多様性、効果と学び方、安全な行い方及び文化としてのスポーツの意義についての学習に自主的に取り組むこと。	(知・技) 体育を通し運動の安全な行い方、文化としてのスポーツの意義を理解しようとしている。 (思・判・表) 運動の安全な行い方、文化としてのスポーツの意義についての課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを他者に伝えようとしている。 (主学) 運動の安全な行い方、文化としてのスポーツの意義についての学習に自主的に取り組もうとしている。	体育理論	・体育の基本的な知識について ・健康管理について ・授業で行う運動の効果と学び方、安全な行い方 ・集合・整列・隊形移動
	10	(知及技) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを深く味わい、その行い方や方法の理解を深めるとともに、仲間や自分に関わったり、動きを維持する能力などを高める運動をたしりするとともに、それらを組み合わせること。 (思判表力) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えること。 (学・人) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動の多様な経験をを通して、きまわりを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもつて自主的に運動をすること。	(知・技) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを深く味わい、その行い方や方法の理解を深めるとともに、仲間や自分に関わったり、動きを維持する能力などを高める運動をしようとしている。 (思・判・表) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを他者に伝えようとしている。 (主学) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動の多様な経験をを通して、きまわりを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもつて自主的に運動しようとしている。	体づくり運動 ・いろいろなストレッチ ・いろいろな体操 ・筋力トレーニング ・シャトルラン ・サイドステップ、スキップ、ラダー等 ・体幹トレーニング	・集団行動の意義と行い方 ・10分間走 ・短距離走、持久走、ボール投げ、走幅跳、走高跳、反復横跳び、立幅跳、シャトルラン ・仲間と協力して準備や片付けをする ・きまわりを守り安全に活動に取り組む
	4	(知及技) 健康、安全に関わる自他の課題を発見し、この解決のための方法を工夫したり仲間と考えたりしたことを他者に伝えること。	(知及技) 健康、安全に関わる問題や課題を知り、この解決のための知識や方法を考える。ペーパーテストで評価する。	保健学習	活動に適する環境 熱中症の予防と手当
	10	(知及技) 水泳の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた泳法を身に付けること。 (思判表力) 水泳についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えること。 (学・人) 水泳の多様な経験をを通して、きまわりルール、マナーなどをを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもつて自主的に運動をすること。	(知・技) 水泳の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた泳法を身に付けようとしている。 (思・判・表) 水泳についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、他者に伝えようとしている。 (主学) 水泳の多様な経験をを通して、きまわりルール、マナーなどをを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもつて運動しようとしている。	水泳 ・平泳ぎ ・クロール ・着衣泳 ・救助法	・基本的な技能の練習 (呼吸法、バタ足、けのび) ・補助具を使って泳ぐ ・クロールまたは平泳ぎの練習 ・泳力測定 ・準身体操 ・きまわりを守り安全に活動に取り組む
2学期 (45)	20	(知及技) ダンスの楽しさや喜びを深く味わい、その行い方の理解を深めるとともに、目的に応じた技術を身に付け、表現や踊りを通して交流や発表をすること。 心身の発育・発達、障害の防止及び疾病の予防等を理解するとともに、健康で安全な個人生活を営むための技能を身につけること。 (思判表力) ダンスについての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えること。 (学・人) ダンスの多様な経験をを通して、一人一人の表現や役割を認め助け合ったり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもつて自主的に運動をすること。	(知・技)ダンスの振り付けを覚え、仲間と楽しんで踊る。 (思・判・表)ダンスについての自他の課題を発見し、課題解決のために工夫して取り組んだり、仲間と考えたりしている。 (主学) 仲間の表現を認め助け合ったり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動している。	ダンス ・エイサー（郷土の踊り） ・リズム、創作ダンス	・特体連ダンス練習 ・仲間と協力して準備や片付けをする ・きまわりを守り安全に活動に取り組む
	20	(知及技) 陸上競技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付けること。 (思判表力) 陸上競技についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えること。 (学・人) 陸上競技の多様な経験をを通して、きまわりルール、マナーなどをを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもつて自主的に運動をすること。	(知・技)陸上競技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付ける。 (思・判・表)陸上競技についての自他の課題を発見し、その解決のための方法を工夫したり、仲間と考えたりしている。 (主学) 陸上競技の多様な経験をを通して、きまわりルール、マナーなどをを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動している。	陸上競技 ・短距離走 ・走り幅跳び、走り高跳び ・ソフトボール投げ ・長距離走	・種目ごとの競技の行い方 ・100m走、リレー ・走り幅跳び ・走り高跳び ・ソフトボール投げ ・持久走 ・駅伝 ・仲間と協力して準備や片付けをする ・きまわりを守り安全に活動に取り組む
	5	健康、安全に関わる自他の課題を発見し、この解決のための方法を工夫したり仲間と考えたりしたことを他者に伝えること。	(知及技) 健康、安全に関わる問題や課題を知り、この解決のための知識や方法を考える。ペーパーテストで評価する。	保健学習	性感染症の予防 エイズの予防
	18	(知及技) 球技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、ゲームを行うこと。 健康、安全に関わる自他の課題を発見し、この解決のための方法を工夫したり仲間と考えたりしたことを他者に伝えること。 健康、安全に関わる自他の課題を発見し、この解決のための方法を工夫したり仲間と考えたりしたことを他者に伝えること。 (思判表力) 球技についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えること。 (学・人) 球技の多様な経験をを通して、きまわりルール、マナーなどをを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもつて自主的に運動をすること。	(知・技) 球技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付け、簡易化されたゲームを行うようとしている。 (思・判・表)球技についての自他の課題を発見し、課題に応じた練習を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えようとしている。 (主学) 球技の多様な経験をを通して、きまわりルール、マナーなどをを守り、仲間と協力して分担した役割を果たそうとしたり、場や用具の安全を確保するなど自主的に運動を行おうとしている。	ダンス ・エイサー（郷土の踊り） ・ヒップホップダンス 球技 ・バドミントン ・バスケットボール ・ソフトボール ・キックベースボール ・ドッチボール	・種目ごとの競技の行い方 ・基本的な技能の練習 ・簡単なゲーム ・仲間と協力して準備や片付けをする ・きまわりを守り安全に活動に取り組む
3学期 (21)	18	(知及技) 球技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付けること。 健康、安全に関わる自他の課題を発見し、この解決のための方法を工夫したり仲間と考えたりしたことを他者に伝えること。 健康、安全に関わる自他の課題を発見し、この解決のための方法を工夫したり仲間と考えたりしたことを他者に伝えること。 (思判表力) 球技についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えること。 (学・人) 球技の多様な経験をを通して、きまわりルール、マナーなどをを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもつて自主的に運動をすること。	(知・技) 球技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付け、簡易化されたゲームを行うようとしている。 (思・判・表)球技についての自他の課題を発見し、課題に応じた練習を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えようとしている。 (主学) 球技の多様な経験をを通して、きまわりルール、マナーなどをを守り、仲間と協力して分担した役割を果たそうとしたり、場や用具の安全を確保するなど自主的に運動を行おうとしている。	ダンス ・エイサー（郷土の踊り） ・ヒップホップダンス 球技 ・バドミントン ・バスケットボール ・ソフトボール ・キックベースボール ・ドッチボール	・種目ごとの競技の行い方 ・基本的な技能の練習 ・簡単なゲーム ・仲間と協力して準備や片付けをする ・きまわりを守り安全に活動に取り組む
	3	健康、安全に関わる自他の課題を発見し、この解決のための方法を工夫したり仲間と考えたりしたことを他者に伝えること。	(知及技) 健康、安全に関わる問題や課題を知り、この解決のための知識や方法を考える。ペーパーテストで評価する。	保健学習	病院受診 医薬品の利用
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 高等部 3年 情報 年間指導計画

単位数 ／配当時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	3学年		自作プリント、スライド等 文部科学省情報モラル教材・動画 日本情報処理検定問題

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、身近にある情報機器の操作の習得を図りながら、問題の解決を行う学習活動を通して、問題を知り、問題の解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を育成する。 (知及技) ・効果的なコミュニケーションの方法や、身近にあるコンピュータやデータの活用について理解し、基礎的な技能を身に付けるとともに、情報社会と人との関わりについて理解する。高2知 (思判表力) ・身近な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題を知り、問題を解決するために必要な情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。高2知 (学・人) ・身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に参画しようとする態度を養う。高2知			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	13	(知及技) ・情報に関する身近で基本的な、法規や制度、セキュリティの重要性、情報社会における個人の責任及び情報モラルについて理解する。 (思判表力) ・身近にある情報や情報技術の適切かつ効果的な活用と望ましい情報社会の在り方について考える。 (学・人) ・身近にある情報や情報技術の適切かつ効果的な活用と情報社会に参画しようとする態度を身に付ける。	(知・技) ・情報に関する身近で基本的な、法規や制度について知ることができる。セキュリティの重要性、情報社会における個人の責任及び情報モラルについて個人、グループで考えることができる。 (思判表力) ・身近にある情報や情報技術の適切かつ効果的な活用と望ましい情報社会の在り方について考えることができる。 (学・人) 情報社会における個人の責任を感じることができる。望ましい情報社会のあり方について考えることができる。	・オリエンテーション ・コンピュータ基本操作 ・ネットワークサーバの利用 ・情報モラルと情報化 ・情報セキュリティ ・Wordの活用 ・Excelの利用 ・タブレット端末の利用	・コンピュータの基本操作 ・タッチタイピング練習 ・SNSの危険性 ・NASの利用 ・著作権・肖像権について ・誹謗中傷 ・アンチウイルスソフト ・アップデート ・パスワード作成・ファイルにパスワードを設定してみよう
2 学期	15	(知及技) ・身近にある情報デザインから、効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの基本的な考え方や方法を理解し表現する基礎的な技術を身に付ける。 (思判表力) ・コミュニケーションの目的に合わせて、適切かつ効果的な情報デザインを考える。 (学・人) ・身近にある情報や情報技術の適切かつ効果的な活用と情報社会に参画しようとする態度を身に付ける。	(知・技) ・身近にある情報デザインから、効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの基本的な考え方や方法を理解し表現する基礎的な技術を身に付けることができる。 (思判表力) 目的に合わせて、適切なデザインを選択できる。自らのアイデアを表現することができる。 (学・人) ・主体的に情報技術を活用し、情報社会の一員として情報社会のあり方について考えることができる。	・情報デザインとは ・ワープロソフトの活用 ・表計算ソフトの活用 ・プレゼンテーションソフトの活用 ・タブレット端末の利用	・Wordの活用 ・Excelの活用 ・PowerPointの活用 ・履歴書作成 ・旅行計画を作ってみよう ・クリスマスカード作成 ・年賀状作成
3 学期	7	(知及技) ・データを表現、蓄積するための基本的な表し方と、データを収集、整理、分析する基本的な方法について理解し、基礎的な技能を身に付ける。 (思判表力) ・データの収集、整理、分析及び結果の表現の基本的な方法を適切に選択し、実行し、振り返り、表現を見直す。 (学・人) ・身近にある情報や情報技術の適切かつ効果的な活用と情報社会に参画しようとする態度を身に付ける。	(知・技) ・データを表現、蓄積するための基本的な表し方を学び、データを収集、整理、分析する基本的な方法について学ぶことができる。 (思・判・表) ・データの収集、整理、分析及び結果の表現の基本的な方法を学び、簡単なデータを加工し表やグラフを使って自分なりに表現することができる。 (学・人) ・主体的に情報技術を活用し、情報社会の一員として情報社会のあり方について考えることができる。	・情報通信ネットワークとは ・ネットワークで生活が変わる ・タブレット端末の利用 ・表計算ソフトの活用	・情報システムの利用（貸貸管理システム、旅行代理システムの利用、職業図鑑の利用） ・Excelの活用 ・いろんなグラフを作ってみよう ・すきなものをデータ化してみよう ・アンケート調査をしてみよう！
留意点 引継ぎ等		移行期間のため、2年・3年は同じ指導計画で進める。			

令和8年度 高等部 3年 グリーンインテリア 年間指導計画

単位数 ／配当時 数		児童生徒		担当者	教科書／副教材
70		3学年10名			自作プリント等
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		(知及技)グリーンインテリアに関することについて理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 (思判表力)グリーンインテリアに関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ課題を解決する力を養う。 (学・人)職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 ～ 3 学期	70 (1 学期 26・ 2 学期 30・ 3 学期 14)	(知及技) ・勤労の意義を理解することができる。	(知・技) 「作業の心得」を覚え、内容を理解する。	・職業について	・「作業の心得」を確認し、時間厳守や身なり、言葉遣いなどの職業生活に必要な知識を身につける。
		(思判表力) ・学習内容や作業について理解し、意欲や見通しを持って、他者と協力することができる。	(思・判・表) 授業説明を聞き理解し、日誌に記入することで、見通しを持って作業に取り組むことができる。 (知及技) 意欲をもって取り組み、他者と協力することができる。	・勤労の意義 ・他者との協働	・毎時間、作業日誌やメモを取ることに より、注意点や作業工程、名称などを覚 える。
		(知及技) 農業(グリーンインテリア)が社会で果たしている意義と役割などについて理解するとともに、職業生活に必要なとなる技術を身に付けること(農業(1)農業の概要)	(知・技) 多様な観葉植物や草花やハーブ等の栽培や学校における装飾を通して、植物が日常生活に深く関わっていることを踏まえ、社会において果たしている役割や重要性があることを理解することができる。	・グリーンインテリアの意義と役割 ・季節や行事に向けた多様な観葉植物や草花やハーブ等栽培 ・農機具の取り扱い	・季節や行事に応じた花壇や校舎内外の草花装飾を行い、奉仕の心を持つ。 ・草花や観葉植物等の名前や生育方法を学習する。 ・ガラス温室やネットハウスの環境整備を行う。 ・使用する道具、機械等の特性や扱い方を理解し、安全かつ適切な使用方法を学習する。
		(思判表力) 農業(グリーンインテリア)を通して地域や社会の健全で持続的な発展に寄与する職業人となる視点から、よりよい製品づくりをするために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現すること。(農業(1)農業の概要)	(思・判・表) それぞれの草花や観葉植物等の特性を学び、栽培管理、販売を考えることができる。	・草花、観葉植物等の栽培管理 ・観葉植物等の寄せ植え ・販売学習 ・校外学習	・草花・観葉植物の増やし方(播種、挿し芽、株分けなど) ・栽培管理(鉢上げ、鉢替え、追肥、除草、水かけ等) ・寄せ植え ・販売準備(調整、袋つめ、ラベル貼り) ・販売学習(陳列、接客応対、商品の説明、計算、金銭管理) ・販売店の見学を行い、見分を広げる。
		(知及技) 情報セキュリティやモラルについて理解し、情報機器を扱うことができる。	(知・技) ・情報機器の特性や機能を知り、操作することができる。	・情報機器の活用	iPadの基本操作を学び、画像や情報をまとめ、発表することができる。
		(学・人) 授業を振り返り、自己の成長と課題について考えることができる	(主学) 日誌に学習内容をまとめ、発表を行うことができる。 (思判表力) 作業における役割を踏まえて、振り返りを行うことができる。	・日誌の記入 ・振り返り及び発表	・授業を振り返り、自己の反省と評価を行い、日誌にまとめることができる。 ・反省を踏まえ、目標や自分の役割を考えることで、次の作業への見通しを持つ。
留意点 引継ぎ等		*年間を通して行う			

令和8年度 3年オフィスアシスタント（職業 選択） 年間指導計画

単位数 ／配当時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	3年生選択者 生徒10名		知的障害・発達障害のひとたちのための新・見てわかるビジネス マナー集 ワープロ検定問題 エクセル・ワード参考書 タイ ピングソフト

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技）職業に関する事柄について理解を深めるとともに、将来の職業生活に係る技能を身に付けるようにする。（高職業２段階）。 （思判表力）将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、表現する力を養う。（高職業２段階）。 （学・人）よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への貢献に向けて、生活を改善しようとする実践的な態度を養う。（高職業２段階）。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期		A職業生活ア勤労の意義より（知及技）勤労の意義を理解することができる。 （思判表力）意欲や見通しをもって取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現することができる。 （学・人）作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。	（知・技）事務の仕事内容について自分なりの答えを記入（返答）している。 （思・判・表）今の自分にできること、これから必要なことに気づき、記入（返答）している。 （主学）継続的・協働的に学習に取り組んでいる。 【評価資料】行動観察、ワークシート問題	1. オフィスアシスタントについて～仕事について考えよう～	①事務業務を知るために、事務室の仕事、教員の事務作業を見学、体験する。 ②体験に基づいてワークシートで振り返る。事務作業の重要性和これからの学習について、生徒・教員全員で意見交換を行う。 【教材教具】事務室との調整 ワークシート
		B情報機器の活用より（知及技）ア 情報セキュリティ及び情報モラルについて知るとともに、表現、記録、計算、通信等に係るコンピュータ等の情報機器について、その特性や機能を知り、操作の仕方が分かり、扱えることができる。 （思判表力）イ 情報セキュリティ及び情報モラルを踏まえ、コンピュータ等の情報機器を扱い、収集した情報をまとめ、考えたことを発表すること。 （学・人）活動を工夫して行うことができる	（知・技）キーボードの文字配置を覚えている。 （思・判・表）10分間で200字以上入力できる。取組前より10%以上入力速度が高まっている。 （主学）継続的・協働的に学習に取り組んでいる。 【評価資料】行動観察、ワークシート問題、ワープロ検定問題	2. ビジネス文書作成～速くかつ正確に作成するために あなたはど うする～	①ホームポジション、姿勢の確立 ②キーボードの位置の把握 ③ワープロ検定4級程度 【教材教具】タイピングソフト ワークシート 検定問題
		〃	（知・技）名刺の必要性について知っている。相手の名前を正しく覚え、案内する重要性を知っている。 （思・判・表）正しい名刺作成、名刺を用いた自己紹介・他己紹介ができるようになっている。 （主学）継続的・協働的に学習に取り組んでいる。 【評価資料】行動観察、ワークシート問題、作成名刺	3. オフィスアシスタントの役割～名刺を作り、使ってみよう～	①自分が作成した名刺を用いて、自己紹介、他己紹介、必要な場所へ案内する。 ②必要部署への案内方法、言葉遣い等 【教材教具】パソコン・プリンター・名刺カード
2学期		〃	（知・技）エクセルの役割、エクセル内のできる作業を知っている。 （思・判・表）計算式を用いて簡単な計算を行うことができる。・SUM、AVERAGE、MAX、MIN関数などの簡単な関数を用いて表作成ができる。 （主学）継続的・協働的に学習に取り組んでいる。 【評価資料】行動観察、ワークシート問題	4. エクセルデータ処理～みんなの早打ち結果を分析しよう～	自らの活動結果（早打ち速度等）をエクセルでまとめることを通して①エクセルの基礎・データ入力、②計算式を用いたデータ処理、③基礎的な関数を使ったデータ処理を学ぶ。 【教材教具】データ処理に必要な具体的な数値
3学期		〃	（知・技）エクセルの役割、エクセル内のできる作業を知っている。 （思・判・表）計算式を用いて簡単な計算を行うことができる。・SUM、AVERAGE、MAX、MIN関数などの簡単な関数を用いて表作成ができる。 （主学）継続的・協働的に学習に取り組んでいる。 【評価資料】行動観察、ワークシート問題	4. エクセルデータ処理～みんなの早打ち結果を分析しよう～	自らの活動結果（早打ち速度等）をエクセルでまとめることを通して①エクセルの基礎・データ入力、②計算式を用いたデータ処理、③基礎的な関数を使ったデータ処理を学ぶ。 【教材教具】データ処理に必要な具体的な数値
年間を通して		全単元：職業人に求められる力を総合的に身に付ける	15項目に関する力を身に付けている	全単元を通して	別紙15項目に関する力

留意点 引継ぎ等	
-------------	--

令和8年度 高等部 3年 選択科目「トータルクリーニング」 年間指導計画

単位数 ／配当時数		児童生徒		担当者	教科書／副教材
70		3 学年 選択希望者		CT: ST:	自作プリント等 障がい者雇用支援の手引き 知的障害者と働く（職場における基礎知識）
目標：（知及技）知識及び技能（思判表力）思考力、判断力、表現力等（学・人）学びに向かう力・人間性等 評価：（知・技）知識・技能（思・判・表）思考・判断・表現（主学）主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		清掃業に関する基礎的・基本的な知識や技術の習得を図り、実践的・体験的な学習活動を通して職業生活に必要な能力や態度を育てる。 （知及技） ・清掃業務に関する内容と特徴について理解するとともに、清掃に関する専門的な器具や業務用機械を使って基本作業の手順や方法など清掃業務に関することを身に付ける。 ・障害者技能競技大会（アビリンピック）への参加やチャレンジを目指し、清掃作業や技能の向上を図る。 （思判表力） ・清掃業務において、顧客のニーズに応じた清掃サービスの提供のための工夫について考え、表現することができる。 （学・人） ・職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	25	清掃業務の基礎・基本を学ぼう （知及技） 清掃の手順や方法など清掃業務に関する技術を身に付ける。 （思判表力） 顧客のニーズに応じた清掃サービスの提供のために必要な課題を発見し、よりよい清掃サービスの提供のための工夫について考え、表現する。 （学・人） 清掃業務の内容と特徴などについて自ら学び、清掃業務に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。	（知・技）清掃の基礎と基本について理解している。 （思・判・表）ニーズに応じた清掃サービスの提供を心がけており、作業内容や作業効率を考慮して工夫しようとしている。 （主学）清掃用具や機械を積極的に使用して作業ができ、周囲に気を配りながら安全に配慮して作業を行っている。 『授業プリント（報告書）、活動の様子、作業テスト、定期テストで評価する』	1. 各種清掃用具や道具の使用方法和保管について 2. 清掃手順の理解や清掃技術、技能の習得（床や壁の清掃） 3. 清掃場所の環境（床材等）に応じた清掃方法の選択 4. 効率的な清掃手順と役割分担について 5. 使用前の安全点検や異常時の対応と解決方法について 6. 各種用具や業務用機械の基本作業と応用について 7. アビリンピック（県大会、全国大会）に向けた学習	①アビリンピックに向けた清掃知識や清掃技能について実際の大会内容に沿って作業をする ②各種用具や業務用機械の基本作業と応用について ③専門的機材や大型機械等の使用と安全作業について ④事業所見学等による実社会とのつながりと実地訓練、社員教育ビデオ等の活用 【教材教具、機材】 自在ホウキ、文化ちり取り、モップ、タオル・雑巾、スクイジー、伸縮棒、モップリンガー、清掃バケツ、技能検定及びアビリンピック専用コートアルミ枠、清掃作業カート、業務用延長コード、フロアマット、養生テープ、マスキングテープ、ブルーシート
2 学期	27	トータルクリーニングを学ぼう （知及技）トータルクリーニングの業務全般に関する基礎的・基本的な知識や技術の習得を図り、実践的・体験的な学習活動を通して職業生活に必要な能力や態度を身に付ける。 清掃に関する専門的用具や業務用機械を使って基本作業の手順や方法など清掃業務に関することを身に付ける。 （思判表力）安全作業を徹底し事故やケガを予防する。 （学・人）実地見学を通して勤労観と職業観の育成を図り、実際に働く現場を理解し主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。	（知・技）トータルクリーニング業務の基礎と基本について理解している。 （思・判・表）専用の機材や機械を用いて清掃作業ができ、作業内容や作業効率を考慮して工夫しようとしている。 （主学）清掃用具や機械を積極的に使用し、周囲に気を配りながら安全に配慮して作業を行っている。 『授業プリント（報告書）、活動の様子、作業テスト、定期テストで評価する』	8. 各種清掃用具や道具の使用方法和保管について 9. 清掃手順の理解や清掃技術、技能の習得（窓やガラスドアの清掃） 10. 清掃場所の環境（床材等）に応じた清掃方法の選択 11. 使用前の安全点検や異常時の解決方法など、安全点検や異常時の対応に関すること 12. 各種用具や業務用機械の基本作業と応用について 13. 事業所見学等による実社会とのつながりを学ぶ 14. 実地訓練、社員教育ビデオ等の活用 15. 本館ふれあい広場等のワックスかけ	①アビリンピックに向けた清掃知識や清掃技能について実際の大会内容に沿って作業をする ②校舎の窓やガラスドアの清掃 ③各種用具や業務用機械の基本作業と応用について ④専門的機材や大型機械等の使用と安全作業について ⑤事業所見学等による実社会とのつながりと実地訓練、社員教育ビデオ等の活用 ⑥校内の廊下や広場の床面のワックス作業を行う 【教材教具、機材】 自在ホウキ、文化ちり取り、モップ、タオル・雑巾、スクイジー、伸縮棒、モップリンガー、清掃バケツ、ダスタークロス、ワックスクロス、ポリリッシャ、バキューム掃除機、パフ研磨機、床清掃複合機等、技能検定及びアビリンピック専用コートアルミ枠、清掃作業カート、業務用延長コード、フロアマット、業務用扇風機、ボールパーティション、ロープパーティション、養生テープ、マスキングテープ、ブルーシート、業務用床洗浄液、床ワックス液
3 学期	18	（知及技）トータルクリーニング業務に関する実践的な知識や技術の習得を図り、社会に必要な能力と態度を身に付ける。 （思判表力）各種用具や機械等の操作を覚え、安全作業を徹底し事故やケガを予防している。 （学・人）実地見学を通して実際の作業現場を理解し、周りに配慮しながら協力して作業する態度を養う。	（知・技）トータルクリーニング業務の実践的な知識や技術、技能について理解している。 （思・判・表）専用の機材や機械を用いて効率的かつ安全に作業しようとしている。 （主学）清掃用具や機械を積極的に使用し、周囲に気を配りながら安全に配慮して作業を行っている。 『授業プリント（報告書）、活動の様子、作業テスト、定期テストで評価する』	16. 清掃用具や道具の使用方法和保管について 17. 各種用具や業務用機械の基本作業と応用について 18. 清掃手順の理解や清掃技能の習得（窓やガラスドアの清掃） 19. 清掃場所の環境（床材等）に応じた清掃方法の選択 20. 使用前の安全点検や異常時の解決方法など、安全点検や異常時の対応に関すること 21. 事業所見学等による実社会とのつながりと実地訓練、社員教育ビデオ等の活用 22. 本館ふれあい広場等のワックスかけ 23. 校外学習（地域の公民館等）	①各種用具や業務用機械の実践的作業を行う ②各種用具や業務用機械の基本作業と応用について ③専門的機材や大型機械等の使用と安全作業について ④事業所見学等による実社会とのつながりと実地訓練、社員教育ビデオ等の活用 ⑤校舎全館のワックスかけ作業に取り組む ⑥地域の公民館などのワックスかけ 【教材教具、機材】 自在ホウキ、文化ちり取り、モップ、タオル・雑巾、スクイジー、伸縮棒、モップリンガー、清掃バケツ、ダスタークロス、ワックスクロス、ポリリッシャ、バキューム掃除機、パフ研磨機、床清掃複合機等、技能検定及びアビリンピック専用コートアルミ枠、清掃作業カート、業務用延長コード、フロアマット、業務用扇風機、ボールパーティション、ロープパーティション、養生テープ、マスキングテープ、ブルーシート、業務用床洗浄液、床ワックス液
留意点 引継ぎ等		1. 非常勤講師との日程調整、時数調整を行いながら年間の計画を立て、学校行事や休校等の場合の連絡調整を忘れずに行うこと。 2. 清掃用具や各種消耗品について、使用可否の状況を判断しながら廃棄・購入、修繕などを検討し予算調整を行う。 3. 安全作業のために感電等に注意し、且つ大型の清掃機械を使用する際は校内の電気ブレーカーが落ちないように漏電ブレーカー等の活用を徹底する。			

令和8年度 高等部 3年 職業科 介護アシスタント班 年間指導計画					
単位数 ／配当時数		児童生徒		担当者	教科書／副教材
2単位/70時間		3学年 8名			介護入門研修テキスト・自作プリント等
目標：(知・技)知識及び技能 (思・判・表)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主・学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標 (知・技) ・職業生活に必要な知識及び技能を身に付ける。(高2段階) ・介護に関する基本的な学習を通して、介護、ホスピタリティに関する知識、技能の習得を図る。(高1段階) (思・判・表) ・将来の職業生活における自己の目標や課題と向き合い、自ら工夫し改善する力を養う。(高1段階) ・介護に関する学習を通して、就きたい職業やなりたい社会人について考え、取り組む力を養う。(高1段階) (学・人) ・将来の職業生活の実現や地域社会への貢献に向けて主体的実践的な態度を養う。(高1段階) ・介護に従事する社会人として基本的な態度や心得を培う。(高1段階)					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	4	(知・技) 就労の対価や意義を知る。(高1段階ア(ア) (思・判・表) 介護や保育の心得、ホスピタリティがわかる。(高1段階イ(イ) (学・人) 介護職、保育職の社会的ニーズを知る。(高1段階ア(イ)の	(知・技) 介護や保育の役割、専門性、仕事内容を理解できる。基本的な介護技術を身に付けることができる。 (思・判・表) 相手の求める介護をすることの重要性を理解することができる。 (主・学) 介護職や保育職が社会に必要なことを知ろうとしている。 ＊日誌、振り返り発表、定期テスト、実技テスト、活動の姿で	・介護、保育に従事するとは、	・介護や保育の職場と仕事内容を調べる。 ・介護や保育業に従事する際の心得、高齢者や幼児の特徴や活動、高齢者の認知症などの疾患を理解し、より良い介護、保育の仕方を、生活支援、サービスの方法や技術を学ぶ。 ・職種についての学習やビジネスマナー等を通して、就労意識や対価について学習し、意欲的に作業にあたる姿勢を身に付ける。
	20	(知・技) 介護に必要な基礎的な心や体の仕組みについて理解し、基本的、実務的介護技能を身に付けることができる。(高2段階イ(イ)の (思・判・表) 介護や保育、サービス業に必要なコミュニケーション、支え合いについて考えることができる。(高2段階イ(イ)の (学・人) 他者と協力しながら求められる介護や支援方法を考えることができる。(高2段階イ(イ)の	(知・技) 安全で適切な環境整備、ベッドメイクができる。 (思・判・表) 相手のすること、コミュニケーションの大切さを理解できている。 (主・学) 自らコミュニケーションを図り、相手を知らうとしている。 ＊日誌、振り返り発表、定期テスト、実技テスト、活動の姿で評価する。	【介護に関する入門的研修】 ・基本的な介護の方法(介護を必要とする人の理解、コミュニケーション方法、移動介護の方法) ・障害の理解(脳体不自由、知的障害、精神障害、難病、障害者福祉) 【実技演習】 ・様々なコミュニケーション方法(ウチナー方言、手話) ・高齢者体験、アイマスク体験 ・手洗いチェック ・ベッドメイキング ・バイタルサイン、バイタルチェック	※「介護に関する入門的研修カリキュラム」に沿う。 ・手話やウチナー方言の簡単な挨拶や自己紹介を知る。 ・コミュニケーションの種類や方法、目的を理解し、信頼関係構築に必要な態度について学ぶ。 ・高齢者体験を通し、高齢者の身体の特徴などを知る。 ・様々な障害について理解し、その人らしく生かすための支援について学ぶ。 ・人間の動き(立位、座位、歩行、昇降など)や仕組みを学ぶ。 ・ボディーワークスを学ぶ。 ・バイタルサイン、バイタルチェックについて学ぶ。 ・バリアフリー、ユニバーサルデザイン
	2	(知・技) 1学期の成果を確認し、2学期以降に活かすことができる。(高1段階ア(イ) (思・判・表) 自身の成長点や課題点を考え、1学期を振り返り自己の成長や課題点を発表する。(高1段階ア(イ)の (学・人) 他者の反省を聞き、認めることができる。(高1段階ア(イ)の	(知・技) 自身の振り返りを行い成果を確認している。 (思・判・表) 自身の成長点や課題点を考え、自身で発表している。 (主・学) 他者の発表を聞き、成長点や反省点を考えることができる。 ＊日誌、振り返り発表、活動の姿で評価する。	・1学期のまとめ	・反省の発表会を行い自他の成果や課題を振り返り次学期以降の目標を考える。
2学期	4	(知・技) 介護者として必要な基本的、実践的な介護技能と知識を身に着ける。(高2段階ア(ア)高齢者、障害者とのコミュニケーション方法を知る。(高2段階ア(ア) (思・判・表) 高齢者、障害者の生活と住まい、福祉用具の活用方法を知り、快適な生活するための方法を考える。(高2段階ア(ア) (学・人) 他者と協力しながら求められる介護や支援方法を考えることができる。(高2段階イ(イ)の	(知・技) 高齢者、障害者の食事(誤嚥、脱水)、身体拘束、褥瘡など予防法がわかる。(高2段階ア(ア) 安全で適切な衣服の脱着、体位変換、ベッドメイクができていいる。 (思・判・表) 高齢者、障害者がより良く生活するために何が必要かを考えることができる。 (主・学) 適切な介護、支援を考えることができる。 ＊日誌、振り返り発表、定期テスト、実技テスト、活動の姿で評価する。	【介護に関する入門的研修】 ・介護に関する基礎知識(介護を取り巻く環境、介護保険制度、仕事と介護の両立支援制度、高齢者虐待と身体拘束) ・介護の基本(介護を必要とする人の理解、尊厳を支える介護、自立を支える介護、心身の状況に応じた介護)	※「介護に関する入門的研修カリキュラム」に沿う。 ・日本の介護に関する課題についてしる。 ・介護に関する制度について知る。 ・介護予防について学ぶ。
	24	(知・技) 介護者として必要な基本的、実践的な介護技能と知識を身に着ける。(高2段階ア(ア)高齢者、障害者とのコミュニケーション方法を知る。(高2段階ア(ア) (思・判・表) 高齢者、障害者の生活と住まい、福祉用具の活用方法を知り、快適な生活するための方法を考える。(高2段階ア(ア) (学・人) 他者と協力しながら求められる介護や支援方法を考えることができる。(高2段階イ(イ)の	(知・技) 高齢者、障害者の食事(誤嚥、脱水)、身体拘束、褥瘡など予防法がわかる。(高2段階ア(ア) 安全で適切な衣服の脱着、体位変換ができていいる。 (思・判・表) 高齢者、障害者がより良く生活するために何が必要かを考えることができる。 (主・学) 適切な介護、支援を考えることができる。 ＊日誌、振り返り発表、定期テスト、実技テスト、活動の姿で評価する。	【介護に関する入門的研修】 ・基礎的な介護の方法(身支度介護、食事介護、排泄介護、入浴介護) ・認知症の種類(認知症の種類、症状、生活障害、治療) ・認知症サポーター講座 ・介護における安全の確保(介護での事故、食中毒、感染予防、介護者健康管理) 【実技演習】 ・車いす介助、移乗、移動 ・衣服の脱着、食形態、清拭、手浴、ハンドマッサージ、体位変換	※「介護に関する入門的研修カリキュラム」に沿う。 ・高齢者、障害者の暮らしの仕組み、誤嚥や脱水、身体拘束について学ぶ。 ・清拭、手浴、足湯、マッサージの意義と方法を学ぶ。 ・食形態、食事介助方法、水分補給方法、体位変換方法、衣服の脱着、ベッドメイク方法を学ぶ。 ・認知症の種類と特性、適切な支援方法を学ぶ。 ・認知症サポーター講座 ・高齢者、障害者がより快適に生活するための環境をどのように整えるかを学ぶ。 ・福祉用具、補助具の用途、使用方法を知る。 ・感染症の仕組みを理解し、正しい感染症対策や感染症の基本的な予防対策を理解し、介護施設における感染症対策の必要性を学ぶ。
2学期	2	(知・技) 2学期の成果を確認し、2学期以降に活かすことができる。(高1段階ア(イ) (思・判・表) 2学期を振り返り自己の成長や課題点を発表する。(高1段階ア(イ)の (学・人) 他者の反省を聞き、認めることができる。(高1段階ア(イ)の		・2学期のまとめ	・反省の発表会を行い自他の成果や課題を振り返り次学期以降の目標を考える。
	10	(知・技) コミュニケーションやレクリエーションによる振動の知識、技術を習得する。(産業現場ア) (思・判・表) 相手の実態を調べ、レクリエーションを計画する。(産業現場ア) (学・人) コミュニケーションやレクリエーションの大切さを学ぶ。(産業現場ア)	(知・技) 適切な態度でレクリエーションを行うことができる。 (思・判・表) 相手の実態に応じたレクリエーションを考えることができる。 (主・学) 積極的にコミュニケーションを図り、関わりを持つことができる。 ＊日誌、振り返り発表、定期テスト、実技テスト、活動の姿で評価する。	・レクリエーション ・福祉施設、高齢者施設の見学、交流 ・交流新聞づくり ・パラリンピック	・グループ活動において実態に応じたレクリエーションを考える。 ・レクリエーションを通し高齢者と障害者と交流を行う。 ・高齢者、障害者施設の利用者との交流を通し、相手と場に応じた実践的な対応方法などを体験する。 ・情報機器を利用し交流会の様子を新聞掲載、発行する。 ・高齢者の生きがい、パラリンピックでの活躍を知る。
3学期	4	(知・技) 年間を通して自身の成果をまとめることができる。(高2段階ア(イ) (思・判・表) まとめた内容を皆の前で発表する。(高2段階ア(イ)の (学・人) 就労への目標をもち他者との共通理解を行う。(高2段階ア(イ)の	(知・技) 1年を振り返り、卒業後の職業や生活へ活かそうとしている。 (思・判・表) 自身の成長点や課題点を考え、改善に向けた目標とともに表現、発表しようとしている。 (主・学) 他者の発表を聞き、成長点や反省点をともに考えようとしている。 ＊日誌、振り返り発表、活動の姿で評価する。	・OKT介護アシスタント技能検定 ・年間のまとめ ・就業に向けた心構え	・1年間で習得した技能、技術に関する検定を受け、自らの成長と今後の課題を確認する。 ・反省の発表会を行い自他の成果や課題を振り返る。 ・情報機器を活用し、プレゼンテーションを作成して発表する。
	年間を通して	(知・技) コンピュータ等の情報機器の初歩的な操作の仕方を知る。(高1段階：情報機器イ) (思・判・表) 情報機器を使用し発表等を行っている。(高1段階：情報機器イ) (学・人) 情報機器を正しい使用方法で活用する。(高1段階：情報機器ア)	(知・技) iPad等の情報機器を使用し活動に取り組んでいる。 (思・判・表) 発表に情報機器を活用できている。 (主・学) 情報モラルを守り機器を活用する。 ＊本単元の評価は年間を通して、日誌、振り返り発表、実技テスト、活動の姿で評価する。	・情報機器の活用	・コンピュータやタブレットを使って情報をまとめて他者に伝える。 ・コンピュータや携帯の便利さと危うさを実例で学び表記・記録・計算・通信等の代表的なソフトの使い方を体験する。
留意点 引継ぎ等					

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	3年		くらしに役立つ家庭 おとなドリル レシピ本、学習プリント 教育用コンテンツ

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知・技) 家族・家庭の機能について理解し、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする(高知1家庭) (思判表) 家庭や地域における生活の中から問題を見だし手課題を設定し解決策を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど課題を解決する力を養う。(高知1家庭) (学・人) 家族や地域の人々との関わりを通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。(高知1家庭)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	26	(知・技) 必要な栄養を満たす食事：自分に必要な栄養素と働きが分かり食品の栄養的な特質について理解すること。(高2家庭) 日常食の調理：日常生活との関連付け、用途に応じた食品の選択、食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理、材料に適した加熱調理の仕方について理解し、基礎的な日常食調理が適切にできること(高2家庭) (思・判・表) 日常食の調理：基礎的な日常食の調理について、食品の選択や調理の仕方、調理計画を考え、工夫すること(高2家庭) (学・人) 作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むこと。 (高知1A職業勤務の意義)	○乳幼児(保育)、高齢者とも関連付けた単元・題材の設定。 ○防災・災害対策を含む内容設定。 (知・技) ・栄養素の種類と含む食品、働きを関連付けることができる(教科書、学習プリント) ・調理実習の学習の流れを知り、衛生に注意し調理器具を安全に使用することがわかる。 調理の基本的な技術を身に付けることができる。(態度面の評価、実技面の評価) ・生活の中の食事の役割を学習プリントを記入しながら確認できる。 ・栄養素とその食品について、学習プリントを記入しながら確認できる。 (思・判・表) 調理実習の目的、材料や道具の確認、実習後の自己評価を行い、振り返り、実践のための工夫を考えることができる。(Teams活用、学習プリント) ・グループの生徒と協力し、調理がスムーズに進むように考え行動できる。 ・盛り付けを工夫することができる。(盛り付け写真、振り返りシート) ・給食の献立表、食事日記の例を見て、食事の仕方や食品やその栄養素、食習慣に感心を持ち、自分の食事を振り返ることができる。(教科書、学習プリント) (主・学) 調理実習の目的、材料や道具の確認、実習後の自己評価を行い、自ら調理実習の振り返りことができる。(振り返りシートへの記入)	○乳幼児(保育)、高齢者とも関連付けた単元・題材の設定。 ○防災・災害対策を含む内容設定。 食べ物と栄養 食生活 日常食の調理 食事の役割 栄養素と食品の関係	①オリエンテーション ・調理室整備 ②栄養素の種類と働き(復習) ・4つの食品群をシール教材を使用し学習。栄養バランスについて考える。 ③材料の計量と安全な扱い方、調理器具の名称と安全な使い方(復習) ④調理実習 ・衛生的な手洗いや身支度について確認する。 ・日常生活に活かす工夫について、実習ごとに学習。 ・食品の取り扱い方、野菜の切り方等、実習の前に確認する。 ・包丁その他の刃物類の扱い ガスコンロ、オーブン、レンジなどの熱源の扱い方 (実習内容) 焼く、茹でる、煮る、炊く、炒める、蒸す等の加熱調理 野菜料理、肉料理、炊飯、汁物、麺料理
		(知・技) 日常食の調理：日常生活との関連付け、用途に応じた食品の選択、食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理、材料に適した加熱調理の仕方について理解し、基礎的な日常食調理が適切にできること(高2家庭) 家族とくらし：命の誕生、妊娠中の体の変化、乳幼児や高齢者などの生活の特徴などがわかること(高2家庭) ペットボトルケース製作：製作に必要な材料や手順がわかり、製作計画について理解すること。 (思・判・表) 日常食の調理：基礎的な日常食の調理について、食品の選択や調理の仕方、調理計画を考え、工夫すること(高2家庭) 家族とくらし：乳幼児や高齢者とのよりよい関わりについて考え工夫すること。(高2家庭) ペットボトルケース製作：作品の製作計画を考え、デザイン等工夫すること。(高2家庭) (学・人) 作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むこと。 (高知1A職業勤務の意義)	○日常食の調理に関しては1学期同様 ○衣生活は、SDGsの取り組み内容も含む。 (知・技) 家族とくらし：結婚、妊娠、出産、育児は経済的・精神的に安定し、互いに責任をもって共に協力し行っていくものであることを理解できる。 リメイク、リユース製作(SDGs)：裁縫用具を正しく使い、正しい手順で製作に取り組むことができる。 (思・判・表) 家族とくらし：結婚や出産育児、高齢者とのかわりについて、考えて意見が述べられる。将来についてイメージすることができる。 製作：自分で選んだ生地と色の色合いを考えながら、デザインすることができる。 (主学) 毎時間、学習目標に向かって、主体的に取り組むことができる。授業を振り返り、次への課題を考えることができる。	日常食の調理 家族とくらし ・受け継がれる命 ・乳幼児の発達 ・子どもの基本的な生活習慣と社会的 生活習慣 ・防災、災害について 保育福祉の被服実習	①調理実習 <実習メニュー> ・幼児のおやつ ・離乳食・介護食 ・防災・災害食(カセットコンロ) ・郷土料理 ・時短レシピ ・献立を考える ②受け継がれる命 NHK高校講座を視聴し、命の誕生について考え、意見交換をする。 ③乳幼児の発達 乳幼児のことを理解するだけでなく、育てる親としての視点でもって学習する。 ④基本的な生活習慣と社会的な生活習慣 子どもに身に付けさせる大切な生活習慣を、自分の課題と重ね合わせながら考えさせる 各授業、必要に応じてNHK高校講座の家庭総合を活用する。 ⑤被服実習【SDGsと関連】 ・しるし付け・裁断 ・仮縫い・本縫い(ミシン操作)
2 学期	30	(知・技) 消費生活：購入方法や支払い方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性について理解すること。売買契約の仕組み、消費者被害の背景とその対応について理解し、物資サービスの選択に必要な情報の収集・整理が適切にできること。(高知2家庭) 消費者の基本的な権利と責任：消費者の基本的な権利と責任、自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解すること。(高知2家庭) (思・判・表) 消費生活：物資サービスの選択に必要な情報を活用して購入について考え、工夫すること。(高知2家庭) 消費者の基本的な権利と責任：身近な消費生活について、自立した消費者として責任ある小飛行移動を考え、工夫すること。(高知2家庭) (学・人) 作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むこと。 (高知1A職業勤務の意義)	○製作に関しては2学期同様 (知・技) 家庭経済の仕組み、売買契約の仕組みについて正しく理解することができる。 消費者が陥りやすいトラブル、特に知的障害者に起こりうるトラブルについて理解することができる。 (思・判・表) シミュレーションを通して、賢い消費者になるために正しい行動を選択できる。 消費生活ゲームを通し、複合的に物事を取捨選択することができる。 (主学) 自分の将来をイメージしながら、積極的に学習に取り組むことができる。	保育福祉の被服実習 家庭の経済生活 かしこい消費者をめざして 衣生活 住まいの役割 くらしと住空間	①実習 ・SDGsを考える。 ・装飾を考える。 ・デザインの工夫。 ・型紙、製作図どりの製作 家庭の経済生活 ①家計管理 シール教材やお金ドリルを活用し、具体的にイメージしながらお金の動きを理解させる。 ②悪質商法対策 NHK高校講座の家庭総合を視聴し、シミュレーションし、陥りやすいトラブルとその対策について考えさせ。 ③消費生活すごろく 第一生命のすごろくをグループに分けて体験。これまで学んだ知識をもとにゲームを進めていく。 ④卒業に向けて 知的障害者が社会に出て行くにあたり、どのような働き方があるのか、どのように収入を得て生活をしていくのか。最後に総合的に振り返りを行う。 ⑤消費者・金融教育セミナー(外部講師招聘しての講座) 衣生活 ①住宅情報の見方 ②間取り図、平面記号
		(知・技) 消費生活：購入方法や支払い方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性について理解すること。売買契約の仕組み、消費者被害の背景とその対応について理解し、物資サービスの選択に必要な情報の収集・整理が適切にできること。(高知2家庭) 消費者の基本的な権利と責任：消費者の基本的な権利と責任、自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解すること。(高知2家庭) (思・判・表) 消費生活：物資サービスの選択に必要な情報を活用して購入について考え、工夫すること。(高知2家庭) 消費者の基本的な権利と責任：身近な消費生活について、自立した消費者として責任ある小飛行移動を考え、工夫すること。(高知2家庭) (学・人) 作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むこと。 (高知1A職業勤務の意義)	○製作に関しては2学期同様 (知・技) 家庭経済の仕組み、売買契約の仕組みについて正しく理解することができる。 消費者が陥りやすいトラブル、特に知的障害者に起こりうるトラブルについて理解することができる。 (思・判・表) シミュレーションを通して、賢い消費者になるために正しい行動を選択できる。 消費生活ゲームを通し、複合的に物事を取捨選択することができる。 (主学) 自分の将来をイメージしながら、積極的に学習に取り組むことができる。	保育福祉の被服実習 家庭の経済生活 かしこい消費者をめざして 衣生活 住まいの役割 くらしと住空間	①実習 ・SDGsを考える。 ・装飾を考える。 ・デザインの工夫。 ・型紙、製作図どりの製作 家庭の経済生活 ①家計管理 シール教材やお金ドリルを活用し、具体的にイメージしながらお金の動きを理解させる。 ②悪質商法対策 NHK高校講座の家庭総合を視聴し、シミュレーションし、陥りやすいトラブルとその対策について考えさせ。 ③消費生活すごろく 第一生命のすごろくをグループに分けて体験。これまで学んだ知識をもとにゲームを進めていく。 ④卒業に向けて 知的障害者が社会に出て行くにあたり、どのような働き方があるのか、どのように収入を得て生活をしていくのか。最後に総合的に振り返りを行う。 ⑤消費者・金融教育セミナー(外部講師招聘しての講座) 衣生活 ①住宅情報の見方 ②間取り図、平面記号
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 高等部3年 クリーニング 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
11/385	3年 生徒8名		自作プリント等

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		学習指導要領 5節 主として専門学科において開設される各教科 第1「家政」より (知及技)生活産業に関することについて理解するとともに、関連する技術を身につけるようにする。 (思判表力)生活産業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ課題を解決する力を養う。 (学・人)職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	143	(知及技)クリーニングの種類と特徴について理解し、各工程に係る技術を身に付けるようにする。 (3)クリーニング (思判表力)クリーニングにおいて、よりよいサービスを提供するために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現する力を養う。(3)クリーニング (学・人)クリーニングの種類と特徴について自ら学び、各工程に主体的かつ協働的に取り組むようにする。(3)クリーニング	【知・技】 クリーニングの種類と扱う道具について種類、扱い方、片付け方や、各種アイロン手順を理解し取り組むことができる。工程(受注、分類、洗い、乾燥、仕上げ、たたみ込み、仕分け、包装、納品)ができる。 (準備片付けの様子、定期テスト、実技テスト、個別評価表) 【思・判・表】 回収・受付道具の準備、受付手順を確認し、商品の仕分けができる。配達の際の接客マナーを意識して対応しようとしている。(活動中の様子、コミュニケーションの有無、個別評価表) 【主学】 ランドリー、ウェットクリーニング、ドライクリーニングの分類ができ、適正に扱うことができる。 作業前に作業内容や個人目標を把握し、作業後は自らの作業を振り返っている。(作業日誌への記入) ※日誌、振り返り発表、定期テスト、実技テスト、活動の姿で評価する。	・オリエンテーション(クリーニング基礎) ・目標設定 ・衣服の基礎知識 ・品質表示(組成表示) ・絵表示 ・各工程の確認 ・蒸気アイロン、各種機械等の安全な使用 ・正確な事務作業 ・接客マナー ・クリーニング師学科学習 ・時間管理 ・伝え合う、教え合う ・毎時の振り返り ・学期の反省	【知・技】【思・判・表】 ・働く態度、作業の心得 ・作業工程(回収、受付、仕分け、洗濯、乾燥、仕上げ、配達、集金) ＜蒸気アイロン仕上げ＞ ・長袖シャツ(タック有) ・ズボン(タック有) ・ニット・当て布仕上げ・エプロン・ネクタイ ＜人体仕上げ機＞ ・ジャケット・ジャンパー ＜ウールプレス機・パンツトッパ> ・各種ズボン ＜綿プレス機> ・テーブルクロス・枕カバー・シーツ ・道具の安全な取り扱い (蒸気アイロン、大型プレス機シーツローラー、大型水洗機、大型乾燥機、人体仕上げ機、パンツトッパ) ・受付伝票記入と確認 ・組成表示、絵表示確認 【主学】 ・効率の良い働き方(作業の優先順位) ・分業、共同作業 ・接客活動(回収・配達・集金) ・学習ノート記入(振り返り) ・校外学習(クリーニング工場見学)
2学期	165	(知及技)クリーニングの種類と特徴について理解し、各工程に係る技術を身に付けるようにする。 (3)クリーニング (思判表力)クリーニングにおいて、よりよいサービスを提供するために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現する力を養う。(3)クリーニング (学・人)クリーニングの種類と特徴について自ら学び、各工程に主体的かつ協働的に取り組むようにする。(3)クリーニング	【知・技】 クリーニングの種類と扱う道具について種類、扱い方、片付け方や、各種アイロン手順を理解し取り組むことができる。工程(受注、分類、洗い、乾燥、仕上げ、たたみ込み、仕分け、包装、納品)ができる。 (準備片付けの様子、定期テスト、実技テスト、個別評価表) 【思・判・表】 回収・受付道具の準備、受付手順を確認し、商品の仕分けができる。配達の際の接客マナーを意識して対応しようとしている。(活動中の様子、コミュニケーションの有無、個別評価表) 【主学】 ランドリー、ウェットクリーニング、ドライクリーニングの分類ができ、適正に扱うことができる。 作業前に作業内容や個人目標を把握し、作業後は自らの作業を振り返っている。(作業日誌への記入) ※日誌、振り返り発表、定期テスト、実技テスト、活動の姿で評価する。	・前学期の振り返り ・目標設定 ・衣服の基礎知識 ・品質表示(組成表示) ・絵表示 ・各工程の確認 ・蒸気アイロン、各種機械等の安全な使用 ・正確な事務作業 ・接客マナー ・クリーニング師学科学習 ・出前講座の受講 ・時間管理 ・伝え合う、教え合う ・毎時の振り返り ・学期の反省	【知・技】【思・判・表】 ・働く態度、作業の心得 ・作業工程(回収、受付、仕分け、洗濯、乾燥、仕上げ、配達、集金) ＜蒸気アイロン仕上げ＞ ・長袖シャツ(タック有) ・ズボン(タック有) ・ニット・当て布仕上げ・エプロン・ネクタイ ＜人体仕上げ機＞ ・ジャケット・ジャンパー ＜ウールプレス機・パンツトッパ> ・各種ズボン ＜綿プレス機> ・テーブルクロス・枕カバー・シーツ ・道具の安全な取り扱い (蒸気アイロン、大型プレス機シーツローラー、大型水洗機、大型乾燥機、人体仕上げ機、パンツトッパ) ・受付伝票記入と確認 ・組成表示、絵表示確認 【主学】 ・効率の良い働き方(作業の優先順位) ・分業、共同作業 ・接客活動(回収・配達・集金) ・校外学習(接客マナーを学ぶ) ・学習ノート記入(振り返り)
3学期	77	(知及技)クリーニングの種類と特徴について理解し、各工程に係る技術を身に付けるようにする。 (3)クリーニング (思判表力)クリーニングにおいて、よりよいサービスを提供するために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現する力を養う。(3)クリーニング (学・人)クリーニングの種類と特徴について自ら学び、各工程に主体的かつ協働的に取り組むようにする。(3)クリーニング	【知・技】 クリーニングの種類と扱う道具について種類、扱い方、片付け方や、各種アイロン手順を理解し取り組むことができる。工程(受注、分類、洗い、乾燥、仕上げ、たたみ込み、仕分け、包装、納品)ができる。 (準備片付けの様子、定期テスト、実技テスト、個別評価表) 【思・判・表】 回収・受付道具の準備、受付手順を確認し、商品の仕分けができる。配達の際の接客マナーを意識して対応しようとしている。(活動中の様子、コミュニケーションの有無、個別評価表) 【主学】 ランドリー、ウェットクリーニング、ドライクリーニングの分類ができ、適正に扱うことができる。 作業前に作業内容や個人目標を把握し、作業後は自らの作業を振り返っている。(作業日誌への記入) ※日誌、振り返り発表、定期テスト、実技テスト、活動の姿で評価する。	・前学期の振り返り ・目標設定 ・衣服の基礎知識 ・品質表示(組成表示) ・絵表示 ・各工程の確認 ・蒸気アイロン、各種機械等の安全な使用 ・正確な事務作業 ・接客マナー ・クリーニング学科学習 ・時間管理 ・伝え合う、教え合う ・校外学習(余暇の過ごし方) ・毎時の振り返り ・年間の反省	【知・技】【思・判・表】 ・働く態度、作業の心得 ・作業工程(回収、受付、仕分け、洗濯、乾燥、仕上げ、配達、集金) ＜蒸気アイロン仕上げ＞ ・長袖シャツ(タック有) ・ズボン(タック有) ・ニット・当て布仕上げ・エプロン・ネクタイ ＜人体仕上げ機＞ ・ジャケット・ジャンパー ＜ウールプレス機・パンツトッパ> ・各種ズボン ＜綿プレス機> ・テーブルクロス・枕カバー・シーツ ・道具の安全な取り扱い (蒸気アイロン、大型プレス機シーツローラー、大型水洗機、大型乾燥機、人体仕上げ機、パンツトッパ) ・受付伝票記入と確認 ・組成表示、絵表示確認 【主学】 ・効率の良い働き方(作業の優先順位) ・分業、共同作業 ・接客活動(回収・配達・集金) ・学習ノート記入(振り返り) ・校外学習(余暇の過ごし方)
留意点 引継ぎ等		・クリーニングの学科学習、実技練習を行い、クリーニング師免許(国家資格)の資格取得をめざす。			

令和8年度 高等部 3年 農園芸 年間指導計画

単位数 ／配当時		児童生徒		担当者		教科書／副教材	
385		3年・9名				自作プリント等	
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度							
年間目標		(知及技)農業に関することについて理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 (思判表力)農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ課題を解決する力を養う。 (学・人)職業人として必要な豊かな人間性を育み、社会貢献に取り組む態度を養う。					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容		
1 学期	1 4 3	(知及技) ・勤労の意義を理解する	(知・技) 「作業の心得」を覚え、内容を理解する。	・職業について	・「作業の心得」を確認し、時間厳守や身なり、言葉遣いなどの職業生活に必要な知識を身に付ける。		
		(学・人) ・学習内容や作業について理解し、意欲や見通しを持って、他者と協力することができる。	(主学) 授業説明を聞き理解し、メモや日誌に記入することで、見通しを持って協働作業に取り組むことができる。	・勤労の意義 ・他者と協働	・毎時間、作業日誌やメモを取ることに より、注意点や作業工程、名称などを見る。 ・メモを活用して見通しを持って作業に取り組む。		
		(知及技) 農業が社会で果たしている意義と役割などについて理解するとともに、職業生活に必要な技術を身に付けること(農業(1)農業の概要)	(知・技) ・農作物の栽培や多様な農業生産品、草花の緑化などが日常生活に深く関わっていることを理解する。 ・それぞれの農作物や草花等の栽培特性を学び、栽培管理することができる。	・農業の意義と役割 ・除草 ・草花の定植 ・道具の取り扱い ・草花の栽培管理(サルビア、百日草、ヒマワリ他) ・農作物の栽培管理(ゴーヤー、インゲン、キュウリ、ナス、ピーマン他) ・校外学習	・季節や行事に応じた花壇や校舎内外の草花装飾を行い、奉仕の心を持つ。 ・農場周辺の環境整備を行う。 ・草花・農作物の栽培管理(土づくり、播種、鉢上げ、定植、追肥、除草、水かけ、収穫)を通して、野菜や草花等の作物の生産を行う。 ・農作物の販売準備(調整、計量、袋詰め、ラベル貼り、個数チェック等) ・施設見学等を通して、農園芸に関する知見を広げ、商品の陳列や表示の方法等について工夫をする。		
		(思判表力) 農業を通して地域や社会の健全で持続的な発展に寄与する職業人となる視点から、よりよい作物等の栽培などをするために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現すること。 (農業(1)農業の概要)	(思・判・表) それぞれの草花や農作物の特性を学び、販売方法について考え、実践することができる。	・販売学習	・販売学習(陳列、接客応対、商品の説明、商品の表示、計算、金銭管理等)		
		(知及技) 情報セキュリティやモラルについて理解し、情報機器を扱うことができる。 (思判表力) 授業を振り返り、自己の成長と課題について考えることができる。	(知・技) ・情報機器の特性や機能を知り、操作することができる。 (思・判・表) 日誌に学習内容をまとめて、発表を行うことができる。	・情報機器の活用 ・日誌の記入 ・振り返り発表	iPadの基本操作を学び、画像や情報をまとめ、発表することができる。 ・授業を振り返り、自己の反省と評価を日誌にまとめることができる。 ・反省を踏まえ、目標や自分の役割を考えることで、次の作業への見通しを持つ。		
2 学期	1 6 5	(知及技) ・勤労の意義を理解する	(知・技) 「作業の心得」を覚え、内容を理解する。	・職業について	・「作業の心得」を確認し、実践できているか確認する。		
		(学・人) ・学習内容や作業について理解し、意欲や見通しを持って、他者と協力することができる。	(主学) 授業説明を聞き理解し、メモや日誌に記入することで、見通しを持って協働作業に取り組むことができる。	・勤労の意義 ・他者と協働	・作業日誌やメモを取ることに より、注意点や作業工程、名称などを見る		
		(知及技) 農業が社会で果たしている意義と役割などについて理解するとともに、職業生活に必要な技術を身に付けること(農業(1)農業の概要)	(知・技) ・農作物の栽培や多様な農業生産品、草花の緑化などが日常生活に深く関わっていることを理解する。 ・それぞれの農作物や草花等の栽培特性を学び、栽培管理することができる。	・行事や学校美化に向けた野菜や草花の栽培 ・小学校への苗配布、植え付け指導 ・樹木のせん定 ・除草 ・農機具の取り扱い ・冬の草花の栽培管理(パゴニア、パンジー、ビオラ、アリッサム、ゼラニウム、他) ・冬の農作物の栽培管理(大根、キャベツ、セロリ、葉野菜、ジャガイモ他) ・草花の定植 ・道具の取り扱い ・校外学習	・草花・農作物の栽培管理(土づくり、播種、鉢上げ、定植、耕うん、うね立て、マルチはり、追肥、除草、水かけ、収穫)を通して、季節の野菜や草花の栽培を行う。 ・農作物の販売準備(調整、計量、袋詰め、ラベル貼り、個数チェック等) ・季節や行事に応じた花壇や校舎内外の草花装飾、近隣小学校への苗配布を行い、奉仕の心を持つ。 ・農場周辺の環境整備 ・使用する道具や機械等の特性や扱い方を理解し、適切な使用方法を学ぶ。 ・施設見学等を通して、農園芸に関する知見を広げる。		
		(思判表力) 農業を通して地域や社会の健全で持続的な発展に寄与する職業人となる視点から、よりよい作物等の栽培などをするために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現すること。 (農業(1)農業の概要)	(思・判・表) 冲高特祭に向けて、それぞれの草花や農作物の特性を学び、栽培管理、販売を考えることができる。	・販売学習	・農作物の販売準備(調整、計量、袋詰め、ラベル貼り、個数チェック等) ・昨年度の冲高特祭の写真や動画などの資料を踏まえて、販売学習(陳列、接客応対、商品の説明、計算、金銭管理等)の方法について工夫をする。		
		(知及技) 情報セキュリティやモラルについて理解し、情報機器を扱うことができる。 (思判表力) 授業を振り返り、自己の成長と課題について考えることができる。	(知・技) ・情報機器の特性や機能を知り、操作することができる。 (思・判・表) 作業における役割を踏まえて、振り返りを行うことができる。	・情報機器の活用 ・2学期の振り返り	ICT機器を使って、表記、記録、計算等の活用の仕方を学ぶ。 ・学期を振り返り、反省や自己の目標を考え、次の作業への目標・見通しを持つ。		
3 学期	7 7	(知及技) ・勤労の意義を理解する	(知・技) 「作業の心得」を覚え、内容を理解する。	・職業について	・「作業の心得」を確認し、実践できているか確認する。		
		(学・人) ・学習内容や作業について理解し、意欲や見通しを持って、他者と協力することができる。	(主学) 授業説明を聞き理解し、メモや日誌に記入することで、見通しを持って協働作業に取り組むことができる。	・勤労の意義 ・他者と協働	・毎時間、作業日誌やメモを取ることに より、注意点や作業工程、名称などを見る		
		(知及技) 農業が社会で果たしている意義と役割などについて理解するとともに、職業生活に必要な技術を身に付けること(農業(1)農業の概要)	(知・技) 行事の装飾や次年度の野菜の栽培について学習し、装飾の方法や栽培の方について実践する。	・行事(卒業式・入学式)の式場、玄関装飾 ・草花の栽培管理(サルビア、ペゴニア、キンギョソウ、ナデシコ) ・次年度に向けた農作物の栽培管理(ナス・ピーマン、ゴーヤー、オクラ等) ・校外学習	・昨年度の装飾を参考にしながら行事にふさわしい会場の装飾や校舎内外の装飾を行う。 ・春夏野菜の栽培管理(播種、鉢上げ、定植、耕うん、うね立て、マルチはり、追肥、除草、水かけ、収穫)を通して、野菜の生産を行う。 ・農作物の販売準備(調整、袋詰め、ラベル貼り) ・農場周辺の環境整備 ・施設見学等を通して、農園芸に関する知見を広げる。		
		(思判表力) 農業を通して地域や社会の健全で持続的な発展に寄与する職業人となる視点から、よりよい作物等の栽培などをするために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現すること。 (農業(1)農業の概要)	(思・判・表) 草花や観葉植物の装飾方法について相談し、装飾を行う。	・販売学習	・販売学習(陳列、接客応対、商品の説明、計算、金銭管理)		
		(知及技) 情報セキュリティやモラルについて理解し、情報機器を扱うことができる。 (思判表力) 授業を振り返り、自己の成長と課題について考えることができる。	(知・技) ・情報機器の特性や機能を知り、操作することができる。 (思・判・表) 作業における役割を踏まえて、振り返りを行うことができる。	・情報機器の活用 ・年間の振り返り	iPadの基本操作を学び、画像や情報をまとめて、発表することができる。 ・年間を振り返り、自己の反省と次の目標を考え、発表することができる。		
留意点 引継ぎ等		資格取得：刈払機取扱作業者安全衛生教育受講、者（丙種）			小型車両系建設機械特別教育受講、危険物取扱		

令和8年度 高等部 3年 木工コース 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
385	3年 生徒13名		なし

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 職業に関する事柄について理解を深めるとともに、将来の職業生活に係る技能を身に付けるようにする。(高職1) (思判表力) 将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、表現する力を養う。(高職1) (学・人) よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への貢献に向けて、生活を改善しようとする実践的な態度を養う。(高職1)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	143	(知及技) 勤労の意義を理解すること。 (思判表力) 作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、改善を図ること。 (高職1) (学・人) 生産や生産活動等に関わる技術について考えること。(高職1)	(知及技) 勤労の意義を理解することができる。 (思・判・表) 作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、改善を図ることができる。 (主学) 生産や生産活動等に関わる技術について考えることができる。	・オリエンテーション ・実習の心構え ・製作課題について(個人的製作品、共同作業の製作品、ほか受注品など)	・安全に作業すること、衛生的に気をつけることを理解し、実習を行う。 ・身だしなみ、挨拶、報告・質問などがきちんとできるように言葉かけ、振り返りをする。 ・準備、後片付け、清掃を責任を持って行う。 ・指示理解を支援するためにメモを利用する。 ・木工に関する物作りを通じた技術だけでなく、卒業後の就職に有利な資格について理解する。(受講案内や卒業生の講話等)
		(知及技) 使用する道具や機械等の特性や扱い方を理解し、作業課題に応じて正しく扱うこと。(高職1) (思判表力) 意欲や見通しをもって取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現すること。(高職1) (学・人) 作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むこと。(高職1)	(知・技) 製品の設計や使用する道具や機械等の特性や扱い方を理解し、作業課題に応じて正しく扱うことができる。 (思・判・表) 製品設計や各部の加工方法を理解し、自分と他者と役割を考え、協力して意欲的に作業に取り組むことができる。 (主学) 作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。	木工製品の製作 ・自由設計作品の思考 ・設計 ・けがき ・切断 ・部品加工 ・組み立て ・磨き ・塗装	・製品の設計、各部の寸法や加工方法を理解する。 ・各工具・機械名と作業工程名を覚える。 ・長さの単位がわかり、長さの計測をする。 ・木材の名称や特徴を知り、材料取りをする。 ・さし金を正しく使って、けがきをする。 ・目的に応じて工具や機械を正しく安全に使用する。 ・塗料をむらなく塗ることができる。 ・見本の寸法を測定し、材料取りをする。 ・塗料をむらなく塗ることができる。 ・ニーズに合った木製品の設計・製作を行う。
		(知及技) 職業生活を支える社会の仕組み等の利用方法を理解すること。(高職1) (思判表力) 職業生活に必要な健康管理や余暇の過ごし方について考えること。(高職1) (学・人) 作業の確実性や持続性、巧緻性等を高め、状況に応じて作業すること。(高職1)	(知・技) 職業生活を支える社会の仕組み等の利用方法を理解することができる。 (思・判・表) 職業生活に必要な健康管理や余暇の過ごし方について考えることができる。 (主学) 作業の確実性や持続性、巧緻性等を高め、状況に応じて作業することができる。	販売学習 ・接客 ・お金の計算 ・運搬 ・袋詰め ・記録	・販売学習を通して、接客に必要な態度を学ぶ。 ・販売学習を通して、お金の計算を行う。 ・販売学習を通して、大型木製品の運搬を行う。 ・販売学習を通して、製品の袋詰めをする。 ・販売学習を通して、売れた品目と数を記録する。
2 学期	165	(知及技) 使用する道具や機械等の特性や扱い方を理解し、作業課題に応じて正しく扱うこと。(高職1) (思判表力) 意欲や見通しをもって取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現すること。(高職1) (学・人) 作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むこと。(高職1)	(知・技) 製品の設計や使用する道具や機械等の特性や扱い方を理解し、作業課題に応じて正しく扱うことができる。 (思・判・表) 製品設計や各部の加工方法を理解し、自分と他者と役割を考え、協力して意欲的に作業に取り組むことができる。 (主学) 作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。	木工製品の製作 ・自由設計作品の思考 ・設計 ・けがき ・切断 ・部品加工 ・組み立て ・磨き ・塗装	・製品の設計、各部の寸法や加工方法を理解する。 ・各工具・機械名と作業工程名を覚える。 ・長さの単位がわかり、長さの計測をする。 ・木材の名称や特徴を知り、材料取りをする。 ・さし金を正しく使って、けがきをする。 ・目的に応じて工具や機械を正しく安全に使用する。 ・塗料をむらなく塗ることができる。 ・見本の寸法を測定し、材料取りをする。 ・塗料をむらなく塗ることができる。 ・ニーズに合った木製品の設計・製作を行う。
		(知及技) 職業生活を支える社会の仕組み等の利用方法を理解すること。(高職1) (思判表力) 職業生活に必要な健康管理や余暇の過ごし方について考えること。(高職1) (学・人) 作業の確実性や持続性、巧緻性等を高め、状況に応じて作業すること。(高職1)	(知・技) 職業生活を支える社会の仕組み等の利用方法を理解することができる。 (思・判・表) 職業生活に必要な健康管理や余暇の過ごし方について考えることができる。 (主学) 作業の確実性や持続性、巧緻性等を高め、状況に応じて作業することができる。	販売学習 ・接客 ・お金の計算 ・運搬 ・袋詰め ・記録	・販売学習を通して、接客に必要な態度を学ぶ。 ・販売学習を通して、お金の計算を行う。 ・販売学習を通して、大型木製品の運搬を行う。 ・販売学習を通して、製品の袋詰めをする。 ・販売学習を通して、売れた品目と数を記録する。
3 学期	77	(知及技) 使用する道具や機械等の特性や扱い方を理解し、作業課題に応じて正しく扱うこと。(高職1) (思判表力) 意欲や見通しをもって取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現すること。(高職1) (学・人) 作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むこと。(高職1)	(知・技) 製品の設計や使用する道具や機械等の特性や扱い方を理解し、作業課題に応じて正しく扱うことができる。 (思・判・表) 製品設計や各部の加工方法を理解し、自分と他者と役割を考え、協力して意欲的に作業に取り組むことができる。 (主学) 作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。	木工製品の製作 ・自由設計作品の思考 ・設計 ・けがき ・切断 ・部品加工 ・組み立て ・磨き ・塗装	・製品の設計、各部の寸法や加工方法を理解する。 ・各工具・機械名と作業工程名を覚える。 ・長さの単位がわかり、長さの計測をする。 ・木材の名称や特徴を知り、材料取りをする。 ・さし金を正しく使って、けがきをする。 ・目的に応じて工具や機械を正しく安全に使用する。 ・塗料をむらなく塗ることができる。 ・見本の寸法を測定し、材料取りをする。 ・塗料をむらなく塗ることができる。 ・ニーズに合った木製品の設計・製作を行う。
留意点 引継ぎ等		木工用手工具や電動工具、木工工作機械を中心に安全に扱うこと等、卒業後の製造業の基本を学習する。			

令和8年度 高等部 3年 教科名 道徳 年間指導計画

[illegible]

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者(担任)	教科書／副教材
1／45	3年生 48名		進路の手引き（校内資料）、就業体験実施要項と計画書及び日誌

年間目標		(知及技) 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。⇒仕事内容を理解し、課題に対応することができる（本校の進路指導重点目標(3)より）。 (思判表力) 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。⇒自己の役割を理解し、仕事に向けて自己管理ができる（進路指導重点目標(2)より）。 (学・人) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。⇒良好な人間関係をつくり、協力して仕事を行うことができる（進路指導重点目標(1)より）。 ※3学年目標「進路実現と卒業後の生活設計」（進路の手引き3学年の目標より） (1) 就労で必要な知識や技術の取得に向けて、意欲的に取り組む。 (2) 卒業後の生活について考え、社会人としての意識づけをする。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間 にわたって 実施	85	(知及技) 仕事に必要な基本的態度（適切な声の大きさ、言葉遣い、姿勢、挨拶や返事、報告、質問、身だしなみ）を習得できる。 (思・判・表・力) マナーに関する基礎的・基本的な知識と技術の習得を図り、日常生活や職場で必要なマナーを身に付け、場に応じた立ち居振る舞いができる。 (学・人) 働くことの必要性和意義を知り、主体的に仕事に取り組むことができる。	(知・技) 仕事に必要な基本的な態度を習得している。 (思・判・表) 場に応じた立ち振る舞いができている。 (主学) 主体的に学習・仕事に取り組んでいる。	就業体験 就業体験事前学習 就業体験 校外就業体験 経験拡充就業体験 就職前提就業体験 就業体験事後学習	(1) 事前学習の主な内容 ①就業体験の目的・作業内容について ②出退社について（出退社練習） ③面接について ④緊急時の対応について（欠勤・遅刻連絡） ⑤個人目標設定、日誌記入について (2) 就業体験の主な内容 企業等の協力を得て、学校や家庭で身に付けてきた力を、実際に現場で活用できるように体験的な学習を行う。働くうえでの課題を明らかにし、職場におけるルールや仕事の厳しさ、楽しさ、やりがい等も学ぶ場とし、労働に対する積極的な態度を育成する。また、個々の適性を知り、将来の進路選択の一助となるようにする。 ① 自分を知る：自己理解、将来設計等 就業体験個人評価票 ② 働く：いろいろな仕事、職場でのルール等 仕事に必要な基本的態度（適切な声の大きさ、言葉遣い、姿勢、挨拶や返事、報告、質問、身だしなみ）、生産およびサービス活動（接客等） ③ 楽しむ：大人のマナー、コミュニケーション、余暇の過ごし方等 ④ 暮らす：金銭管理、健康的な暮らし、制度・施設の理解と利用等
	86	(知及技) 様々な職業について幅広く知り進路選択の幅を広げる。 (思判表力) 職場で働く上での心構え（服装、身だしなみ等）や注意すべきこと（安全、衛生等）等について理解し、行動につなげる。 (学・人) 働く意義について理解し、働く意欲を高める。	(知・技) 様々な職業について知っている。 (思・判・表) 知識に基づいた、適切な行動をしている。 (主学) 働く意欲を持っている。	進路講話 合同企業説明会 就業体験報告会 企業見学会 卒業生講話 事業所見学 ハローワーク見学 事業所見学 冲高特祭の取り組み	(3) 進路講話・事業所見学の主な内容 ①日常的なマナー：挨拶、身だしなみ・服装、バス内、携帯電話等 ②社会人としてのマナー：言葉遣い・敬語の使い方、面接の受け方、案内の仕方等 ③接客マナー：待機の仕方、お辞儀・会釈の仕方、案内の仕方、注文の取り方等 ④様々な職種の理解 ⑤様々な考え方の理解 ⑥就労支援制度に関する理解
	4	(知及技) 自分自身を理解できる。 (思・判・表・力) 自分自身を理解し、自己管理ができる (学・人) 良好な人間関係をつくり、主体的に協力して物事を行うことができる。	(知・技) 自分自身の課題を理解している (思・判・表) 自分自身に応じた、適切な行動ができている (主学) 主体的に協力して物事を行っている。	進路面談 進路希望調査 保護者面談 事業所・関係機関との面談	(4) 事後学習の主な内容 ①自己評価と他者評価との比較 就業体験個人評価票 ②お礼状作成 ③就業体験報告会に向けて（成果と課題） ④希望職種（作業内容や体験先）について ⑤今後の目標の記入 (5) 進路面談の主な内容 ①担任、部屋担、保護者、進路担当、県就労支援コーディネーター等との面談。 ②ハローワーク、企業担当者、就業・生活支援センター（なかぼつ）、福祉事業所等との面談
留意点 引継ぎ等					

単位数 ／配時数		児童生徒	担当者	教科書／副教材
35時間		3年生 生徒48名		高等学校学習指導要領、特別支援学習指導要領
年間目標	〔知及技〕・多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。 〔思弁表力〕集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。 〔学・人〕自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、主体的に集団や社会に参画し、生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。 （ホームルーム活動の目標） ホームルームや学校での生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成し、役割を分担して協力して実践したり、ホームルームでの話し合いを生かして自己の課題の解決及び将来の生き方を描くために意思決定して実践したりすることに、自主的、実践的に取り組むことを通して、3つの柱で整理した資質・能力を育成することを目指す。 （生徒会活動の目標） 異年齢の生徒同士で協力し、学校生活の充実と向上を図るための諸問題の解決に向けて、計画を立て役割を分担し、協力して運営することに自主的、実践的に取り組むことを通して、3つの柱で整理した資質・能力を育成することを目指す。 （学校行事の目標） 全校もしくは学年又はそれに準ずる集団で協力し、よりよい学校生活を築くための体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養いながら、3つの柱で整理した資質・能力を育成することを目指す。			
学期 時数	単元・題材の目標 通常高校学習指導要領 P478～p480 特別活動の目標及び内容より抜粋			
通年	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
	生徒が主体的に組織をつくり、役割を分担し、計画を立て、学校生活の課題を見だし解決するために話し合い、合意形成を図り実践すること。	【評価の観点】 「よい良い生活を築くための知識・技能」 個人と集団との関係性及び集団活動の意義を理解し、社会生活におけるルールやマナーに則った行動の仕方を身に付けている。 「集団や社会の形成者としての思考・判断・表現」 様々な場面で、自分と異なる考えや立場にある多様な他者を尊重し認め合い、支え合ったり補い合ったりして、合意形成や意思決定をしている。	登校日の生徒集会（生徒会活動）	○進路指導の確認 ○あいさつの心得 ○あいさつ練習 ・心を落ち着かせ、きれいに整列し集会に臨む。 ・社会自立に向けての自分の課題を考える。
1 学期	ホームルームや学校における生活を向上・充実させるための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図り、実践すること。	「集団や社会の形成者としての思考・判断・表現」 様々な場面で、自分と異なる考えや立場にある多様な他者を尊重し認め合い、支え合ったり補い合ったりして、合意形成や意思決定をしている。	学級びろき（ホームルーム活動）	○自己紹介 ○学習目標・委員の設定 ○個人目標の設定 ①自治的活動がスムーズに出来るように役割分担を明確にする。 ②全員が学習目標達成に向けて、協力していき心構えを持つ。 ・級友や担任に早く慣れるように、学級の雰囲気作りを工夫する。 ・自分のHＲという意識を持ち、諸活動に全員が自主的に参加
	心や体に関する正しい理解を基に、適切な行動をとり、悩みや不安に向き合い乗り越えようとする。	「主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度」 様々な集団に積極的に所属し、他者の価値観や個性を受け入れ、新たな環境のもとで互いのよさや可能性を発揮できる関係を築こうとしている。	係活動の計画	○仕事分担や諸係を決める。○活動計画を決める。 ①HＲ活動の役割分担や目標設定作りなどを通し、積極的に意欲のある学級作りを目指す。 ・分担した役割を機動的に果たそうとする意欲と、学級の協力態勢について助言する。
	現在及び将来の生活や学習と自己実現とのつながりを考えたり、社会的・職業的自立の意義を認識したりしながら、学習の見通しを立て、振り返ること。	「主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度」 様々な集団に積極的に所属し、他者の価値観や個性を受け入れ、新たな環境のもとで互いのよさや可能性を発揮できる関係を築こうとしている。	心身の健康と安全 1（ホームルーム活動）	○規則的な生活習慣について考える。 ・①健康に留意し、安全な学校生活を送ることの大切さを理解する。 ・健康経営の大切さを理解し、安全な学校生活の過ごし方について助言する。
	適性やキャリア形成などを踏まえた教科を選択することなどについて、目標をもって、在り方生き方や進路に関する適切な情報を収集・整理し、自己の個性や興味・関心と照らして考えること。	単元・題材の評価規準	自分を知らず（ホームルーム活動）	○個人面談 ①自分自身の在り方を考える。 ②進路の適性や対人関係について理解を深める。 ・1人1人の気持ちにより寄り添い、課題解決に向けて支援する。
	適性やキャリア形成などを踏まえた教科を選択することなどについて、目標をもって、在り方生き方や進路に関する適切な情報を収集・整理し、自己の個性や興味・関心と照らして考えること。	単元・題材の評価規準	就業体験にむけて（ホームルーム活動）	○自分の特性を考える。○進路希望調査の活用。 ①自身の特性と進路を関連づけて、進路希望調査を調べる。 ・「自己理解の大切」について深く考える。 ・「相談する事」について、生徒が理解しやすい説明を行う。
	適性やキャリア形成などを踏まえた教科を選択することなどについて、目標をもって、在り方生き方や進路に関する適切な情報を収集・整理し、自己の個性や興味・関心と照らして考えること。	※本来はそれぞれの単元・題材ごとに、どのような姿を看取るか（評価規準）を設定するのが理想	働く目と意欲（ホームルーム活動）	○働くことの意義を知り、職業選択基準について考える ①身近な職業観、勤労観を養う。 ・「目的達成のために一緒に考え、実践につながる指導を行う」 ・職業差別がないように、職種説明には配慮する。
	心や体に関する正しい理解を基に、適切な行動をとり、悩みや不安に向き合い乗り越えようとする。	同上	思春期の性の特徴と男女交際	○性意識や異性への関心についてアンケートをとる。 ①思春期の心身の発達の特徴について理解を深め、その意義について考える。 ・身近な問題として考えることによるよう説明する。 ・望ましい情報の選択ができるようになる。
	態度ある健全な生活を送るなど現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進することや、事件や事故、災害等から身を守り安全に行動すること。	同上	1学期の反省と就職をめざした夏休みの過ごし方（ホームルーム活動）	○1学期の学習面・生活面を自己評価し、2学期につなげる。 ○夏休みの生活指導・計画立案、就職手続きの確認 ・生徒指導部からの「夏休みの過ごし方」について確認する。 ・個人面談により個々の課題や問題点について話し合い指導や助言を行う。 ・就職の具体的な手続きについて説明する。
	ホームルームや学校における生活を向上・充実させるための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図り、実践すること。	同上	2学期の目標と計画（ホームルーム活動）	○2学期の自己目標の設定 ○諸行事への取り組み計画 ・学習目標と個人の目標について関連づける ・個人面談により夏休みの過ごし方について話し合い課題や問題点について指導や助言を行う。
	自主的に学習する場としての学校図書館等を活用し、自ら学びを深め、学習方法や学習習慣を身に付けること。	同上	読書に親しむ（ホームルーム活動）	○読書習慣を振り返り、望ましい読書の在り方を考える。 ・読書し出し記録を参考にすること。 ・自分の好きな本を紹介することにより、読書活動の幅を広げる ・感想を発表し、読書活動の幅を広げる
2 学期	現在及び将来の生活や学習と自己実現とのつながりを考えたり、社会的・職業的自立の意義を認識したりしながら、学習の見通しを立て、振り返ること。	同上	職業と人生（ホームルーム活動）	○多くの職業内容やそこに働く人の生き方を知る。 ・就職指導や職業について仕事内容やそれに伴う生活の違いを知る。 ・就職指導や職業について仕事内容やそれに伴う生活の違いを知る。 ・実習先の評価を参考にすること
	適性やキャリア形成などを踏まえた教科を選択することなどについて、目標をもって、在り方生き方や進路に関する適切な情報を収集・整理し、自己の個性や興味・関心と照らして考えること。	同上	自分の適性（ホームルーム活動）	○将来の職業生活を考え、自分の適性に合った職業について考える。 ・職業選択について好きな職業、やりがい、仕事内容、給料、地域等いろいろな角度から一緒に考え、助言を行う
	心身の健全な発達や健康の保持増進、規律ある集団行動の体得、運動に親しむ態度の育成、責任感や連帯感の涵養、体力の向上などに資するようにすること。	同上	特別支援学校体育大会に向けて（学校行事）	○選手としてのマナーについて ・服装、行動、安全、公共施設の利用について ・他校の生徒との交流の機会でもあることを意識し積極的に参加ができるように指導する
	勤労の尊さや創造することの喜びを体得するとともに、共に助け合って生きることの喜びを体得し、社会奉仕の精神を養う体験が得られるようにすること。	同上	神高物祭に向けて（学校行事）	○活動計画や内容について ○参加の望ましい態度について ・学校行事の中でも柱の一つであり各コース、各教科の集大成といふことを意識する ・自主的に活動し仲間と協力して行事を成功させることを自覚する
3 学期	態度ある健全な生活を送るなど現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進することや、事件や事故、災害等から身を守り安全に行動すること。	同上	2学期の反省と冬休みの過ごし方（ホームルーム活動）	○2学期の学習面・生活面を自己評価する ○冬休みの生活指導・計画立案 ・生徒指導部からの「冬休みの過ごし方」について確認する。 ・個人面談により生徒個々の具体的な課題や問題点について話し合い、実態に応じて指導や助言を行う
	ホームルームや学校における生活を向上・充実させるための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図り、実践すること。	同上	3学期の目標と計画（ホームルーム活動）	○3学期の自己目標の設定 ・3学期はまよのめ学期であることを意識し卒業を迎えるにあたり、自分の課題を再確認する
	現在及び将来の生活や学習と自己実現とのつながりを考えたり、社会的・職業的自立の意義を認識したりしながら、学習の見通しを立て、振り返ること。	同上	仕事と生活（ホームルーム活動）	○社会生活に必要なマナーを知る。 ・社会生活を円滑に送るためのマナーを守るよう自覚を促す。
	現在及び将来の生活や学習と自己実現とのつながりを考えたり、社会的・職業的自立の意義を認識したりしながら、学習の見通しを立て、振り返ること。	同上	高校生活の振り返りと卒業後の抱負（ホームルーム活動）	○卒業後の抱負の発表 ①高校生活を振り返る。 ②卒業後の抱負を考える。 ・社会人となる自覚を促し、激励する
留意点 引継ぎ等				

※自立活動の時間における指導計画は、個別に作成されることが基本であり、最初から集団で指導することを前提とするものではない、しかし本校の生徒の場合、2.心理的な安定、3.人間関係の形成、6.コミュニケーションに関する項目に関して改善・克服を要する生徒が多く、その為には集団を構成して指導することが効果的だと考えられるため「**生徒個々の自立活動の個別の指導計画**」と合わせて、「**学年(指導は学級単位)ごとの自立活動の年間指導計画**」も作成し、実践・評価・改善を行う。

3年間を通しての目標 個々の児童又は生徒が自立を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識・技能、態度及び習慣を養い、もって心身の調和的発達の基盤を培う。

年間目標 1 健康の保持(健) :日常生活を行うために必要な健康状態の維持・改善を図ることができる。
2 心理的な安定(心) :自分の気持ちや情緒をコントロールして変化する状況に適切に対応するとともに、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服する意欲の向上を図り、自己のよさに気付くことができる。
3 人間関係の形成(人) :自他の理解を深め、対人関係を円滑にし、集団参加の基盤を身につけることができる。
4 環境の把握(環) :感覚を有効に活用し、空間や時間などの概念を手掛かりとして、周囲の状況を把握したり、環境と自己との関係を理解したりして、的確に判断し、行動できる。
5 身体の動き(身) :日常生活や作業に必要な基本動作を習得し、生活の中で適切な身体の動きができる。
6 コミュニケーション(コ) :場や相手に応じて、コミュニケーションを円滑に行うことができる。

※全ての項目について指導を行うわけではない事に留意

学期	時数	単元・題材名	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材の活動内容
年間を通して行う	35 【内訳】 1コマ×35週	身体面 プログラム (認知作業トレーニング)	身(1)姿勢と運動・動作の基本的技能に関すること 身(5)作業に必要な動作と円滑な遂行に関すること 環(1)保有する感覚の活用に関すること 環(4)感覚を総合的に活用した周囲の状況についての把握tp状況 ・拡大運動や巧緻動作の不器用さの改善を図ることができる。 ・協調運動の向上を図り、適切な筋力調整、動作の予測ができる。	・自分の身体の動きや使い方、物をコントロールする力の調整ができる。 ・作業に必要な基本動作を習得し、その巧緻性や持続性の向上を図るとともに、作業を円滑に遂行する能力を高めることができる。	【コグトレ】 ・自分の身体トレーニング(力加減と動き) ・物と自分の身体トレーニング(物のコントロール、手指の動き) ・人の身体と自分の身体トレーニング(模倣、動作の言語化)
		学習面 プログラム (認知機能強化トレーニング)	環(5)認知や行動の手掛かりとなる概念の形成に関すること ・視覚、聴覚制の短期記憶の向上、文章理解の向上を図ることができる。 ・注意力、集中力、処理速度の向上を図ることができる。 ・視覚認知の基礎力(模写、形の把握)の向上を図ることができる。 ・視覚認知の応用力(形の恒常性)の向上を図ることができる。 ・方略、論理的思考、関係性理解、時間概念の向上を図ることができる。	・基礎学習の土台作り(記憶力、言語理解力、注意力、知覚、推論力、判断力など)に積極的に取り組む事ができる。	【コグトレ】 ・「覚える」トレーニング ・「数える」トレーニング ・「写す」トレーニング ・「見つける」トレーニング ・「想像する」トレーニング
		社会面 プログラム (認知ソーシャルトレーニング)	心(1)情緒の安定に関すること・対人関係のスキルの向上を図ることができる。 環(2)他者の意図や感情の理解に関すること 環(3)自己理解と行動の調整に関すること 環(4)集団への参加の基礎に関すること コ(5)状況に応じたコミュニケーションに関すること ・感情統制を図ることができる。 ・適切な自己評価ができる。 ・適切な対人マナーを習得し、円滑なコミュニケーションを図ることができる。	・自分で感情をコントロールし、「他者と適切な関わりを保つことができる。 ・思い付きや、思い込みで行う不適切な行動に気づき、改善することができる。 ・様々な状況での対人マナーを知り、活用することができる。	【コグトレ】 ・段階式感情トレーニング ・危険予知トレーニング ・対人マナートレーニング
		スケジュール管理	心(2)状況の理解と変化への対応に関すること ・活動の内容、順序を理解し適切な行動を取ることができる。 ・状況の変化にも落ち着き対応することができる。 環(2)自己理解と行動の調整に関すること ・自分の評価と他者の評価が同じであることや違いがあることに気付くことができる。 環(3)自己理解と行動の調整に関すること ・自分の行動を振り返り、適切な行動かを確認、調整することができる。 コ(5)状況に応じたコミュニケーションに関すること ・自分の行動、思ったことや考えたことの要点をまとめ表現することができる。 ・伝えようとする側と受け取る側との人間関係や、そのときの状況を的確に把握できる。 ・場や相手の状況に応じて、主体的にコミュニケーションを展開できる。	・活動や行動について見通し、目標を持つことができる。 ・自分の行動を振り返り、より良い行動につなげることができる。 ・自分の行動を振り返り、授業や行事のできことで考えたこと、思ったこと、要点を相手に伝わるように文章で表現することができる。	・年間、月、週の行事を見通し、活動の内容を確認する。(OKTメモ、スケジュール帳の活用) ・1週間の振り返り(連絡帳)を行う。 ・各活動、学期の振り返り(キャリアパスポート)を行う。 ・活動の振り返りを行い、今後の行動改善につなげる。 ・タブレットで動画、写真を確認する活動を常に取り入れる。 ・生徒同士が伝え合う活動を、常に取り入れる。
		自己理解・他者理解	健(4)障害の特性の理解と生活環境の調整に関すること 心(3)障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲 人(3)自己理解と行動の調整 ・自分の障害の特性と学習や生活上における困難なこととの関連について理解し、自分の得意・苦手なことに気づくことができる。 ・自分の障害の状態を理解したり、受容したりして、障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服しようとする意欲の向上を図ることができる。	・障害により学習や生活上における困難なことがあることを理解することができる。 ・自分の得意なこと、不得意なことに気づくことができる。 ・自分自身より良い行動を選択できるために、今後やるべき事を言葉や文字で表現できる。	・「障害理解」に関する学習 ・「自己理解」に関する学習 ・生徒同士での話し合い活動を通し、自己理解、他者理解を促す。
		健康	健(1)生活リズムや生活習慣の形成に関すること 健(5)健康状態の維持・改善に関すること ・生活リズムを整え日常生活における適切な健康の自己管理ができる。 ・社会生活に適した衛生習慣を身に付けることができる。 健(2)病気の状態の理解と生活管理に関すること ・自分の疾患などを理解し、正しく服薬、薬の管理をすることができる。	・健康のために生活リズムを整え、適切な運動習慣や食生活、薬の服薬の必要性を理解することができる。 ・健康的な生活に向けて自分に必要な自己管理は何かを考えることができる。 ・健康の保持に向け自己管理ができる。	・自分が行った活動をメモをとり、習慣付けを促す。 ・自ら目標を立て、活動を振り返る。 ・睡眠、健康観察、検温、・身体の保清(歯磨き、洗顔、着替え、手洗い、消毒、他)、水分補給、運動、栄養バランス、服薬
		情緒	心(1)情緒の安定に関すること 人(3)自己理解と行動の調整に関すること ・自分の気持ちを相手に他者に適切に伝えることができる。 ・状況に応じ適切な行動を行うことができる。	・自分の行動を振り返り、思いや考えを適切な言葉で表現することができる。 ・表情や言葉、声の調子や大きさから相手の気持ちを考えるなど状況に応じたコミュニケーションの基礎作りに取り組む事ができる。	・トーキングゲーム ・ソーシャルスキルトレーニング ・ロールプレイングゲーム ・アンガーマネジメント ・視覚の言語化 ・感情の言語化 ・その他
		言動	コ(5)状況に応じたコミュニケーションに関すること ・時と場に応じた話題や言葉遣い、言動ができる。 自分の思いや考えを言葉で表現し、状況に応じた会話を楽しむことができる。	・場や相手に応じて適切な話し方ができる。 ・自分の気持ちに合う適切な言葉で表現することができる。 ・活動内容などを分かりやすく要約し伝えることができる。(図解化ができる) ・見聞きしたことや調べたことを、会話の話題にすることができる。	・声のもののし ・トーキングゲーム ・ソーシャルスキルトレーニング ・ロールプレイングゲーム ・視覚の言語化 ・感情の言語化 ・図解化
		生徒個々の課題に応じた活動	生徒個々の目標に関すること	目標達成したと見なされる姿	・生徒個々に応じた活動 ・個人面談

留意点
引継ぎ等

・生徒の実態に応じた課題設定や目標設定、取り組むべき内容を検討してクラスごとや学年単位での活動を取り入れる。

令和8年度 高等部3年 福祉 年間指導計画

単位数 /配当時数		児童生徒	担当者	教科書／副教材	
385		3年 生徒10名		自作プリント等	
目標：(知・技)知識及び技能 (思・判・表)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
学習指導要領 5節 主として専門学科において開設される各教科 第5「福祉」より					
年間目標 (知及技)福祉に関することについて理解するとともに、関連する技術を身につけるようにする。 (思判表力)福祉に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ課題を解決する力を養う。 (学・人)職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、社会貢献に主体的かつ協動的に取り組む態度を養う。					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	100	(知及技) 就労の対価や意義を調べる ことができる。(職業・高2 段階A(ア)) (思判表力) 介護や保育の心得、ホスピ タリティについて考えるこ とができる。(職業・高2 段階イ(イ)) (学・人) 介護職、保育職の社会的 役割を理解し、これからの 社会に必要な存在を知るこ とができる。(職業・高2 段階A(イ))	(知・技) 介護や保育の役割、専門性、仕事内容を 理解できる。基本の介護技術を身に付け ようとしている。 (思・判・表) 社会が必要とする性質や相手の求める介 護などこととの重要性は何かを考え表現 しようとしている。 (主学) 介護職や保育職が社会に必要なこと を知ろうとしている。 ＊日誌、振り返り発表、活動の姿で評価 する。	・オリエンテーション ・自己目標設置 ・高齢者施設、障 がい者施設、保育施設 の役割と仕事内容 ・介護士、保育士の仕 事内容や必要な資格、 給与について ＊介護や保育現場で必 要な知識や技能、関連 する規則、ルールにつ いて ＊自己分析とキャリア ビジョン	・職種についての学習やビジネスマナー等を通して、 就労意識や対価について学習し、意欲的に作業にあた る姿勢を身につける。 ・介護や保育の職場と仕事内容を調べる。 ・介護や保育に従事する高齢者や障害者を取り上げ、 介護に必要なことを理解し、より良い介護、保育の 在り方、生活支援について考える。 ・介護や保育の職場で必要な技能を身につける。
	40	(知及技) 社会福祉の理念と意義を理 解し、介護・福祉サービス を必要とする人の理解、生 活支援に関する技術を身に 付けることができる。(福 祉1(1)) (思判表力) 福祉を担う当事者としての 意識を持ち、福祉に携わ る者として課題に向き合 い、解決に向けたように取 り組むことができるか考 えられる。(福祉1(2)) (学・人) 社会の信頼を得て、福祉 を展開する上で必要な職 業人に求められる倫理観、 福祉を通じて社会に貢献 する意識、職業人として の優しきや思いやりを育 むことができる。(福祉 1(3))	(知・技) 社会福祉の意義や役割、介護の職務につ いて理解するとともに、介護に係る基本 的な技術を身に付けようとしている。 (思・判・表) 生活支援において福祉サービス利用者の ニーズに応じた介護サービスを提供する ために必要な課題を発見し、工夫につ いて考え、表現しようとしている。 (主学) 社会福祉や介護・福祉サービスについて 自ら学び、実習等に主体的かつ協同的に 取り組もうとしている。 ＊「介護職員初任者研修」ミニテスト、 日誌、実技テスト、活動の姿で評価す る。	・前年度「介護職員初 任者研修」の振り返り ・介護職員初任者研修 カリキュラム 1、職務の理解 2、介護における尊 厳の保持・自立の支援 3、介護の基本 4、介護、福祉サー ビスの理解と医療との 連携 5、介護におけるコ ミュニケーション技術	・「介護職員初任者研修カリキュラム」に沿って学習 を振り返りつつ、実践力を高める。(テキストを使用) ・社会福祉の意義と役割、様々な制度やサービス、社 会福祉サービスに必要な知識や資格を取り上げ、 社会福祉サービスが人間の生活と深く関わってい ることを学びを深める。 ・[CF、QOL、ノーマライゼーション、虐待防止、身 体的虐待防止、個人の権利に関する知識の概念や人格と 尊厳を支える自立支援、介護予防について学びを深める (バリアフリー、ユニバーサルデザイン) ・介護保険制度、医療との連携とリハビリテーショ ン、医療職との連携について学びを深める。 ・安全の確保、リスクマネジメント、介護職の安全に ついて学びを深める。(危険予知トレーニング、バイ タルケア、バイタルチェック、ボディワークス) ・正しい感染対策や感染症の基本的な予防対策を理 解し、介護施設における感染対策の必要性を学び深 める。 ・介護におけるコミュニケーションの意義や技術、 チームでのコミュニケーションについて学びを深める。 ・ウチナグチ(方言)、手話などいろいろなコミュ ニケーションを学び深める。(しまくとぅば、手話など いろいろなコミュニケーション)
	3	(知及技) 1学期の成果を確認し、2学 期以降に活かすことがで きる。(高1段階A(イ)) (思判表力) 1学期を振り返り、自己の成 長や課題点を発表する。 (高1段階A(イ)) (学・人) 他者の反省を聞き、認める ことができる。(高1段階 A(イ))	(知・技) 1学期の学習を振り返り、成果や課題を 確認し次学期への活かそうとしている。 (思・判・表) 自身の成長点や課題点を考え、改善に向 けた目標とともに表現、発表しようとし ている。 (主学) 他者の発表を聞き、成長点や反省点をと もに考えようとしている。 ＊定期テスト、振り返り発表、活動の姿 で評価する。	・1学期のまとめ	・定期テストにより、1日頃の学習成果や課題を知る。 ・反省会を行い、自らの成果や課題を振り返る。 ・次学期以降の目標を考える。
2 学期	162	(知及技) 社会福祉の理念と意義を理 解し、介護・福祉サービス を必要とする人の理解、生 活支援に関する技術を身に 付けることができる。(福 祉1(1)) (思判表力) 福祉を担う当事者としての 意識を持ち、福祉に携わ る者として課題に向き合 い、解決に向けたように取 り組むことができるか考 えられる。(福祉1(2)) (学・人) 社会の信頼を得て、福祉 を展開する上で必要な職 業人に求められる倫理観、 福祉を通じて社会に貢献 する意識、職業人として の優しきや思いやりを育 むことができる。(福祉 1(3))	(知・技) 人間の欲求や発達段階、人体の構造や機能、 生命維持の仕組みや人体各部の 機能、老化や認知症、障害が生活に及ぼす 影響などについて理解するとともに関連する 技術を身に付けようとしている。 (思・判・表) 生活と安全からだの介護を必要とする人の 基本的理解を通して、福祉サービス利用 者のニーズに応じた介護サービスを提供 するために必要な課題を発見し、工夫につ いて考え、表現しようとしている。 (主学) 介護を必要とする人こととからだや 生活支援について自ら学び、家事援助、 介護に係る実習などに主体的かつ協同的 に取り組もうとしている。 ＊「介護職員初任者研修」ミニテスト、 日誌、実技テスト、活動の姿で評価す る。	・前学期の振り返り、 目標設定 ・介護職員初任者研修 カリキュラム 6、老化の理解 7、認知症の理解 8、障害の理解 9、こととからだの 関係と生活支援技術 (生活と家事、居宅環 境整備、整容、移動と 移乗、食事、入浴と整 容整備、排泄、睡眠、 終末期介護)	・「介護職員初任者研修カリキュラム」に沿って学習 を振り返りつつ、実践力を高める。(テキストを使用) ・学習と記憶、感情と意欲、自己概念と生きがい、適 応行動とその障害要因など介護に関する心のしくみや 人体の構造とボディメクス、中枢神経系と体性神 経、自律神経と内臓気管など介護に関する身体のしく みについて学びを深める。 ・生活に伴うことと身体の変化と日常、高齢者と健康、 認知症の理解、家族支援について学びを深める。 ・生活支援の実践力を身に付ける。(家事に関する用 具の活用方法、快適で安全・安心な居住環境整備と福祉 用具の活用方法、整容に関する用具の活用方法及び支援 方法、移動・移乗に関する用具の活用方法と負担の少 ない支援方法、食事療養の整備や福祉用具の活用方法 と安全で楽しい食事の支援方法、入浴用具と整容用具 の活用方法と安全で楽しい入浴支援方法、排泄環境の 整備と排泄用具の活用方法、爽快感の排泄への支援、睡 眠環境の整備や用具の活用と快い睡眠の支援方法、終 末期介護) ・実技演習(車いす介助、歩行介助、衣服の脱着 介助、食事介助、口腔ケア介助、清拭、入浴介助、排泄 介助、バイタルチェック、ベッドメイク、清掃、 消毒、洗濯、タフティールなど)
	3	(知及技) 2学期の成果を確認し、2学 期以降に活かすことがで きる。(高1段階A(イ)) (思判表力) 2学期を振り返り、自己の成 長や課題点を発表する。 (高1段階A(イ)) (学・人) 他者の反省を聞き、認める ことができる。(高1段階 A(イ))	(知・技) 2学期の学習を振り返り、成果や課題を確 認し次学期への活かそうとしている。 (思・判・表) 自身の成長点や課題点を考え、改善に向 けた目標とともに表現、発表しようとし ている。 (主学) 他者の発表を聞き、成長点や反省点をと もに考えようとしている。 ＊定期テスト、振り返り発表、活動の姿 で評価する。	・2学期のまとめ	・定期テストにより、1日頃の学習成果や課題を知る ・反省会を行い、自らの成果や課題を振り返る。 ・次学期以降の目標を考える。
	65	(知及技) 社会福祉の理念と意義を理 解し、介護・福祉サービス を必要とする人の理解、生 活支援に関する技術を身に 付けることができる。(福 祉1(1)) (思判表力) 福祉を担う当事者としての 意識を持ち、福祉に携わ る者として課題に向き合 い、解決に向けたように取 り組むことができるか考 えられる。(福祉1(3)) (学・人) 社会の信頼を得て、福祉 を展開する上で必要な職 業人に求められる倫理観、 福祉を通じて社会に貢献 する意識、職業人として の優しきや思いやりを育 むことができる。(福祉 1(3))	(知・技) 緊急事態の意義と基本、様々な緊急事態 に適切に対応するための知識や手 帳技術を身に付けようとしている。 (思・判・表) 自身の状況・状態に応じた適切な応急手 当りについて、学んだ知識や技術を活用 し、災害の発生への対応方法を考え、見 いだそうとしている。 (主学) 自他で手話評価を行い改善を図るなど主 体的かつ協同的に取り組もうとしている。 ＊「介護職員初任者研修」ミニテスト、 日誌、実技テスト、活動の姿で評価す る。	・前学期の振り返り、 目標設定 ・感染症予防 ・緊急時の対応 ・就業に向けた心構え	・感染症と予防方法 ・救急救命急変時の対応(意識レベルチェック、気道 確保、人工呼吸器、AEDの使用、救命車への連絡) ・部課、窓への対応 ・アレルギーへの対応 ・食中毒について
3 学期	12	(知及技) 2年間の成果を確認し、卒業 後の職業や生活に活かすこ とができる。(高1段階 A(イ)) (思判表力) 2年間を振り返り、自己の成 長や課題点を発表する。 (高1段階A(イ)) (学・人) 他者の反省を聞き、認める ことができる。(高1段階 A(イ))	(知・技) 2年間の学習を振り返り、介護技術を習 得した成果や今後の課題を確認し卒業後 の職業や生活へ活かそうとしている。 (思・判・表) 自身の成長点や課題点を考え、改善に向 けた目標とともに表現、発表しようとし ている。 (主学) 他者の発表を聞き、成長点や反省点をと もに考えようとしている。 ＊定期テスト、振り返り発表、活動の姿 で評価する。	・OK!福祉技能検定 ・年間のまとめ	・OK!福祉技能検定を実施し、介護技術の習得を確認 する。 ・2年間で習得した技能、技術に関する検定を受け、 自らの成長と今後の課題を確認する。 ・反省の発表会を行い自他成果や課題を振り返る ・情報機器を活用し、プレゼンテーションを作成して 発表する。
	年間を 通じて	(知及技) 介護者として身に付けた基 本的な介護技術を知識を身 につけることができる。(福祉 1(1)) (思判表力) 支援が必要な方の立場に なって考え行動することが できる。(福祉1(2)) (学・人) 介護に関心を持ち、主体 的、協同的に取り組むこ とができる。(福祉1(3))	(知・技) 介護や保育の目的を理解し、相手の立場 になった適切な支援の方法を活かそう としている。 (思・判・表) 相手の立場になって支援の方法を工夫し たり、笑顔でコミュニケーションを取り 組もうとしている。 (主学) 社会福祉や介護・福祉サービスについて 自らに学び、実習等に主体的かつ協同 的に取り組もうとしている。 ＊本単元の評価は年間を通して、日誌、 振り返り発表、活動の姿で評価す る。	・高齢者や幼児との交 流 ・高齢者施設実習(定 期) ・保育実習 ・リハビリテーショ ン施設の見学 ・他校福祉科との交 流	・高齢者、障害者施設、保育園などの見学や実習、交 流など、実践的、体験的な活動を通して、相手と場に応 じた接遇、傾聴、対応方法を体験する。 ・近隣福祉会館のミデイアの企画・運営体験 ・レクレーションの企画・実施(手遊び、パネルシア ター、健康体操、読み聞かせなど) ・壁面装飾 ・手浴やマッサージ ・各施設での実習内容を振り返り、評価、改善を行 う。 ・情報機器を利用し交流会の様子を新聞に掲載、発行 する。
		(知及技) 福祉機器やコンピュータ等 の名称、目的、操作手順、 保管、管理について適切に 理解することができる。 (福祉1(1)) (思判表力) 情報モラル、マナーにつ いて正しく判断し、情報機 器を効果的に活用すること ができる。(福祉1(2)) (学・人) 福祉や保育の現場で活用 するために必要な福祉機 器や情報機器の使用方を主 体的に学ぶことができる。 (福祉1(3))	(知・技) 福祉機器や情報機器を適切に使用し、且 つ、大切に扱いながら活動に取り組ん でいる。 (思・判・表) 情報モラルや情報マナーについて考え ながら情報機器を使用している。 (主学) 福祉機器や情報機器の使用方を積極 的に学び活用しようとしている。 ＊本単元の評価は年間を通して、日誌、 振り返り発表、活動の姿で評価す る。	・発表 ・調べ学習 ・新聞作り ・福祉機器や用具 ・情報機器の活用 ・振り返りシート	・様々な福祉機器を紹介、使用体験を行う。 ・コンピュータやタブレットを使って(情報)をまと めて他者に伝える。(新聞作り・発表資料など) ・コンピュータや携帯の便利さと危うさを実例で学び 表記・記録・計算・通帳等の代表的なソフトの使い 方を体験する。
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 高等部3年 陶芸（選択科目） 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	3年(選択希望者)		自作プリント等 ひとりだちするための「進路学習」－あしたへのステップ－

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) ・陶芸に関することについて理解するとともに、関連する知識及び技能を身に付ける。 ・勤労に関する意欲や関心を高め、他者と協働して活動することができる。(高1段階) (思判表力) ・陶芸の働きについて考え、身近な生活の視点で発想や構想を練り、よりよい製品を目指し創造的に表現することができる。 ・職業生活に必要な健康管理や余暇の過ごし方について考えることができる。(高1段階) (学・人) ・陶芸の伝統と文化に親しみ、生活や社会を心豊かにするために工夫する態度を養う。 ・職業人として必要な豊かな人間性を育み、職業などの卒業後の進路に必要なことについて理解することができる。(高1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	26	(知及技)陶芸について学び、土の扱い方や道具、機械の扱い方を理解し、製作の工程を踏まえて、関連する技術を身につけること。 (思判表力) 陶芸の働きについて考え、身近な生活の視点で発想や構想を練り、よりよい製品を目指し創造的に表現することができる。 (学・人) 陶芸の伝統と文化に親しみ、生活や社会を心豊かにするために工夫する態度を養う。	(知・技)陶芸で扱う道具について種類、扱い方、片付け方や、製品作りの手順を理解し取り組むことができる。 (思・判・表)道具の準備、制作手順を確認し、仕上がりや使用することを意識して製品を作ろうとしている。 (主学)作業をはじめの前に作業内容や個人目標を把握し、作業後は自らの作業を振り返っている。 (作業日誌への記入)	オリエンテーション (陶芸について) ・置物シーサー ・タタラ板「小皿」	・働く態度、作業の心構え ・用具の取り扱い ・土の取り扱い ・土ヒモの作り方と品質チェック ・シーサー面による手順、規格を守ることの徹底 ・タタラ機を使った「丸皿」作りで土のカットと成形を身につける
	30	(知及技)陶芸について学び、土の扱い方や道具、機械の扱い方を理解し、製作の工程を踏まえて、関連する技術を身につけること。 (思判表力) 陶芸の働きについて考え、身近な生活の視点で発想や構想を練り、よりよい製品を目指し創造的に表現することができる。 (学・人) 陶芸の伝統と文化に親しみ、生活や社会を心豊かにするために工夫する態度を養う。	(知・技)陶芸で扱う道具について種類、扱い方、片付け方や、製品作りの手順を理解し取り組むことができる。 (思・判・表)道具の準備、制作手順を確認し、仕上がりや使用することを意識して製品を作ろうとしている。 (主学)作業をはじめの前に作業内容や個人目標を把握し、作業後は自らの作業を振り返っている。 (作業日誌への記入)	・タタラ板「ペン立て」 ・手びねり「どんぶり」 ・タタラ板「大皿、カップ」 ・加飾 ・釉薬かけ ・窯詰め	・タタラ機を使った商品としての「ペン立て」作り ・手びねりによるどんぶり作りで土削りを取り入れた成形を身につける ・素焼き皿に「いっちゃん」を施し、加飾の技法を身につける ・タタラ板による大皿やカップ製作に挑戦する ・加飾された素焼き皿に釉薬をかけ窯づめの準備を行う
3学期	14	(知及技)陶芸について学び、土の扱い方や道具、機械の扱い方を理解し、製作の工程を踏まえて、関連する技術を身につけること。 (思判表力) 陶芸の働きについて考え、身近な生活の視点で発想や構想を練り、よりよい製品を目指し創造的に表現することができる。 (学・人) 陶芸の伝統と文化に親しみ、生活や社会を心豊かにするために工夫する態度を養う。	(知・技)陶芸で扱う道具について種類、扱い方、片付け方や、製品作りの手順を理解し取り組むことができる。 (思・判・表)道具の準備、制作手順を確認し、仕上がりや使用することを意識して製品を作ろうとしている。 (主学)作業をはじめの前に作業内容や個人目標を把握し、作業後は自らの作業を振り返っている。 (作業日誌への記入)	・商品開発 ・箸置き	・実用的な商品の開発 (使いやすく、手に取りやすい) ・消費者目線の「箸置き作り・皿・カップ」
年間を通して(座学)		(知及技) 勤労に関する意欲や関心を高め、他者と協働して活動することができる。 (思判表力) 職業生活に必要な健康管理や余暇の過ごし方について考えることができる。 (学・人) 職業人として必要な豊かな人間性を育み、職業などの卒業後の進路に必要なことについて理解することができる。	(知・技) 勤労に関する意欲や関心を高め、他者と協働して活動することができる。 (思・判・表) 自己選択、自己決定、自己実現に向けて、自己の課題を見つけることができる。 (主学) 将来の職業生活について、自身の考えをまとめることができる。	・オリエンテーション ・伝えることの必要性 ・進路を考える ・社会人になる ・卒業後の健康管理 ・進路決定へむけて ・生活の場 ・困ったときは ・知っておきたいこと ・将来の生活	・OKTメモの活用、「報告・連絡・相談」 【P58～59】進路先をきめるまで 【P60～63】進路について相談できるところ 【P88～90】①社会人の生活 ②学校生活と卒業後の生活の違い 【P42～44】①人とのつきあい ②「挨拶・言葉遣いの心得」 【プリント学習】③ビジネスマナー（欠席等の連絡など） 【P50～52】①金銭管理の基本 ②就業体験中の管理 【プリント学習】こんなときどうする？ 【P67～68、71～77】仕事をやる上での基礎 【P93～96】卒業後の健康管理 【P97～99】経済生活 【P100】余暇の過ごし方 【P114】卒業後の人生 ・成長点と課題点の記録と発表 ・課題解決の手だてと実践
留意点 引継ぎ等		徴収金：2,000円 陶土代、釉薬代 製作物で本焼きできた物を、3学期に持ち帰る			